

図解世界史ノート 前期



図解世界史ノート前期

先史～近世

目次

序章 先史の時代

先史時代	4
地域世界の展開・文明圏	8

第一章 オリエント史

エジプト文明の展開	12
メソポタミア文明	14
古代イラン世界	16

第二章 古典古代史

ギリシア史の展開	20
スパルタとアテネ	22
ヘレニズム	24
共和政ローマ	26
帝政ローマ	28
キリスト教の成立と発展	30

第三章 古代南アジア史

インド文明の誕生	34
インド王朝の興亡	36
東南アジア世界	38
東南アジアの全体史	42

第四章 古代・中世東アジア史

邑制国家から領域国家へ	48
秦漢帝国	50
魏晉南北朝時代	52
隋唐帝国	54
宋と北方民族の台頭	56
内陸アジアと東西交渉	58

第五章 ユーラシアの統合

イスラーム世界	66
イスラームの分裂	68
モンゴル帝国のユーラシア統合	72
明清帝国	74
朝鮮半島史	78
中国文化史	82
近世のイスラーム帝国	86
イスラーム文化	90

第六章 中世ヨーロッパ

中世ヨーロッパ世界の成立	94
封建社会の成立	96
西欧封建社会の拡大	98
十字軍	100
ヨーロッパ中世の都市	102
封建制の危機の時代	104
イギリスとフランス	106
ドイツとイタリア	108
東ヨーロッパ世界の展開	110

第七章 近世ヨーロッパ

世界の一体化の開始	116
近世社会の成立	120
宗教改革	122
スペインの繁栄とオランダの経済覇権	124
フランスの大陸覇権	126
イギリス立憲王政の成立	128
中欧ヨーロッパ	130
ロシア	132

序章 先史の時代

この章で学ぶこと

* 人類の発生と文明の始まり

人類と類人猿が別れたのは、およそ 700 万年ほど前であるとされる。しかし、両者に決定的な差が現れるのは、今から 250 万年ほど前、氷河時代の訪れによってである。縮小する熱帯雨林の森林地域に留まった類人猿の祖先に対し、われわれの祖先は森林の外に広がり始めた草原へと新たな生活の場を求めた。猫科の肉食獣のような爪も牙も持たない人類は、狩猟における必要から道具の使用を開始し、氷河期の長い冬の時代を猿人→原人→旧人→新人（旧人と新人は、ゴリラとチンパンジーのように別系統の人類ではないかとの説もある）と進化することで乗り切ってきた。その間に人類は打製石器を少しずつ進歩させ、精神文化も発達させた。けれども、その速度は今の文明の発達速度と比べて、おそろしいほどゆっくりとしたものだった。二百数十万年もの間、人類は木から降りた時と同じ生活形態、すなわち、群（ホルド）をつくり、集団で狩りをし、野生の植物を採集し、という獲得経済を続けていた。劇的な変化が訪れるのは、今からおよそ 1 万年前、地球自体の環境が大きくかわり、氷河期が終わって完新世（沖積世）が訪れてからである。暖かくなることで、マンモスなどの寒冷地型の巨大動物は絶滅したが、生活環境は比較にならないほど豊かになった。そうした中で一部の人々は農耕と牧畜を開始し、生産経済へ移行してやがて文明が発生する。

先史時代

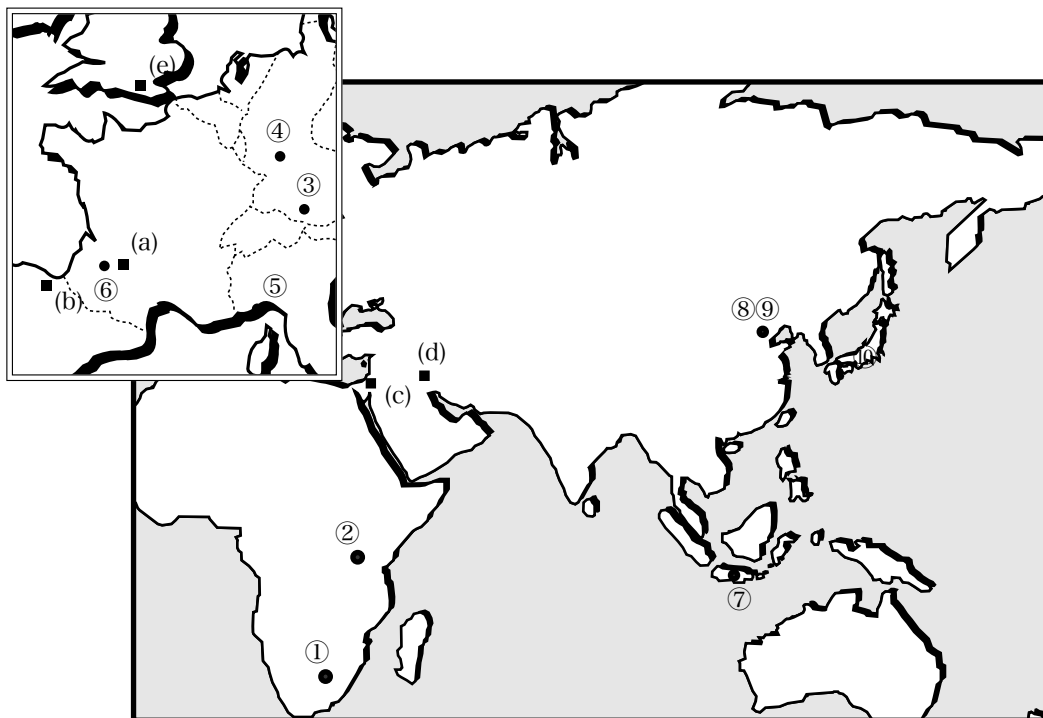
推定年代	地質年代	史的年代	考古年代	人類	道具	社会・経済・文化
700 万年前	更新世（洪積世）	先史	旧石器	猿人 * <u>サヘラントロプス</u> ○ 最古，チャドで発見 * <u>ラミダス猿人</u> ○ 日本人学者エチオピアで発見 * <u>アウストラロピテクス</u> ○ 南アフリカ	* 礫石器 使用 ○ 簡単な打製石器	* 狩猟・採集・漁労獲得経済 * ホルド（群）形成 ○ 旧石器時代を通じての特徴
180 万年前				原人 * <u>ホモ＝エレクトゥス（原人）</u> * <u>ホモ＝ハビリス</u> ○ 東アフリカ * <u>ピテカントロプス</u> ○ ジャワ島トリニールで発見 * <u>北京原人</u> ○ <u>周口店</u> で発見 * <u>ハイデルベルク人</u> ○ ドイツ南西部で発見	* 握斧 （ハンド・アックス）使用 ○ 加工した石核石器 * 言語 や 火 の使用 ○ 北京原人の火使用確実 * 川近くの野外や洞穴に居住	
20 万年前				旧人 * <u>ネアンデルタール人</u> ○ 西ドイツで発見 ○ ホモ＝サピエンス＝ネアンデルターレンシス	* 剥片石器 使用 ○ 剥片をナイフ等に加工 * 食料獲得のため 罌 使用 * 毛皮の衣服や炉の使用	* 埋葬 など宗教儀礼を行う ○ 精神文化の発生
4 万年前				新人 現代人と同種の現世人類 * <u>クロマニヨン人</u> ○ 南フランスで発見 * <u>周口店上洞人</u> ○ 河北省周口店で発見 * <u>グリマルディ人</u> ○ 北西イタリアで発見	* 石刃石器 使用 * 骨角器・細石器 使用 ○ 銚や槍に使用	* 多産・狩猟成功祈る呪術信仰 ○ 女性裸像 （石のヴィーナス） →地母神信仰と関連 ○ 洞穴絵画 { スペインの <u>アルタミラ</u> フランスの <u>ラスコー</u> * 副葬品を添えて 屈葬 で埋葬
1 万年前	完新世（沖積世）		中石器		* 打製石斧 ○ 材木切り倒しに効果大 ○ 木造小屋・丸木舟・橈製作	* 岩絵 ○ イベリア半島など生活記録
9 千年前			新石器	* 西アジア中心に彩文土器文化圏 ○ 彩文土器 使用 ○ 地母神 信仰	* 磨製石器 ○ 石臼・石皿・磨製石斧等 * 土器・織物 ○ 農業の普及などで広がる	* 食糧生産革命 →生産経済 ○ 前 7000 年頃農耕牧畜開始 ○ 初期は略奪農法・ 乾地農法 { イラクの <u>ジャルモ</u> パレスティナの <u>イエリコ</u> * 巨石記念物 ○ 英のストーン＝ヘンジ有名 ○ ドルメン 卓状 ○ メンヒル 垂直に立てる ○ ストーン＝サークル 環状 * 宗教はトーテミズム・アニミズム・シャーマニズム

人類	霊長類ヒト科・文化を持った霊長類と定義 森林の減少→木から降りる→ 直立二足歩行 →手使用→脳発達→道具の製作・言語の使用・火の使用
	人種 人類を 体質 で分類。黒色（ネグロイド）・黄色（モンゴロイド）・白色（コーカソイド）人種 →科学的に不正確な分類概念であることが明らかになり、人類学などでは用いられなくなった
	民族 人類を 文化 で分類。 氏族 （祖先が同じ集団）→ 部族 （数個の氏族からなる最初の政治的単位） → 民族 （言語・社会経済生活・習俗などを共有する集団）であるが、固定的なものではない
語族	人類を 言語 の特徴で分類

文明	考古年代では金属器時代に発生 史的年代では歴史時代に発生
	金属器 使用 青銅器 から鉄器へと移行 文字 使用 歴史時代の開始
	都市 の発生 神殿を中心・国家の開始

インド＝	東方派 インド・イラン（アーリア）
ヨーロッパ	西方派 スラヴ・チュートン・ラテン・ギリシア
セム	アッカド・アムル・ヘブライ・フェニキア・アッシリア・カルデア・アラビア
ウラル	フィンランド・ハンガリー・エストニア
アルタイ	トルコ・モンゴル・ツングース・朝鮮
シナ＝チベット	中国・チベット・ビルマ・タイ
南アジア	マライ・インドネシア・タガログ
マレー＝ポリネシア	ベトナム・クメール・モン
ドラヴィダ	タミル

階級の分化 **灌漑農業**→生産力増大・共同作業の必要→分業で戦士・神官発生

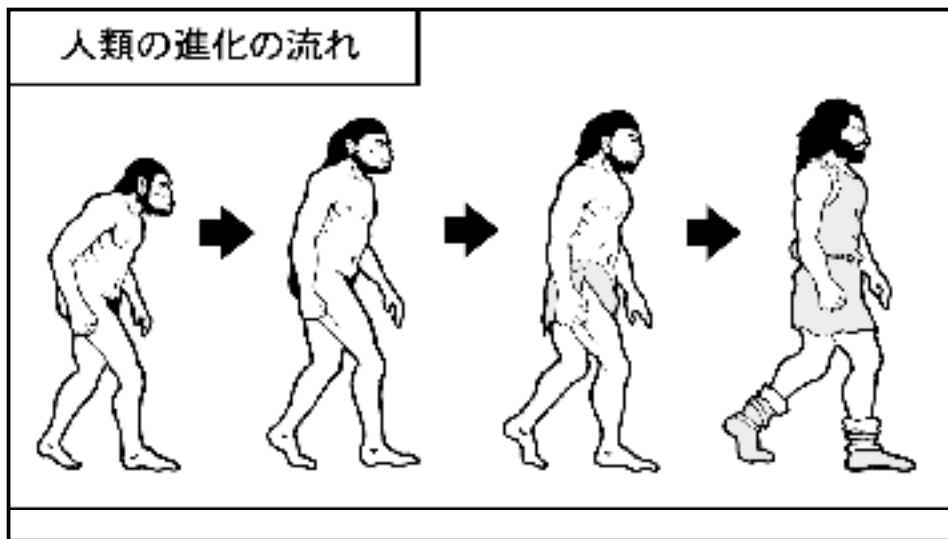


- ◎サヘラントロプス…2001年にアフリカのチャドで発見、現在最古の人類でその遺骨はトゥーマイと命名
- ◎ラミダス猿人…1990年代に日本の発掘チームがエチオピアで発見、アウストラロピテクス以前、440万年前
- ①**アウストラロピテクス**…南アフリカのトランスヴァールで発見「南のサル」の意
- ②**ホモ＝ハビリス**…原人の初期。東アフリカのタンガニーカのオルドバイ峡谷で発見「器用な人」の意
- ③ハイデルベルク人…原人。ドイツ南部で発見
- ④**ネアンデルタール人**…旧人。ドイツのライン流域で発見
- ⑤グリマルディ人…新人。北イタリアで発見
- ⑥**クロマニヨン人**…新人。フランスのヴェーゼル川流域で発見
- ⑦**ピテカントロプス**…ジャワ原人・ジャワ島トリニールで発見
- ⑧**シナントロプス**…北京原人・北京郊外の周口店で発見
- ⑨周口店上洞人…新人。北京郊外周口店で発見
- ⑩**浜北人** 新人。日本の静岡県で発見

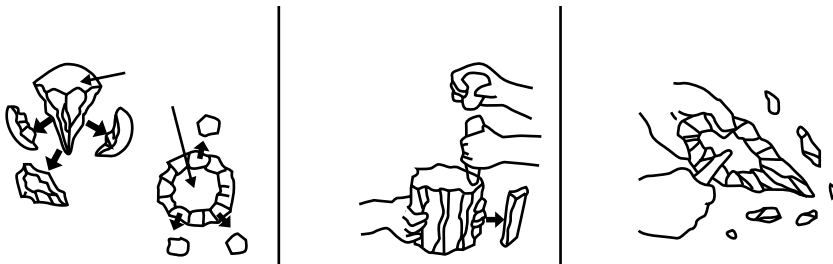
a **ラスコー** b **アルタミラ** c イェリコ d ジャルモ e ストーン＝ヘンジ

- 更新世（洪積世） * 地質学上新生代の後半から現代までを**第4紀**といい、その前半の約170万年前から1万年前の氷河時代を更新世という。この時代に人類の進化が起こった。
- 氷河期（氷期） * 更新世（氷河時代）の間に**4回**起こった、特に氷河が発達・拡大して寒冷化し、世界的に海面低下が起こった時代。その間の比較的温暖な時代が**間氷期**
- 完新世（沖積世） * 新生代第4紀の後半。最後の氷河期が終わった**約1万年前**から現在までの期間。人類が大発展を遂げた。**後氷期**ともいう。
- 旧大陸 * ヨーロッパ人によるアメリカ大陸（新大陸）発見以前に知られていた大陸。アジア・ヨーロッパ・アフリカの三大陸の称。旧世界。
- 類人猿 * オランウータン・チンパンジー・ゴリラの人に近い猿。ヒトニザルともいう。
- 化石人類 * 化石からその存在が知られている更新世の人類の総称。発達段階によって猿人・原人・旧人・新人に分ける。
- 猿人 * 最古の化石人類。進化の道が類人猿と分かれたのは、700万年以上前と推定される。しかし明確に類人猿と異なる進化の道（道具の使用による狩猟・採集・漁労生活）を歩み始めたのは、氷河時代の到来からと想定されている。
- 原人 * 約180万年前に出現した人類。猿人に次ぐ人類進化の第二段階
- 旧人 * 約20万年前～3万5千年前まで存在した人類。原人に次ぐ人類進化の第三段階。新人の前段階と考えられていたが、新人とは別系統の人類であり、能力的にもほぼ新人と等しかったものの、新人との生存競争に敗北して滅亡したとする説が有力となっている。
- 石核石器 * **打製石器**を大別すると石核石器と剥片石器となるが、そのうち原石の一部をはいで、石核を利用する石器を石核石器という。自然石を打ちかいただけの、最も原始的な**礫石器**は猿人が使用。原人は手頃の大きさの石を、にぎり持つくらいに打ちかいて、一端を鋭くとがらせた**握斧**の使用を開始した。
- 剥片石器 * 原石から剥がされた剥片の方を用いた石器。用途にあわせて様々に考案されたが、特に新人は、鋭いナイフ機能を持つ**石刃**を考案した。
- 骨角器 * 獣・鳥・魚などの骨・角・牙などで作った器具・装身具など。釣り針・鏃・銚・櫛・針などがある。後期旧石器時代以後使用された。
- 細石器 * 剥片石器の小型のもの（2-3センチのものが多く）を、木や骨の柄にはめ込み、矢や槍などに利用。中石器時代から新石器時代の初めに盛んに用いられた。
- 磨製石器 * 砂や砥石で磨いた石器で新石器時代の指標とされる。**磨製石斧**が代表。
- 土器 * 粘土を焼いてつくった器や道具。赤・黒・白などで彩色した**彩文土器**が、西アジアで用いられ、黄河中流域にいたる農耕地帯にまで普及した。
- 略奪農法 * 初期農法の一つで、肥料を施さない農法をいう。
- 乾地農法 * 初期農法の一つで、天水（雨や雪）に頼る農法をいう。
- ジャルモ * 前8000～前6000年の間と推定される、イラク東北部の初期農耕遺跡。
- イェリコ * パレスティナ地方の死海北側に存在。最古の農耕牧畜生活の遺跡の一つ。
- シャーマニズム * シャーマン（巫覡）が超自然的存在との交流によって宗教行為などを行う
- アニミズム * あらゆる事物に神霊の存在を認め、それを崇拝する信仰
- トーテムイズム * 社会の各集団が特定のトーテム（動植物などの霊）と関係を持つ信仰

史料



【石刃石器の製作法】



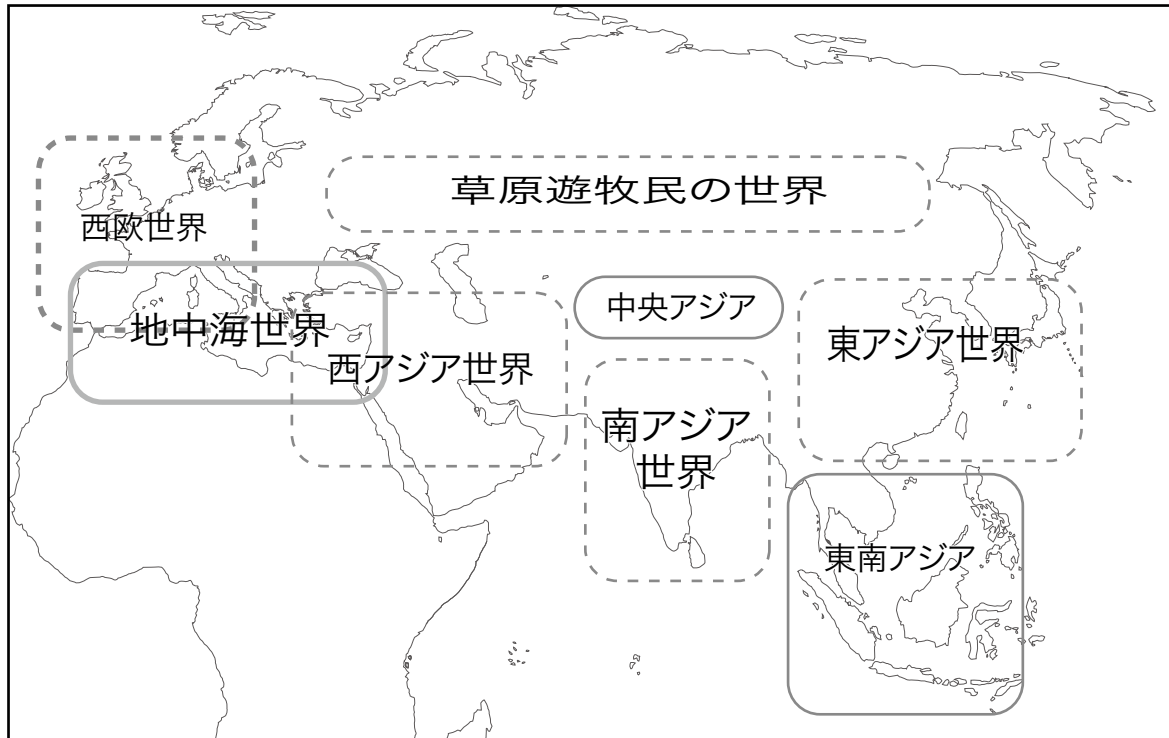
石刃は新人が使用。天然ガラスである黒曜石を使用したものは、非常に鋭利である。

【石のヴィーナス】

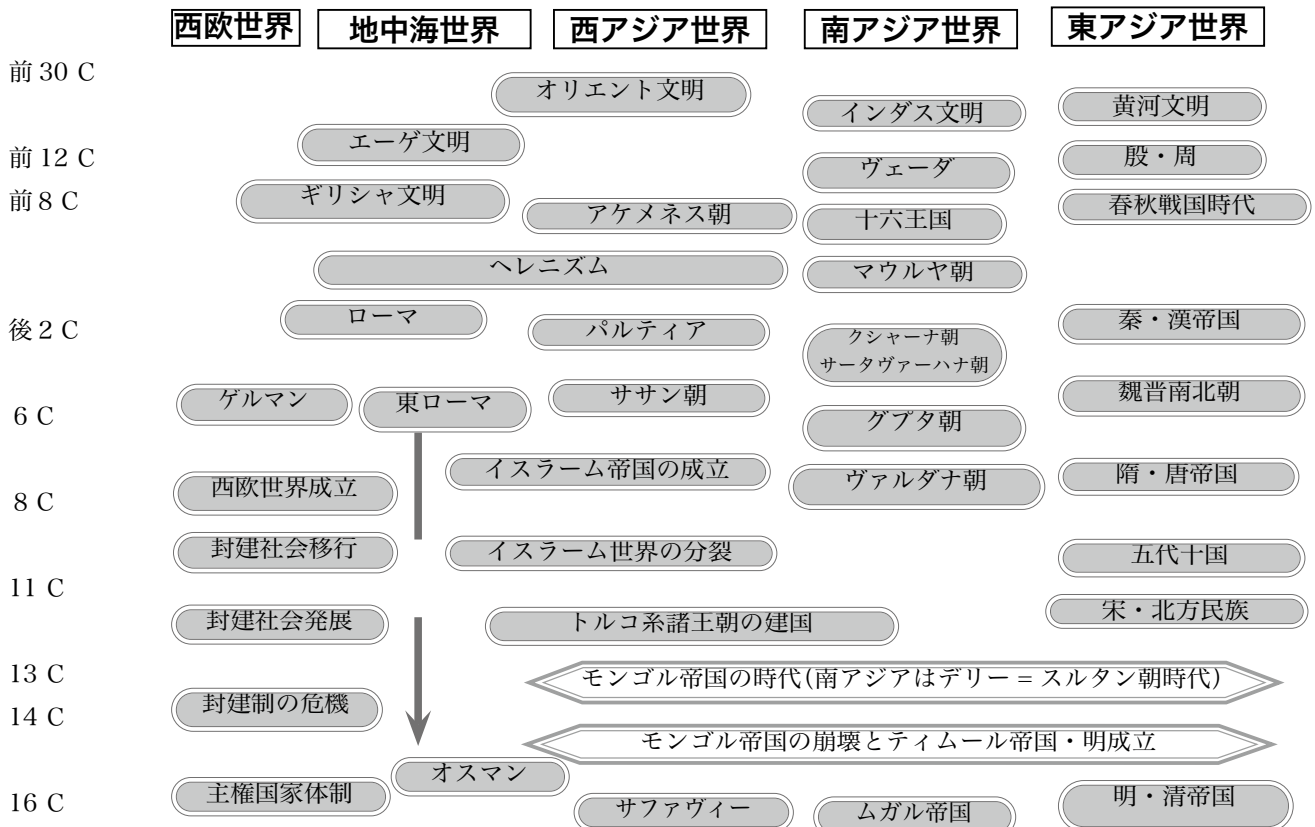


別名「女性裸像」。女性の性的特徴を強調し、多産豊穡を祈った呪術的な性格を持つものである。地母神信仰との関連が指摘されている。

地域世界の展開



16 世紀までのユーラシア大陸各地域の変遷



近代前期までのユーラシア世界

- (1) **1～2世紀の世界…大帝国が併存し、東西交流の開始**
 - ◇地中海：ローマ帝国の全盛（パックス・ロマーナ）
 - ◇西アジア：パルティア（安息）
 - ◇中央アジア・インド西北：クシャーナ朝
 - ◇デカン高原：サータヴァーハナ朝
 - ◇東アジア：漢帝国
- (2) **3世紀の世界…危機の時代、ローマ帝国は軍人皇帝時代、他の大帝国は滅亡**
 - ◇地中海：ローマ帝国の軍人皇帝時代→専制君主政（ドミナートゥス）へ
 - ◇西アジア：パルティア滅亡し、ササン朝ペルシアが成立
 - ◇南アジア：クシャーナ朝はササン朝に屈服し、サータヴァーハナ朝も解体
 - ◇東アジア：後漢滅亡し三国時代
- (3) **4～6世紀の世界…人間集団の移動が活発化し、再編の時代**
 - ◇地中海：ゲルマン人の移動開始→東西ローマ帝国の分裂→西ローマ滅亡→東ローマの一時的統一
 - ◇西アジア：エフタルの活動→6世紀ホスロー1世が突厥と挟撃し滅ぼす→中央アジアに突厥遊牧帝国
 - ◇南アジア：4世紀にグプタ朝台頭→6世紀エフタルの侵入で崩壊
 - ◇東アジア：五胡の侵入で五胡十六国時代→5世紀より南北朝時代→6世紀突厥帝国の圧迫
- (4) **7～8世紀の世界…文明圏の形成と確立期**
 - ◇地中海：西欧世界、東欧世界、イスラーム世界に3分
 - ◇西アジア：イスラーム世界の成立→8世紀アッバース朝の下で大帝国
 - ◇南アジア：7世紀にヴァルダナ朝の一時的統一→ラージプート時代とカースト制度の確立（～12世紀）
 - ◇東アジア：隋唐帝国の時代、東アジア文明圏の形成
- (5) **9～10世紀の世界…大帝国の解体と再編**
 - ◇地中海：ノルマン人・マジャール人の移動→封建社会の成立へ
 - ◇西アジア：トルコ人の移動→イスラーム帝国の分裂
 - ◇東アジア：唐の滅亡（907）→五代十国（907～960）と遼の台頭→宋の統一
- (6) **11～12世紀の世界…地球環境の温暖化（～13世紀）で農業生産と交易の活発化**
 - ◇地中海：西欧封建社会の成長と、キリスト教共同体の拡大運動（十字軍・レコンキスタ・東方植民）
 - ◇西アジア：イスラーム世界の分裂続くも、経済活動は活発
 - ◇南アジア：アフガニスタンよりインド北部にイスラーム勢力の侵入
 - ◇東アジア：宋と北方民族国家の時代、中国人商人の海上交易進出
- (7) **13世紀の世界…モンゴル帝国によるユーラシア大陸の一体化、大交流時代**
 - ◇地中海：教皇を頂点とする西欧キリスト教共同体の確立と全盛
 - ◇西アジア：エジプトのマムルーク朝が十字軍とモンゴル帝国撃退し、地中海とインド洋を結んで繁栄
 - ◇南アジア：1206年に奴隷王朝の成立でインドのイスラーム化が本格化
 - ◇東アジア：モンゴル帝国が中国から中央アジア、西アジア東部まで統合
- (8) **14～15世紀の世界…地球の寒冷化→農業の不振→ペスト（黒死病）の流行で危機の時代**
 - ◇西欧世界：封建制の危機の時代、教皇権と封建諸侯の没落→王権の強化
 - ◇東欧世界：東ローマ帝国の滅亡（1453）とロシア帝国の出現
 - ◇ユーラシア世界：モンゴル帝国の解体とユーラシア世界の再編
→オスマン帝国・ロシア帝国・ティムール帝国・明帝国の出現
- (9) **16世紀の世界…世界の一体化の開始、主権国家が競う西欧と、大帝国に再編されたユーラシア**
 - ◇西欧世界：環大西洋地域を西欧中心に再編→近代世界システムの成立、主権国家の成立
 - ◇イスラーム世界：オスマン・サファヴィー・ムガルの3帝国鼎立
 - ◇東アジア世界：日中貿易を中心に西欧勢力も参入してシナ海貿易の活発化
- (10) **17世紀の世界…寒冷化による危機の時代、交易の国家管理体制（英仏重商主義、日中海禁政策）**
- (11) **18世紀の世界…経済成長の再開、英仏を中心とする近代世界システムが拡大→産業革命へ**

オリエント史の展開

メソポタミア

シュメール

- * 前 3500 年頃
- * ウル・ウルク・ラガシュ
など南部に都市国家
- * 文字・暦等文明の基礎
- * 民族系統不明

アッカド

- * 前 24 世紀頃
- * セム語系アッカド人
- * シュメールと抗争
- * サルゴン 1 世のメソポ
タミア統一

古バビロニア

- * 前 19 - 前 16 世紀
- * セム語系アムル人
- * 都バビロン
- * ハンムラビ王の法典
→ 復讐法・身分法
- * ヒッタイトに滅亡

カッシート

- * 前 16 - 前 12 世紀
- * バビロニア地方支配
- * エラム人に滅亡

ミタンニ

- * 前 16 - 前 14 世紀頃
- * 両河北部地方中心
- * アッシリアを支配
- * 馬の飼育で有名

インド = ヨーロ
ッパ系語族

ヒッタイト

- * 前 17 - 前 12 世紀初め
- * 別名ハッティ
- * 都ボアズキョイ
- * 史上最古の印欧民族
→ 最初に鉄製武器使用
- * 前 14 世紀シリア進出
- * エジプト新王国と抗争

海の民

フェニキア・アラム・ヘブライ

イスラエル ユダ

シリア

- * ミタンニ滅亡後はヒ
ッタイトとエジプト
新王国が抗争
- * 新王国ラメス 2 世の
時ヒッタイトとカデ
シュの戦い
→ 最古の国際条約締結
- * 前 13-12 世紀のエー
ゲ文明の滅亡にも関
係する民族の大移動
で、「海の民」の東地
中海進出
→ 新王国に打撃、ヒッ
タイトは滅亡へ
- * 前 12 世紀頃よりフェ
ニキア・アラム・ヘ
ブライのセム系活
- * ヘブライ王国はソロ
モン死後分裂

エジプト

ノモス

- * 都市国家の呼称
- * 上・下エジプトへ
- * メネス王が上下統一
→ 前 3000 年頃

古王国

- * 前 27 - 前 22 世紀
- * 都はメンフィス
- * 王は現身の神ファラオ
- * 太陽神ラー中心
- * ピラミッド時代でギゼ
ー、クフ王最大

中王国

- * 前 22 - 前 18 世紀
- * 都はテーベ
- * アモン信仰の台頭
- * ヒクソスの戦車に滅亡

ヒクソス

新王国

- * 前 1567 - 前 1085
- * 都はテーベ
- * トトメス 3 世活躍
→ シリア・ヌビア占領
- * アメンホテプ 4 世
→ アトン信仰・イクナー
トンと改名・アマルナ
遷都 = アマルナ時代

アッシリア * 都アッシュール → ニネヴェ遷都。セム語系。前 7 世紀前半オリエント統一 → 武断支配に諸民族反乱

新バビロニア

- * 前 625 - 前 538
- * セム語系カルデア人
- * 都バビロン
- * ネブカドネザル 2 世全盛
→ バビロン捕囚

メディア

- * 前 8 世紀末 - 前 550
- * イランに建国
- * 都エクバタナ

リディア

- * 前 7 世紀 - 前 546
- * 都サルデス
- * 最古の鑄造貨幣
→ ギリシアに伝える

ユダ

新バビロニア

エジプト

- * ~ 前 522
- * 第 26-27 王朝
- * 都サイス
- * ナイル下流支配

アケメネス朝 * 都スサ。インド = ヨーロッパ系。諸民族の風習と自治を認める寛大な統治

第一章 オリエント史

この章で学ぶこと

*オリエント史

シュメール人がチグリスとユーフラテスの川の間の地域、すなわちメソポタミアに人類最初の文明を築き、やや遅れてナイル川流域にハム語族が文明を築いた。メソポタミアにはアラビア半島に原住地があったと考えられるセム系の語族が到来し、シュメール人の文明を吸収し、都市国家による交易活動を活発に行った。やがて北方の草原地域からインド＝ヨーロッパ系が到来し、馬と戦車の新戦術の威力をもって、小アジアからメソポタミアを席卷した。特に小アジアに拠点をおいたヒッタイトは、前16世紀には古バビロニアを滅ぼし、鉄器の製法も独占して大帝国を形成する。一方古王国、中王国とハム語族の長期王朝が続いたエジプトは、前17世紀にはシリアから馬と戦車を用いて侵入したヒクソスの支配を受けるが、逆にその戦法を学び取って前16世紀にヒクソスを追放した新王国の時代には、エジプトの領域を越えてシリアに進出した。かくして前15世紀～前13世紀にかけてはヒッタイトとエジプト新王国の2大帝国対立の情勢が続く。しかし、前13世紀末からおこり、エーゲ文明を滅亡させた東地中海における諸集団の移動の波は、「海の民」の活動を活発化させ、その侵入を受けて前12世紀にヒッタイトは滅亡し、エジプト新王国は衰退した。そして2大国の衰退はシリア地方のセム系集団の活動を促し、フェニキア人が海上交易で、アラム人が内陸交易で活躍してオリエントの一体化をすすめた。また、ヘブライ人の一神教は、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教を生み出すことになる。前7世紀にはアッシリアが、前6世紀にはアケメネス朝ペルシアがオリエントの統一に成功する。

オリエント文明は、周辺地域に影響を与え西方にギリシア・ローマの古典古代文明を、東方にアケメネス朝、ササン朝に代表される古代イラン文明を成立させた。まさに「光は東方より」である。そしてオリエントはやがてこの地中海の古典古代文明と古代イラン文明の抗争と交流の地となっていくのである。

オリент史

オリент

…エジプト・シリア・メソポタミア・シリア・小アジアを含む地域で別名肥沃な三日月

…大河の流域では穀物生産。他地域ではラクダや馬を利用する遊牧中心

メソポタミア

…東の 1 _____ ・西の 2 _____ の流域で『河の間の地域』の意

…開放的な地形のため短期の王朝が興亡し、セム語族や印欧語族など諸民族の活動

文化 o シュメールが基・ 3 _____ 文字・太陰暦・ 4 _____ (聖塔)・60 進法・週 7 日制

o 5 _____ 伝説…シュメールのウルク王の冒険神話・「ノアの箱船」説話の原型

エジプト

…ナイル河流域 cf 『エジプトはナイルの賜』 - 6 _____ の言葉

…孤立的な地域でエジプト (ハム) 語族の長期王朝、統一国家でメソポタミアに先行

文化 o 神聖文字・ 7 _____ 暦・ピラミッド・ミイラ・スフィンクス・測地術

o 『 8 _____ 』 死者の生前の証明書兼、オシリス神の支配する冥界の案内書

o 9 _____ 文字→神官文字→民衆文字 (デモティック) と簡略化、パピルスの使用

小アジア

…エーゲ海に面し、オリент文明とエーゲ文明・ギリシア文明の交流地域

…ヒッタイト・リディアなど印欧語族活躍

シリア

…東地中海貿易の要衝。メソポタミアとエジプトを結ぶ陸上貿易の要衝でもある

…前 14 世紀以降ヒッタイトとエジプト抗争→ 10 _____ 侵入後はセム系活動

エジプト文明の展開

ノモス

* -11 _____ …ナイル流域に建設の小部族 (集落) 国家。後に行政単位となる。

→上エジプト (ナイル流域の中心部)・下エジプト (デルタ地域) に収斂

* 前 3000 頃伝説的な 12 _____ (現人神としての王号) メネス (別名ナルメル) が最初の統一国家

古王国

* 前 27 C ~ 前 22 C の第 3 ~ 第 6 王朝期を言う。首都は 13 _____, ピラミッド時代

位前 27 C 頃 …第 4 王朝の王で現カイロの対岸の **ギゼー** に最大の 14 _____ を造営

クフ王 …近郊にカフラー王・メンカウラーのピラミッドや守護獣 15 _____ 像

中王国

* 前 22 C ~ 前 18 C の第 11・第 12 王朝。首都はナイル中流域の 16 _____

→テーベの守護神 -17 _____ が最高神の太陽神 **ラー** と同一視され, 18 _____ 信仰

* 孤立していた古王国時代と異なり, シリア・クレタ島・紅海沿岸地域と交易

前 1674 前 1567

… 20 _____ 語系遊牧民中心のシリアからの移住民 (前 18 世紀頃)

19

新王国

* 前 1567 ~ 前 1085 の第 18 ~ 第 20 王朝期。首都は 21 _____。ヒクソス追放後シリア進出

* ミタンニ・ヒッタイトと抗争→前 13 C 末から前 12 C に活動した **海の民** の攻撃を受けて衰退

位前 1504 ~ 前 1450 …第 18 王朝の王で, ヒクソスを追撃し, シリアに進出

トトメス 3 世 …ナイル川上流のヌビアも征服, 豊富な金の産地

位前 1379 ~ 前 1362 …アモン神に対し唯一神 22 _____ の宗教改革。 23 _____ と改名

25 _____ … 24 _____ 遷都。写実的な 24 _____ 美術

位前 1354 ~ 前 1345 …テーベのアモン神官中心の復古派勝利し, アモン信仰復活

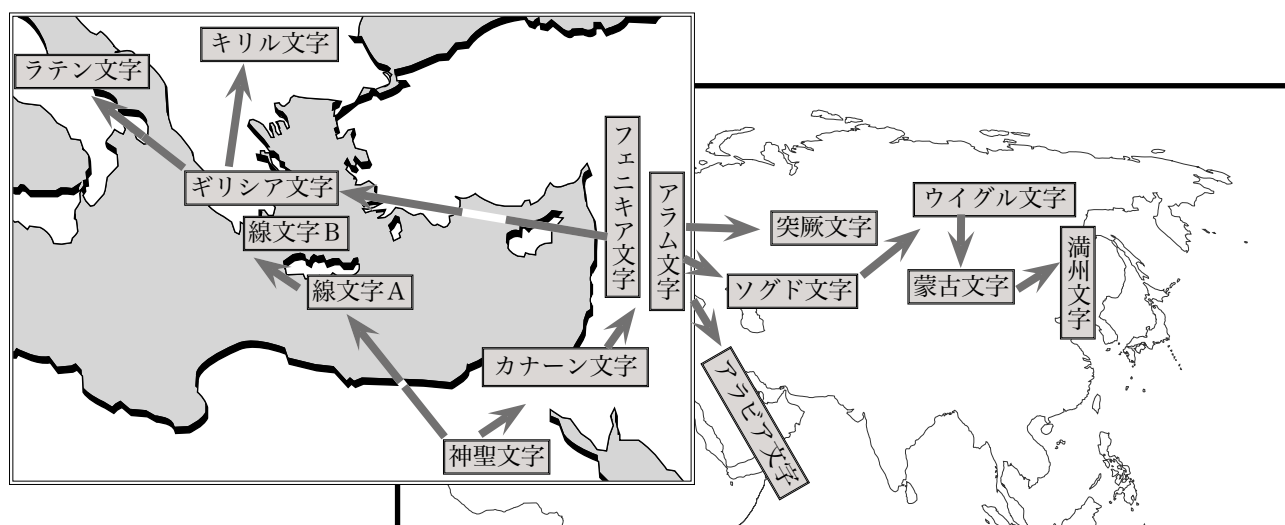
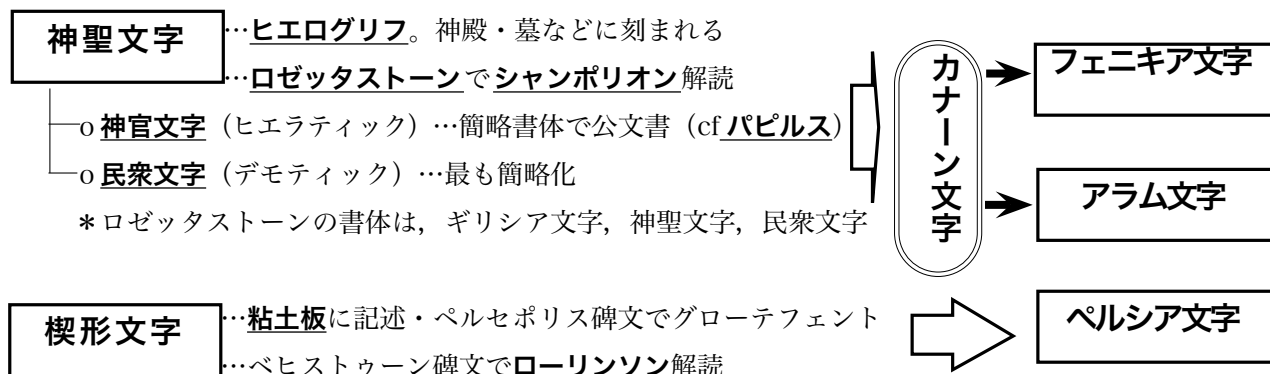
ツタンカーメン …1922 年にハワード = カーターがその墓を発掘。ファラオの呪いで有名

位前 1304 ~ 前 1237 …第 19 王朝の王。ヒッタイトとカデシュの戦い。現存する最古の国際条約締結

26 _____ →ヒッタイトと和平を結び, シリアを分割支配

1. ティグリス 2. ユーフラテス 3. 楔形 4. ジググラト 5. ギルガメシュ 6. ヘロドトス 7. 太陽 8. 死者の書 9. 神聖 10. 海の民
11. ノモス 12. ファラオ 13. メンフィス 14. ピラミッド 15. スフィンクス 16. テーベ 17. アモン 18. アモン = ラー 19. ヒクソス
20. セム 21. テーベ 22. アトン 23. イクナートン 24. アマルナ 25. アメンホテプ 4 世 26. ラメス (ラムセス) 2 世

*オリエントの文字

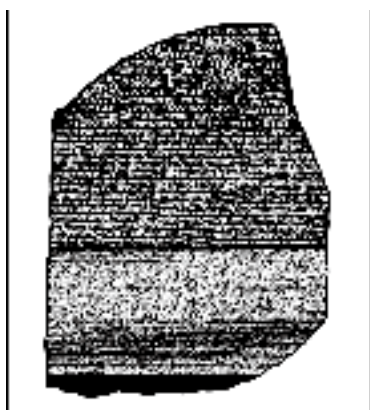


*複雑なエジプトの象形文字を簡略化して、クレタ文明では線文字Aが作られた。クレタ文明の影響を受けたギリシアのアカイア人によるミケーネ文明は、線文字Aをもとに線文字Bを作成した。民族系統不明のクレタ人の線文字Aは未解読であるが、線文字Bはヴェントリスによって解読され、古代ギリシア語であることが確認された。

*一方で神聖文字はカナン文字として表音化され、そこからフェニキア人が最古のアルファベットを作成した。そのフェニキア文字は、子音だけであったため、ギリシア人はフェニキア文字に母音を加え、ギリシア文字を作成した。そのギリシア文字を改良して作成されたのが、普通我々がローマ字とよぶラテン文字である。西欧各国で使われている。一方、南スラヴ教化に取り組んだキュリロスによって作られたグラゴル文字から発達したキリル文字は、ロシア文字を初めとする東欧の文字の母体となった。

*アラム文字はアラビア文字やヘブライ文字・シリア文字や、遊牧民族最初の文字として知られる突厥文字の母体となった。また、交易の民であるソグド人の文字もアラム文字を母体とするものであったが、それはウイグル族→モンゴル族→満州族と、中国北方民族の文字文字に次々に受け継がれていくことになった。

【ロゼッタストーン】



ロゼッタストーンは、1799年、ナポレオンのエジプト遠征の時に、アレクサンドリア近くのロゼッタで発見された。ヘレニズム時代のプトレマイオス朝の碑文であり、古来のエジプト文化の上に、ギリシア系の支配層が君臨したプトレマイオス朝の性格から、ロゼッタストーンに記された文字は上から神聖文字 (ヒエログリフ)、民衆文字 (デモティック)、ギリシア文字である。これによって神聖文字解読の手がかりが得られ、フランスのシャンポリオンが解読に成功した。ロゼッタ石自体は、1801年にイギリス軍によって戦利品として押収され、現在は大英博物館に所蔵されている。

メソポタミア文明発生

シュメール人建設。アッカド・アムルのセム系民族進出し抗争

- 前 3500 頃～前 20 C …民族系統**不明**。ユーフラテス南部に最初の都市国家、²_____や³_____有力
¹_____ …アッカドの支配崩壊後、ウル第 3 王朝繁栄し法典の整備（ウル・ナンム法典）
- 前 24 C 頃 …⁵_____系民族。シュメール人地域の北方に進出、シュメール人と抗争
⁴_____ …前 24 世紀頃⁶_____のもとに、最初のメソポタミア統一
- 前 20 C～前 16 C 頃 …前 20 世紀頃⁸_____系⁹_____（アモリ）人の**バビロン**第一王朝
⁷_____ …前 18 世紀¹⁰_____がメソポタミア統一。同害**復讐法**・**身分法**の法典編纂

印欧系民族活動

インド・ヨーロッパ系侵入。前 15 C 前 13 C エジプト新王国と抗争

- 前 1650 頃～前 1190 …戦車を用い、小アジアに建国。都ボアズキョイ→前 16 世紀初め**古巴ビロニア**を滅
¹¹_____ …前 1400 年頃最初の¹²_____武器使用→エジプト新王国と抗争→**海の民**に滅亡
- 前 16 C～前 14 C 頃 …両河地方**北部**に侵入した軍事集団が、フルリ人支配し建国。馬の飼育で有名
¹³_____ …前 15 C 全盛。ヒッタイトとの抗争で衰退し、一時支配したアッシリアに吸収
- 前 16 C～前 12 C 頃 …ザグロス山中より両河地方**南部**に侵入の民族
¹⁴_____ …**バビロニア**地方（両河地方南部）支配→エラム人に滅ぼされる

地中海東岸三民族

海の民の侵入でヒッタイトと新王国の勢力後退し、活動活発化

- 前 12 C～前 2 C …**セム系**。現レバノン付近に拠点。エーゲ文明の滅亡後**地中海交易**に進出
¹⁵_____ …¹⁶_____・¹⁷_____（前 9 C **カルタゴ**建設）有力。¹⁵_____文字使用
- 前 12 C～前 8 C …**セム系**。シリアを中心に諸小王国を形成し、**内陸隊商貿易**に従事
¹⁸_____ …中心は¹⁹_____ ¹⁸_____語は西アジア共通語。¹⁸_____文字使用
- 前 1000 頃～前 922 …**セム系**。自称イスラエル人。前 15 C ²¹_____（現パレスティナ）に定着
²⁰_____ …出エジプト後、ペリシテ人と抗争し王国建国、
- 前 13 C : ²²_____ …²³_____実行 神²⁴_____の²⁵_____となり**土戒**授かる
 - 前 11 C : ²⁰_____ **王国** 二代²⁶_____がペリシテ人に勝利、都²⁷_____
 三代王²⁸_____全盛でヤーヴェの大神殿造営→死後南北に分裂
 - 前 922 : ²⁹_____ **国**…北部で都サマリア・前 722 年³⁰_____のサルゴン 2 世に滅
 : ³¹_____ **王国**…南部で都²⁷_____・前 586 年³²_____に滅
 - 前 586 : ³³_____ **捕囚**…ネブカドネザル 2 世。**預言者**中心に³⁴_____（救世主）待望
 - 前 5 C : **ユダヤ教**確立…帰国後教団とヤーヴェ神殿建設し確立、『**旧約聖書**』を編纂

アッシリアの統一

強制移住政策など過酷な支配で諸民族反抗し、短期に崩壊

- 前 20 C～前 612 …**セム系**。ティグリス上流拠点。ミタンニより自立→騎兵導入→前 8 C サルゴン 2 世発展
³⁰_____ …前 671 年エジプト征服しオリエント統一→前 612 年メディア・カルデアに滅
- 都³⁵_____にアッシュール・バニパル王の大図書館
 - 帝国統治（属州・属国制、駅伝制）整備、But 武力背景に**強制移住**政策→支配下の民族の反乱

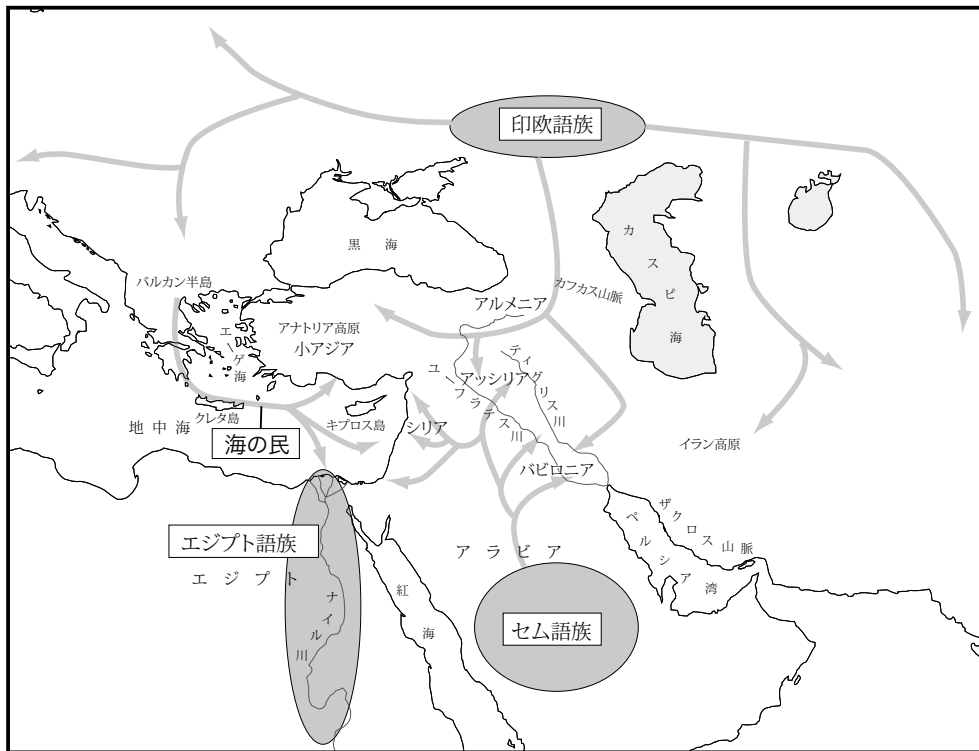
四王国の分立

リディア・メディア・新バビロニア（カルデア）・エジプトの抗争

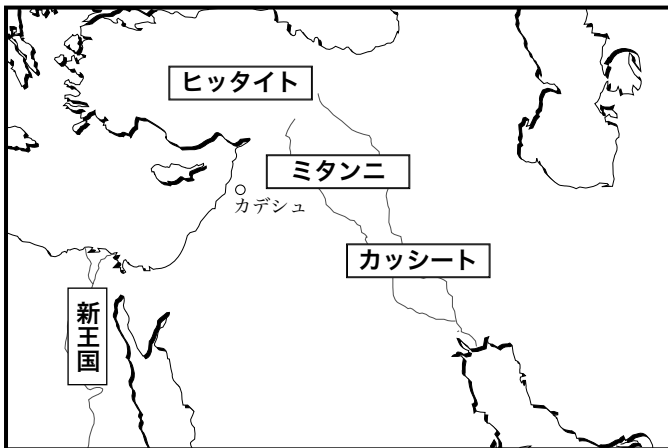
- 前 7 C～前 546 …**インド・ヨーロッパ系**。小アジア南西部に拠点（都サルデス）。ギリシアと交流
³⁶_____ …前 7 世紀後半に**世界最古の**³⁷_____貨幣。前 546 年**アケメネス朝**キュロス 2 世に滅
- 前 8 C 末～前 550 …**インド・ヨーロッパ系**イラン人の国。イラン高原支配。都エクバタナ
³⁸_____ …カルデア（新バビロニア）とともにアッシリアを滅ぼす。**アケメネス朝**に滅亡
- 前 625～前 538 …**セム系**³⁹_____人。都³³_____。メソポタミアからシリアを支配
³²_____ …前 586 年⁴⁰_____が³¹_____ **王国**滅ぼし、³³_____ **捕囚**

1. シュメール 2. ウル 3. ウルク 4. アッカド 5. セム 6. サルゴン 1 世 7. 古巴ビロニア 8. セム 9. アムル 10. ハンムラビ
 11. ヒッタイト 12. 鉄製 13. ミタンニ 14. カッシート 15. フェニキア 16. シドン 17. ティルス 18. アラム 19. ダマスクス
 20. ヘブライ 21. カナーン 22. 出エジプト 23. モーセ 24. ヤーヴェ 25. 選民 26. ダヴィデ 27. イエルサレム 28. ソロモン
 29. イスラエル 30. アッシリア 31. ユダ 32. 新バビロニア 33. バビロン 34. メシア 35. ニネヴェ 36. リディア 37. 貴金属 38. メディア
 39. カルデア 40. ネブカドネザル 2 世

【古代オリエントの語族移動のイメージ】



【インド・ヨーロッパ系語族の活動】



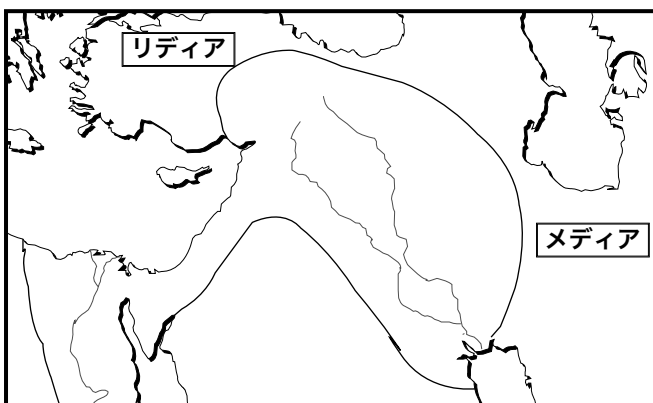
【地中海東岸の諸国】



*ウガリットはフェニキア人最北端の拠点で初期に繁栄。ヒッタイトに破壊され衰退

*ビブロスはやはり初期繁栄のフェニキア都市

【アッシリアの最大領域】



古代イラン世界の展開

***インド・ヨーロッパ系のイラン人**（自称・他称がペルシア人）がイラン高原に南下し、各地に建国

前8C末～前550

メディア

…都**エクバタナ**で、他のイラン系諸国を藩属国としてイラン高原を支配

…四王国の一つで、**カルデア**（新バビロニア）とともに**アッシリア**を滅ぼす

前550

アケメネス朝

*イラン西南部の**ペルシア**（**ファールス** or **パールス**）地方を支配し、当初はメディアに臣従

位前559～前529…²_____より自立し、これを滅ぼして**アケメネス朝**建国。都³_____

→⁴_____も滅。⁵_____を征服してユダヤ人を解放

位前529～前522
カンビセス2世…アケメネス朝二代の王。前525年⁶_____を滅ぼして**オリエント**統一

位前522～前486…領土最大 = 東⁸_____川流域・西⁹_____海北岸
7_____…**ペルシア戦争**では**マロトン**の戦いに敗北。黒海北岸の遊牧民**スキタイ**と抗争

属州制…全国を20州に分割し、集権的支配。新都¹⁰_____造営（新年の儀礼を行う）

¹¹_____…王が任命する州の長官。徴税と治安維持を任務

¹²_____・¹³_____…王直属の監察官で州を巡察して王に報告

財政政策…**金貨**・銀貨鑄造し税制確立

通商政策…¹⁴_____（**サササルデス**間）と¹⁵_____制整備。フェニキア人の地中海交易保護

服属民族統治政策…風俗を尊重し自治を認め、穏和な統治を行う→アッシリアとの違い

位前485～前465…**ダレイオス1世**の子で自らギリシア大遠征軍を率いる
¹⁶_____→サラミスの海戦敗北後帰国。残留軍は**プラタイア**の戦いで敗北

位前336～前330…アケメネス朝最後の君主。サトラップの反乱続発に苦しむ
¹⁷_____…**アレクサンドロス**に敗北。前330年暗殺され、アケメネス朝滅亡

ヘレニズム

アレクサンドロスが東西融和に努力→**コイネー**（共通ギリシア語）の使用
セレウコス朝の**セレウキア**建設→ギリシア風都市建設でギリシア文化移入
前3世紀に中央アジアでギリシア系**バクトリア**、イランで**パルティア**独立

前248

パルティア

遊牧イラン人がカスピ海南東に建国。初期の都**ヘカトンピロス**→前1世紀中頃以降¹⁸_____
中国¹⁹_____と同期で**絹の道**の交易で繁栄。前1世紀中頃以降**ローマ**と抗争（**クラッス**を敗死）

²⁰_____…**セレウコス朝**より独立。彼の名よりパルティアの中国名を²¹_____

位前171-前138
ミトリダテス1世…最盛期の王でイラン西南部併合しメソポタミア進出

後226

ササン朝

農耕イラン人が古都**ペルセポリス**付近から建国。都¹⁸_____（ティグリス川中流左岸）
ペルシア湾中心の海上交通路支配し繁栄。**東ローマ帝国**との抗争で衰退

位226-241
アルデシール1世…パルティアを滅ぼして建国。始祖ササンの孫

位241-272
²²_____2代皇帝でササン朝の基礎を確立
西-シリア進出しローマと抗争して軍人皇帝²³_____捕虜
東-西北インドの²⁴_____朝を圧迫し服属させる

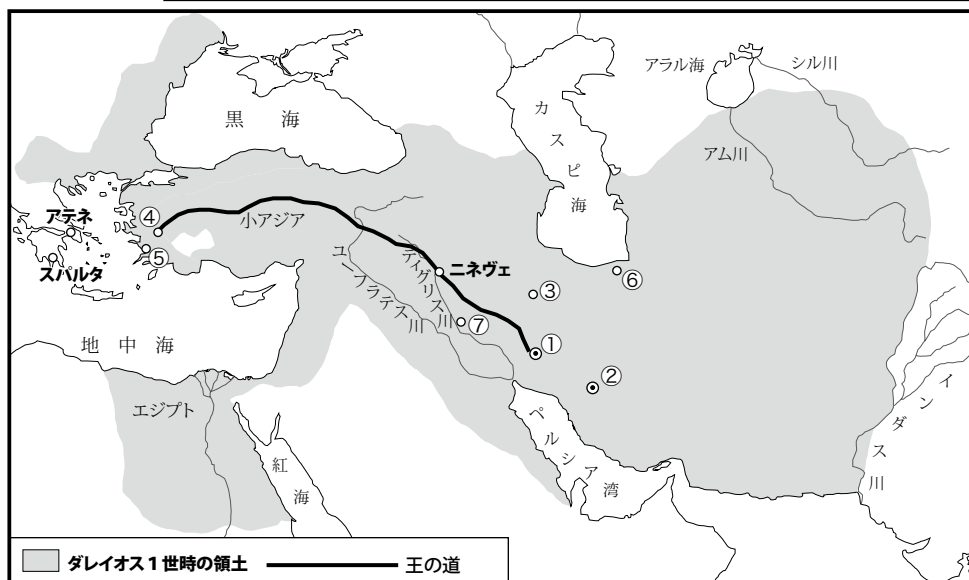
位531-572
²⁵_____6世紀中頃の帝国最盛期を現出→突厥を介し中国と交易・インド洋にも進出
西-東ローマ²⁶_____と抗争しシリア進出→イエメンも征服
東-²⁷_____を²⁸_____とむすび挟撃して滅ぼす

651年 642年の²⁹_____で新興**アラブ人イスラーム教徒**に敗北。651年に滅亡

1. キュロス2世
2. メディア
3. スサ
4. リディア
5. 新バビロニア
6. エジプト
7. ダレイオス1世
8. インダス
9. エーゲ
10. ペルセポリス
11. サトラップ
12. 王の目
13. 王の耳
14. 王の道
15. 駅伝
16. クセルクセス
17. ダレイオス3世
18. クテシフォン
19. 漢
20. パルティア
21. 安息
22. シャープール1世
23. ウァレリアヌス
24. クシャーナ
25. ホスロー1世
26. ユスティニアヌス
27. エフタル
28. 突厥
29. ニハーヴァンドの戦い

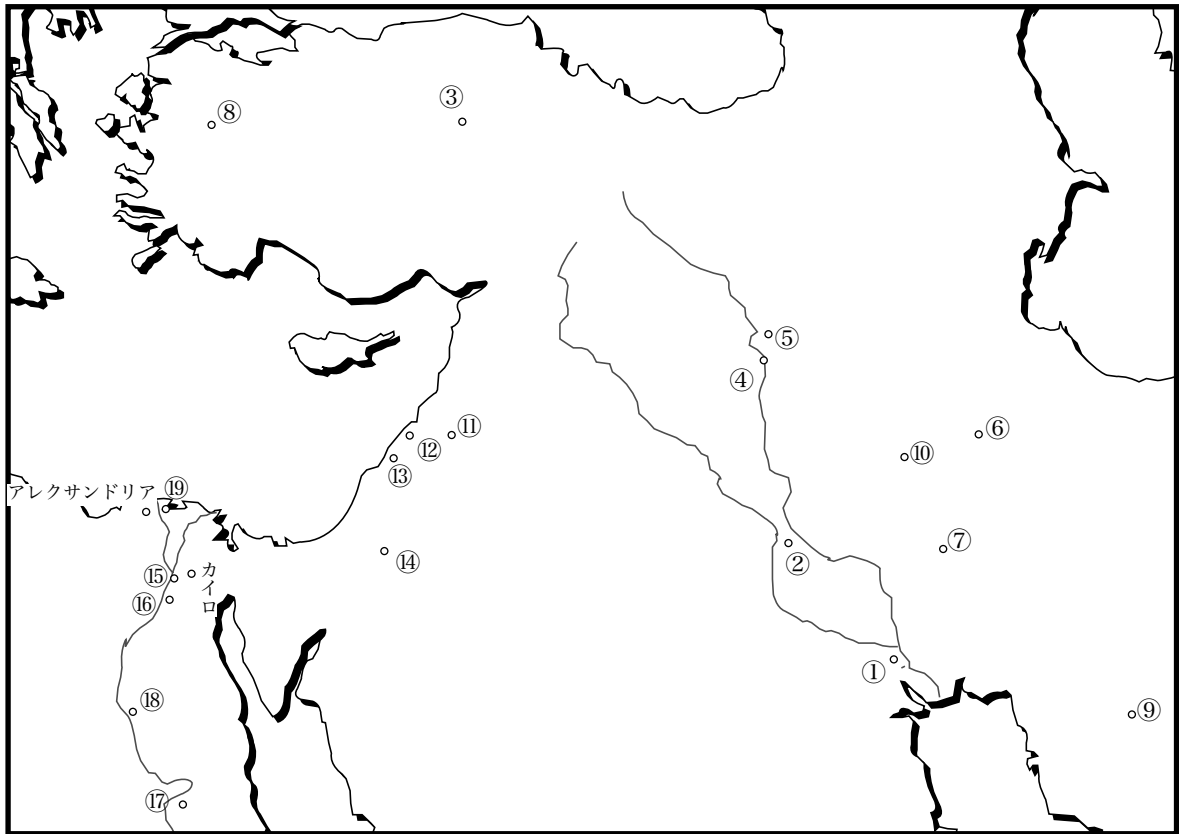
パルティア (アルサケス朝)	* ヘレニズム文化の影響 - o ex ギリシア風都市を建設し、王の称号にギリシア人を愛する者。貨幣などにもギリシア語使用。→後期には文字はアラム文字使用が一般化 - o ローマとの抗争で民族意識高まり、1世紀頃伝統文化も復活
ササン朝	* 復興したペルシア文化にヘレニズム・メソポタミア・インド文化の影響も加わった国際文化。西はビザンツ帝国をへて地中海地域、東は日本にまで影響 - o ex 銀・ガラス器 彩釉陶器 毛織物 白瑠璃碗 (正倉院) 漆胡瓶 (正倉院) 獅子狩文錦 (法隆寺) - o 中世ペルシア語であるパフレヴィー語成立。文字はアラム文字使用 * 交易を通じ、ササン朝の銀貨経済圏が東方に影響 * ゾロアスター教国教。ネストリウス派、仏教、ユダヤ教外国人に信仰認め保護 * 東ローマ帝国ユスティニアヌス帝のアカデメイア封鎖→学者がササン朝に亡命→ギリシア古典の研究 (シリア人ネストリウス派教徒中心) →イスラームに継承

ゾロアスター教	* ゾロアスター創始・経典アヴェスター (ササン朝で成立) →インドに残存し信者をパルサーシー、中国に伝わり祆教 * 善悪二元論で善神アフラマズダ (火が象徴) 悪神アーリマン * 天使と悪魔・最後の審判などの思想がユダヤ教に影響
→ マニ教	* 3世紀初めにマニ創始もササン朝に圧迫されて刑死し国外に布教 →北アフリカ (教父アウグスティヌスは青年期マニ教徒)・南仏に伝わりアルビジョワ派に影響。東方ではウイグルの国教となり、中国では摩尼教 * ゾロアスター教にキリスト教と仏教の要素取り入れ成立 * 徹底した善悪二元論で禁欲を主張し偶像を否定
→ ミトラ教	* アーリア人の光明神ミトラ信仰の密儀宗教 * ローマに伝えられ流行し『背教者』ユリアヌス帝も信仰



- ① **スサ** アケメネス朝ペルシアの都で、行政の中心
- ② **ペルセポリス** ダレイオス1世造営、新年の儀礼を行う
- ③ **エクバタナ** メディア王国の都
- ④ **サルデス** リディア王国の都、アケメネス朝ではスサと「王の道」で結ばれる
- ⑤ **ミレトス** イオニア人植民都市、タレースら自然哲学者の活動、ペルシア戦争開始の反乱
- ⑥ **ヘカトンピュロス** パルティアの初期の都
- ⑦ **クテシフォン** パルティアとササン朝ペルシアの都

【オリエントの重要都市】



- | | |
|----------|--|
| ①ウル | …シュメール人最大の都市。他にウンマ・ウルク・ラガシュなどの都市国家 |
| ②バビロン | …新・旧バビロニアの都。バビロニア地方の中心 |
| ③ボガズキョイ | …別名ハッサス。ヒッタイトの都 |
| ④アッシュール | …アッシリアの古都。アッシリアの主神も同名のアッシュール |
| ⑤ニネヴェ | …前8世紀末よりのアッシリアの都。アッシュール＝バニパル王の大図書館有名 |
| ⑥エクバタナ | …メディアの都。現ハマダン |
| ⑦スサ | …アケメネス朝の都。王の道の起点 |
| ⑧サルデス | …リディアの都。王の道の終点 |
| ⑨ペルセポリス | …ダレイオス1世造営のアケメネス朝の新都 |
| ⑩ベヒストゥーン | …ローリンソン解読のダレイオス1世の碑文が所在 |
| ⑪ダマスクス | …アラム人の中心都市。のちにウマイヤ朝の都 |
| ⑫シドン | …フェニキア人の中心都市。他の重要都市にビブロス |
| ⑬ティルス | …フェニキア人の中心都市でカルタゴの母市 |
| ⑭エルサレム | …ダヴィデ王以来のヘブライ人の中心都市 |
| ⑮ギザ | …古王国時代のクフ・カフラ・メンカウラの巨大ピラミッドとスフィンクス所在 |
| ⑯メンフィス | …古王国時代（第3-6王朝）の都 |
| ⑰テーベ | …中王国時代（第11-12王朝）・新王国時代（第18-20王朝）の都。守護神はアモン |
| ⑱アマルナ | …アメンホテプ4世遷都。アマルナ美術の中心。19 C末アマルナ外交文書発見 |
| ⑲ロゼッタ | …シャンポリオン解読の碑文を、ナポレオン軍発見 |

第二章 古典古代史

この章で学ぶこと

*ギリシア史の展開・スパルタとアテネ・ヘレニズム・共和政ローマ・帝政ローマ キリスト教の成立と発展

ギリシア本土、クレタ島、小アジア沿岸に囲まれたエーゲ海地域では、早くからオリエン
ト文明の影響を受け、地中海交易で繁栄したエーゲ文明が栄えた。しかし、エーゲ文明は前
12世紀頃、海の民など、バルカン半島を覆った諸勢力の移動の波の中で崩壊する。

その後ギリシア本土では都市文明が失われ、文字記録が消滅した暗黒時代が到来するが、
鉄製農具の普及とともに人口も増大し、前8世紀頃には各地でポリスが形成された。山が
ちで耕地が分立し、統一国家の形成が困難であったギリシアでは、各ポリスの分立抗争が続
いた。国防はポリスの重要事項であり、当初多くのポリスでは国防を担った貴族による貴族政
が採用された。穀物栽培に不適なギリシアでは、ブドウやオリーブを栽培し、各地に建設さ
れた植民市を窓口ワインやオリーブ油を輸出し、穀物を輸入する交易が活発化した。この
交易に参加した平民の中には貨幣を蓄積して豊かになり、武器を購入して重装歩兵として国
防に参加するものも現れた。アテネなどでは、こうした平民たちが参政権を要求するよう
になり、民主政への転換が進んでゆく。しかし、前4世紀のギリシアは、絶え間ない戦争状態
となり、傭兵の流行によって市民皆兵原則が崩れ、ポリス共同体は衰退し始めた。この時北
方から起こったマケドニアが、ギリシアのポリスを支配下に置き、アレクサンドロス大王の
東方遠征によってアケメネス朝ペルシアを滅ぼし、ヘレニズム世界を成立させる。

イタリアではラテン人の都市国家ローマが前6世紀末にエトルリア人の王を追放して共
和政を樹立した。ローマでも当初は貴族（パトリキ）と平民（プレブス）の対立が見られた
が、身分闘争によって貴族と平民の法的区別は解消に向かう。同時にローマはイタリアの征
服を進め、前3世紀にはイタリア半島を統一した。前264年からローマは西地中海の覇権
をめぐるフェニキア人の植民市カルタゴとのポエニ戦争に突入する。3次にわたるポエニ
戦争はローマの勝利に終わったが、海外への拡大はローマ社会の変質を促した。戦争の疲弊
と安価な穀物の流入によって中小農民の没落が進み、対照的に有力者は奴隷を使役したラ
ティフンディアの経営や、属州支配によって富を蓄積した。中小農民重装歩兵団の再建を
目指したグラックス兄弟の改革は有力者の反対で失敗に終わり、かわって職業軍人制が採
用されたが、有力者は私兵化した軍を用いて征服戦争や反乱鎮圧に功績を競って民衆の支
持を獲得し、元老院を中心とした共和政の政治システムを崩壊させていった。かくして
ローマは、カエサルら有力将軍が元老院を無視して政治を独占した三頭政治を経て、
帝政へと移行していく。帝政の前半は共和政の伝統に配慮した元首政の政体にとられ、
初期の2世紀は“ローマの平和”の繁栄の時代となった。しかし、3世紀の軍人皇帝
時代の混乱を経て、帝政は専制君主制となり、市民社会の伝統は失われていくこと
になる。

古代地中海世界

エーゲ文明

※ヨーロッパ地域で前 30 C 頃発生した史上最初の海洋文明

※ 1. _____ 海を中心としたクレタ・トロイア・ミケーネの各文明で 2. _____ 器文明

3. _____ 文明
場所 3. _____ 島
都市 4. _____
発見 5. _____
…前 20 C 頃 - 前 15 C 頃に東地中海貿易で繁栄
…エジプト文明の影響・**民族系統不明**
…大宮殿の迷宮 (6. _____) 有名
…平和・開放的性格, 写实的・流動的な海洋性美術
…絵文字・線文字 A 使用も未解読

7. _____ 文明
場所 7. _____ 小アジア
都市 7. _____
発見 8. _____

前 20 C ギリシア系 **アカイア人** 南下。前 13 C にはクレタ・トロイアを攻略

9. _____ 文明
場所 9. _____ **ギリシア本土**
都市 9. _____
o ティリス
発見 8. _____
…前 15 C - 前 13 C 全盛で前 12 C に崩壊
…クレタ文明の影響・ 10. _____ 人建設
…巨石を使った城塞と円頂墓建設
…**線文字 B** 使用→英人 11. _____ 解読
…官僚制と農村からの貢納制整備 (12. _____ 王政)

トロイア戦争
* **ホメロス** 『13. _____』
* ミケーネのギリシア人の勝利
→シュリーマンの発見の背景

前 12 C 海の民の移動などで, ミケーネ文明滅亡・ギリシア系 14. _____ 人も南下→**鉄器** 使用へ

前 12 C 頃~前 8 C

暗黒時代

…ポリス形成までの時代で, 文字は未使用。鉄製農具使用で生産性は向上

…**アイオリス人・イオニア人・ドーリア人** に分化し, 北から順に小アジア沿岸へも移動

集住 (15. _____) [前 750 年頃] …貴族指導・**アクロポリス** (城山) と 16. _____ (広場) 中心

前 8 C

ポリス成立

…城壁外の農地も含む, 17. _____ には神殿・自由民にクレロス (持ち分地) 分配

…**アイオリス人** はテーベ・ 18. _____ 人はアテネ・**ドーリア人** はスパルタが代表的ポリス

前 8 世紀 19. _____ 建設点人口増による耕地不足や政争の敗者など建設し, 交易活動の窓口の役割

- o 南仏 20. _____ (現マルセイユ) o 西南イタリア 21. _____ (現ナポリ)
- o イタリア南岸タレントウム o 黒海入口 22. _____ (現イスタンブル)
- o 小アジア西岸 23. _____ o シチリア東岸シラクサ

同胞意識高揚~海外進出で異民族と接触し, 共通する言語・宗教を自覚

- o 国土の呼称ヘラス・自称**ヘレネス**・異民族の蔑称 24. _____ →バーバリ안의語源
- o 隣保同盟…神殿を共有するポリスの同盟← 25. _____ (**デルフォイ**) の神託…アポロンの神託
- o 26. _____ の祭典…ゼウスを祭神とし, 競技会などおこそう

アテネ全盛

…**ペルシア戦争** に勝利し, **デロス同盟** 結成して全盛

…**ペリクレス** 指導下に直接民主政完成し**ペリクレス時代**

–**ペロポネソス戦争** [前 431-404] ~**スパルタ** がアテネに勝利し, 一時覇権

前 4 C の衰退

…貧富の格差拡大など矛盾・絶え間ない戦乱による傭兵使用による市民皆兵の原則崩壊

…**テーベ** がレウクトラの戦い (エパミノンドス指導) でスパルタに勝利し, 一時覇権

–**カイロネイアの戦い** [前 338] ~**マケドニア** がアテネ・テーベ連合軍に勝利

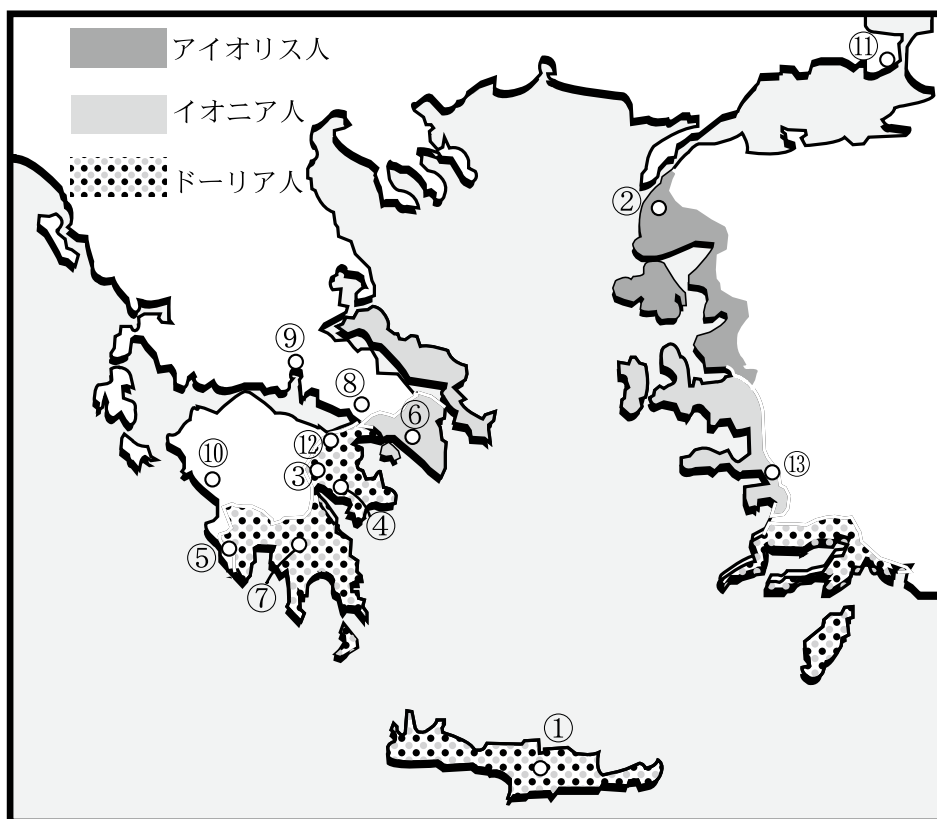
ヘレニズム

…**コリント** (ヘラス) **同盟** を**フィリッポス 2 世** 提唱しスパルタ除く全ポリス参加

…**アレクサンドロス大王** の東征で**ヘレニズム時代** へ

- 1. エーゲ 2. 青銅器 3. クレタ 4. クノッソス 5. エヴァンズ 6. ラビリントス 7. トロイア (トロヤ) 8. シュリーマン 9. ミケーネ
- 10. アカイア 11. ヴェントリス 12. 貢納 13. イーリアス 14. ドーリア 15. シノイクシモス 16. アゴラ 17. アクロポリス
- 18. イオニア 19. 植民市 20. マッサリア 21. ネアポリス 22. ビザンティオン 23. ミレトス 24. パルバロイ 25. デルフィ
- 26. オリンピア (オリュンピア) 27. ヘイロータイ 28. ペリオイコイ 29. リュクルゴス

【ギリシア人の世界】



- ①クノッソス クレタ文明の中心・イギリスのエヴァンズが発見・大宮殿（ラビリントス）の遺跡
- ②トロイア ドイツのシュリーマン発見・ホメロスの『イリアス』の舞台
- ③ミケーネ ドイツのシュリーマン発見・ミケーネ文明の代表的遺跡
- ④ティリンス ミケーネ文明の代表的遺跡の一つ。要塞と居住用の城が一体化した城塞の典型
- ⑤ピュロス ミケーネ文明の代表的遺跡の一つ。大量の線文字 B の粘土板文書が出土
- ⑥アテネ イオニア人の中心的ポリス・アクロポリスの丘にアテナ女神のパルテノン神殿
- ⑦スパルタ ドーリア人の代表的ポリス・リュクルゴスの軍制
- ⑧テーベ アイオリス人の代表的ポリス・前 4 世紀に斜線陣形戦術でポリス社会の覇権
- ⑨デルフォイ アポロン神の神託で有名，周辺ポリスと神殿を共有する隣保同盟
- ⑩オリンピア ゼウス神の祭典（古代オリンピック）
- ⑪ビザンティオン 黒海入り口のボスフォラス海峡の要衝で，スキタイとの穀物交易を中継
- ⑫コリント ドーリア人の代表的商業ポリス，コリント同盟でマケドニアのギリシア支配の拠点
- ⑬ミレトス イオニア人の植民都市で自然哲学発祥地・ペルシア戦争の開始

奴隷制の社会

- * 被征服民や戦争捕虜の奴隷化が一般的，債務奴隷（市民が借財のため転落）は，ソロンの改革で禁止
- * 家内奴隷，労働奴隷（中小農民の市民が，城壁外の私有地で農耕に使役）が一般的
- * ²⁷_____（ヘロット）（スパルタの国有奴隷）は，中世ヨーロッパの農奴に近い存在
- * アテネは家内奴隷中心（全人口の 1 / 3）も，ラウレイオン銀山の採掘などにも使用

スパルタの特徴

- * ペロポネソス半島ラコニア地方，¹⁴_____人の征服型ポリス→征服地を公平に分配し市民の平等実現
- * （完全）市民が²⁸_____（劣格市民，商工業）と²⁷_____（隷属民，農耕）を支配
- * ²⁹_____法で完全市民の特権維持（商工業従事は禁止）のための軍事国家体制を構築
市民団の結束維持のため，貨幣の使用禁止・他国との自由な往来を禁じる鎖国政策

アテネの特徴

* オリーブ・ブドウ生産し、陶器製造盛ん→黒海方面の穀物（スキタイ人が支配）と交易

貴族政

* **貴族政** 集住（1）を貴族指導＝貴族がポリス防衛を担当→貴族の参政権独占

→ 前7世紀**商工業発達**して**貨幣経済普及**→**富裕平民**は**武具自弁**し軍に参加

→ 市民軍の主力は平民も参加する**重装歩兵**←ファランクス（長槍密集隊形）戦術で

→ 実力を増した平民は**参政権**要求・貨幣経済普及による貧富の格差拡大も混乱に拍車

* 前632 キュロンのクーデタ…僭主になろうとして失敗

* 前621 2の立法…**最初の成文法**で貴族の法独占を破り、改革への一歩

前640頃～前560頃…**負債の帳消し**とアテネ市民の**債務奴隷化防止**（身体を抵当にした借金の禁止）

3…市民を 4に応じて四等級に分け、それぞれ権利と義務（兵役）を定める

→ but 下層市民の不満増大・貴族も反発→ソロンの引退→貴族と無産市民の対立激化

財産政

僭主政

?～前528

…貧困市民の多数勢力を利用し、武力で独裁権力獲得

…亡命貴族の土地を分配し中小農民保護→平民の実力向上

→ but 息子のヒッピアス暴君化→ 6 = テュランノス tyrannos は英語の tyrant = 暴君の語源

前6世紀末頃

… 8 (**陶片追放**)で僭主になりそうな人物を10年間国外追放

…血縁の四部族制をデーモス（地区）に基づく10部族制に改変、五百人評議会

民主政の基礎

前500-前449
ペルシア戦争

原因… 9 中心の**イオニア**植民都市の反乱→アテネとその同盟市が支援

結果…ペルシアの第三次遠征軍をアテネ・スパルタ中心に撃破し勝利

意義…オリエントの専制政治に対してポリスの自由と独立を守る

前490: 10 の戦い… 11 派遣の遠征軍に**アテネ重装歩兵**団勝利

前480: テルモピュレーの戦い… 12 **王**親征の遠征軍にレオニダス指揮のスパルタ軍全滅

前480: 13 の海戦…将軍 14 指揮し、**三段権船**使用の**アテネ海軍**が勝利

→ 15 がこぎ手となり、軍に参加して発言権増大→直接民主制の完成へ

前479: 16 の戦い…残留ペルシア軍に**アテネ・スパルタ連合軍**勝利

17 **同盟**…ペルシアの再来に備え、 18 **盟主**に結成。軍資金か軍艦を拠出

…デロス島に同盟金庫→アテネが資金流用し繁栄・前5世紀中頃にはアテネ独裁体制

前443

前495頃 - 前429

… 20 に選ばれ、アテネの全盛期（19 **時代** [前443-前429]）を現出

19 … 21 **神殿**を再建（指揮は友人の 22）

直接民主政完成 6 18歳以上の**成年男子市民**全員参加資格の 23 が最高機関となって完成

24 **制**に立脚し、**女性・在留外国人**（メトイコイ）に参政権なし

0 **将軍**職以外の役人は抽選、任期一年・日当の支払、民衆裁判所の**陪審員**も抽選

0 市民権所有者は、両親ともアテネ市民の者に限定（ローマとの相違）

直接民主政

前429

前431-前404

戦争

…アテネ盟主の 17 **同盟 vs スパルタ盟主**の 25 **同盟**

…ペリクレスの病死と**デマゴーゴス**の台頭・**ペルシア**がスパルタを支援→スパルタ勝利

* **衆愚政**…**煽動政治家**（26）による政治で民主政腐敗し、アテネの敗北

→戦争終結後、デロス同盟解体も、アテネ自体は復興し繁栄を回復

→ポリス社会はペルシアの煽動で戦乱が続く→中小農民の没落で傭兵使用流行→市民皆兵の原則崩壊

* 27 がレウクトラの戦い（エパメイノンダス指導）でスパルタに勝利し一時覇権

1. シノイクスモス 2. ドラコン 3. ソロン 4. 財産 5. ペイシストラトス 6. 僭主 7. クレイステネス 8. オストラシズム 9. ミレトス
10. マラトン 11. ダレイオス1世 12. クセルクセス 13. サラミス 14. テミストクレス 15. 無産市民 16. プラタイア 17. デロス
18. アテネ 19. ペリクレス 20. 将軍 21. パルテノン 22. フィディアス 23. 民会 24. 奴隷 25. ペロポネソス
26. デマゴーゴス 27. テーベ

文学

叙事詩

- * ホメロス (前 8 C) 『オデュッセイア』…英雄帰還物語
『イリアス』…トロイア戦争の物語
- * ヘシオドス (前 700 頃) 『労働と日々』…労働賛歌
『神統記』…ゼウスらの神話

叙情詩

- * サッフォー (前 6 C) …レスボス島女流詩人
- * アナクレオン (前 6 C) …明るい酒と恋の詩叙情詩人
- * ピンダロス (前 5 C) …オリンピア賛歌など

演劇史

- * アイスキュロス (前 5 C) 『アガ멤ノン』
- * ソフォクレス (前 5 C) 『オイディプス』 三大悲劇詩人
- * エウリピデス (前 5 C) 『メディア』
- * アリストファネス (前 5 C) 『女の平和』…喜劇詩人
o ペロポネソス戦争批判

美術

- * 5 C フィディアス…アテナ女神像
o パルテノン神殿 (ドーリア式) 再建
- * 4 C プラクシテレス活躍

建築の3様式

- * ドーリア式…荘重・パルテノン神殿
- * イオニア式…優雅・渦巻き柱頭
- * コリント式…繊細華美

哲学

自然哲学

- * ミレトス 中心とする イオニア 人植民市で発展・万物の根源追求を特色
前 6 世紀 o タレース 【水】を根源…哲学の祖で日食予言でも有名
o アナクシマン드로ス 【無限】を根源
o ヘラクレイトス 【変化自体】を根源…『万物は流転する』
o ピタゴラス 【数】を根源…数学者でもある
- 前 5 世紀 o アナクサゴラス 【無数の種子】を根源…太陽を燃える石・ペリクレスの友人
o デモクリトス 【原子】…原子論で自然哲学完成

ソフィスト

- * 『知恵ある者』の意。懐疑主義的で普遍的真理を否定し、主観の絶対を説く→詭弁に陥る
- * 外国人多くペルシア戦争後のアテネで弁論・修辞の教師 = 直接民主政下の民会での弁論の重要性背景
- 前 485 頃 - 前 415 頃 …相対主義に立脚して『万物の尺度は人間』と説く最初のソフィスト
プロタゴラス …ペリクレス時代のアテネで活躍

三大哲学者

- 前 469 頃 - 前 399 …ソフィストを批判し、対話法で無知を自覚させる『汝自身を知れ』
ソクラテス …普遍的真理の实在を説く【知徳一致】【市民の徳】の哲学→民衆裁判で処刑
- 前 427 - 前 347 …イデア説 (現実とは完全不滅の真実イデアの影)
プラトン …哲人政治をシラクサで試み失敗・『ソクラテスの弁明』『国家論』
- 前 384 - 前 322 …ギリシア哲学を体系化・アレクサンドロス大王の師
アリストテレス …『形而上学』『ニコマコス倫理学』→イスラーム哲学→中世スコラ哲学

歴史

- * ヘロドトス 『歴史』…物語的記述でペルシア戦争を記述
- * トゥキディデス 『歴史』…批判的 (科学的) 記述でペロポネソス戦争を記述

医学

- * ヒポクラテス…前 5 C 小アジアで活躍の医学の父

ヘレニズム

マケドニア台頭

…ヘラス北方のギリシア系の国で都ペラ。1_____時強大化

…アテネで親マケドニアのイソクラテスと反マケドニアのデモステネス対立

…2_____の戦い（前 338）勝利、**コリント同盟** 結成（スパルタ不参加）

アレクサンドロス帝国

…3_____（3 世）建国。都バビロン・オリエント風専制政治

…各地にギリシア風都市（**アレクサンドリア**）建設，共通語の 4_____普及

前 334-324

東方遠征

…ペラ出発→シリア・エジプト征服→ペルシア征服→ソグディアナ征服

→カイバル峠より**インダス**流域侵入→インド諸侯連合軍と交戦後，東進を断念し帰国

前 333 年小アジア東部の 5_____

の戦いで**ダレイオス 3 世**に勝利

前 331 年メソポタミアの 6_____

（ガウガメラ）の戦い→**アケメネス朝**の滅亡

戦争

…部下の将軍達が後継者（7_____）を称して戦う

→前 301 年イプソスの戦いで決定的に分裂

前 304- 前 30

…都 9_____・最も富強なエジプトの王朝

…王立研究所 10_____が自然科学研究の中心，ローマに滅亡

前 306- 前 168

…マケドニアの王朝・ディアドコイ戦争で一時有力もイプソスの戦いで敗北

…第二次ポエニ戦争でカルタゴに味方→**ローマ**に滅ぼされる

前 312- 前 63

…初期都セレウキア・前 3 世紀より都 13_____。ギリシア風都市建設

…**ローマ**のポンペイウスに滅ぼされる

→ 14_____（前 255- 前 139）…中央アジア西部・15_____

系・都**バクトラ**

→ 16_____（前 248- 後 226）…イラン・**イラン系**・都 17_____

→ 18_____（前 241- 前 133）…小アジアの都市国家・大図書館と羊皮紙の発明で有名

→ 19_____（前 140- 前 63）…ユダヤ教禁止に対し，マカベア戦争で独立したユダヤ人国家

ヘレニズム文化

o ギリシア文化（アレクサンドロスは**アリストテレス**の弟子）とオリエント文化の融合文化

→公用語はギリシア共通語の**コイネー**

→**世界市民主義**（コスモポリタニズム）と個人主義の風潮発生

*美術…人間味を増し部分を強調。ヘレニズム彫刻はインドに伝わり，**ガンダーラ美術**の仏像の製作へ

o 『**ミロのヴィーナス**』…ミロ島出土の女神像 o 『**ラオコーン**』…ロードス出土の神罰を受ける神官

*自然科学…**プトレマイオス朝**の**ムセイオン**（王立研究所・大図書館付属）が研究の中心

o **エラトステネス**…大地球体説，子午線の長さを測定

o **アリストタルコス**…地動説を唱える

o **アルキメデス**…浮体の原理，シチリア出身の物理学者。第二次ポエニ戦争で故郷シラクサでローマ兵に殺害

o **エウクレイデス**…平面幾何学を大成

*哲学…個人の心の平安を探求

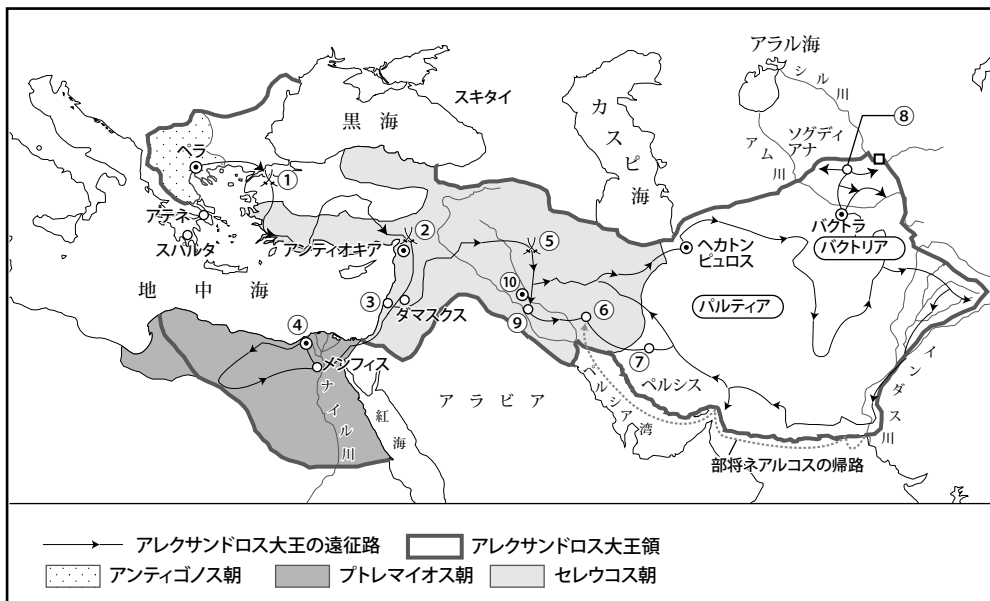
o 犬儒派…ディオゲネスが代表・世俗にとらわれず，無欲強調

o **ストア派**…**ゼノン**創始・禁欲による心の平安を説く

o **エピクロス派**…**エピクロス**創始・精神的快楽の追求を説く

1. フィリッポス 2 世 2. カイロネイア 3. アレクサンドロス 4. コイネー 5. イッソス 6. アルベラ 7. ディアドコイ 8. プトレマイオス朝
9. アレクサンドリア 10. ムセイオン 11. アンティゴノス朝 12. セレウコス朝 13. アンティオキア 14. バクトリア 15. ギリシア
16. パルティア 17. クテシフォン

【アレクサンドロス帝国の成立と分裂】



- ① グラニコス川の戦い 前 334 年アレクサンドロス軍がペルシア軍を撃破し、小アジア侵入
- ② イッソスの戦い 前 333 年アレクサンドロス軍がダレイオス 3 世軍撃破し、シリアへ侵入
- ③ ティルス フェニキア人の拠点都市でアケメネス朝海軍の中核、アレクサンドロスに攻略
- ④ アレクサンドリア エジプトを征服したアレクサンドロスが建設、後にプトレマイオス朝の首都
- ⑤ アルベラの戦い 別名ガウガメラの戦い。前 331 年アレクサンドロス軍がダレイオス 3 世軍を撃破
- ⑥ スサ アケメネス朝ペルシアの都で、行政の中心
- ⑦ ペルセポリス アケメネス朝ペルシアの儀礼用の都。アレクサンドロスが破壊
- ⑧ マラカンダ 中央アジア西部の中心都市。後のサマルカンド
- ⑨ バビロン 遠征から帰還したアレクサンドロスによって都
- ⑩ セレウキア セレウコス朝シリアの初期の都

共和政ローマ

前 8 C

王政

前 509

共和政前期

身分闘争と半島統一

* **イタリア人** の一派 1 **人** がティベル河畔に建国（トロイアのアエネイスを祖 cf. ヴェルギリウス）

* 伝説的な初代王はロムルスで、初期は**王政**、一時先住の 2 **人**（民族系統不明）に支配

* エトルリア人の王追放し共和政・貴族（3）が中小農民中心の平民（4）支配

○ 5 定員 2 名・任期一年の最高行政官→非常時に一名独裁官（6）

○ 7（セナトゥス）高官経験者 300 名（当初）の終身議員による最高決議機関

→ 貴族が独占し平民の不満

聖山事件〔前 494〕… 8 として実力を増した平民が貴族に反抗した事件

○ 9〔前 494〕…平民に不利な元老院やコンスルの決定を一時停止

○ 10〔前 472〕…平民のみの立法機関で議長は護民官（護民官も平民会で選出）

前 450 頃

11

…ローマ最古の成文法でギリシア法にもとづき、十二枚の板に公示

…貴族の法独占を打破、貴族と平民の通婚は禁止

前 367

12

…**公有地の占有を制限**し、平民の負債を軽減

… 5 の一人は平民→ 13（新貴族）成立の契機に

前 287

14

…平民会の決議が元老院の承認をへずに国法

…名は制定の独裁官にちなむ。貴族と平民の法的平等達成し、民主化完成

→ but 新貴族（ノビレス）が政治の実権を独占

前 272

半島統一

… 15 **街道**など軍道も整備

…前 272 年ギリシア人都市タレントゥムを征服し統一完成（前 3 世紀前半）

16

… 服属都市を植民市・自由市・同盟市などに分け、待遇に差をつけて団結を阻止

前 264- 前 146

…西地中海の覇権をかけた**フェニキア**人の 18（**ティルス**植民市）との戦争

17

…ローマ勝利し、**前 2 C 中頃**地中海制覇 = 『我々の海』

前 264-241

第一次

… 19 **島**での勢力争いが発端

…ローマ勝利し、19 **島**を最初の 20（総督が統治の直轄領）

前 218-201

第二次

…イベリア半島のカルタゴ = ノヴァで 21 が侵入準備

…アルプス越えてイタリア侵入もローマ勝利してイベリア半島（ヒスパニア）を属州

○

の戦い〔前 216〕**ハンニバル**がイタリア東南部で圧勝

○

の戦い〔前 202〕**大スキピオ**がカルタゴ郊外で勝利し決着

前 149-146

第三次

…海外領土と海軍力を失ったカルタゴの奇跡の経済復興にローマ警戒

…小スキピオがカルタゴを破壊→同時期にギリシア・24 も属州

社会の変質

有力者は戦争捕虜を 25 としイタリア中心に 26 経営

属州からの安価な穀物流入→戦争で疲弊した中小農民没落し無産市民化

エクイテス（騎士）が徴税請負で台頭→ “27” 提供し政界進出

問題

政治の混乱と、重装歩兵市民軍の解体による軍事力の弱体化

前 133；前 123

28

…リキニウス法復活で大土地占有を制限し、自作農による重装歩兵軍団の再建目的

…平民会を基盤に**護民官**として改革→**元老院**による 29 **派**が反対して失敗

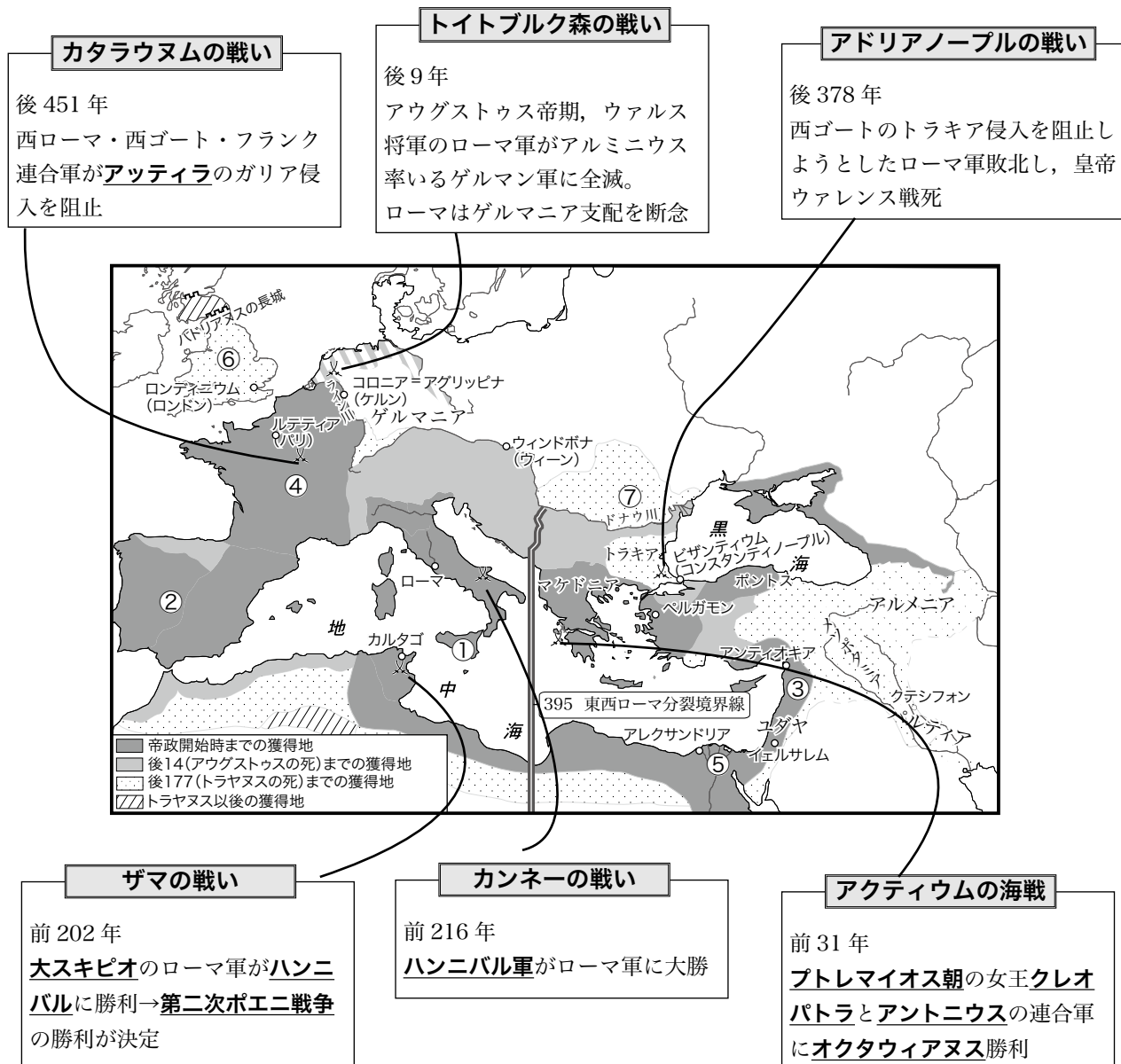
* 党争…**平民派** 30（ユグルタ戦争勝利・職業軍人制導入）v s **閥族派** 31

* 反乱○ **シチリア島奴隷反乱**…最初の属州シチリア島は、奴隷反乱の温床に

○ 前 91 年： 32 **戦争**…→ 31 鎮圧し独裁官→ローマ市民権をイタリアへ拡大

○ 前 73 年： 33 **の乱** **剣奴**など奴隷の大反乱→クラッスとポンペイウス鎮圧

1. ラテン 2. エトルリア 3. パトリキ 4. プレブス 5. コンスル 6. ディクタトル 7. 元老院 8. 重装歩兵 9. 護民官 10. 平民会
11. 十二表法 12. リキニウス・セクスティウス法 13. ノビレス 14. ホルテンシウス法 15. アッピア 16. 分割統治 17. ポエニ戦争
18. カルタゴ 19. シチリア 20. 属州 21. ハンニバル 22. カンネー 23. ザマ 24. マケドニア 25. 奴隷 26. ラティフンディア
27. パンとサーカス（見せ物） 28. グラックス兄弟 29. 閥族 30. マリウス 31. スラ 32. 同盟市 33. スバルタクス



- ① **シチリア** (前 241) ~ **第一次ポエニ戦争**の勝利を機に獲得の**最初の属州**
- ② **ヒスパニア** (前 197) ~ **第二次ポエニ戦争**の勝利を機に獲得。**ハンニバル**の拠点だった
- ③ **シリア** (前 63) ~ ポンペイウスがセレウコス朝を滅ぼす。ユダヤ人国家ハスモン朝も征服
- ④ **ガリア** (前 50) ~ **カエサル**の遠征で獲得 (『**ガリア戦記**』)
- ⑤ **エジプト** (前 30) ~ 前 31 年の**アクティウムの海戦**後、**オクタウィアヌス**が征服→**ヘレニズム終了**
- ⑥ **ブリタニア** (後 43) ~ 獲得はアウグストゥス帝の死後
- ⑦ **ダキア** (後 106) ~ **トラヤヌス**帝が獲得・現在の**ルーマニア**の起源

統一的地中海世界の出現

◇属州各地にローマ風都市の建設

ルテティア (パリ), ウィンドボナ (ウィーン), ロンディニウム (ロンドン), コロニア = アグリッピナ (ケルン)
都市からローマ風の生活文化が各地に伝播し、文化的な一体化
都市は政治支配の拠点とともに経済交易の拠点→経済的に地中海世界の一体化を促進

◇市民権の拡大

属州上層民に市民権を与え、ローマへの統合を図る→3世紀初のカラカラ帝時には全自由民に拡大
市民権限定のアテネは短期の覇権→市民権拡大のローマは被支配者も帝国に統合し、長期の覇権と安定

帝政ローマ

三頭政治

前 60- 前 53

第一回

- …無産市民を私兵とした有力者が反乱鎮圧や征服で功績を競い、政治力を増大
- …元老院に対抗した有力者による私的結合で、共和政を崩壊に導く
- 0 2 …ポントゥス王に勝利・セレウコス朝・ハスモン朝征服の閥族派の将軍
- 0 3 …騎士出身スパルタクスの乱鎮圧→ 4 …に遠征し敗死 (前 53)
- 0 5 …平民派・未平定の 6 …担当→征服してケルト人平定
- 0 カエサルが元老院と結んだポンペイウスに勝利し、インペラトールの称号→終身独裁官へ
- 0 属州政治の改革や貧民救済・エジプトでクレオパトラの即位助け、 7 …暦導入
- 0 元老院で 8 …ら共和派に暗殺

前 43- 前 31

第二回

- …カエサル暗殺後、カエサル系の将軍が共和派に対抗し、元老院の承認を得て結成
- …レピドゥス失脚後、オクタウィアヌスとアントニウスの対立によって崩壊
- 0 9 …カエサルの部下で早期に失脚し引退
- 0 10 …カエサルの部下・プトレマイオス朝の女王 11 …と結ぶ
- 0 12 …カエサルの養子でアントニウスと対立
- 前 31 年 13 …の海戦で勝利、前 30 年 プトレマイオス朝滅亡し地中海支配完成

前 27

前 27

14

- …オクタウィアヌスが元老院より 15 …(尊厳者)の称
- …名目上は元老院と共同統治、自称は 16 …(第一の市民)
- *最初の 200 年がローマ最盛期 17 …(ローマの平和)も 3 世紀は危機の時代

96-180
五賢帝時代

- …五人の優れた皇帝が続出した時代・属州のローマ風都市発展→イタリアの地位低下
- …インド (サータヴァーハナ朝)と季節風貿易→金銀貨幣流出は衰退要因
- 0 18 …五賢帝の最初
- 0 19 …ダキア (現ルーマニア)・メソポタミア・アルメニア併合し 領土最大
- 0 20 …防衛に転換しブリテン島に長城・ユダヤ人のイェルサレム入市禁止
- 0 21 …内政の整備
- 0 22 …派哲学者・後漢書の 大秦王安敦

235-284

軍人皇帝時代

284

25

位 284-305

26

位 324-337

27

社会政策

位 379-395

29

- …最初の軍人皇帝はセヴェルスでその子 カラカラは全帝国自由民に市民権拡大 (212)
- …ゲルマン人・ 24 …朝の侵入→マクシミヌス帝以後軍隊が皇帝乱立
- …皇帝の自称ドミヌス (御主人)で皇帝礼拝強制など専制政治を強化
- …元老院の機能は事実上消滅し、宮廷官僚による統治
- …帝国の混乱收拾・東西の正帝、副帝が統治を分担する 四帝分治 (テトラルキア)
- …皇帝礼拝強要し、4 世紀初にキリスト教迫害
- …313 年 ミラノ勅令でキリスト教公認し、325 年 ニケーア公会議開催
- …330 年ビザンティウムに遷都し 28 …と改称
- …ソリドゥス金貨を創設し地中海交易を振興・官僚制度を整備し、職業身分を固定
- …ゲルマン民族の侵入に対応する一方 キリスト教国教化
- …395 年の死後、帝国は東西に分裂

ローマ衰退の要因

- o 地方分権化の進展…属州の発展でイタリアのラティフンディア不振→ 30 …制へ
- o 自然経済化の進展 { インド貿易による貨幣流出と軍隊・官僚維持目的のための貨幣改悪と重税
都市への重税で都市の富裕者は郊外のヴィラへ逃れ、コロナトゥス経営
- o ゲルマン人大移動…西ゴートのローマ略奪 (410 年)・476 年 31 …に西ローマ帝国滅亡

1. 三頭政治 2. ポンペイウス 3. クラッスス 4. パルティア 5. カエサル 6. ガリア 7. 太陽 8. ブルートゥス 9. レピドゥス
10. アントニウス 11. クレオパトラ 12. オクタウィアヌス 13. アクティウム 14. プリンキパトゥス 15. アウグストゥス 16. プリンケプス
17. パクスロマーナ 18. ネルウァ 19. トラヤヌス 20. ハドリアヌス 21. アントニヌス・ピウス 22. マルクス・アウレリウス・アントニヌス
23. ストア 24. ササン 25. ドミナートゥス 26. ディオクレティアヌス 27. コンスタンティヌス 28. コンスタンティノープル
29. テオドシウス 30. コロナトゥス 31. オドアケル

ローマの文化と社会

* 文学…1 帝時代がラテン文学黄金期で三大詩人活躍

- 2 『3』 …トロヤ戦争の英雄を主人公に建国叙事詩
- ホラティウス『叙情詩集』…叙情詩。サッフォーなどギリシア叙情詩人に範をとる
- オウィディウス『転身譜』…神話より変身の物語を集める

* 哲学 ヘレニズム哲学流入し、特にストア派が発展

- 4 『国家論』 …カエサルの政敵の弁論家。ギリシア哲学をローマに紹介
- ルクレティウス（前1 C）…エピクロス派哲学者で唯物論
- 5 （後1 C） …ストア派哲学者でネロ帝師
- 6 （後2 C）『語録』 …ギリシア人解放奴隷のストア派哲学者
- 7 『自省録』 哲人皇帝

* 歴史 ポリビオスやプルタルコスのギリシア人活躍

- 8 （前2 C）『歴史』 …小スキピオ家庭教師のギリシア人。政体循環史観
- 9 『ガリア戦記』 …ガリア（現フランス辺り）遠征の記録、ゲルマン史料
- 10 （紀元前後）『ローマ建国史』 …建国の歴史。アウグストゥス帝に仕える。
- 11 （1C-2C）『12』 …ゲルマン史料・腐敗したローマの現実を批判
- 13 『13』 …アウグストゥス帝からネロ帝までの記録で共和政に共感
- 14 （1C-2C）『対比列伝』 …ギリシア人でギリシアとローマの英雄を比較

* 地理・博物学 ギリシア・ヘレニズムの伝統の集大成

- 15 （紀元前後）『地理誌』 …ローマ版風土記。地域毎に史実から伝説まで
- 16 （1C）『博物誌』 …ネロ帝期将軍で、ポンペイ救出に向かい殉職。著作は一大博物学書
- 17 （2C）『アルマゲスト』 …ギリシア人で地球中心の天動説を主張、世界地図も有名

ローマ法

…ローマが後世に残した最大の文化遺産で十二表法に始まる

…裁判官の判決例や、法律家の解釈なども法としての権威を認められる

- 市民法…共和政・帝政初期に作られた、市民権所有者に適用される法
- 万民法…18 帝の全自由民への市民権拡大により、帝国全住民に適用される法
- 19 …勅法集・学説集・法学理論で構成のローマ法の集大成の法典
- 20 帝が編纂命じ、21 ら編集

* ローマ建築…アーチ形式の使用特徴で公共建造物建設

- ローマの円形闘技場< 22 > ○ 万神殿<パンテオン> ○ 凱旋門…勝利した将軍を迎える
- カラカラ浴場…カラカラ帝建設の浴場主体の一大娯楽施設 ○ アッピア街道…ローマ最古の板石舗装道路
- ガール橋…フランス東南部に現存する代表的水道橋

* 暦…カエサルがエジプトの太陽暦を修正し採用 = 23 暦

→現在使用の 24 暦はこれを 1582 年教皇グレゴリウス 13 世が改良

* 文字…ギリシア文字からローマ字作成。言語ラテン語は、中世西欧の共通語

* 宗教…自分たちの宗教とギリシアのオリンポス 12 神を同一視

→1, 2 世紀以後キリスト教拡大。一方でペルシア起源のマニ教, 25 教も盛行

* 大土地所有制…中小農民没落後進展

- ラティフンディウム…奴隷を用いオリーブなど商品作物、ローマの平和による奴隷の減少と属州の発展で衰退
- コロナートゥス…小作人 26 より地代→コンスタンティヌス帝の時にコロナスに土地緊縛令

1. アウグストゥス 2. ウェルギリウス 3. アエネイス 4. キケロ 5. セネカ 6. エピクテトス 7. マルクス・アウレリウス・アントニヌス
8. ポリビオス 9. カエサル 10. リウィウス 11. タキトゥス 12. ゲルマニア 13. 年代記 14. プルタルコス 15. ストラボン
16. プリニウス 17. プトレマイオス 18. カラカラ 19. ローマ法大全 20. ユスティニアヌス 21. トリボニアヌス 22. コロッセウム
23. ユリウス 24. グレゴリウス 25. ミトラ 26. コロナス

キリスト教の成立と発展

誕生

* 属州ユダヤでは、1 人（戒律主義）とサドカイ人（祭司・親ローマの上層）が支配層

前4頃 後30頃

イエス・キリスト

…北部ガリラヤ地方のナザレに出現し祭司などユダヤ人支配層を批判

…1 人の**戒律主義・選民思想**批判。**隣人愛**を説き、最後の審判を約束

* ローマ総督ピラトゥによる十字架刑→復活信仰→人類救済のための贖罪の死としてキリスト教成立

迫害

イエスを 2 (メシア・救世主) と信じる者は救済（新約）→階級・民族を越える普遍宗教

* 3 (第一の使徒・初代教皇)・4 (死後・異邦人の使徒・贖罪信仰確立)ら伝道

* 国家祭祀や**皇帝崇拝**を拒否→無神論者として迫害→5 (地下墓地)で信仰維持

o 6 帝 1 C 中頃ローマ大火を口実に最初の迫害。ペテロ・パウロの殉教

o 7 帝 4 C 初めに大迫害

* 各地に信者の共同体（**教会**）結成，社会的弱者や貧困者の救済を相互扶助で行う

ローマ国教化

* 1～2 C のローマの平和期に，奴隷や下層民衆へ→3 C 以降社会不安背景に上層市民へも普及

位 324 337

8

…313 年 9 **勅令**でキリスト教公認，神寵帝理念で帝権の神聖化

…325 年 10 **公会議**で**アリウス派**を異端→**ゲルマン人**に布教

* 11 帝 背教者。ミトラ教と古典文化に心酔し，キリスト教徒と論争

位 379 395

12

…380 年合同信仰令で帝国全人民にキリスト教の信仰を命じる

…392 年**アタナシウス派**以外の信仰を禁じ**国教**→翌年オリンピック停止

新約聖書成立

* **新約聖書**が正経典（397 年）…2- 4 世紀にコイネーの**ギリシア語**で成立，新しい契約の意

o 13 書…マタイ・マルコ・ルカ・ヨハネによるイエスの言行の記録で2世紀末頃には成立

o 使徒行伝…ペテロやパウロの伝道の記録

o 書簡…パウロなど使徒の各地の教会あての手紙

o 黙示録…ヨハネによる終末と最後の審判の暗示の書

教義の確立

* 14 の活動…ギリシア哲学など導入し，キリスト教の教義を確立

o エウセビオス（3～4 C）…神寵帝理念を唱える→皇帝教皇主義や王権神授説に影響

・『教会史』『年代記』『コンスタンティヌス伝』 最初の教会史家で聖書に基づく歴史記述

o ヒエロニムス（4～5 C 初）…聖書のラテン語訳（ウルガタ）→西方教会はラテン語使用

o 15 (4～5 C) …北アフリカの司教，教父最大の思想家で，教父哲学確立

・『16』…西ゴートによるローマ略奪を機に執筆開始，キリスト教歴史観を確立

・『告白』…青年時代にマニ教の信徒→キリスト教に改宗

* **公会議**による教義の決定

o 431 年：17 **公会議**…**ネストリウス派**を異端→ササン朝で保護。**景教**として東方伝播

o 451 年：18 **公会議**…レオ1世活躍。ネストリウス派・**単性論**を異端

キリスト教の分裂

325

派

…イエスの 20 性を強調する一派

19

派

…21 **公会議**で異端→ローマ領域外で**ゲルマン人**に布教

325

派

…イエスに人性と神性の2性を認め，イエスの神性と神（ヤーヴェ）との同一を説く

22

派

…聖霊の同一も主張され三位一体説に発展，ニケーア公会議で正統

431

派

…イエスの**人性と神性を完全に分離**し聖母マリアを『神の母』とすることに反対

23

派

…24 **公会議**で異端→25 朝に伝わり公認→中国で 26 教

451

派

…イエスの**人性と神性の完全な融合**を唱える一派

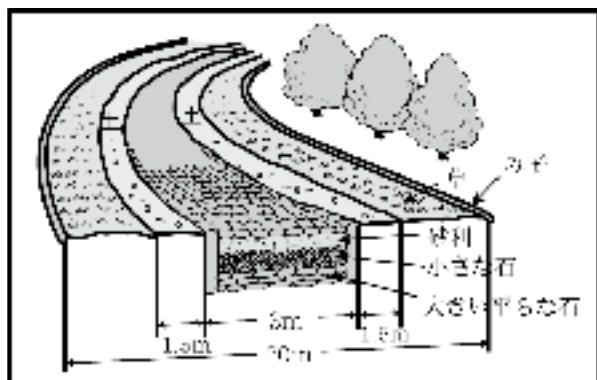
27

派

…28 **公会議**で異端→エジプトのコプト派教会に継承，アクスム王国に普及

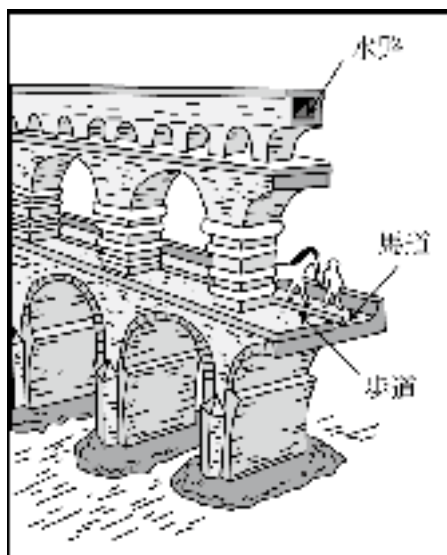
1. パリサイ 2. キリスト 3. ペテロ 4. パウロ 5. カタコンベ 6. ネロ 7. ディオクレティアヌス 8. コンスタンティヌス 9. ミラノ
10. ニケーア 11. ユリアヌス 12. テオドシウス 13. 福音 14. 教父 15. アウグスティヌス 16. 神の国 17. エフェソス 18. カルケドン
19. アリウス 20. 人 21. ニケーア 22. アタナシウス 23. ネストリウス 24. エフェソス 25. ササン 26. 景 27. 単性論
28. カルケドン

【アッピア街道】



「全ての道はローマに通じる」ローマは、征服した土地の支配維持のためにも、ローマ軍団の交通のために軍道の建設に熱心であった。ローマの主要道路は、大地を1.5-3メートルほども掘り下げ、一番下に大きめの割石や切石で路床を造り、その上にまず小石や碎石を混ぜたコンクリート、次に砂利や石灰を混ぜたコンクリートと重ね、最後に切石で舗装して造られた非常に堅固なものであった。

【水道橋の構造】



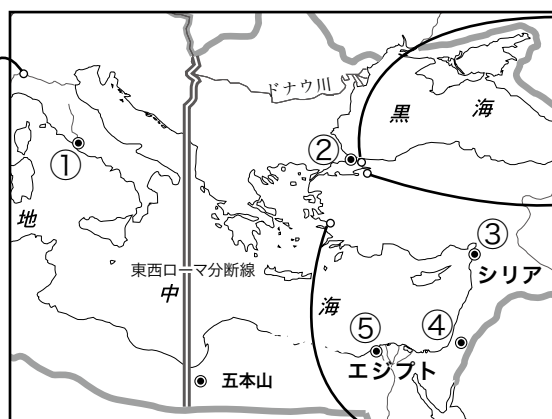
土木事業に優れたローマは、アーチ型の構造を持つ水道橋も各地に残した。中でも、フランスのガールのものが有名である。

五本山

- ①ローマ
- ②コンスタンティノープル
- ③アンティオキア
- ④イエルサレム
- ⑤アレクサンドリア

ミラノ

313年ミラノ勅令
コンスタンティヌス帝による
キリスト教公認



カルケドン

451年カルケドン公会議
単性論を異端

ニケーア

325年ニケーア公会議
アタナシウス派を正統
アリウス派を異端

エフェソス

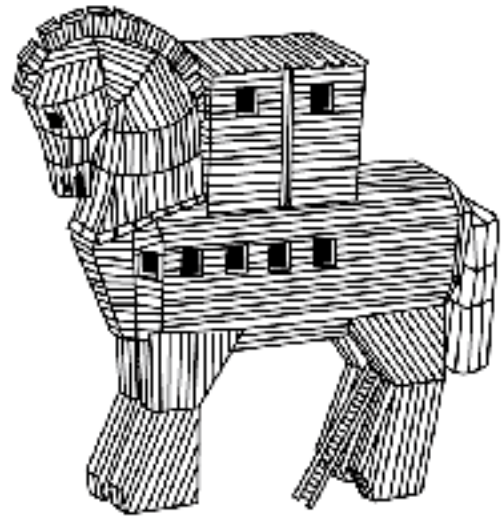
431年エフェソス公会議
ネストリウス派を異端

【アテネの景観】



アテネなどのポリスは、アクロポリスの丘の周囲に人々が集住することで成立した。多くの場合、集住を行う人々は、ごく少数の氏族集団からなり、同一の神への信仰で結ばれていた。したがってアクロポリスの丘には、人々が信仰する神の神殿が築かれた。アテネの場合、それはアテナ女神のパルテノン神殿であった。また、ポリスは都市生活の中心としてのアゴラ（広場）を持つことが一般的であった。

【トロイの木馬】



ホメロスの『イーリアス』は、トロイア戦争をうたった叙事詩である。

ギリシア側のミケーネ文明とトロイアとの戦いが10年に及ぼうとした時、ギリシア側は巨大な木馬を残して姿を隠し、撤退したとみせかけた。トロイア側が勝利の祝宴を行い、皆が寝込んだところで、木馬の中に潜んでいた兵士たちがトロイアの城門を開け、ギリシア側の勝利を決定した。「トロイの木馬」の故事である。

『歴史』ヘロドトス

「かくてアテナイは強大となったのであるが、自由平等ということが、単に一つの点のみならず、あらゆる点において、いかに重要なものであるか、ということを実証したのであった。というのも、アテナイが独裁下にあったときは、近隣のどの国をも戦力で凌ぐことができなかったが、独裁者から解放されるや、断然他を圧して最強国となったからである。これによって見るに、圧制下にあったときは、独裁者のために働くのだというので、故意に卑怯な振る舞いをしていたのであるが、自由になってからは、各人がそれぞれ自分自身のために働く意欲を燃やしたことが明らかだからである。」松平千秋訳、岩波文庫（中）p.165

第三章 古代南アジア史

この章で学ぶこと

* インド文明の誕生・インド王朝の興亡・東南アジア史

南アジアは世界最古の文明の一つであるインダス文明が発生した地域であり、その後、西アジアの影響を受けながらも、インドを中心に今日まで独自の文明圏を構成してきた地域である。一方で南アジア地域の歴史は、中央アジアや西アジアから侵入してきた人々と現地の人々とがおりなす、抗争と交流と、融合の歴史でもあった。おそらくはドラヴィダ系の人々をその担い手としたインダス文明が衰退した後、中央アジアや西アジアからパンジャーブ地方に侵入したインド・ヨーロッパ系のアーリヤ人はインダス文明の諸要素を継承し、前 1000 年頃からのガンジス流域への移動の過程で、ヴァルナの身分制度やバラモン教を確立していった。やがて都市国家が抗争する時代を迎えたインドでは、司祭であるバラモンに対し、クシャトリヤ（戦士）やヴァイシャ（庶民）が台頭し、ウパニシャッド哲学や仏教・ジャイナ教などの新宗教の成立をみた。前 4 世紀、中央アジアからカイバル峠を越えて侵入したアレクサンドロスが、インダス流域を席卷して去っていくと、その混乱を利用してガンジス中流域のマガダ国にマウルヤ朝を開いたチャンドラグプタがインダス流域も支配し、北インドに最初の統一をもたらす。仏教保護で知られる 3 代目のアショーカ王時には、南端を除くインドの統一に成功したマウリヤ朝も、その死後崩壊に向かい、北西部にはバクトリヤのギリシア人勢力が侵入し、デカン高原ではサータヴァーハナ朝（アーンドラ朝）が成立した。バクトリア崩壊後、トハラ・大月氏の支配を経て 1 世紀にクシャーナ朝が成立すると、インドはクシャーナ朝とサータヴァーハナ朝の並立時代をむかえ、クシャーナ朝はシルクロードの、サータヴァーハナ朝は、海の道の交易で繁栄した。3 世紀に両王朝が衰退した後、4 世紀にはマガダ国にグプタ朝が台頭して北インドの統一に成功するが、中央アジアからの遊牧民エフタルの侵入によって衰退し、6 世紀中頃に滅亡する。その後、7 世紀前半のヴァルダナ朝の再統一の後、分裂状態に陥った北インドでは、エフタルの侵入と同時にインドに侵入した外来民族や、グプタ朝の衣辺境から起こった土着勢力が、ラージプート（王の子）と称して割拠するラージプート時代を迎えることになる。

一方で南インドは、東部沿岸のチョーラ朝やパーンディヤ朝、西部沿岸のチェーラ朝がインド洋交易で繁栄し、ドラヴィダ系のタミル語による独自の文化が発展した。5～6 世紀には神への一体化を追求するバクティ運動も生まれた。

古代南アジア世界

インダス文明

<前 2300 ～前 1800 頃>

都市遺跡	場所	特徴
1 _____	インダス中流	* 4 _____ 文明
* パキスタンに所在	2 _____	* <u>都市</u> 文明
3 _____	インダス下流	o 都市計画に基づき, 給排水設備
* パキスタンに所在	シンド地方	o 大浴場・城塞・穀物倉庫・作業場
その他ロータル (造船所の遺構発見), ドーラヴィーラ (1990 年代に発掘) など の遺跡がインド共和国で発見		o <u>王宮</u> ・神殿が見られず
		* 5 _____ 人建設
		* <u>印章</u> に象形文字の <u>インダス文字</u>
		* シュメールと交易 (ロータル)
		* インド文明の源流
		o シヴァ神や牛の像の出土
		o 菩提樹・水を神聖視
		o 沐浴の習慣
		o 二進法と十進法の度量衡
		* 洪水や流路の変更で衰退

アーリヤ人の侵入

前 2000 年: 6 _____ 系の遊牧民で, 中央アジアやイラン東部よりカイバル峠を越え南下
 前 1500 年: 2 _____ 地方で部族社会を構成し, 半定住生活, インダス文明の要素を吸収
 前 1200 年: 7 _____ 成立 (前 1000 頃にかけて) 知識の意で 8 _____ 文字で記述
 → 9 _____ は最古のヴェーダで神々への賛歌, 自然を神格化→バラモン教の経典
 前 1000 年: ガンジス川流域に移動・定住し, 鉄器使用と稲作農耕→小王国と 10 _____ (種姓) 形成
 11 _____ (僧侶)・12 _____ (戦士)・13 _____ (庶民)・14 _____ (隷属民)
 →紀元前後にヴァルナの権利や義務, 慣習が『15 _____』にまとめられ, 社会的規範として定着
 →後に 16 _____ (職種別, 部族別集団, 婚姻・会食の禁忌) と結合し, 17 _____ 制度
 前 7 世紀: 十六王国成立 (前 6 世紀にかけて) ガンジス流域中心に成立し マガダ国と コーサラ国有力

インドの宗教

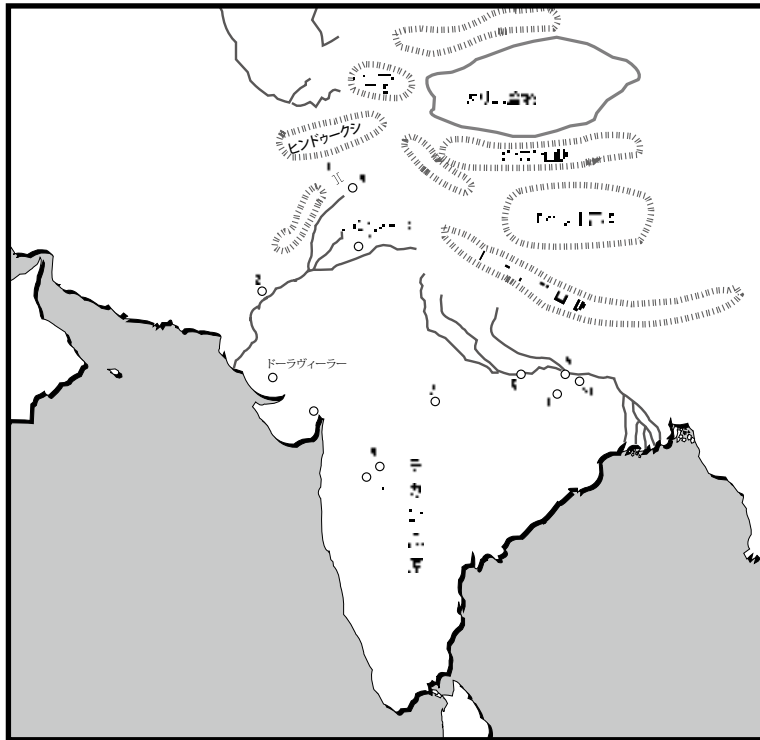
バラモン教	開祖	自然を神格化・ <u>ヴェーダ</u> (知識の意)・祭式中心で形式化
<奥義書哲学> 18		19 _____ = 梵を宇宙の根本原理 梵我一如 20 _____ = 我を個人の根本原理 輪廻解脱
21 教	<u>ヴァルダマーナ</u> (マハーヴィーラ)	禁欲・ <u>不殺生</u> ・カースト否定・肉体的苦行重視 → <u>ヴァイシヤ</u> (特に商人へ)
22 教	<u>ゴータマ</u> = <u>シッダールタ</u>	八正道の実践・カースト否定・精神的修行重視 →苦行を否定・ <u>クシャトリヤ</u> ・ <u>ヴァイシヤ</u> 中心に支持者

南インドの王朝

* 南インドは 5 _____ 系中心で言語はタミル語…バクティ運動で吟遊詩人がタミル語の文芸作品
 * 海の道の海上交易で繁栄
 o チャールキヤ朝 (6 世紀～8 世紀) …デカン高原を支配
 o チェーラ朝…前 2 世紀頃成立, インド南部の西部沿岸を支配し, サータヴァーハナ朝と併存
 o パッラバ朝 (3 世紀～9 世紀) …半島東南部を支配, タミル文化の伝播に貢献
 o 23 _____ 朝 (前 3～後 13 世紀) …11 世紀に全盛で宋に使節派遣, シュリーヴィジャヤに遠征
 o 24 _____ 朝 (?～後 14 世紀) …チョーラ朝と抗争, 13 C 末ペルシア湾岸と馬の交易
 → 14 C 初頭ハルジー朝の侵攻で滅亡→デカンから南インドには 25 _____ 王国成立

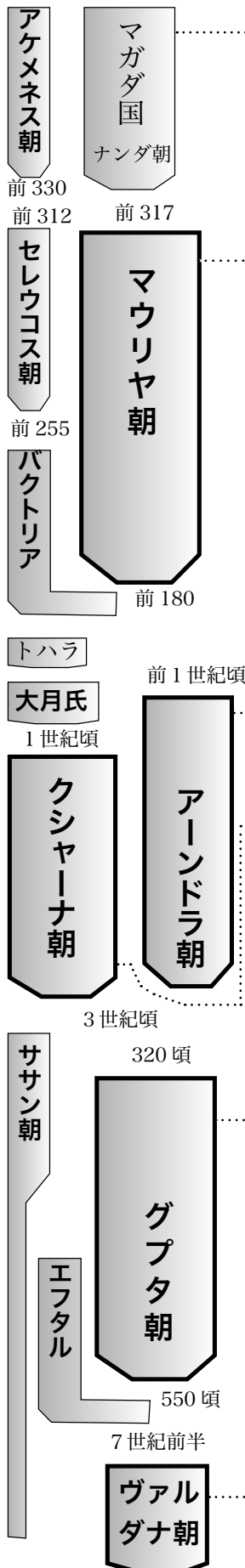
1. ハラッパー 2. パンジャープ 3. モエンジョダロ 4. 青銅器 5. ドラヴィダ 6. インド＝ヨーロッパ 7. ヴェーダ 8. サンスクリット
 9. リグ＝ヴェーダ 10. ヴァルナ 11. バラモン 12. クシャトリヤ 13. ヴァイシヤ 14. シュードラ 15. マヌ法典 16. ジャーティ
 17. カースト 18. ウパニシャッド 19. プラフマン 20. アートマン 21. ジャイナ 22. 仏 23. チョーラ 24. パンディヤ
 25. ヴィジャヤナガル

【インド重要地名】



- | | |
|-----------|------------------------------------|
| ①ハラッパ | インダス川中流パンジャブ地方のインダス文明遺跡 |
| ②モエンジョダーロ | インダス川下流シンド地方のインダス文明遺跡 |
| ③カイバル峠 | 中央アジアよりインドへの進入路で、アーリア人・アレクサンドロスも通過 |
| ④ブッダガヤ | ブッダが悟りを開いたとされる仏教の聖地 |
| ⑤ベナレス | ブッダが最初に教えを説いた地。現在はヒンドゥー教の聖地として有名 |
| ⑥パータリプトラ | マガダ（現ビハール）地方の中心でマウルヤ朝、グプタ朝の都 |
| ⑦サーンチ | アショーカ王の大ストゥーパ遺跡が所在 |
| ⑧プルシャプラ | クシャーナ朝の都。ガンダーラ地方の中心 |
| ⑨アジャンタ | グプタ様式の石窟寺院の仏教遺跡で有名 |
| ⑩ナーランダ | グプタ朝時代にナーランダ僧院設立。玄奘・義浄も留学 |

インド王朝の興亡



- * 十六王国のうち最強。対抗の**コーサラ国**（**シャカ族**を征服）を前5世紀頃併合
- * **仏教・ジャイナ教**（ともにこの国で発生）を保護
- * 『1』（バーラタ族）・『2』（ラーマ王子）の原型
o クシャトリア階級が主人公でその台頭を背景
- * 前326年 3 がカイバー峠を越え侵入→インダス流域の混乱

- 位前317頃 - 前296頃 …**ナンダ朝**を倒し、5 朝創始
- 4 …都 6 (現パटना)
o インダス流域よりギリシア人勢力一掃しアフガニスタン奪回
- o 7 朝の侵入を撃退し、後にセレウコス1世と和約
- 位前268頃 - 前232頃 …マウリヤ朝最盛期の王。南端を除くインドの統一に成功
- 8 …**カリンガ**征服後、仏教の**ダルマ**（法）による統治
- o 9 (万人の守るべき理念)を国内で**石柱碑**、辺境で**磨崖碑**に刻ませる
- o 10 建設 釈迦の遺骨を納める仏塔。サーンチーの大ストゥーパ有名
- o 第三回 11 支援 釈迦の教説の編纂会議
- o 仏教布教 ヘレニズム諸国伝道。 12 布教成功し上座部仏教の拠点
- * 統一崩壊後ギリシア系 13 やイラン系サカ族侵入

- * (14 朝) **ドラヴィダ**系の国。デカン高原から西南海岸支配
- * バラモン教の伝統復活。ex マヌ法典の原型成立 * **大乘仏教**理論を**竜樹**大成
- * 南端の**パーンディヤ朝・チョーラ朝**と共に、ローマと海上貿易で繁栄

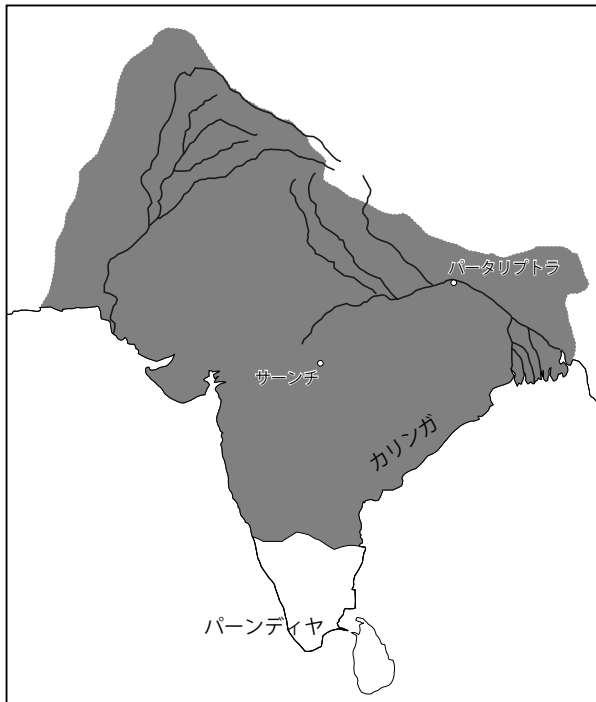
- * 15 **クシャーナ族**が 16 より自立し建国。都 17
- * 中国やランとのシルクロードの東西貿易を独占し繁栄
- 位130-170頃 …全盛期の王で中央アジアよりガンジス中流域まで支配
- 18 …仏教を保護し、第四回**仏典結集**を行うとされる
- * 19 **美術**発展 ヘレニズム文化の影響を受け 20 制作
- * 3世紀にササン朝のシャープール1世に服属し滅亡

- 位320-335頃 …マガダ国の故地に台頭し建国・都 6
- 21 …インド伝統文化復活。王名はチャンドラグプタにちなむ
- 位376-415頃超日王 …全盛期の王で東晋の**法顕**来印（著作『**仏国記**』）
- 22 …宮廷詩人 23 (著作『24』)
- * ヒンドゥー文化成熟し、**サンスクリット文学**全盛 25 **教**台頭
→『26 **法典**』『1』『2』が完成し経典
- * 27 **僧院**が設立され教学研究盛んも、民衆から遊離し仏教は衰退
- * 純インド風 28 **美術** 29 ・エローラ石窟寺院、マトゥラーの仏像
- * 数学発達し、ゼロの観念→イスラーム文化→西欧文化へ伝播
- * 5世紀後半より 30 の侵入で分裂し衰退

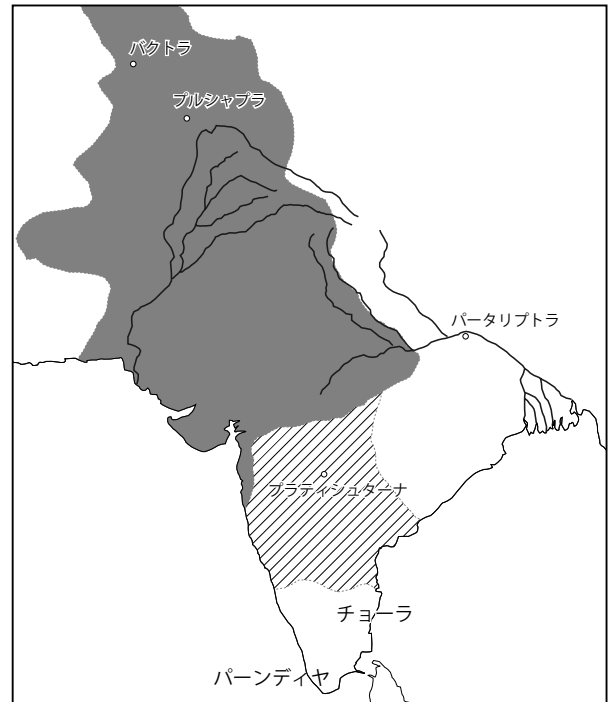
- 位606-647 戒日王 …7世紀前半北インド統一。唐僧の**玄奘**・使節王玄策来印
- 31 …都カナウジ。一代限りで死後崩壊

1. マハーバーラタ 2. ラーマヤナ 3. アレクサンドロス 4. チャンドラグプタ 5. マウリヤ 6. パータリプトラ 7. セレウコス 8. アショーカ
 9. ダルマ 10. ストゥーパ 11. 仏典結集 12. セイロン（スリランカ） 13. バクトリア 14. サータヴァーハナ 15. イラン 16. 大月氏
 17. プルシャプラ 18. カニシカ 19. ガンダーラ 20. 仏像 21. チャンドラグプタ1世 22. チャンドラグプタ2世 23. カーリダーサ
 24. シャクンタラー 25. ヒンドゥー 26. マヌ 27. ナーランダー 28. グプタ 29. アジャンタ 30. エフタル 31. ハルシャ＝ヴァルダナ

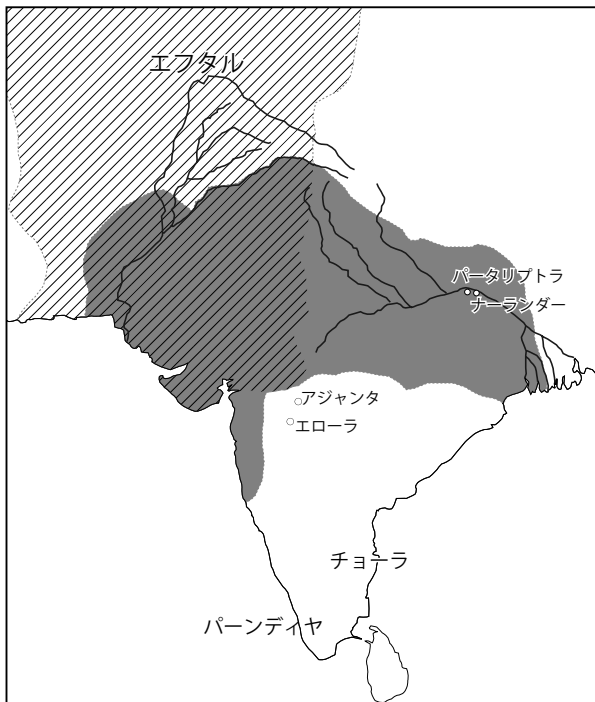
【マウリヤ朝の領域】



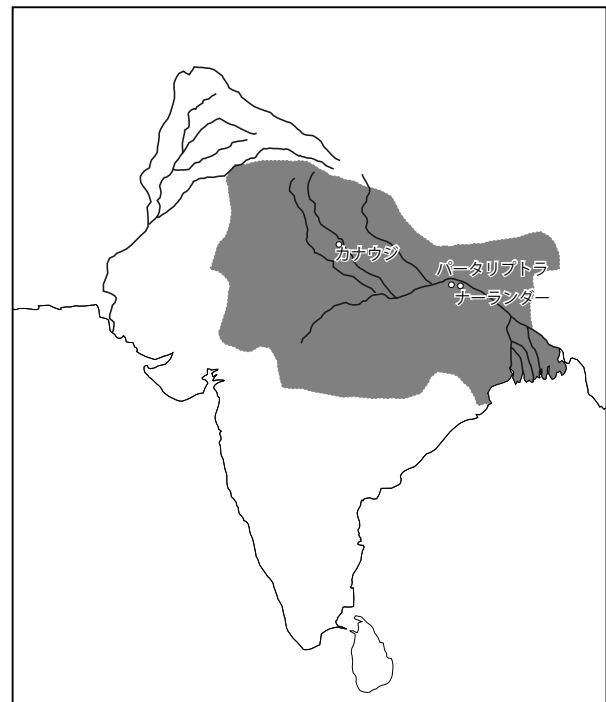
【クシャーナ朝の領域】



【グプタ朝の領域】



【ヴァルダナ朝の領域】



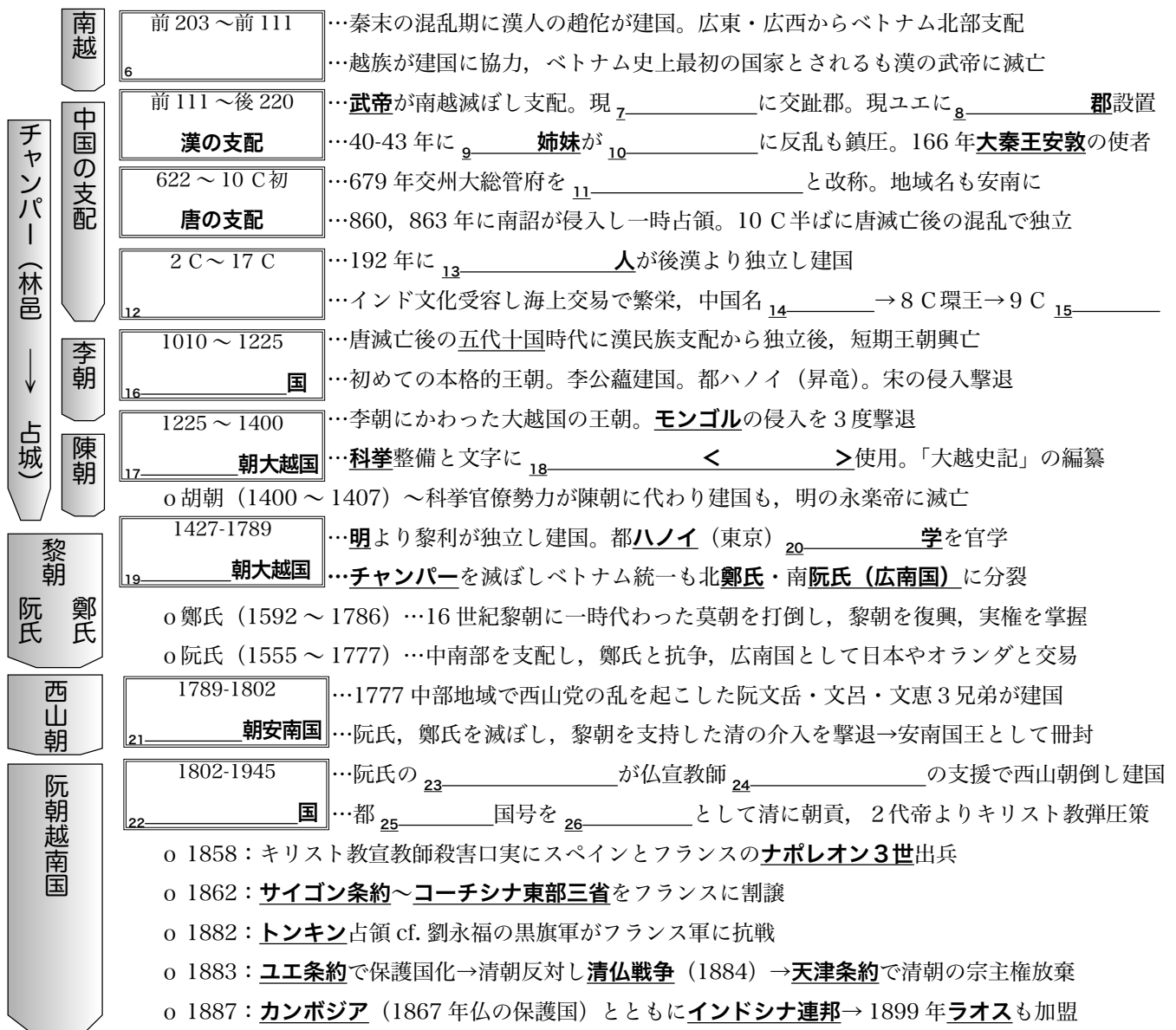
東南アジア世界

東南アジアの地勢

- * 地域…大陸部（インドシナ半島部分）と諸島（島嶼）部（マレー半島・スマトラ島・ジャワ島など）に大別
 - o 大陸部…沿岸地域と河川の流域（4世紀インド化でサンスクリット・ヒンドゥー教や仏教の影響）に国家の形成
 - ・ 1 _____ 川…東南アジア最大の国際河川で、1 C 下流に扶南、6 C 中流に真臘形成
 - 13 世紀以降上流はタイ人が進出しタイ・ラオスの領域、デルタ地域はベトナム進出
 - ・ 2 _____ 川…タイ最大の河川、6 世紀モン人のドヴァーラヴァティー成立
 - 13 世紀以降流域にタイ人が南下
 - ・ 3 _____ 川…中国雲南地方とベンガル湾を結ぶ交通路、4 世紀にインド化の影響でピューが成立
 - 11 世紀にビルマ人のパガン朝が成立し、領域を統一
 - o 諸島（島嶼）部 …スマトラ島・ジャワ島の沿岸部に港市国家、ジャワ島内陸では水稻耕作も発展

ベトナム地域の歴史

- * 4 _____ 文化…1924 年ベトナム北部で発見の青銅器・鉄器文化。：権威の象徴として 5 _____ の出土
- * 秦始皇帝…ベトナム地域まで支配とされるも不明。現在の中国の広東省に南海郡設置



1. メコン 2. チャオプラヤ 3. イラワディ 4. ドンソン 5. 銅鼓 6. 南越 7. ハノイ 8. 日南 9. 徴 10. 光武帝 11. 安南都護府
12. チャンパー 13. チャム 14. 林邑 15. 占城 16. 李朝大越 17. 陳 18. チュノム<字喃> 19. 黎 20. 朱子 21. 西山
22. 阮朝越南 23. 阮福映 24. ピニョー 25. フェ 26. 越南

東南アジア地域の特徴

* 海上交易で繁栄

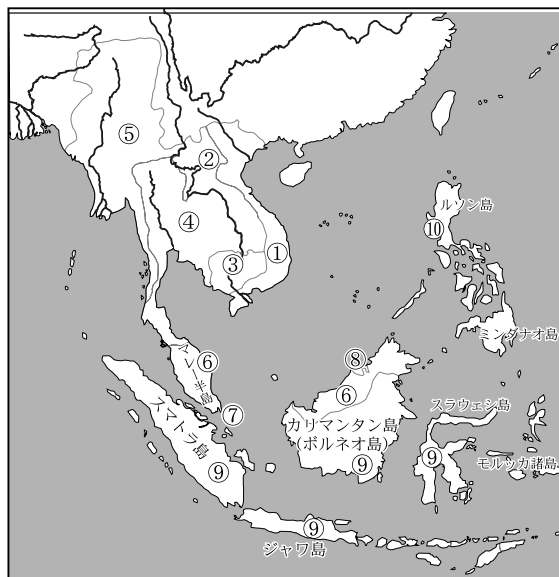
- ・ **香辛料** (胡椒など) ・ 香木 (沈香・白檀など) の特産品の原産地
- ・ インド洋と南シナ海を結ぶ、**海の道**の交易の要衝

* 国家の類型

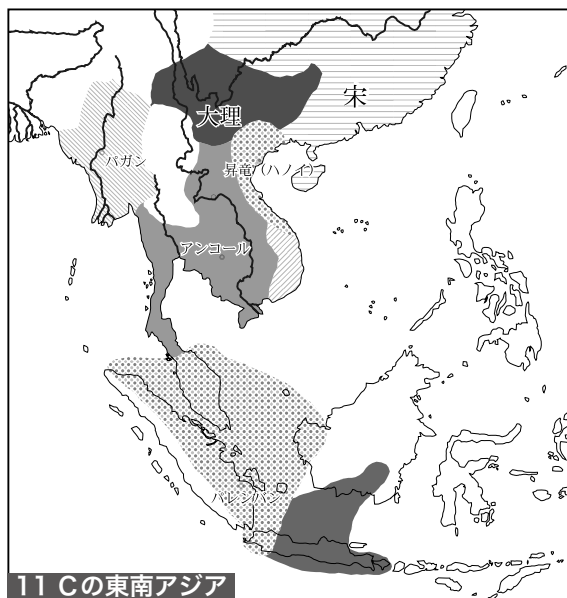
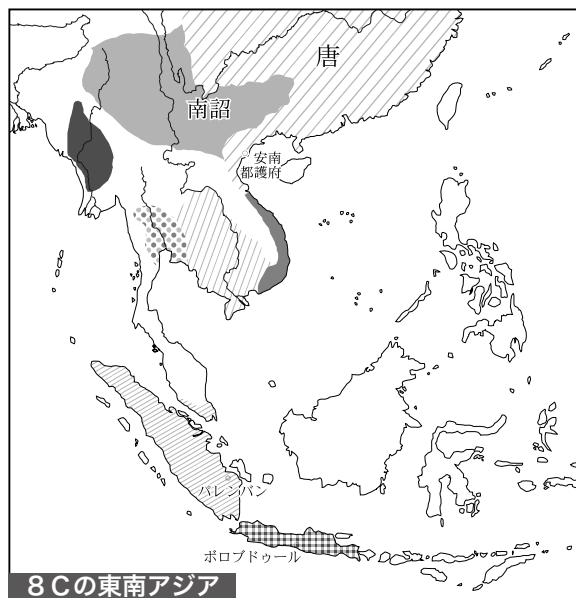
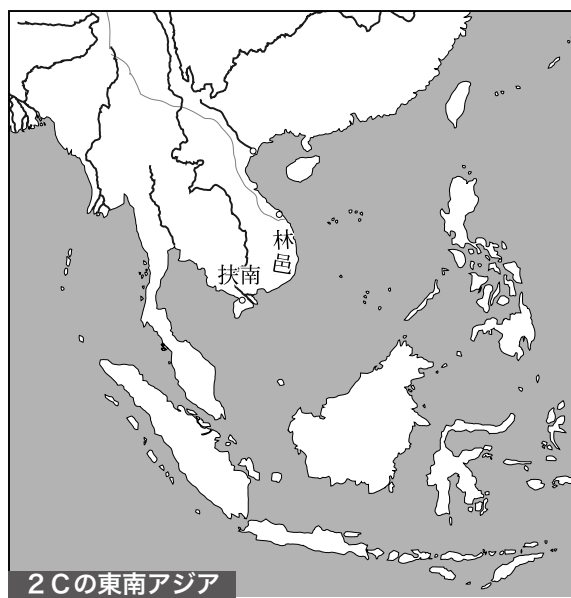
- ・ **港市国家**…沿岸部に成立した都市国家で、交易で繁栄→河川を通じ内陸の農耕国家と結合することも
- ・ 農耕国家…7世紀頃より灌漑網整備され、水稻耕作を基盤にインドシナ半島内陸部の大河の流域に成立

* 宗教

- ・ **大乘仏教** シュリーヴィジャヤやシャイレンドラで信仰、現在はベトナム北部で信仰
- ・ **ヒンドゥー教** アンコール朝のアンコールワットはヒンドゥー教寺院として建立
ジャワ島のクディリ、シンガサーリ、マジャパイトはヒンドゥー教王国
- ・ **上座部仏教** モン人が受容し、ビルマのパガン朝で信仰→ベトナムを除くインドシナ半島に普及
- ・ **イスラーム教** 13世紀以降スーフィーの布教により諸島部に普及、マタラム、バンテン、アチェ
- ・ **キリスト教** 16世紀以降スペインがルソン島中心にフィリピンに布教



- ①ベトナム
- ②ラオス
- ③カンボジア
- ④タイ
- ⑤ビルマ
- ⑥マレーシア
- ⑦シンガポール
- ⑧ブルネイ
- ⑨インドネシア
- ⑩フィリピン



カンボジアの歴史

- 1-2 C～7 C半ば
1 …メコン川下流域にインド人の王が²_____人支配し成立。インド・中国と交易
…インド文化の影響、外港オケオよりローマの金貨と漢の鏡出土
- 6 C～
3 …メコン中流域に²_____人建国、南下し扶南を滅ぼす
…ヒンドゥー教受容。メコン河の水稲耕作背景に繁栄
- 7～8 C沿岸の水真臘と内陸の陸真臘に分裂
 - 9世紀初にジャヤヴァルマン2世が国内を統一しアンコール朝（802～1431）を開く
 - 12 C～13 C初にかけ、インドシナ半島全域を版図に全盛も、タイ族の南下に圧迫され衰退
 - ⁴_____…12 Cにスールヤヴァルマン2世を祭るヒンドゥー寺院として建立
 - アンコール=トム…アンコール朝の都城で、全盛期のジャヤヴァルマン7世が完成

ラオスの歴史

* タイ人…中国の雲南地方が原住地、13 C雲南の大理国がモンゴルに滅ぼされ、インドシナ半島南下に拍車

- 14 C中頃～17 C末
ランサン王国 …インドシナ半島に南下したタイ人の一派ラオ人が14世紀に建国
…18世紀に3分裂し、タイのチャクリ朝の支配下に
- 1893年タイとフランスの協定でメコン川以東がフランス領→1899年仏領インドシナ連邦に編入

タイの歴史

- 1257～1438
5 朝 …タイ人がアンコール朝の支配から脱しタイ北部のスコータイ拠点に建国
…15世紀半ばにアユタヤ朝に併合される
- 3代のラーマカムヘン王が全盛で、上座部仏教を国教とし、クメール文字よりタイ文字作成
- 1351-1767
6 朝 …アンコール朝の領土を奪い、スコータイ朝を吸収したタイ族の国家
…アユタヤを王都、ビルマ人と抗争し、コンバウン朝に滅亡→タークシン王が撃退
- チャオプラヤー川を拠点に南シナ海とベンガル湾を結ぶ港市国家で、鹿皮や米を輸出
 - 16～17 Cの商業の時代に西欧諸国や日本と交易し、日本人町も建設、山田長政伝説
- 1782～
7 朝 …ラーマ1世（チャクリ）建国。都⁸_____で別称はバンコク朝・チャクリ朝
…ラーマ4世が英とボウリング条約（1855 不平等な通商条約）締結
- ラーマ5世（位 1868-1910、チェラロンコーン大王）がタイの独立維持と近代化に努める

ビルマの歴史

- * ⁹_____人…ビルマ・タイの沿岸地域に居住し、インド文化・上座部仏教受容
6～11世紀にチャオプラヤー川下流に¹⁰_____建国→アンコール朝の支配下に
- * ¹¹_____…イラワディ川中流域に4世紀成立のチベット・ビルマ系の国で、9世紀南詔の攻撃で衰退
- 1044～1287
12 朝 …ビルマ最初の統一王朝。チベット・ビルマ系で先住のモン人の文化受容
…¹³_____（小乗）仏教受容。ビルマ文字作成。元の侵入で滅亡
- 1287～1531
分裂時代 …モン人のペー朝など小国分立状態が続く
…13 C以降タイ族の侵入と抗争→インドシナ半島に上座部（小乗）仏教伝播
- 1531～1752
14 朝 …タウングー朝。イラワディ川流域を支配した統一王朝、都はタウングーよりペーへ
…ベンガル湾交易で繁栄、タイのアユタヤ朝と抗争、モン人の反乱で滅亡
- 1752～1886
15 朝 …アラウンパヤーがモン人勢力を撃退し、建国、別名¹⁶_____朝
…タイのアユタヤ朝を滅ぼし清軍撃退→一時清に朝貢
- インドのアッサム地方に進出し、イギリスと衝突→ビルマ戦争に敗北し、インド帝国に併合

諸島部の歴史

* 7世紀にマラッカ海峡利用本格下し、マレー半島とスマトラ島に港市国家、ジャワ島内陸部の開発も進む

* 初期は大乗仏教やヒンドゥー教が流入、13世紀以降スーフィーの布教によりイスラーム化が進む

7 C ~ 14 C

…スマトラ島中心にマラッカ海峡の海上貿易で繁栄の港市国家連合。都パレンバン

1

…2 **仏教** 繁栄。唐僧 3 滞在「**南海寄帰内法伝**」。

o 7世紀中国名は室利仏逝、10世紀以後ジャーヴァカ（三仏齊）、11世紀チョーラ朝の侵攻

8 C ~ 9 C

…ジャワ島中部に成立し、シュリーヴィジャヤと交流、古マタラム王国を従属させる

4

…5 建立（グプタ様式の仏塔）で有名な大乗仏教国

o 古マタラム王国（8 C ~ 10 C）…ジャワ島中部のヒンドゥー教国でプランバナン寺院群建設

928 ~ 1222

…ヒンドゥー教中心でサンスクリット文献のジャワ語訳、人形影絵芝居 7

6

朝

…ジャワ島東部、米と交換に入手したモルッカ諸島の香辛料や胡椒を輸出し繁栄

o シンガサリ朝（1222 ~ 1292）…クディリ朝を滅ぼす、元の使者を追い返し、元のジャワ遠征招く

1293 ~ 1530 頃

…シンガサリ朝への元遠征軍利用し建国→14 C シュリーヴィジャヤ滅ぼし全盛

8

…最後の**ヒンドゥー教** 大国も、16 C 初にイスラーム勢力に交易拠点を奪われ、衰退

14 C 末 ~ 1511

…**明** に朝貢、10 の基地→11 **教** に改宗、南シナ海とインド洋結ぶ

9

…港務長官シャーバンダルを置いて貿易を管轄（中国の市舶司と同様の役割）

1511 年 12 に滅→イスラームはスダマラ海峡利用の航路開発し対抗

16 C 末 ~ 1755

…ジャワ島中部の農耕地域を基盤としたイスラーム教国でオランダ東インド会社に対抗

13

…17世紀後半の貿易縮小で打撃を受け衰退

o 14 **王国**（1526 ~ 1813）…ジャワ島西端で、香辛料交易で繁栄のイスラーム教港市国家

o 15 **王国**（15 C 末 ~ 1903）…スマトラ島北端でオスマン帝国と交易したイスラーム教国家

…**アンボイナ事件**（1623）でイギリス排除。ポルトガルより**マラッカ**（1641）

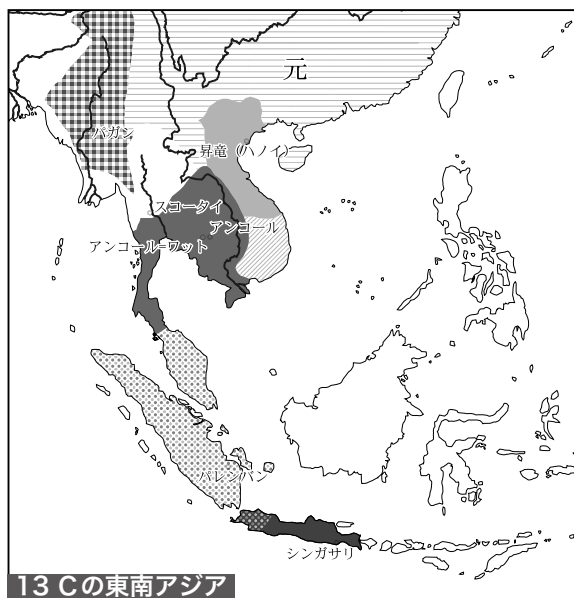
オランダ領東インド

…ジャワ島**バタヴィア**を香辛料貿易の拠点→18世紀より領域支配と植民地経営へ

o 1755 年ジャワ島のマタラム王国を滅、1904 年スマトラ島のアチェ王国を滅

o ジャワ島の中部・東部の低地で砂糖（中国人による製糖業を導入）、西部の高原でコーヒー生産

o **強制裁培制**（1830-1870）…ジャワ島で総督ファン・デン・ボス実施。コーヒーや砂糖など強制裁培



1. シュリーヴィジャヤ 2. 大乗 3. 義浄 4. シャイレンドラ 5. ボロブドゥール 6. クディリ 7. ワヤン 8. マジャパヒト 9. マラッカ
10. 鄭和 11. イスラーム 12. ポルトガル 13. マタラム 14. パンテン 15. アチェ

東南アジア

- * 地域…大陸部（インドシナ半島部分）と諸島（島嶼）部（マレー半島・スマトラ島・ジャワ島など）に大別
 - o 大陸部…沿岸地域と河川の流域（4世紀以降サンスクリット・ヒンドゥー教と仏教などインド化）に国家の形成
 - ・ 1 _____ 川…東南アジア最大の国際河川で、1 C 下流に扶南、6 C 中流に真臘形成
 - 13 世紀以降上流はタイ人が進出しタイ・ラオスの領域、デルタ地域はベトナム進出
 - ・ 2 _____ 川…タイ最大の河川、別名チャオプラヤ川で6世紀モン人のドヴァーラヴァティー成立
 - 13 世紀以降流域にタイ人が南下
 - ・ 3 _____ 川…4 世紀にインド化でピュー成立、11 世紀にビルマ人のパガン朝が領域を統一
 - o 諸島（島嶼）部 …スマトラ島・ジャワ島の沿岸部に港市国家、ジャワ島内陸では水稻耕作も発展

中国文化の影響

ベトナム北部は中国の文化圏

- * 4 _____ 文化…1924 年ベトナム北部で発見の青銅・鉄器文化。中国の影響と土着要素：5 _____ 特徴
- * 秦始皇帝…ベトナム地域まで支配とされるも不明。現在の中国の広東省に南海郡設置
- * 6 _____ (前 203 ～前 111) …秦末の混乱期に漢人の趙佗が建国。広東・広西からベトナム北部支配
 - 前 111 ～後 220 … 7 _____ が南越滅ぼし支配下。現 8 _____ に交趾郡。現ユエに 9 _____ 郡設置
- 漢の支配 …40-43 年に 10 _____ の反乱→**光武帝鎮圧**。166 年 11 _____ の使者

インドとの交易（1～2 C）

インドシナ半島沿岸にインド人商人往来

- 1-2 C～7 C 半ば …メコン川下流域にインド人の王が 13 _____ 人支配し成立。インド・中国と交易
- 12 _____ …インド文化の影響、外港オケオよりローマの金貨と漢の鏡出土、14 _____ に滅亡
- 2 C～17 C …192 年に 16 _____ 人が後漢より独立して建国。中国名 17 _____ →環王→18 _____
- 15 _____ …インド文化受容し、海上交易で繁栄の港市国家連合。cf.11 C 中国へ占城稻の伝来

インド化・唐帝国と交易（7～9 C）

マラッカ海峡航路の発達と、インドより水稻耕作の伝来で各地に国家

- * イスラーム商人がマラッカ海峡を通行し、唐帝国と交易、東南アジア諸国と唐との朝貢貿易も盛ん
- 6 C～15 C …メコン中流域に 13 _____ 人建国。扶南を滅ぼす
 - 14 _____ …ヒンドゥー教受容。メコン河の水稻耕作背景に繁栄
- 7 C～14 C …スマトラ島中心にマラッカ海峡の海上貿易で繁栄の港市国家連合。都パレンバン
 - 19 _____ … 20 _____ 繁栄。7 c に唐僧 21 _____ 滞在「22 _____」
- 8 C～9 C …ジャワ島中部に成立し、シュリーヴィジャヤと交流
 - 23 _____ … 24 _____ 建立（グプタ様式の仏塔）で有名な大乘仏教国
- o ドヴァーラヴァティー…タイ沿岸からチャオプラヤ川流域のモン人の港市国家連合
- o ピュー…4 世紀にインド化の影響で成立、イラワディ川流域の諸都市の連合、9 世紀南詔の攻撃で衰退

中国商人進出（10～13 C）

ジャンク船の改良で中国商人が南シナ海・インド洋貿易に進出

- * 港市国家は中国向け特産品の生産地も支配し、輸出で繁栄
 - o 占城…ベトナム南部で沈香の輸出で繁栄
 - o シュリーヴィジャヤ（ジャヴァカ、三仏齊）…マラッカ海峡の交易支配し中国に朝貢
 - o 25 _____ 朝（ヒンドゥー文化、ワヤン〔影絵〕発展）・シンガサリ朝…ジャワ島で香辛料貿易
- * インドシナ半島内陸部では灌漑農業が発展、ベトナム・ビルマの原型成立
 - 1010～1225 …唐滅亡後の五代十国時代に漢民族支配から独立後、短期王朝興亡
 - 26 _____ …初めての本格的王朝。李公蘊建国。都ハノイ（昇竜）。宋の侵入撃退
 - 1044～1287 …ビルマ最初の統一王朝。チベット・ビルマ系で先住の 28 _____ 人の文化受容
 - 27 _____ … 29 _____ 仏教受容。ビルマ文字作成。**元**の侵入で滅亡
 - o 真臘国…アンコール朝の下で全盛、30 _____ (ヒンドゥー寺院)、アンコール・トムを造営

1. メコン 2. メナム 3. イラワディ 4. ドンソン 5. 銅鼓 6. 南越 7. 武帝 8. ハノイ 9. 日南 10. 徴姉妹 11. 大秦王安敦
 12. 扶南 13. クメール 14. 真臘 15. チャンパー 16. チャム 17. 林邑 18. 占城 19. シュリーヴィジャヤ 20. 大乘仏教 21. 義淨
 22. 南海寄帰内法伝 23. シャイレンドラ 24. ボロブドゥール 25. クディリ 26. 李朝大越国 27. パガン朝 28. モン 29. 上座部
 30. アンコール=ワット

領域国家成立(13C～15C) — 13Cのモンゴル侵入とタイ人南下の影響で東南アジア社会も変動

ビルマ	1287	…元の遠征軍に バガン朝 滅亡→ペグー朝など小国分立状態が続く(1287-1531)
	バガン朝の滅亡	…13C以降タイ族の侵入と抗争→インドシナ半島に上座部(小乗)仏教伝達
ベトナム	1531～1752	…タウングー朝。イラワディ川流域を支配した統一王朝、都はタウングーよりペグーへ
		…ベンガル湾交易で繁栄、タイの アユタヤ朝 と抗争、モン人の反乱で滅亡
タイ	1225～1400	…李朝にかわった大越国の王朝。 モンゴル の侵入を3度撃退
		… 科挙 整備と文字に <u>3</u> <字喃> 使用。「大越史記」の編纂
インド	1427-1789	… 明 より 黎利 が独立し建国。都 ハノイ (東京) <u>5</u> を官学
		… <u>6</u> を征服しベトナム統一も 北鄭氏・南阮氏(広南国) に分裂
ジャバ	1257～15世紀	…中国 雲南 地方より南下のタイ族建国(雲南の 大理国 の滅亡で南下に拍車)
		…カンボジア・ビルマと抗争。ラーマ・カムヘン王が 上座部仏教 受容し、タイ文字作成
ジャバ	1351-1767	…アンコール朝の領土を奪い、スコータイ朝を吸収したタイ人の国家
		…アユタヤを王都、ビルマ人と抗争し、コンバウン朝に滅亡
ジャバ	1293～1530頃	…ジャワでクディリ朝(928-1222) シンガサーリ朝(1222-1292)とヒンドゥー王朝
		…シンガサーリ朝への元遠征軍利用し建国→14Cシュリーヴィジャヤ滅ぼし全盛

商業の時代(16C～17C) — イスラーム・ヨーロッパ・中国・日本の商人来航し国際貿易の中心

10	14C末～1511	… 明 に朝貢し <u>11</u> の基地→ <u>12</u> 教に改宗、南シナ海とインド洋を結ぶ
		…1511年 <u>13</u> に滅→イスラームはスダ海峡利用の航路開発し対抗
14	<u>14</u>	王国 (16C末～1755) …ジャワ島中部の内陸農耕地域を基盤としたイスラーム教国
	<u>15</u>	王国 (1526～1813) …ジャワ島西端で、香辛料交易で繁栄のイスラーム教港市国家
16	<u>16</u>	王国 (15C末～1903) …スマトラ島北端でオスマン帝国と交易、イスラーム教港市国家
		*ビルマのトゥングー朝、タイのアユタヤ朝、ベトナムの鄭氏、阮氏(広南国)も交易活動
17		*ヨーロッパ商人の来航…大航海時代背景
		oポルトガル商人… <u>17</u> 占領し、モルッカ(マルク)諸島に進出して香辛料貿易
18		oオランダ商人…ジャワ島の <u>18</u> 拠点、1623年 <u>19</u> 事件でイギリス排除
		oスペイン商人…フィリピンに <u>20</u> 建設(1571)、 ガレオン船 でアカプルコ貿易、メキシコ銀流入
21		*中国商人・日本商人の来航 明の海禁緩和で、東南アジアで出会い貿易(日本の <u>21</u> 貿易)

再編の時代(18C～19C) — 諸島部はオランダの植民地化、大陸部はほぼ現在の領域に再編

- *日本の鎖国と清朝の遷界令で17世紀後半に商業の時代の終焉、17世紀末には香辛料価格が暴落
 - oオランダはコーヒー栽培など植民地経営に転換し、ジャワ島の征服を進める
- *大陸部は18世紀の中国の人口増を受け、中国向け米の輸出が増大、ベトナム・ビルマ・タイの再編

22	1752～1886	…アラウンパヤーがモン人勢力を撃退し、建国、別名 <u>23</u> 朝
		…タイの <u>8</u> を滅ぼし清軍撃退→一時清に朝貢
24	1782～	…ラーマ1世(チャクリ)建国。都 <u>25</u> でバンコク朝・チャクリ朝
		…ラーマ4世が英とボウリング条約(1855 不平等な通商条約)締結
26	1789-1802	…1777 中部地域で西山党の乱を起こした阮文岳・文呂・文恵3兄弟が建国
		…阮氏、鄭氏を滅ぼし、黎朝を支持した清の介入を撃退→安南国王として冊封
27	1802-1945	…阮氏の一族 阮福映 が仏宣教師 ピニョー の支援で西山朝倒し建国。都 フエ
		…国号を 越南 として、清に朝貢、2代帝よりキリスト教弾圧策

1. トウングー朝 2. 陳朝 3. チュノム 4. 黎朝 5. 朱子学 6. チャンパー 7. スコータイ朝 8. アユタヤ朝 9. マジャパヒト
 10. マラッカ王国 11. 鄭和 12. イスラーム 13. ポルトガル 14. マタラム 15. バンテン 16. アチェ 17. マラッカ 18. バタヴィア
 19. アンボイナ 20. マニラ 21. 朱印船 22. コンバウン朝 23. アラウンパヤー 24. ラタナコーシン朝 25. バンコク 26. 西山朝
 27. 阮朝

【インドの宗教について】

* バラモン教

ヴェーダを根本経典とし、**輪廻転生**の理論によってカースト制度を正当化し、**祭式中心主義**をとってその維持につとめた。すなわち、前世の行いが良かった人間がバラモンに生まれ、悪かった人間がシュードラ、あるいは最も差別される不可触民となるのであるから、バラモンに生まれればそれだけで尊く、不可触民に生まれた者はそれだけで卑しいのであると。

このようなバラモン教の教えにあきたりない人々展開したのが、個人の根本原理**アートマン**（我）と宇宙の根本原理**ブラフマン**（梵）の本質的同一性を唱え、その真の認識＝悟りに到達することで輪廻から脱しようと説く**ウパニシャッド**（奥義書）哲学である。

* カースト制

ポルトガル人がインドの身分制を総称して言った言葉。カーストとしてひとまとめに表現される身分制度は本来は**ヴァルナ**と、職業別・出身別の社会集団として数千に細分化された**ジャーティ**からなる。このうち人々の生活を現実には律しているのはジャーティで、他のジャーティとの結婚や会食の禁止などのタブーを持つ。日本語でカーストという場合は、このジャーティを指すことが多い。ヴァルナはジャーティの上位概念として理解されるが、ジャーティには4種のヴァルナに含まれず、最も差別される存在としてアウト＝カースト（不可触民・アンタッチャブル・ハリジャン [ガンジー命名]）が存在する。

* 菩薩

最高の悟りを開いて、仏になろうと発心して、修行に励む人。はじめは前世で修行者だった釈迦をさす名称であったが、のちに大乘仏教では自己の悟りのみを目指す声聞・縁覚に対し、自利利他の両者を目指す大乘の修行者をいう。弥勒・観世音・地藏などの高位の菩薩は仏に次ぐ存在として信仰される。（大辞林）

* 大乘仏教

大きな乗り物の意。それまでの仏教を個人の救済を目指すもの（小乗）と批判し、集団の救済（大乘）を目的としたところに特徴がある。クシャーナ朝とサータヴァーハナ朝が併存した時代に南インドのバラモン出身の僧**ナーガルジュナ**（竜樹）によって教学が確立されたが、理論展開の基礎には東西交流を通じて流入したギリシア哲学の論理が導入された。大乘仏教の仏典の言葉は、バラモンたちが用いたサンスクリットである。グプタ朝期にはナーランダ僧院が設立され、教学研究が盛んになったが、大乘仏教は高度な学問とみなされてインドでは宗教としての性格を薄め、冠婚葬祭の儀礼をバラモンにまかせて関与しなかったこともあって、民衆から遊離した。

* 密教

ヒンドゥー教が民衆の支持を集めるなか、大乘仏教にもヒンドゥーの神々や、人間の活動力と呪術を重視するタントラ信仰を取り込むことで対応しようとする動きが生じた。そうして発展したのが密教である。大日如来が説く絶対真理の教えであり、特に祈祷と、そのための呪文や儀式を重視する。ともに8世紀に日本とチベットに伝わり、日本の真言宗（空海が唐よりもたらす）と**チベット仏教**に継承された。一方で、インドにおいては、ヒンドゥー教に接近したことで、かえってヒンドゥー教に吸収される結果をもたらしたと評価されることが多い。インドにおける仏教の衰退要因は以下と考えられる。

- ・ 7～8世紀の政治混乱で、北インドの内陸交易が衰退し、仏教に寄進してきた大商人層が没落した。
- ・ 民衆の冠婚葬祭の宗教儀礼に関与しなかったため、冠婚葬祭に関わるヒンドゥー教の台頭を許した。
- ・ ヒンドゥー教のバクティ運動の攻撃を受けた。
- ・ 仏教がヒンドゥー教に接近したことで、かえってヒンドゥー教に吸収される結果となった。

第四章 東アジア世界の発展

この章で学ぶこと

*王朝の成立と秦の統一・漢の時代・魏晉南北朝・隋唐帝国・宋と北方民族

ユーラシア大陸の東方において文明の中心であり続けたのが中国であり、東アジア地域には漢代から清代まで、朝貢冊封体制という中国を中心とする国際体制が成立する。また、中国王朝の国家体制も秦の始皇帝によって採用された中央集権と官僚統治システムが、基本的には最後の王朝の清まで継承されている。

しかし中国の社会は、春秋戦国時代、魏晉南北朝時代、五代十国時代のような内乱や異民族侵入の混乱の時代に、大きく変化している。

黄河文明で成立した邑は、氏族共同体による共同農業をその存立基盤においていた。邑の連合体として成立した古代王朝の周では、血縁秩序を背景とする封建制を統治制度として採用したが、春秋戦国期の鉄製農具と牛耕の普及は、家族単位の農業経営を可能として氏族共同体と血縁秩序の解体を促した。富国策として諸侯が推進した治水灌漑事業は、多くの新開地を生み出したが、新開地への入植は家族単位で進められ、土地を与えられた農民は、そのかわりに納税と軍役を負担することで国家の直接支配下に入った。これらの新開地は県として国家の直轄地となり、従来の邑も県に再編され、封建制にかわって郡県制が普及した。国家が自営農民に土地を与え、灌漑事業などで保護するかわりに、納税と軍役を負担させる国家経営のあり方がこうして確立した。

こうした改革にいち早く取り組んだ秦が戦国時代に台頭し、前 221 年に中国を統一した。秦は性急な中央集権政策への反発から短期で滅亡したが、秦を継承した漢帝国は、前 202 年から後 220 年まで 4 世紀に渡って存続する。しかし、漢帝国の時代には既に、一族による土地経営によって耕地を集積した地方豪族が台頭して自営農民の没落を促し、自営農民に基盤を置く国家経営を蝕み始めていた。魏晉南北朝期には江南を中心に豪族による荘園経営が進み、有力豪族は九品中正法を通じて門閥化し、貴族階層を形成する。一方、五胡十六国の時代に異民族の侵入が続いた華北を統一した北魏は、漢民族に同化しつつ、土地私有拡大への対抗策として先行する魏の屯田制や西晋の占田・課田法を継承し、均田制を確立した。均田制は、西魏で府兵制の兵制、隋で租庸調制の税制が加えられて唐帝国の基盤となる。

しかし、安史の乱以降は両税法の施行とあいまって、貴族と自営農民が没落して新興地主が台頭し、国家経営の基盤は小作人佃戸に土地を貸与し、小作料を徴収する地主層へと移行していった。中国社会の支配層もまた、唐末五代の武断政治期に貴族が消滅し、宋の文治主義で地主層が士大夫（読書人）の中核となったことで、貴族から地主へと交替するのである。

この章では、中国文明の誕生から邑制国家の成立、自営農民に基盤を置く領域国家の成立とその変遷の時代として黄河文明から宋代までの中国を中心に東アジア史を整理していく。

中国王朝史概略

殷

- * 青銅器文明・都市国家の連合体
- * 都 商→殷墟
- * 甲骨文字～神権政治に利用

前11 C

西周

- * 都 鎬京
- * 封建制度←宗族・宗法の血縁秩序
- 犬戎の侵入

前770

東周

- * 周室の東遷で都 洛邑
- * 尊王攘夷で諸侯台頭し春秋五霸
- 前403 晋の分裂→韓・魏・趙の成立
- * 下剋上で戦国の七雄 {燕齊楚秦韓魏趙}
- * 鉄製農具と牛耕の普及で生産性増大
- * 諸子百家の活躍

前221

秦

- * 中国最初の領域国家・統一王朝
- * 法家の李斯→郡県制・焚書坑儒
- * 万里の長城・南海郡

前206

前202

前漢

- 陳勝・呉広の乱 (前209-前208)
- ～高祖劉邦 (項羽に勝利)・都 長安
- * 郡国制→呉楚七国の乱後事実上郡県制
- * 武帝の政治
- 張騫大月氏へ・匈奴討伐→敦煌郡設置
- 南越征服→南海郡, 衛氏征服→楽浪郡
- 均輸法・平準法・塩鉄酒専売
- 董仲舒献策で儒教官学・郷挙里選

後8

新

- 宦官・外戚の横暴
- ～王莽
- * 周礼・井田制を規範の復古改革

23
25

後漢

- 赤眉の乱 (18-27)
- ～光武帝劉秀・都 洛陽
- 西域都護班超, 甘英の大秦国派遣
- 大秦国王安敦の使者日南へ
- 党錮の禁←官僚と宦官の対立

220

三国

- 黄巾の乱 (184)
- ～魏曹操→文帝曹丕・都 洛陽
- * 屯田制・九品中正 (官人) 法
- ～呉 孫権 都 建業～蜀 劉備 都 成都

265

280

西晋

- ～武帝司馬炎・都 洛陽
- * 占田法・課田法
- * 八王の乱

317 316

東晋

- 五胡の侵入
- ～元帝司馬睿・都 建康
- ～華北で五胡活躍, 仏教の普及
- * チベット系氏・羌; 蒙古系羯・鮮卑・匈奴

南朝・宋・齊・梁・陳

581

589

隋

- ～北朝 北魏→西魏・東魏→北周・北齊
- * 寇謙之の道教大成
- * 孝文帝
- 均田制・三長制→府兵制 (西魏)
- 漢化政策・平城から洛陽に遷都
- ～六朝文化 {王羲之・顧愷之・陶潛}
- ～文帝楊堅・都 大興城
- 租庸調制・均田制・府兵制・科挙
- * 煬帝の大運河・高句麗遠征

618

唐

- ～高祖李淵・都 長安
- * 太宗李世民 貞観の治→三省六部一台
- * 高宗 領土最大→都護府
- * 則天武后の周建国
- * 玄宗 開元の治, 募兵制→安史の乱
- 節度使割拠・佃戸制荘園→兩税法

907

五代

- 黄巢の乱 (875)
- ～後梁 朱全忠 都 開封
- * 武断政治 {後梁 後唐 後晋 後漢 後周}
- * 後晋が燕雲十六州を遼へ割譲

960

北宋

- ～太祖趙匡胤・都 開封
- 文治主義・殿試・禁軍
- * 澶淵の盟 (1004) で遼と和
- * 王安石の新法→旧法党司馬光と党争

1127

南宋

- 靖康の変～徽宗・欽宗金に連行
- * 高宗・都 臨安 (杭州)
- 主戦派 岳飛 vs 和平派 秦檜
- * 朱子学 (宋学) 成立

1234

1271

元

- ～世宗フビライ 都 大都
- * モンゴル人・色目人→漢人→南人
- * ジャムチの駅伝制・パスパ文字
- 紅巾の乱 (1351-66)
- * 太祖洪武帝朱元璋・都 金陵
- 中書省廃止し六部直轄
- 里甲制・賦役黄冊・魚鱗図冊・衛所制
- 六論・朱子学の官学化
- * 靖難の役→都 北京
- * 永楽帝 鄭和の遠征・内閣大学士
- * 土木の変→北虜南倭→万暦帝期に衰退

1368

明

- 李自成の乱
- * ヌルハチ→ホンタイジ→順治帝
- * 康熙帝 三藩の乱・ネルチンスク条約
- * 雍正帝 軍機処・キャフタ条約
- * 乾隆帝 理藩院・新疆支配

1616

清

1644

柔然

突厥

吐蕃

ウイグル

契丹・遼

タングート・西夏

女真・金

タタール

オイラート

チャハル

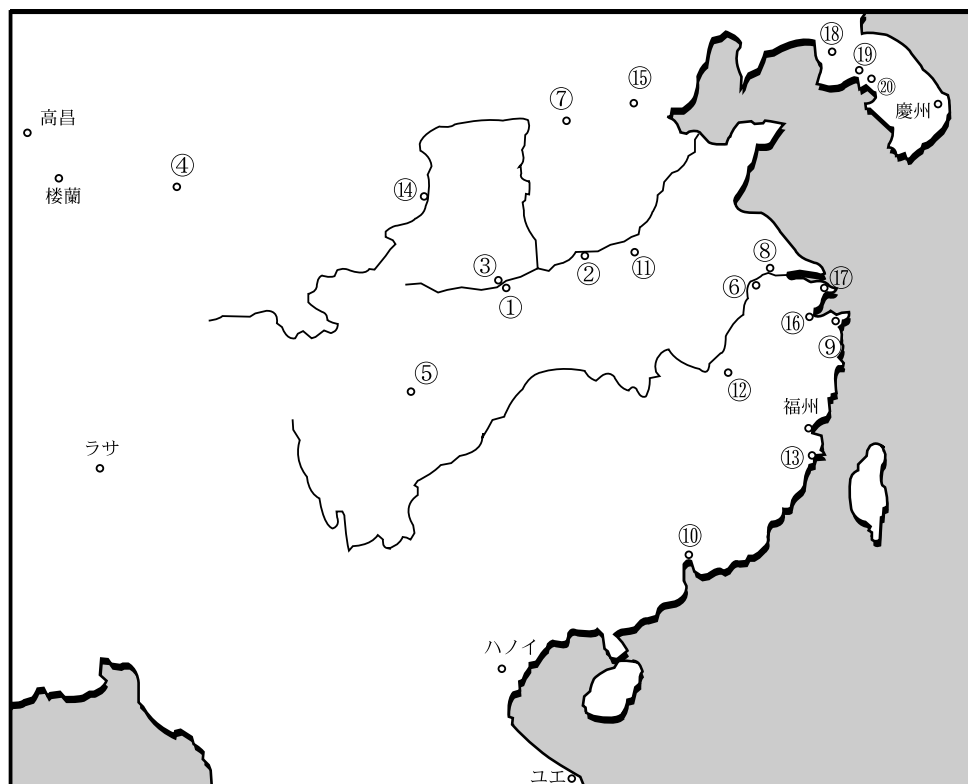
ジュンガル

鮮卑

犬戎

匈奴

【中国王朝重要都市】



- ① 鎬京→長安 …陝西省渭水盆地（漢中）の中心都市：西周の都：前漢で長安と改名して都隋では大興城として都：唐で 100 万都市として繁栄：現西安付近
- ② 洛邑→洛陽 …東周の都：後漢の都洛陽：魏・西晋・北魏（孝文帝漢化政策で）の都
- ③ 咸陽 …秦の都：法家の商鞅を起用した孝公が前 4 C 中頃遷都：始皇帝の阿房宮建設
- ④ 敦煌 …甘肅のオアシス都市で絹の道の中国側門戸：武帝設置：石窟寺院も有名
- ⑤ 成都 …四川盆地の中心都市：蜀の都：別名益州で、唐代後半“揚一益二”の繁栄
- ⑥ 建業→建康→南京 …江南の中心都市で呉で建業で都：東晋で建康と改名し以降南朝の都：明初金陵として都→北京遷都後は南京（応天府）と改名し副都
- ⑦ 平城 …山西省の中心都市：北魏初期の都で現大同：近郊に雲崗石窟寺院
- ⑧ 揚州（江都） …大運河に沿う交通の要衝：隋の副都江都：製塩業の中心で明清の新安商人拠点
- ⑨ 明州→寧波 …遣唐使・日宋貿易の拠点：明以降寧波（ニンポー）
- ⑩ 広州 …唐代玄宗によって初めての市舶司が置かれ、アラブ人居住区蕃坊も設置。南宋では泉州に繁栄を奪われるも、清では公行が設置され唯一の開港都市
- ⑪ 開封 …大運河の要衝として洛陽の繁栄を奪い、五代（後唐を除く）・北宋で都
- ⑫ 景德鎮 …製陶業の中心都市：宋の青磁・白磁、明の染付・赤絵有名
- ⑬ 泉州 …南宋から元代の最大の貿易都市：マルコ＝ポーロはザイトンとして紹介
- ⑭ 興慶 …西夏の都
- ⑮ 燕京→大都→北京 …金の都燕京、別称は中都（中都大興）→元の都大都→明初北平→遷都し北京
- ⑯ 杭州（臨安） …大運河の南端：南宋の都として臨安：マルコ＝ポーロは世界一の都市、キンザイ
- ⑰ 上海 …宋末期に市舶司が置かれ発展：清末南京条約で開港後は中国経済の中心
- ⑱ 平壤 …衛氏朝鮮の都として王陰城：武帝楽浪郡設置：高句麗の都
- ⑲ 開城 …高麗の都
- ⑳ 漢陽（漢城・京城） …李朝（朝鮮王朝）の都：ソウル、日本統治下で京城

古代東アジア世界

邑制国家から領域国家へ

夏

前 20 C

…伝説の中国最古の王朝、最初の帝王堯が舜に禅譲、舜の禅譲を受けた禹が夏王朝を創始と伝わる

* 都市国家 1 _____ の連合体として王朝発生

殷

前 11 C

…確認できる最古の王朝、湯王が夏を滅ぼして建国と伝わる

* 前 1500 年頃都 2 _____ 邑 (現河南省安陽市小屯村)・遺跡を 3 _____

* 出土品 ○ 殉葬遺骨 ○ 亀甲・獣骨に刻まれた卜辞 (文字を 4 _____ 文字) …神権政治を証明

○ 青銅製の武器・祭器… 5 _____ 文明証明・青銅器に施された文字を金文

○ 真珠・子安貝 (貨幣として使用) …南方との貿易と交易の利益による強大化の証明

* 政治制度 6 _____ 政治…天帝を祭り、その意を占って統治

○ 邑の連合体である邑制国家で、配下の邑に対し、宗教的権威としてのぞむ

西周

…陝西省の 7 _____ 盆地 (秦以降関中と呼称) に拠点・殷に服属しその文化受容

武王

…牧野の戦いで殷の紂王を討つ (易姓革命に基づく放伐→理想は禅譲)

…都を 8 _____ (現西安付近) に定め、諸侯の統率者として華北支配

* 政治制度 9 _____ 制度で諸侯に封土を与え貢納・軍役の義務。諸侯→ 10 _____ ・大夫・士の家臣団

* 社会制度 ○ 11 _____ (血縁共同体) と 12 _____ (同姓不婚など定めた規則) で封建制強化

○ 農民は氏族共同体で土地を共有し、木や石の農具で共同農業、井田制の土地制 (伝説)

前 770

周室東遷…異民族犬戎が陝西・山西北部に侵入→都を洛邑へ

東周

春秋

…周王室は王として尊ばれ名目的な権威維持・孔子? の「春秋」(魯の国の年代記) より春秋時代

* 諸侯は尊王攘夷を唱え 13 _____ (会盟の指導者) の座を争う

→春秋五霸…齊 14 _____ ・晋 15 _____ ・楚荘王・秦穆公・宋襄公・越王勾踐・呉王夫差など

* 文化圏拡大…長江流域に呉・越・楚の建国

前 403

晋の分裂…韓・魏・趙の三国成立し実力万能の下剋上の時代に

戦国

* 周王室の権威は衰え、諸侯は王を称して争う→戦国の 16 _____ 燕・齊・楚・趙・魏・韓・秦

* 縦横家の策謀を記した「戦国策」よりこの時代を戦国時代

* 農業発展…前 4 世紀より 17 _____ 製農具・ 18 _____ 耕 (牛犁耕法) 普及し生産性増大、家族単位の農耕可能

* 青銅貨幣… 19 _____ 貨 (武器を模し燕・齊で使用)・ 20 _____ 貨 (農具を模し韓・魏・趙で使用)

21 _____ 錢 (中央に孔・秦で使用)・ 22 _____ 錢 (貝貨を模して楚で使用)

* 社会変化…諸侯領土拡大と開拓を行い郡県制実施→封建制崩壊

* 文化圏拡大…四川 (長江支流上流で秦支配)・東北地方西南部 (燕支配)・朝鮮半島北部

前 256

前 221

秦

…前 4 世紀孝公が 23 _____ の 24 _____ 登用し、什伍の制 (隣保制の村落制度) など富国強兵の改革

位前 221- 前 210 …秦王政・根拠地は陝西で都 26 _____ ・前 221 年中国統一

25 _____ …東アジア最初の領域国家 (統一国家) を建設

* 内政 ○ 27 _____ 制…全国を 36 郡 (後 48 郡) に分け皇帝任命の官吏による直接統治 (李斯の献策)

○ 三権分立…丞相 (行政)・太尉 (軍事)・御史大夫 (監察) に権限三分

丞相 ○ 統一…度量衡・車軌・貨幣は 28 _____ 錢 (銅錢)・文字は戦国の大篆を小篆に簡略化し統一

李斯 ○ 思想統制… 29 _____ 法治主義採用。 29 _____ (実用書のみ許可)・ 30 _____ の弾圧

* 外征 ○ 対匈奴…將軍蒙恬派遣の一方、燕・趙・秦の長城修築し 31 _____

○ 対南越方面…平定して南海 (現広東あたり)・象・桂林の三郡設置

* 阿房宮建設など大事業。始皇帝陵より兵馬俑発見され偉容明らかに

1. 邑 2. 商 3. 殷墟 4. 甲骨 5. 青銅器 6. 神権 7. 渭水 8. 鎬京 9. 封建 10. 卿 11. 宗族 12. 宗法 13. 覇者 14. 桓公
15. 文公 16. 七雄 17. 鉄 18. 牛 19. 刀 20. 布 21. 環 (円) 22. 蟻鼻 23. 法家 24. 商鞅 25. 始皇帝 26. 咸陽
27. 郡県 28. 半兩 29. 焚書 30. 坑儒 31. 万里の長城

東アジア地域の特徴

* 中国の南北…淮河で風土の特徴が二分

淮河以北…乾燥地域で黄河流域の華北では麦・粟・こうりゃんなどの畑作が中心、北方で遊牧地域と接する

淮河以南…湿潤地域で長江流域の華中と華南では稲作が中心、東南アジア・朝鮮・日本に続く

* 漢字文化圏…表意文字の漢字で結ばれた文化圏を形成

中国文化を生み出した人々は自らを文化的に優越する存在とみなす＝中華思想

異なる文化を持つ周辺の人々を夷狄（北狄・南蛮・東夷・西戎）として区別

→漢字文化や礼を学んで身につけると夷狄も中華に加わる→中華の範囲は時代とともに拡大

黄河文明

…前 4000-3000 年頃黄河の中・下流の黄土地帯で初期農耕発生

…土器は鼎など三足土器（鬲・鼎）が形態状の特徴

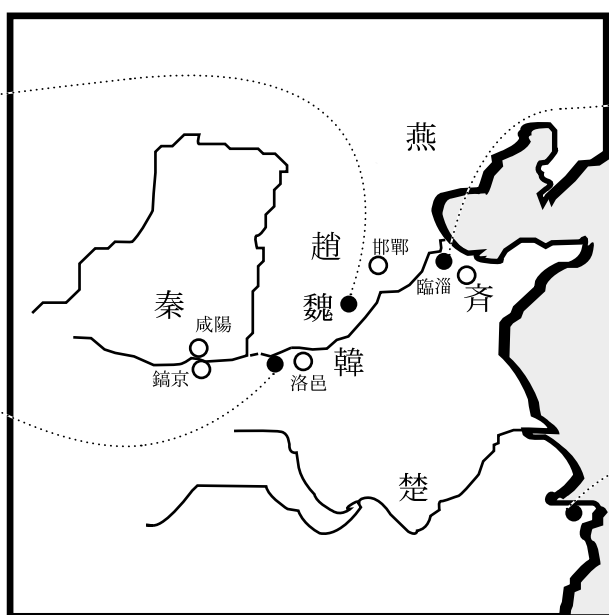
文化名	遺跡	土器	特徴
* 1 _____ <仰韶> 文化 ○ 前 4000 ～ 前 2000 年頃	* 河南省 2 _____ 陝西省 半坡遺跡 陝西省 姜寨遺跡	* 1 _____ ○ 西方初期農耕文化との関 連か（？）	* 黄河上・中流域 * 竪穴式住居；粟・黍栽培 * 犬豚を家畜
* 3 _____ <竜山> 文化 ○ 前 2000 ～ 前 1500 年頃	* 山東省 4 _____	* 3 _____ ○ その他粗製 5 _____ の 使用も盛ん	* 黄河下流中心に北は遼東半 島，南は長江流域に拡大 * 牛・馬を家畜；邑の成立
* 長江文化 ○ 前 4000 ～ 前 1500 年頃	* 浙江省 6 _____ ○ 長江流域で水稻耕作	* 彩陶文化と同時期に存在 * 四川で三星堆文化，江南で良渚文化が発展	

安陽県小屯村

- * 殷の都の商の遺跡殷墟
- * 亀甲や牛骨に甲骨文字
- * 青銅器や貝貨も出土

仰韶

- * 河南省
- * 彩陶文化の代表的遺跡
- * 彩文土器使用



竜山

- * 山東省
- * 黒陶文化の代表的遺跡
- * 三足土器の使用

河姆渡

- * 浙江省
- * 仰韶文化と同時期
- * 長江文明の存在確認

春秋期より、鉄製農具・牛耕が普及して生産性が向上し、家族単位での農業経営が可能となった。そのため、邑（城壁などで囲った集落）における氏族共同体の土地の共有と、共同耕作の伝統が崩壊した。また、諸侯は富国策で新開地の開発を進め、家族単位で入植した農民に土地を配分して独立自営農民とし、納税と軍役を負担させ、これらの土地を県として、役人を派遣して直接管理した。一方、変質した邑も、新たに県に再編していった。この結果、邑の授受と、氏族的な血縁秩序に基づいていた封建制は崩壊して郡県制が普及するとともに、唐中期まで続く自営農民を基盤とする国家体制が成立した。

秦漢帝国

秦

…始皇帝の死後、急激な中央集権化や大規模な外征・土木事業の負担に反感爆発

* 1 _____ の乱 王侯将相いざくんとぞ種あらんやをスローガン・大反乱の口火

前 206 → 楚の 2 _____ (一時天下に号令)・江蘇省沛の農民出身の劉邦 (前 206 年秦を滅ぼす)

前 202

前漢

位前 202- 前 195

…前 202 年垓下の戦いに勝利 (四面楚歌の故事)・都長安 (現西安付近)

3

制…秦の郡県制の失敗から採用

4

制(都の周辺)+

6

制(遠隔地に一族・功臣を王として封じる)

* 前 154 年 7 _____ の乱…皇帝の諸王抑圧政策に対しておこる→景帝鎮圧に成功し皇帝権力強化

位前 141- 前 87

…前漢第七代。推恩礼で諸王の権力奪い、漢王朝最盛期

8

…対外積極政策に転換する一方、大規模な土木・造営事業を展開

外征

9 _____ 討伐…前 2 世紀後半より衛青 (オルドス方面)・霍去病 (甘肅) 派遣

10 _____ など河西四郡設置… 11 _____ 方面に設け、西域への玄関口とする

12 _____ の 13 _____ 国派遣…アム川流域の国で匈奴挾撃の目的は失敗

but 西域の事情明らかになり、絹の道の開通の端緒・後烏孫にも派遣

14 _____ <フェルガナ> 遠征…シル川上流のイラン系の国で汗血馬目的に將軍李広利派遣

15 _____ 朝鮮征服… 16 _____ ・玄菟・臨屯・真番の四郡設置

17 _____ 征服…秦末の混乱期に趙佗建国 (前 207- 後 111)。 18 _____ 郡等 9 郡設置

財政

19 _____ ・鉄・酒専売 (桑弘羊の献策) し 20 _____ 錢に貨幣統一・税制は算賦 (軍用人頭税)

21 _____ 法…特産物を税として物納させ、不足地に転売して物価調整

22 _____ 法…物資を貯蔵させ、物価上昇時に放出し低落期に購入することで物価調整

その他商人への重税・売位・売官・贖罪など実施

→経済衰退し、社会不安増大

内政

23 _____ …地方から人材を推薦させる→豪族が中央官僚に進出・門閥貴族化の開始

24 _____ 儒学官学… 25 _____ の献策で 26 _____ 設置

* 限田…哀帝の時、土地の広さと奴隷の数を制限して豪族抑制を狙うも実施されず

* 外戚 (皇后や妃の親族)・ 26 _____ (去勢され、主に後宮で使用された男子) の抗争激化

後 8

新

位後 8-23

…前漢の外戚で儒学者として声望を集め、讖緯説を利用して即位し、復古政策

27 _____ …「周礼」にもとづき井田制をモデルに全土を王田として売買を禁止

23

* 28 _____ の乱 (18-27) きっかけに各地の豪族蜂起

25

後漢

位 25-57

…河南省南陽出身。豪族の援助で漢復興し都を 30 _____ 徳治主義で統治

…ベトナム徴姉妹の反乱鎮圧・倭の使者来中し金印授与 cf. 「漢委奴国王」

29

西域

経営

… 1 世紀後半- 2 世紀初め匈奴の分裂利用して北匈奴討伐

31 _____ が西域都護 (前漢宣帝時設置) に任じられ、カスピ海以東 50 余国を支配下

→部下の 32 _____ を大秦国 (ローマ) に派遣も失敗 (シリアまで到達)

* 166 年大秦王 33 _____ <マルクス・アウレリウス帝>の使者、現ベトナムの日南郡 (ユエ) に

* 166 年 34 _____ の禁… 26 _____ による儒教官僚の弾圧事件

* 184 年 35 _____ の乱… 36 _____ (病気治療の民間信仰) の 37 _____ 指導し混乱、

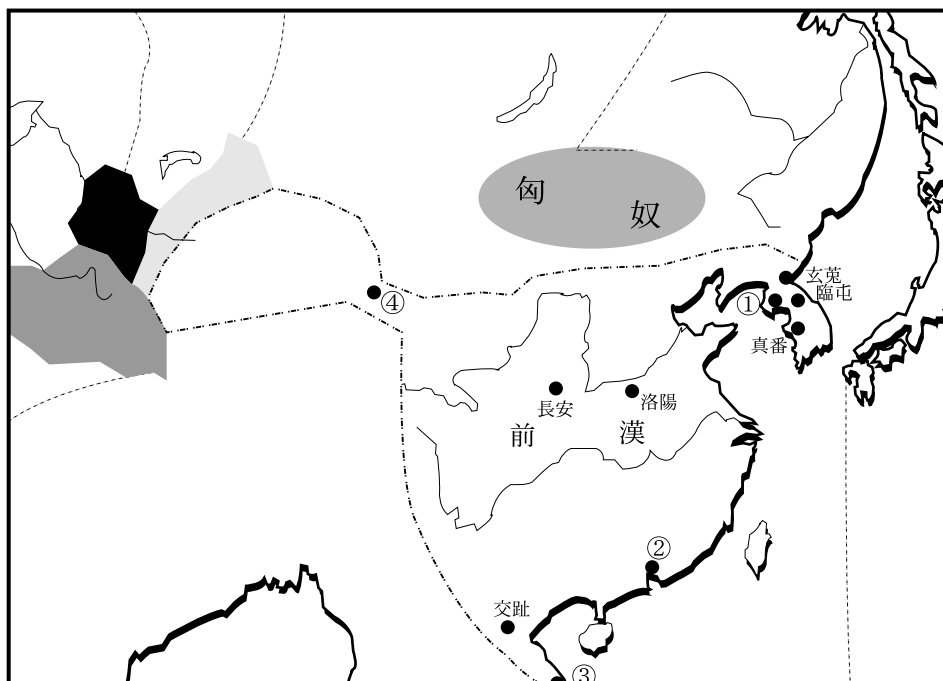
同時期四川では五斗米道が勢力→各地の豪族が私兵を率いて割拠・三国時代の混乱へ

1. 陳勝呉広
2. 項羽
3. 高祖 (劉邦)
4. 郡国
5. 郡県
6. 封建
7. 呉楚七国
8. 武帝
9. 匈奴
10. 敦煌
11. 甘肅
12. 張騫
13. 大月氏
14. 大宛
15. 衛氏
16. 楽浪
17. 南越
18. 南海
19. 塩
20. 五銖
21. 均輸
22. 平準
23. 郷挙里選
24. 董仲舒
25. 五經博士
26. 宦官
27. 王莽
28. 赤眉
29. 光武帝 (劉秀)
30. 洛陽
31. 班超
32. 甘英
33. 安敦
34. 党錮
35. 黄巾
36. 太平道
37. 張角

【漢と冊封体制の成立】

冊封体制…華夷秩序に基づき、中国の皇帝を君とし、周辺諸国の首長を臣とすることで成立する国際体制
王などの称号を与え（冊）、代わりに支配権を認め（封）ることで、**封建制**を対外関係に適用
中国の天子は朝貢使節を引見し冊文と印綬や返礼の品、場合によっては暦と律令を与えた
朝貢貿易…周辺諸国が中国の天子に貢ぎ物を送り（朝貢）、代わりに賜り物を受け取る形で成立する貿易

大宛 イラン系の国で汗血馬で有名 武帝，李広利に遠征させる	烏孫 月氏を圧迫し，天山山脈方面・イリ方面拠点 武帝，張騫を派遣（大月氏派遣後） →匈奴挾撃の提案に応じて漢と結ぶ	匈奴 前4 C頃スキタイの影響を受け騎馬民族化 陰山山脈付近拠点に戦国時代の中国に侵入 秦の將軍蒙恬に圧迫も，冒頓単于全盛 ○漢の高祖を平城付近の白登山に撃破 武帝や宣帝の圧迫でゴビ砂漠以北に後退 →前1 C東西分裂→漢と対立の西匈奴滅亡 →1 C東匈奴，南北に分裂 →漢と対立の北匈奴西走し，フン族 →漢に服属の南匈奴，光武帝時に長城以南 →4 C五胡の主力で西晋を滅ぼす
--	--	---



月氏 甘肅を拠点に東西貿易で繁栄 →匈奴に追われ天山方面イリ地方へ →烏孫に追われ，アム川上流へ →トハラを滅ぼし西北インドに進出 →1 Cにクシャーナ朝自立	南越 秦末混乱期に漢人趙佗建国 (前207-後111) 広東・広西地方からベトナム北部 高祖に南越王→武帝に滅亡 南海郡等9郡設置 光武帝の時徴姉妹の反乱	倭 唐までの日本の名称 「漢書地理志」に記録 「後漢書東夷伝」に光武帝 倭国王に金印授与の記録 →「漢委奴国王印」発見
--	--	---

- ①**楽浪郡**…前108年武帝が衛氏朝鮮を滅ぼして設置の朝鮮四郡の中心で現平壤付近
- ②**南海郡**…前111年武帝が趙佗建国の南越国を滅ぼし設置の九郡の中心。現広東付近
- ③**日南郡**…武帝設置の最南の郡で現ベトナムのユエ付近。後166年大秦王安敦の使者訪中
- ④**敦煌郡**…前121年武帝設置の河西四郡の一つで絹の道の中国側門戸。現在は甘肅省

魏晉南北朝時代

後漢

* 華北の**黄巾の乱**きっかけに群雄割拠し四川でも張陵創始の**五斗米道**が大勢力→道教の源流
→ 1 _____ が鎮圧して華北を支配→土地制に 2 _____ 制 (荒廃地に農民や兵士を入植)
→ 赤壁の戦いで**孫権・劉備**の連合軍に敗北し、天下三分の形勢

220

三国時代

魏 蜀 吳

位 220-226 …曹操の子。禪譲で漢より帝位を奪い**魏**創始・都 4 _____
3 _____ …官吏任用制に 5 _____ 法 (中央任命の**中正官**が九等に人物を評定)
位 221-223 …漢の一族を称して四川 (長江上流) に**蜀漢** (221-263) 建国・都 7 _____
6 _____ …宰相諸葛亮 (孔明) が魏に対抗→三国中最も早く、二代で魏によって滅亡
位 222-252 …江南 (長江中・下流) に**吳** (222-280) 建国・都 9 _____
8 _____ …六朝の初めで、江南の開発進む

265

280

西晉

位 236-290 …魏より帝位を奪い 265 年建国・都**洛陽**・280 年に**吳**を滅ぼし中国統一
10 _____ …土地制度は 11 _____ 法 (土地制限)・12 _____ 法 (官田支給)
* 13 _____ の乱 (290 年 -306 年) …帝位をめぐる一族の内乱で**五胡**の侵入
* 14 _____ の乱 (311-316) …**匈奴**の劉聰に洛陽陥落→316 年には長安も落ちて**西晉**滅亡

316

317

五胡十六国と東晉の時代

五胡十六国

五胡十六国 …モンゴル・トルコ系**匈奴**・15 _____・**鮮卑**；チベット系・16 _____・17 _____
…304 年の匈奴の劉淵の漢建国から 439 年の北魏統一までの戦乱時代
位 317-322 …西晉の一族で 317 年江南中心に東晉建国も皇帝権弱体・都 19 _____
18 _____ …華北から住民移住し、江南開発に拍車
* 淝水の戦い (383 年) …華北を統一して南下の前秦 (氐の建国) の苻堅を東晉撃破→南北分裂固定

420

南北朝時代

宋 齊 梁 陳 北魏 東魏 西魏 北齊 北周 隋

* 南朝…20 _____ (劉裕)・**齊**・**梁** (武帝蕭衍, 南朝の仏教最盛)・**陳**；**貴族政治**
o 土断法…東晉と宋で華北からの移住民を現住地の戸籍に登録
* 北朝…21 _____ による華北統一後を北朝；専制君主政治特徴
位 386-409 …内モンゴルを根拠地に 22 _____ の 23 _____ 氏を統一し、386 年建国
道武帝拓跋珪 …外モンゴルの高車を討ち、華北に侵入して平城に遷都
位 423-452 …モンゴル高原の 25 _____ と抗争する一方、439 年華北統一
24 _____ …**道教**の 26 _____ に傾倒し**仏教弾圧** (三武一宗の法難 (廃仏) の最初
位 471-499 …28 _____ **政策**で胡語・胡姓・胡服禁止し 29 _____ から 4 _____ に遷都
27 _____ →鮮卑族の質実剛健さ失われ、鮮卑系下層民に不満
o 30 _____ 制…国家による土地の受給と回収を原則とする公地公民の制度
→北魏では奴隸や耕牛にも給田されたため、大土地所有者に有利
o 31 _____ 制…農民統制制度。五家を隣、五隣を里、五里を党とし、それぞれに長
* 六鎮の乱 (524-525) …漢化政策の不満背景に発生の国境地帯の兵士の乱。北魏分裂の要因
* 32 _____ 制…33 _____ で開始の兵制で均田支給の農民を兵士として訓練
* 制度では北朝・文化では**六朝文化**繁栄の南朝が優れる
* 581 年北周にかわった 34 _____ が 589 年 35 _____ を滅ぼし南北朝時代終了

1. 曹操 2. 屯田 3. 曹丕 4. 洛陽 5. 九品 (官人) 中正 6. 劉備 7. 成都 8. 孫権 9. 建業 10. 司馬炎 (武帝) 11. 占田 12. 課田
13. 八王 14. 永嘉 15. 羯 16. 17. 氐・羌 (順不同) 18. 司馬睿 19. 建康 20. 宋 21. 北魏 22. 鮮卑 23. 拓跋 24. 太武帝
25. 柔然 26. 寇謙之 27. 孝文帝 28. 漢化 29. 平城 30. 均田 31. 三長 32. 府兵 33. 西魏 34. 隋 35. 陳

柔然

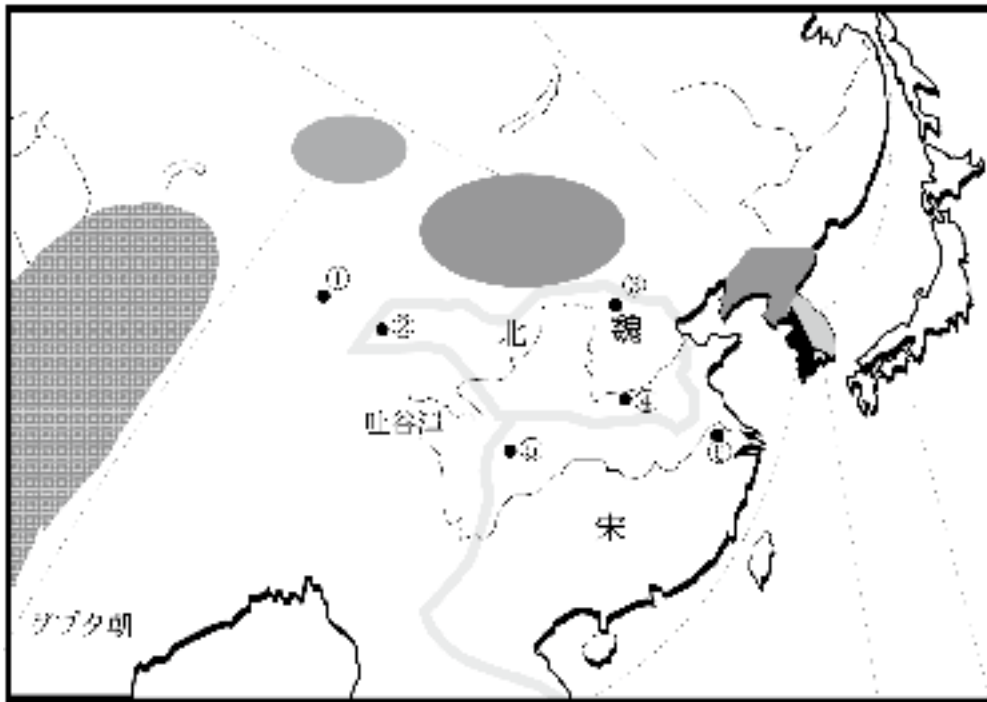
- *モンゴル系部族
- *5C～6Cモンゴル高原支配
- *タリム盆地にも進出
- *君主の称号に可汗（ハーン）
- *6C中頃突厥に滅亡

高句麗

- * ツングース系 夫余族
- * 紀元前後に東北地方に建国
- * 313 年 楽浪郡 を滅ぼす
- * 4 C の 広開土王 が全盛
→ 広開土王碑文
- * 長寿王時に都を 平壤 へ
- * 7 C 初に隋・唐の遠征で打撃
- * 668 年唐・新羅に滅亡

新羅

- * 4 C 中頃辰韓を統一
- * 百済・高句麗と抗争
- * 都は慶州で仏教国教
- * 6 C 中頃加羅諸国併合



突厥

- * **トルコ系**最初の大帝**国** (552-744)
 - エフタル**を**ササン朝**と挟撃
 - 柔然**を滅ぼし、北朝を圧迫
 - * 6 C末**東西**に分裂
 - 東突厥**は630年唐に服属
 - 682年再独立
 - 744年**ウイグル**に滅亡
 - 西突厥**は唐に征服→7 C末消滅
 - * トルコ系民族最初の**突厥文字**
 - アラム文字の影響

百濟

- * 4 C 中頃 馬韓 を統一
新羅・高句麗と三国時代の抗争
- * 6 C 聖明王, 日本に仏教伝える
- * 660 年 唐・新羅連合軍に滅亡
- * 663 年 白村江の戦いに敗北
→ 日本への支援も再興に失敗

加羅·倭

- * 4 C 中頃 弁韓 諸国の連合
→ 金官加羅国中心に加羅諸国
(大和朝廷の任那日本府は疑問)
- * 倭国
3 C 邪馬台国の卑弥呼
「魏史倭人伝」に記述
5 C 倭の五王が東晋・南朝に使者

- ①**高昌**…トルファン盆地に移住の漢民族が建国（450-640）。玄奘のインド行を支援したが、後に唐に滅亡
②**敦煌**…五胡十六国時代には一時独立国家を形成。石窟寺院の千仏洞や、写本經典の敦煌文書も有名
③**平城**…北魏前期の都。郊外の**雲崗**石窟寺院は、ガンダーラ・グプタ両様式の影響を受けた仏像で有名
④**洛陽**…北魏では**孝文帝**の漢化政策で都。郊外の**竜門**石窟寺院は、敦煌、雲崗と並ぶ三大石窟で中国風
⑤**成都**…三国蜀の都で四川地方の中心都市
⑥**建康**…三国呉が建業として都。東晋で建康と改名し、以後の南朝でも都。貴族的な六朝文化が繁栄

拓跋国家…北朝から唐にいたる王朝の支配層は、鮮卑拓跋部の出身者を中心としたため、拓跋国家と総称される。遊牧民（胡人）と農耕民（漢人）の胡漢融合国家を形成し、漢人の知識人を宮廷官僚として登用。胡人と漢人双方に適用できる普遍的な制度として、均田制や律令体制が形成されたと考えられる。普遍的な性格を持つ律令体制は、隋唐帝国のもとで周辺地域に波及し、東アジア文化圏が成立していった。

隋唐帝国

隋

位 581- 604

…北周の外戚, 589 年陳を滅ぼし中国統一・都 2 (長安)・突厥に離間策

1

…均田制に 3 (穀物)・4 (中央労働)・5 (布)・学科試験 6

位 604- 618

…8 完成 (建設開始は文帝)→中国の南北を結合・揚州を江都として副都

7

…東突厥に対抗→9 遠征 (3 回)→永濟渠を利用, 失敗し各地で反乱

618

唐

位 618- 626

…拓跋部出身 (北周・隋の建国者も), 山西に拠点, 子の 11 の勧めで挙兵

10

…東突厥の支援で大興城占領し 618 年唐を開く・都は 12

位 626- 649

…628 年中国を統一→ 14・吐谷渾・吐蕃・高昌を服属→高句麗遠征失敗

13

…15 の治。16 や顔師古に五經注釈書の「17」編纂

律令体制

18 (刑法)・19 (行政法・民法)・20 (補充改正規定)・21 (実施細則)

州県制

地方行政区画

六

22

安西 (高昌→亀茲)
北庭 (天山北路庭州)
安北 (外モンゴル)
单于 (内モンゴル)
安東 (平壤→遼陽)
安南 (ハノイ)

o 辺境民族統治機関

o 23 政策で統治

三省

24

詔勅の草案作成
皇帝権力を代表

25

詔勅の草案審議
貴族権力を代表

26

詔勅の実行機関
六部を管轄

六部

左僕射 27 部…官吏の人事

cf 任用制は科挙と蔭位の制

右僕射 28 部…財政担当

cf 税は地方労役の雑徭重要

29 部…文教や祭司

cf 科挙の実施は礼部の担当

30 部…軍事担当

31 部…司法担当

32 部…土木担当

33

* 中央に置かれた三省六部の
監察機関
* 長官御史大夫

位 649-683

…35 と結び百済・9 を滅ぼし, 西突厥も討って唐の領域を最大

34

…晩年皇后の 36 (もと太宗の妃) が実権

690

周

位 690-705

…息子の中宗・睿宗を廃位し, 史上最初的女帝として即位 (韋后と併せ武韋の禍)

36

…国号 37・科挙官僚を登用し改革→後に復位した中宗が皇后の韋后に毒殺

705

位 712-756

…39 の治で善政・募兵制で 40 (募兵権を持つ辺境防衛司令官) 台頭

38

…751 年 41 の戦いで高仙芝の唐軍がアッバース朝に敗→製紙法の西伝

唐

安史の乱

…玄宗が 42 寵愛し, 一族の楊国忠を宰相に→ 43 の乱へ

…755 年ソグド系の節度使の 44 開始・後にその部将の 45 指導

…46 の援助で乱鎮圧→乱後内地に 40 増設, 塩の専売

社会制度変化

o 三省・六部・一台の中央集権→ 40 が軍・財・民の三権掌握し, 47 として自立

o 均田制→莊園制…7 世紀末より莊園の発達と均田民逃亡で均田制が崩壊しはじめ 8 世紀末廃止

o 府兵制→ 48 制…都護府での兵役と折衝府の訓練の負担が均田民逃亡の一因

o 租庸調制→ 49 法…780 年に徳宗に 50 献策。夏秋二期, 錢納原則

→現住地で資産に応じ徴収は土地公有の原則放棄 = 土地私有の公認で中国土地税制史上の転換点

→貨幣経済の普及と土地私有公認で土地売買が一般化→自営農民の没落と新興地主台頭が加速

* 華北で小麦普及し, 小麦と粟の 2 年三毛作普及, 華中・華南では茶の栽培が始まる

907

* 51 の乱…華北の山東で塩の密売人王仙芝と 51 挙兵し発生 (875)。四川以外の全土へ

* 乱出身の節度使 52 により 907 年唐滅亡

1. 文帝 (楊堅) 2. 大興城 3. 租 4. 庸 5. 調 6. 科挙 7. 煬帝 8. 大運河 9. 高句麗 10. 高祖 (李淵) 11. 李世民 12. 長安
13. 太宗 (李世民) 14. 東突厥 15. 貞観 16. 孔穎達 17. 五經正義 18. 律 19. 令 20. 格 21. 式 22. 都護府 23. 羈縻 24. 中書省
25. 門下省 26. 尚書省 27. 吏 28. 戸 29. 礼 30. 兵 31. 刑 32. 工 33. 御史台 34. 高宗 35. 新羅 36. 則天武后 37. 周
38. 玄宗 39. 開元 40. 節度使 41. タラス河畔 42. 楊貴妃 43. 安史 44. 安祿山 45. 史思明 46. ウイグル 47. 藩鎮 48. 募兵
49. 兩稅 50. 楊炎 51. 黄巢 52. 朱全忠

【唐と対外関係】

- * 唐は新羅・渤海・南詔などと 1 _____ 関係の君臣関係、軍事的に強大な東突厥・ウイグル・吐蕃と家族関係、遠方の日本、真臘などとは 2 _____ 貿易のみの関係からなる国際体制を構築した。
- * 6世紀より突厥を介してササン朝との交流が活発化、ササン朝滅亡後はイスラーム帝国との交流
→ ササン朝工芸、ボロ競技や、 3 _____ 派キリスト教（景教）、ゾロアスター教（祆教）、マニ教流入
→ 陸路イラン系の 4 _____ 人商人が長安に往来（長安の西市の繁栄）し絹馬貿易
海路イスラーム商人が来航し、貿易事務機関の 5 _____ を 6 _____ に設置、民間貿易の互市

ウイグル

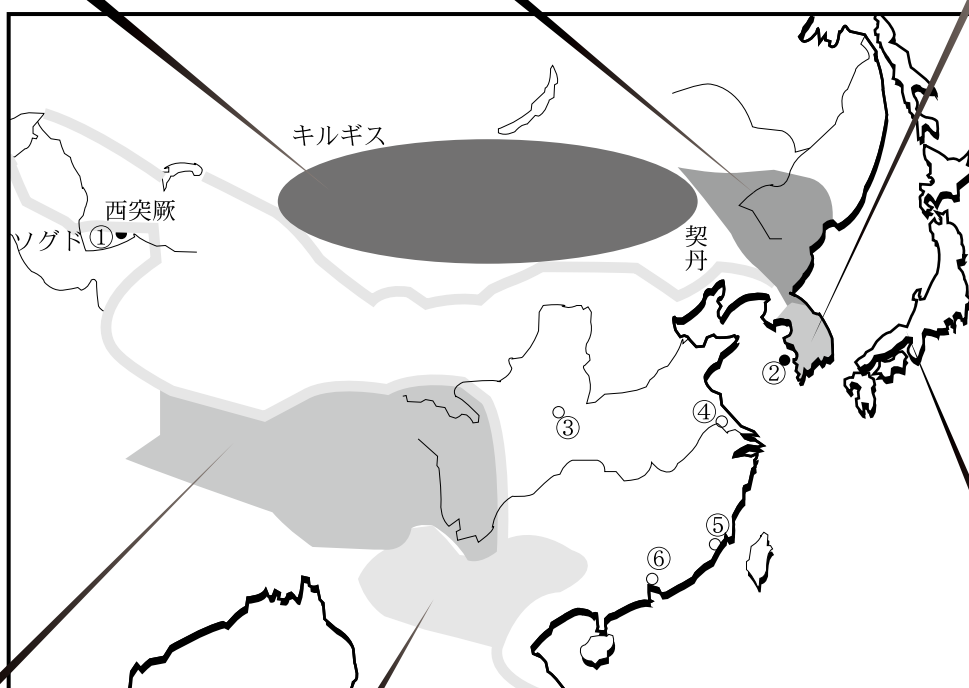
- * 744年東突厥滅ばし有力
- * マニ教を一時国教
- * 安史の乱鎮圧で唐に協力
- * ソグド人の東西交易保護
- * ソグド文字よりウイグル文字
- * 840年トルコ系キルギスに滅亡

渤海

- * 698年高句麗の遺民と靺鞨族建国
- * 建国者：大祚榮
- * 都：上京竜泉府（長安の都城制）
- * 唐の律令文化導入。日本と国交
→ 『海東の盛国』と称される
- * 926年遼により滅亡

新羅

- * 唐と同盟し百済・高句麗を滅
→ 平壤を唐より奪い半島支配
- * 骨品制の氏族的身分制度
- * 仏教繁栄。都慶州に仏国寺
- * 935年高麗により滅亡



吐蕃

- 7 C 初建国。663年吐谷渾を滅
建国者：ソン・ツェン・ガンポ
都：ラサ・ポタラ宮造営
唐文化とインド文化を導入
インド文字よりチベット文字
8 C チベット仏教（ラマ教）成立
安史の乱時、長安に侵入
中央アジアにも進出し勢力
9 C 唐と同盟→唐蕃会盟碑
9 C 末分裂し衰退

南詔

- 739年雲南地方中心に周辺統一
チベット・ビルマ系ロロ族の国
都：大理
律令体制・唐文化導入
漢字を公用文字
仏教を奨励
安史の乱に乗じて四川進出
860年、883年に安南都護府占領
902年内紛により滅亡

日本

- * 607年推古天皇朝期に聖徳太子が隋煬帝に遣隋使小野妹子
- * 630年より遣唐使
→ 894年菅原道真の建議で廃止
- * 645年大化改新で班田収受
- * 663年白村江の戦いに敗北
- * 701年大宝律令制定
- * 754年鑑真来日。阿倍仲麻呂は帰国できず

- ①タラス河畔の戦い …玄宗皇帝時の751年、高仙芝率いる唐軍がアッバース朝に敗北。製紙法西伝
- ②白村江の戦い …663年唐・新羅連合軍に、百済支援の日本軍敗北。日本の朝鮮半島進出断念
- ③長安 …百万都市の繁栄・基盤の目状に区画（坊）・商業は市（東市、西市）のみ、時間も制限
- ④揚州（カンツー） …隋の煬帝が副都とし江都と呼称。安史の乱後、揚一益二の繁栄
- ⑤泉州（ジャンフー） …貿易港として繁栄。アラブ人（大食）居留区の蕃坊も設置
- ⑥広州（カンフー） …玄宗が最初の市舶司設置。蕃坊も設置され、唐代は海外貿易で最も繁栄

宋と北方民族の台頭

907 916

五代十国

五代十国

遼

位 907- 912

…**黄巢の乱**出身の唐の節度使で唐を滅ぼし 2 _____ 建国、汴州（開封）を都

1 _____ …中国の統一に失敗し、**節度使**による**武断政治**続く→貴族の没落

*後梁→後唐→後晋→後漢→後周の五王朝と十の地方政権・ 3 _____ の都洛陽。それ以外は 4 _____

*後晋の石敬瑭は**契丹**の援助を受け、 5 _____ 割譲、後周の世宗（廃仏を行う）が統一を促進

宋

位 960- 976

…960 年都を 4 _____ に建国し藩鎮勢力おさえ、君主独裁の中央集権体制樹立

6 _____ → 979 年北漢滅ぼし中国統一は二代目**太宗**

【**軍制**…皇帝直属の 7 _____ 強化・節度使の欠員は中央より派遣の文官を任命の 8 _____ 主義

【**科挙完成**…進士科主体・州試（別名解試の地方試験）→省試→ 9 _____（皇帝自らの試験）

→ **文治主義**完成→ but 軍事力弱体化の異民族に対する歳幣と官僚増大の給費増で財政危機

* 10 _____ …1004 年締結、遼との和約で宋を兄、遼を弟とし、毎年銀・絹・茶などを歳幣

位 1067- 1085

…内政 12 _____ を宰相、富国強兵目的に**新法**を実施し中小農民保護

11 _____ …外政 対西夏積極外交に転じ、ベトナム遠征も行うが、成功せず

○ 13 _____ **法**…漢武帝も実施の物価調整策

○ 14 _____ **法**…賦役強制割当をやめ希望者に雇銭

○ 15 _____ **法**…農民に対する低利金融政策

○ 16 _____ **法**…中小商人に対する低利金融政策

○ 17 _____ **法**…農民訓練し、民兵治安維持

○ 18 _____ **法**…官馬を民間に与え戦時に徴収

→ 19 _____ (**『資治通鑑』**の著者) 中心に結成の**旧法党**が国家の経済介入に反対し党争

* 20 _____ …金が宋の開封占領→ 21 _____ (上皇)と 22 _____ 連行し北宋滅(1127)

位 1127-1162

…欽宗の弟で江南に逃れ、 24 _____ を 25 _____ として都 = 南宋

23 _____ …主戦派 26 _____ と和平派 27 _____ が対立し、和平派勝利

→ 28 _____ と大散関（秦嶺山脈）国境・金に臣礼をとり、毎年金・銀・絹など送る

遼

* モンゴル系 29 _____ (**キタイ**) 族。半農半牧生活。**ウイグル**に服属→ウイグル滅亡で自立

位 907- 926

…916 年遼河上流の根拠地より遼（キタイ帝国）建国しモンゴル高原を支配

30 _____ …926 年 31 _____ を滅ぼし東北地方も支配

* **燕雲十六州**獲得（936 年）…華北地方の一部も支配・1004 年**澶淵の盟**

* **二重統治体制**…遊牧・狩猟民 = 32 _____ 制・北面官で統治、農耕民 = **州県制**・南面官で統治

* 文化…宗教は仏教盛ん・ウイグル文字と漢字より 29 _____ **文字**作成し独自性維持に努力

cf.1125 年に金に滅亡後、一族の 33 _____ がカラハン朝滅ぼし**西遼**＜**カラキタイ**＞建国

金

* **ソングース系** 34 _____ 族。半農半獵生活。渤海構成の靺鞨族と同系で遼に服属

位 1115- 1123

…遼の支配より自立し東北地方中部根拠地に建国。都を会寧府

35 _____ …宋と同盟

* **二重統治体制**…女真族 = 36 _____ 制（軍事行政組織）、漢民族 = **州県制**

* 文化… 34 _____ **文字**作成・華北で 37 _____ が 38 _____（儒・仏・道調和）創始

* 都…海陵王が会寧から**燕京**に遷都→モンゴルの攻勢に**開封**に遷都

西夏

* **チベット系** 39 _____（党項）族。遊牧主体に東西仲介交易で繁栄

位 1038- 1048

…1038 年寧夏地方中心に建国・都は**興慶府**で、中国の官制を導入

40 _____ …1044 年慶暦の和約で宋に臣礼 but 歳幣獲得・ 41 _____ **文字**作成し独自文化

元

- 朱全忠
- 後梁
- 後唐
- 開封
- 燕雲十六州
- 太祖趙匡胤
- 禁軍
- 文治
- 殿試
- 澶淵の盟
- 神宗
- 王安石
- 均輸
- 募役
- 青苗
- 市易
- 保甲
- 保馬
- 司馬光
- 靖康の変
- 徽宗
- 欽宗
- 高宗
- 杭州
- 臨安
- 岳飛
- 秦檜
- 淮河
- 契丹
- 耶律阿保機
- 渤海
- 部族
- 耶律大石
- 女真
- 完顔阿骨打
- 猛安謀克
- 王重陽
- 全真教
- タングート
- 李元昊
- 西夏

【宋と貿易問題】

- * 内陸交易路は、遼や西夏が支配・1 船の改良で、中国商人の遠洋航海が可能に→海上貿易発展
- * 東南アジアへ進出、イスラーム商人に陶磁器、日宋貿易も発展（平氏政権の大輪田泊、**博多**）し、硫黄を輸入
- * 民間貿易（私貿易）を 2 で管理→泉州、杭州、広州などの海港都市発展

佃戸制荘園

- …新興地主 3 は、科挙合格の 4 を目標→**士大夫**（読書人）の中核
- …小作人 5 に土地を貸与し、小作料を徴収（佃戸の多くは自分の土地も所有）

○ 華北＝粟麦二年三毛作、江南＝畝田の干拓・**占城米**導入・二毛作普及→**蘇湖（江浙）熟すれば天下足る**

- * 地主中心の社会 唐の兩税法施行より国家の基盤は自営農民から地主へと変化→宋の文治主義で徹底

都市の発達

- …都市の商業の時間・場所が制限された唐代に対し、時間・場所の制限撤廃
- …城外の交易場であった唐代の**草市**から商工業の発展で**鎮**の成立、瓦市（歓楽街）も発達

○ 貨幣経済発達し、唐末の手形の飛銭から北宋で 6 ・南宋で 7 の紙幣

○ 同業組合の 8（商人組合）・9（職人組合）誕生

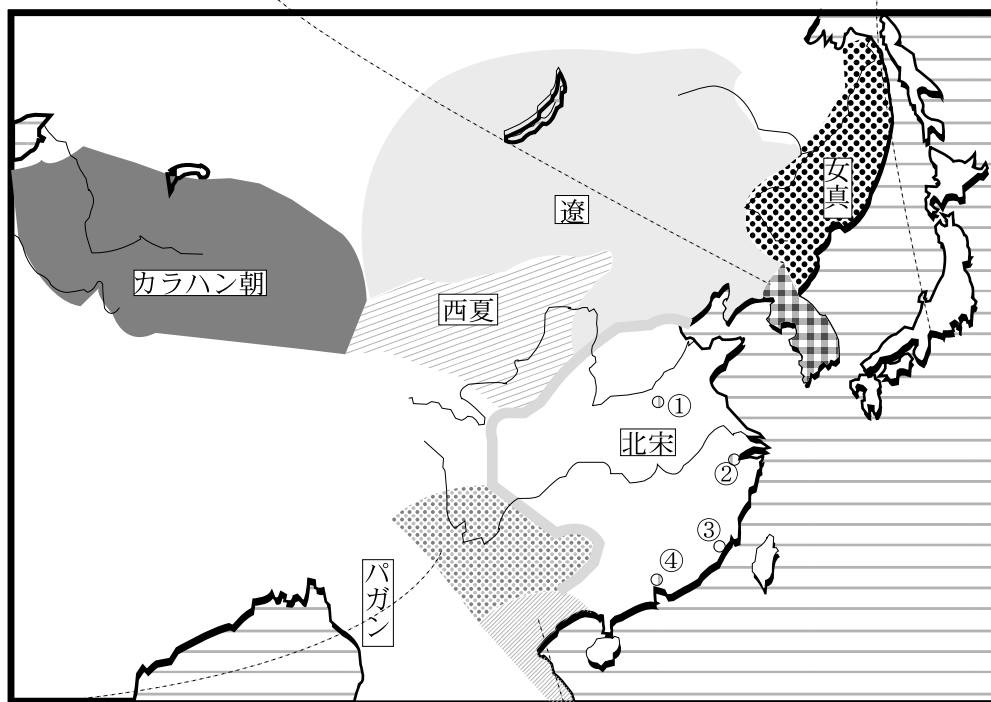
- * 飲茶（唐代後半から普及）の流行→窯業の発達→ 10 で**青磁**・**白磁**の生産

高麗

- * 918年**王建**建国→936年後百済滅ぼし統一
- * 都は**開城**：科挙導入→**両班**の特権階級成立
- * **モンゴル**の侵入→江華島遷都→1259年服属
三別抄の乱（1870-73）で抵抗運動も鎮圧
- * 文化繁栄
高麗版大蔵經（木版）・**金属活字**（世界初）・**高麗青磁**

日本

- * **平安時代**（794-1185）
国風文化（9C末～11C初）～遣唐使廃止で藤原氏の摂関政治（10C～11C）→武士の台頭
- * **平氏政権**（1167-1183）～平清盛が最初の武家政権
日宋貿易盛ん、宋の銅銭の輸入、硫黄を輸出
- * **鎌倉幕府**（1185-1333）



大理

- * 937年雲南に建国のタイ族の国
- * 都は**大理**：南詔の仏教文化を継承
- * 1254年モンゴル帝国の**フビライ**軍に滅亡
→タイ族の東南アジア南下に拍車

大越

- * 10Cに中国支配から独立し、短期王朝興亡
- * 1010年、**李朝大越国**成立 都ハノイ
- * 1225年、**陳朝**成立→モンゴルの侵入を三度撃退
科挙を導入し、**チュノム**普及

- ①**開封** …大運河に沿って市域が拡大、経済都市の性格を持つ「清明上河図」に繁栄描写
- ②**杭州** …大運河の南端で、南宋では臨安として都、元では西方外国人はキンザイと呼称
- ③**泉州** …北宋で市舶司設置→南宋では広州に代わり、中国第一の貿易都市、元で西方外国人はザイトンと呼称
- ④**広州** …北宋では最大の貿易都市も、南宋では泉州に繁栄を奪われる

1. ジャンク 2. 市舶司 3. 形勢戸 4. 官戸 5. 佃戸 6. 交子 7. 会子 8. 行 9. 作 10. 景德鎮

内陸アジアと東西交渉

内陸アジア

…北部のモンゴル高原やカザフ草原と、南部のトルキスタンなどの地域

…北部はステップ（草原）、南部は砂漠が大部分を占め、南部の砂漠にオアシスが点在

…北部の草原では遊牧、南部オアシスは農業と隊商による東西中継貿易が行われ交流

モンゴル高原

…1_____の影響を受けた遊牧騎馬民族のモンゴル人やトルコ人が活動

…遊牧国家建設し、東西交易を支配下に、中国やイランの定住農耕地帯と抗争

トルキスタン

…9世紀の2_____滅後のトルコ人移住とトルコ化以降の名称。中国で西域

…3_____高原で東西、地下水路（カレズ、カナート）でオアシス農業

→東部

6パミール高原以東の4_____盆地（天山山脈と崑崙山脈間の盆地）中心とする地域

o 現中国の5_____自治区

o 9世紀以前の住人はインド・ヨーロッパ系アーリア人

o 10世紀イスラーム化以前の宗教は、仏教、マニ教（ウイグル人信仰）など

o 漢民族は前1世紀中頃にトルファン盆地に進出し5世紀に高昌（450-640）建国

→西部

6パミール高原以西でアラル海に注ぐ6_____川（東）・7_____川（西）の上流域中心

o 現在は旧ソ連領のカザフスタン・ウズベキスタン・キルギスタンやアフガニスタンなど

o イスラーム化以前の宗教は8_____教盛ん

o 9世紀以前イラン系9_____人が10_____に拠点。東西交易に活躍

→トルコ化以前の名称はソグディアナ

o 7世紀西突厥から自立したトルコ系ハザールは、カスピ海北西部を拠点、ユダヤ教に改宗

東西交通路

草原の道

…南ロシア草原→カザフ草原→アルタイ山麓→モンゴル高原→長城地帯のルート

…遊牧騎馬民族活躍。欧州への進入路 ex. フン・アヴァール・マジャール・モンゴル

オアシスの道

…地中海域・西アジア・南アジア・東アジアを結ぶルート。別名11_____

…西は前4世紀のアレクサンドロス遠征、東は前2世紀張騫西域派遣で発展

→天山北路

…天山山脈の北麓のルート

→天山南路

…天山山脈の南側のルートでタリム盆地中央のタクラマカン砂漠でさらに南北に分かれる

o 北道（西域北道）…沿線最大のオアシス都市は12_____（亀茲）

o 南道（西域南道）…沿線最大のオアシス都市はコータン（ホータン）

海の道

…地中海→紅海またはペルシア湾→アラビア海→インド洋→マラッカ海峡→シナ海

…南インド中心で、南方でマライ・ポリネシア系民族活動。別名香辛料の道

→発展

6 古代ローマでギリシア系商人がインドと13_____貿易『14_____』

o 8世紀以後イスラーム商人が15_____船で中国に來航・居住地蕃坊・唐玄宗の市舶司設置

o 10世紀の宋以後、北方民族の活動で陸上交易が阻害→16_____船の改良で中国人進出

o 15世紀初頭の明の17_____帝期に、鄭和の南海大遠征→マラッカ王国がシナ海とインド洋中継

o 1498年ヴァスコ・ダ・ガマのカリカット到着→16～17世紀前半は「商業の時代」

o 17世紀後半シナ海貿易の鎮静化～日本の鎖国・清朝の海禁強化・香辛料価格の低下

→宗教

o 海路インドから東南アジアへ仏教・ヒンドゥー教・イスラーム教伝播

→移民

o インドから東南アジアへインド人（印僑）。明清代福建・広東から華僑の進出

→品目

o 中国から南方や日本へ絹・陶磁器・銅銭；清代欧州へは茶が第一位

o 南方から中国・西欧へ香辛料・象牙・犀角・植物染料

1. スキタイ 2. ウイグル 3. パミール 4. タリム 5. 新疆ウイグル 6. シル 7. アム 8. ゴロアスター 9. ソグド 10. サマルカンド
11. 絹の道（シルクロード） 12. クチャ 13. 季節風 14. エリュトウラー海案内記 15. ダウ 16. ジャンク 17. 永楽

中国への仏教伝来

- * 1 (ブドチンガ) ～西域亀茲（クチャ）の人。4世紀洛陽で布教し中国仏教隆盛の基を築く
- * 2 (クマーラジーヴァ) ～西域亀茲の人。4～5世紀に長安で活躍。仏典漢訳と竜樹紹介
- * 3 (ダルマ) ～6世紀はじめ海路インドより中国へ。禪を伝える

来印の三仏僧

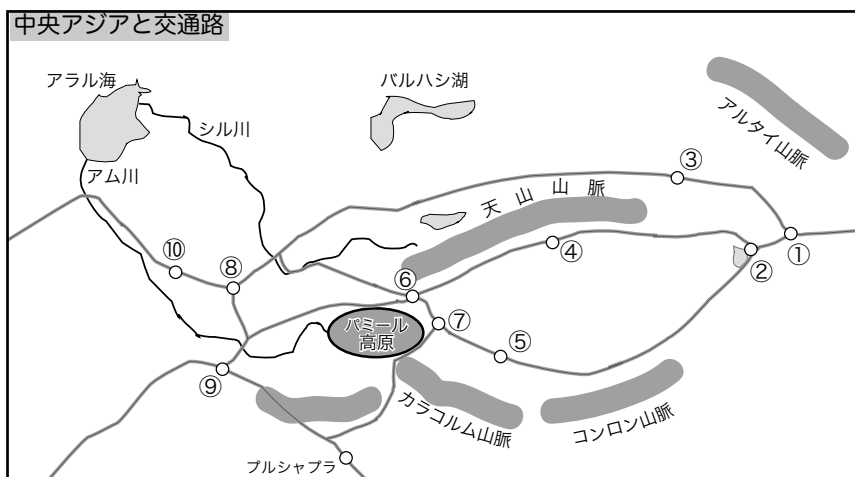
名前	王朝	インドの王朝と君主	使用交通路	著作
法顕	東晋	グプタ朝 チャンドラグプタ2世	往路＝陸路 復路＝海路	仏国記
玄奘	唐	ヴァルダナ朝 ハルシャ＝ヴァルダナ	往復陸路 ＊ナールンダ僧院留学	大唐西域記
義浄	唐	分裂期 ＊ナールンダ僧院留学	往復海路 ＊シュリーヴィジャヤ滞在	南海寄帰内法伝 大唐西域求法高僧伝

モンゴル時代の東西交流

- * 4 …インノケンティウス4世派遣のフランチェスコ派修道士、草原の道でカラコルム訪問
- * 5 …草原の道でルイ9世派遣し、モンケ＝ハンに会見のフランチェスコ派道士
- * 6 …元代に海路訪れ、大都で初めてカトリックを布教したフランチェスコ派修道士
- * 7 …ヴェネチア出身。オアシスの道で訪れ、元初フビライに仕え、泉州より海路帰国

『世界の記述（東方見聞録）』

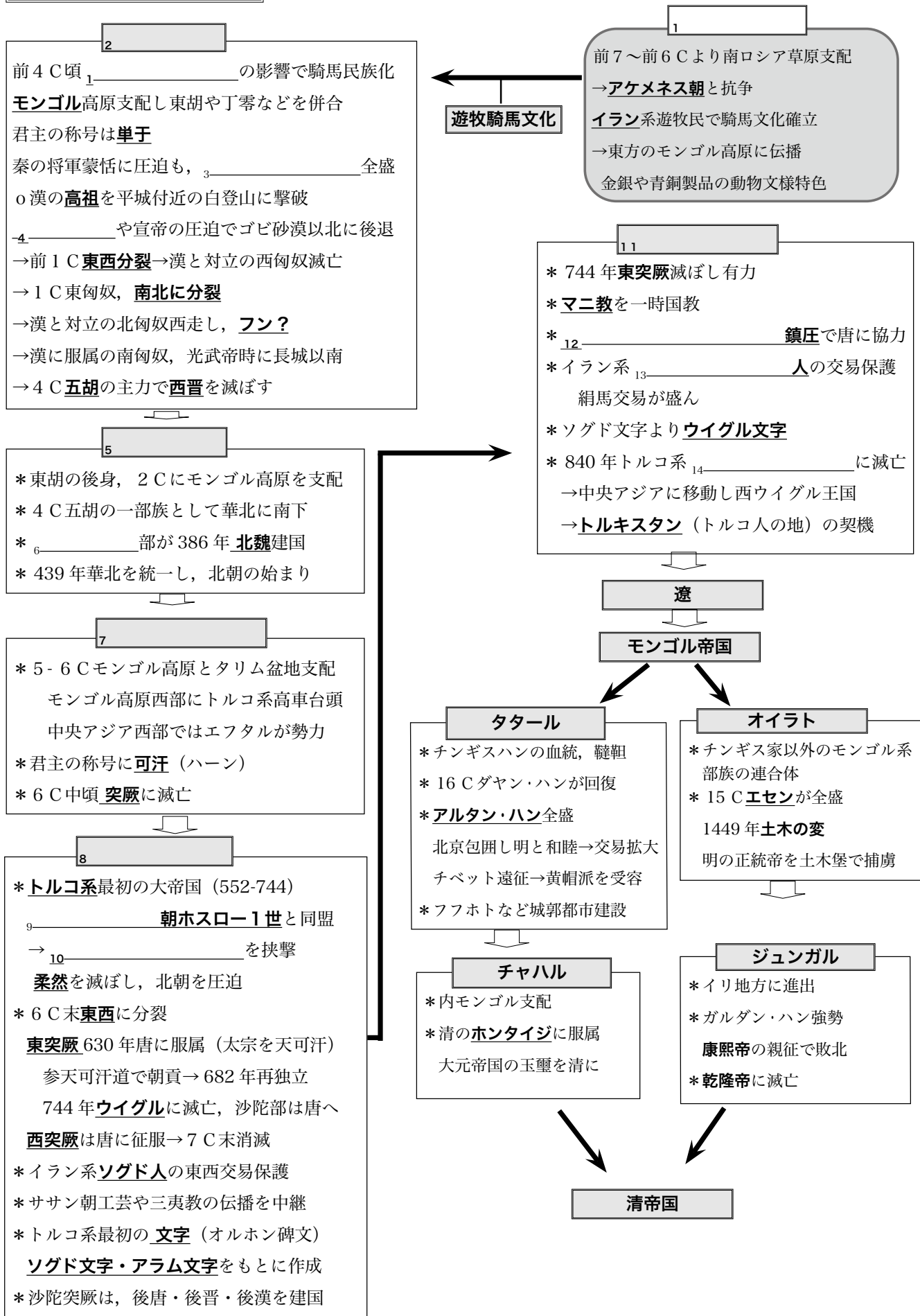
- * 8 …モロッコ出身のイスラーム教徒大旅行家『三大陸周遊記（大旅行記）』
- * ラバン・ソーマ…大都生まれのネストリウス派僧侶で西欧訪問。教皇の司教派遣のきっかけ
- * イスラーム天文学の刺激で 9 の 10 暦作成
→日本の貞享暦に影響・中国画イラン地方の 11 に影響



- ①敦煌…武帝設置の河西四郡の一つで絹の道の中国側門戸
千仏洞の石窟寺院も有名
- ②楼蘭…ロプ湖の北岸。タリム盆地の東端で漢が征服し前進基地とする。ヘディンの発見で有名
- ③高昌…トルファン盆地で移住の漢人が車師国倒し建国
唐征服後に安西都護府
- ④亀茲…天山南路北道の要衝。クチャ。仏教僧中国へ
唐代安西都護府が高昌より移転
- ⑤ホータン…天山南路南道の要衝。玉の産地として有名
- ⑥疎勒（カシュガル）…天山南路北道の終点
- ⑦莎車（ヤルカンド）…天山南路南道の終点
毛織物産地として有名
- ⑧サマルカンド…ソグド人の拠点。ティムール帝国都
- ⑨バクトラ…バクトリアの都
- ⑩ブハラ…サーマン朝とウズベク人ブハラ＝ハン国の都

1. 仏図澄 2. 鳩摩羅什 3. 達磨 4. カルピニ 5. ルブルック 6. モンテ＝コルビノ 7. マルコ・ポーロ 8. イブン・バットゥータ
9. 郭守敬 10. 授時 11. ミニアチュール（細密画）

モンゴル高原の興亡



1. スキタイ 2. 匈奴 3. 冒頓単于 4. 武帝 5. 鮮卑 6. 拓跋 7. 柔然 8. 突厥 9. ササン 10. エフタル 11. ウイグル
 12. 安史の乱 13. ソグド 14. キルギス

官吏任用制

郷里選	* 前漢の 武帝 の時開始。郡国長官が儒教的基準で人材推薦 →豪族の官界進出の開始
九品中正（官人）法	* 魏の 文帝 の時開始。中央より派遣の中正官が九段階に人物判定し推薦 「上品に寒門なく下品に勢族なし」→有力豪族は門閥を形成し、 貴族 成立
科挙	* 隋の 文帝 創始。試験による官吏任用制。三年に一度実施。実施機関は礼部 唐では官吏の人事を担当する吏部が門閥貴族に支配、父の官職に従って官位が与えられる蔭位の制もあって、貴族優位も、太宗や則天武后は科挙官僚重視 初期秀才・明経・進士などの区分で秀才重視→進士重視→宋では進士に一本化 宋の 太祖趙匡胤 が、最終合格者に対する皇帝試験の 殿試 を導入し、君主独裁強化 解試（州試、地方試験）→省試→殿試の三段階選抜に、文人支配層の 士大夫 形成 元では一時中断 明・清では官を外れた合格者が、地方指導者の 郷紳 となる→清末の1905年に廃止

土地制

豪族の台頭と問題	* 豪族・貴族の大土地所有の拡大→自作農は没落し、豪族の半奴隸的小作人 →納税・徴兵人口の減少で財政・軍事の危機 →国家による大土地所有制限と、人民・土地確保の試み
限田策	* 前漢の哀帝。土地の広さ、奴隸の数を制限→豪族の反対で実施されず
王田政策	* 新 王莽 。周の井田法を理想とし、全国の耕作地を王田として売買を禁止
屯田制	* 魏の 曹操 が無住地を公有地とし、流亡農民や兵士を入植
占田法・課田法	* 晋の 司馬炎（武帝） 。占田で大土地所有を制限、課田で土地を農民に支給し、課税と言われるも詳細不明
土断法	* 東晋・南朝で実施。華北からの移住民を現地の戸籍に登録。豪族の隸民化を防ぎ、国家の農民を確保

均田制

	回収田		非回収田
	露田 (穀物田)	麻田 (麻田)	桑田 (クワ・ナツメ ニレなど)
北魏	丁男 (15-69)	40 畝	20 畝
	奴婢	同量の倍田	
	妻	20 畝	
		5 畝	
		同量の倍田	
	牛	30 畝	
隋	露田		桑田
	丁男 (18-59)	80 畝	
	丁妻	40 畝	
唐	口分田		永業田
	中男 (16-20)	80 畝	
	丁男 (21-59)		

北魏均田制の特徴

- 孝文帝開始
- 奴婢・耕牛に給田は、大土地所有者有利
- 実施に伴い三長制で農民統制
→五家を隣、五隣を里、五里を党とし、それぞれに長をおいて権限を付与の隣保制
- 北魏末期に租調役の税制整備

隋均田制の特徴

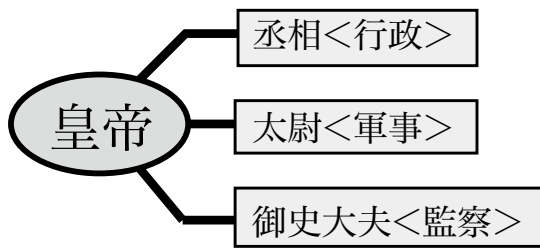
- 麻田廃止。奴婢・耕牛への支給停止
- 租（地代）庸（政府の労働）調（特産品）整備
→西魏の府兵制と併せ、三位一体の制度

唐均田制の特徴

- 口分田と永業田に二分
- 徴税負担の均田民を課口
→課口のいる家を課戸

中国の官制

秦の官制



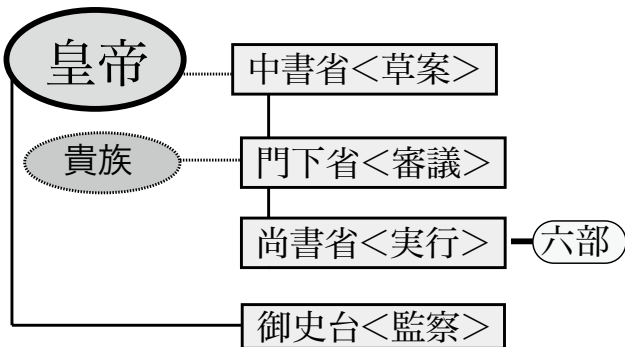
始皇帝による専制体制の確立

全国を郡に分け, 郡の下に県を置く郡県制実施

漢では県の下に郷・亭・里の郷村組織

行政・軍事・監察の三権分立体制

唐の官制



中書省が詔勅の草案担当

門下省は貴族権力代表し詔勅の審議

尚書省は六部を統括し, 詔勅を執行

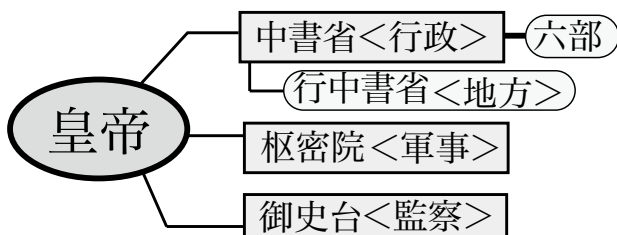
御史台で役人の監察

唐末五代の武断政治で貴族消滅

→宋では門下省は有名無実

→中書省に吸収され、中書門下省と称す

元の官制



尚書省を廃止し, 中書省に行政を統一

地方行政のため, 行中書省(行省)設置

→現在の省制度のもと

宋代を継承し, 軍事は枢密院が統括

明の官制 (中央)



洪武帝が中書省を廃止

軍も五軍都督府で皇帝が直轄

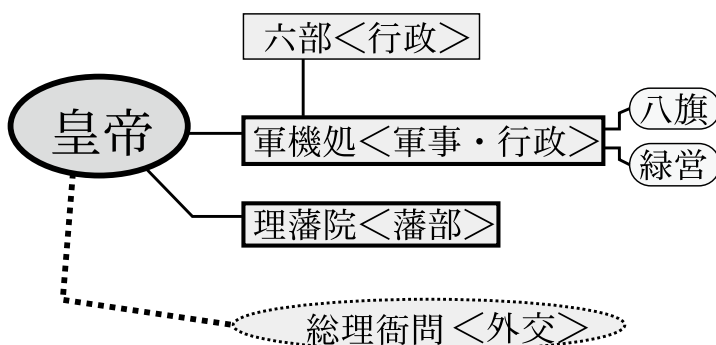
衛所で軍戸を支配し兵農一致を目指す

永楽帝は内閣を設置

→内閣大学士に皇帝を補佐

→事実上の宰相に

清の官制



雍正帝が軍機処を設置

→軍・行政の最高機関で内閣は無実化

軍は旗人に旗地を与えて組織した八旗

→ヌルハチの満人八旗

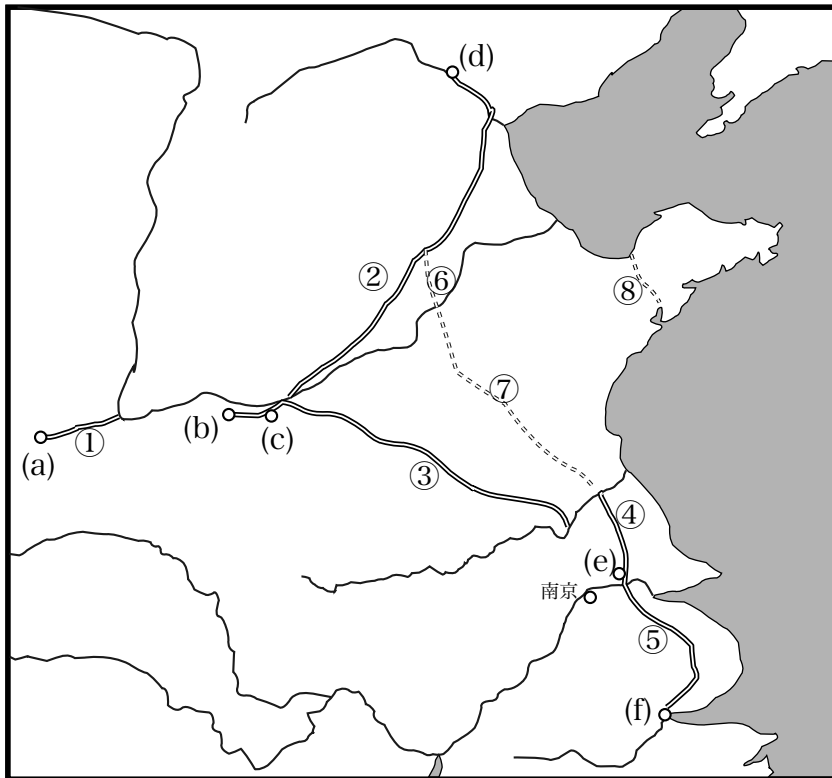
→ホンタイジの蒙古八旗・漢軍八旗設置

緑營は治安維持などの漢人の補助軍

乾隆帝は, 藩部統括の理藩院整備

1861年外交機関として總理衙門設置

大運河と関連都市



①広通渠…584 文帝期：大興城－黄河間

②永濟渠…608 煬帝期：黄河－北京（天津）間，高句麗遠征に利用

③通濟渠…605 煬帝期：黄河－淮河間

④山陽瀆…587 文帝期：淮河－長江間

⑤江南河…610 煬帝期：長江－杭州間

⑥会通河…元の新運河

⑦濟州河…元の新運河

⑧膠州河…元の新運河：山東半島横断

(a) 長安（大興城）…隋・唐の都。大運河の起点

(b) 洛陽…唐代は西都の長安に対する東都として繁栄

(c) 開封（汴州）…通濟渠が市域を流れ，黄河との交点にも近く物流の中心に→後唐を除く五代と北宋の都

(d) 北京…金で燕京・元で大都・明清は北京として四代の都

(e) 揚州…煬帝は江都と称し副都。塩商の拠点

(f) 杭州…南宋で臨安として都

中国史重要年号-語呂あわせ-

前 770	周室東遷	質慣れ西周夜逃げの東遷
前 403	晋三分裂＝戦国時代開始	世わ乱れて戦国時代
前 221～前 206	秦の統一から滅亡まで	夫婦一緒におろかな秦
前 202～後 220	漢の建国から滅亡まで	庭付きの漢さんち、夫婦別れておしまいよ
前 154	呉楚七国の乱	以後の世実質郡県制の呉楚七国の乱
後 8～23	新の建国から滅亡まで	や一兄さん、新しい娘いるかい
後 25	後漢の建国	二号の後漢始まった
184	黄巾の乱	いや世の中乱れる黄巾の乱
265・280	晋の建国、中国統一	風呂ゴメン、やれやれ晋どい
316	西晋の滅亡	サイン無視して西晋滅亡
317	東晋の建国	サイナら西晋、また来て東晋
439	北魏の華北統一＝南北朝	予算苦しい南北朝
581・589	隋の建国と統一	こはい（恐い）隋が、こはく（恐く）ない陳滅ぼす
618	唐の建国	李淵ロイヤル高祖となる
755	安史の乱開始	泣いてゴメンね安史の乱
780	兩税法の開始	悩んで終わった土地公有
875・907	黄巢の乱・唐の滅亡	花子、食わない唐だめ
960	宋の建国	苦勞の建国趙匡胤
1127	靖康の変＝北宋滅亡	人々に泣け、北宋滅亡
1206	クリルタイでモンゴル統一	人にお迎えチンギス＝ハン
1234	金の滅亡	一、二、三、四、で金を滅ぼす
1271	元の成立	人に泣いて元気になる
1279	南宋の滅亡	一つなくなる南宋なくなる
1368	明の建国	勇むや明の朱元璋
1402	永楽帝即位（靖難の変勝利）	いよ、お疲れの永楽帝（アンカラの戦いと同年）
1616	清（後金）の建国	いろいろあって後金建国
1644	李自成の乱で明滅亡	人無視死滅の明朝
1912	中華民国建国と清の滅亡	逝く人に告げよ、中華民国
1949	中華人民共和国の建国	行くよ来るよで中華人民共和国
1958	大躍進（第二次五ヶ年）	ご破算になった人民公社
1966	文化大革命開始	ろくろくのことか、文化大革命
1971	中華人民共和国国連議席	ひどく泣いたか中華民国
1972	ニクソン訪中	いくなニクソン中国へ

第五章 ユーラシアの統合

この章で学ぶこと

＊イスラーム世界・ユーラシア世界の統合・明清帝国・近世のイスラーム帝国

地中海世界のローマ帝国と西アジア世界のパルティアの併存は、東ローマ帝国とササン朝に継承された。しかし、7世紀の初頭から両帝国の衝突が続くと、東西の交易路は両帝国の国境地域を迂回してアラビア半島を経由するようになり、アラビア半島のメッカやメディナが繁栄するようになった。この時メッカに出現し、ユダヤ教・キリスト教を継承する一神教を説いたのが、イスラーム教の開祖ムハンマドである。ムハンマドに率いられたイスラーム帝国は、ムハンマドの死までにアラビア半島を統一し、ムハンマドの後継者である正統カリフの時代には戦争で疲弊した東ローマ帝国とササン朝を襲って東ローマ帝国からシリアとエジプトを奪い、ササン朝を滅ぼして西アジアを支配するにいたった。さらにカリフ位の世襲を開始したウマイヤ朝の時代には、イベリア半島に進出して西ゴート王国を滅ぼし、キリスト教世界を脅かした。ウマイヤ朝までのイスラーム帝国は、アラブ人が優遇されるアラブ帝国の性格が強く、非アラブ人はイスラーム教に改宗しても税制などで差別されていた。このような非アラブ人改宗者（マワリー）の不満を利用して成立したアッバース朝は、信徒の平等を実現して名実ともにイスラーム帝国となり、首都バグダードは、東方の唐帝国の都長安と並ぶユーラシア大陸の中心として繁栄する。しかし、9世紀になるとアッバース朝は急速に解体に向かい、イスラーム世界の分裂が進む。

その頃、東方では唐帝国の支配体制が緩み、自営農民を基盤とした国家経営から、新興地主を基盤とする国家経営へと社会体制は大きく変容した。唐末五代の混乱期に貴族層は最終的に消滅し、中国を再統一した宋の下で採用された文治主義は、新興地主を士大夫の中心として支配体制に組み込むことで、清代までの中国社会の基本構造を決定する。しかし宋代には北方民族の台頭によって朝貢冊封体制は大きく揺らいでいた。

このように西方のイスラーム世界と東方の東アジア世界がともに分裂状況にあった13世紀初頭、モンゴル帝国がモンゴル高原に出現し、西アジア世界と東アジア世界を統合する世界帝国を出現させた。モンゴル帝国の下で東西交流は活発化するが、14世紀にはモンゴル帝国は解体に向かい、その解体過程から東アジアでは明清帝国が、イスラーム世界ではティムール帝国を経てオスマン・サファヴィー・ムガル の3帝国が、ユーラシア北方ではロシア帝国が出現する。

ヨーロッパが主権国家が分立併存する主権国家体制にむかった16世紀から18世紀にかけての時代（近世）、ユーラシア大陸の主要部では、大帝国による広域秩序が再建されるのである。

イスラーム世界

前史

* イスラーム化以前の時代をアラビア語でジャーヒリーヤ（無明時代）

6世紀末
途絶

ササン朝と 東ローマ 帝国の対立激化→シルクロード（絹の道）の国境部分が戦争地域

アラビア
半島

…7世紀初期よりシリアとイエメンを結ぶ紅海沿岸が陸上交易の要路となりアラブ人発展

…ヒジャーズ地方（紅海沿岸）のヤスリブ（後の1_____）・2_____ 繁栄

570頃 - 632

…メッカの支配部族 4_____ 族のハシム家出身

3_____ …610年頃唯一神アラー・啓典 5_____ のイスラーム教創始

イスラーム教では、モーセやイエスも預言者とする

622年 6_____

o 迫害→1_____ へ→教団国家（7_____）成立し発展

o ヒジュラの年はイスラーム暦（太陰暦で一年10-11日短い）の紀元元年

630年メッカ征服…

8_____ 神殿の偶像を破壊し、聖地→アラビア半島の大部分を支配下

632

正統カリフ時代

9_____ …ムハンマドの後継者・政治的権限のみ（教義決定と立法はウラマーの合意）

9_____ …初期四カリフ（正統カリフ）は選挙制、以後は世襲となる

位 632- 634

アブー・バクル

…ムハンマドの古くからの友人。教徒の分裂回避

位 634- 644

ウマル

…異教徒に対する聖戦（10_____）『コーランか貢納か剣か』に活躍

o ユダヤ教・キリスト教は 11_____ で信仰許可（庇護民をジンミー）

o 対東ローマ帝国…シリア・エジプト（アレクサンドリア占領、ミスルとしてフスタート建設）

o 対ササン朝…バスラ（最初のミスル）建設→642年 ニハーヴァンドの戦い（滅亡は651年）

位 644-656

ウスマーン

…コーラン完成期のカリフ・ウマイヤ家出身で一族に権力集中し分裂の原因

位 656-661

…ムハンマドの従兄弟で 13_____ と対立→ハワーリジュ派に暗殺

12_____ …死後支持者が 14_____ 派結成し多数派スンニ派と対立

661

ウマイヤ朝

位 661- 680

…ウスマーンと同じ 15_____ 家出身のシリア総督でアリーと対立

13_____ …アリー暗殺後カリフ就任を宣言。都を 16_____ に、ウマイヤ朝創始

アラブ帝国

…アラブ人の異民族支配を目的。アラブ人に 17_____（地租）の免税特権

…異民族はイスラーム教に改宗しても 18_____（人頭税）の支払い義務

領土…領土最大。アブド・アルマリク（アラビア語行政語）、ワリード1世（西ゴート滅時の君主）全盛

o 中央アジア西部支配しパミール高原で唐 o 小アジア東部で東ローマ帝国に接する

o インドのシンド地方に進出 o イベリア半島の 19_____ を滅ぼす

* but732年 20_____ 間の戦いでフランクに敗北し進撃停止

750

アッバース朝

位 750-754

アブー・アルアッバース

…ムハンマドの叔父 21_____ の一族、ホラーサーン（イラン東部）で蜂起

…シーア派とマワリー（非アラブ人教徒・イラン系多い）の支援、都をクーファ

イスラーム帝国

…アラブ人の免税特権を廃止しハラージュの支払い義務 → イスラーム教徒の平等

…ジズヤはジンミーのみ = マワリーの支払い義務停止

政策 o シーア派の援助で成立もシーア派弾圧し 22_____ 派保護、カリフ権神授思想で権威強化

o イスラーム法（シャリーア）の施行がカリフの責務、宗教学者（23_____）の台頭

o 宰相（ワズィール）統率の官僚制度が発達し俸給制度アター制を施行→後マムルークの権限強化

o 二代マンスールの時 24_____ 造営して首都（人口100万で、長安と並ぶ大都市）

o 五代（位786-809） 25_____（カール大帝と使節交換）全盛

- メディナ
- メッカ
- ムハンマド
- クライシュ
- コーラン
- ヒジュラ
- ウンマ
- カーバ
- カリフ
- ジハード
- 啓典の民
- アリー
- ムアーウィヤ
- シーア
- ウマイヤ
- ダマスカス
- ハラージュ
- ジズヤ
- 西ゴート
- トゥール・ボワティエ
- アッバース
- スンニ
- ウラマー
- バグダード
- ハールーン・アッラシード

イスラーム教の構造

唯一神アッラー

…多神教や偶像崇拜否定。ユダヤ教・キリスト教の影響

…モーセ・イエスも預言者→**ムハンマド**を最大最後の預言者

信徒…イスラームは神への絶対帰依を意味。信徒**ムスリム**は神の前で平等で**聖職者階級を認めない**

義務 o 六信…神・天使・経典・預言者・来世・天命を信じること。信仰の基本

o 五行…信仰告白・一日**五回**の礼拝・メッカ巡礼・断食（**ラマダーン**月）・喜捨（救貧税ザカート）

啓典コーラン

…三代カリフウスマーンの時に成立し教義だけでなく日常・社会生活も規定

…『旧・新約聖書』も啓典で、**ユダヤ教徒・キリスト教徒は啓典の民**

シャリーア

…法学者（**ウラマー**）がコーランなど解釈し成立。その施行がカリフの責務

…ムスリムの世俗生活の全てを規制→ but 信仰形式化の問題発生

スーフィズム

…信仰の形式化に対し神への愛を基に修行による神との合一を目標

…修行者を**スーフィー**（合一の境地に達したスーフィーは奇跡を行う力を得て聖者）

o 11世紀**ガザーリー**によって正統信仰に位置付け。12-13世紀教団結成し発展

o 教団員が商人などとしてインドや東南アジア各地に**イスラーム布教**

【7世紀初頭のアラビア半島】

ビザンツ帝国

* ヘラクレイオス1世がササン朝と抗争し一時シリア・エジプトを失う

* 622年にヘラクレイオス1世のササン朝遠征開始→シリア・エジプトを奪回

ササン朝

* 7世紀初頭よりビザンツ帝国との抗争激化

* 一時シリア・エジプト占領もビザンツ帝国に奪回

* ビザンツ帝国との抗争で疲弊

ヒジャーズ

* シリアとイエメンを結ぶ交通路として発達

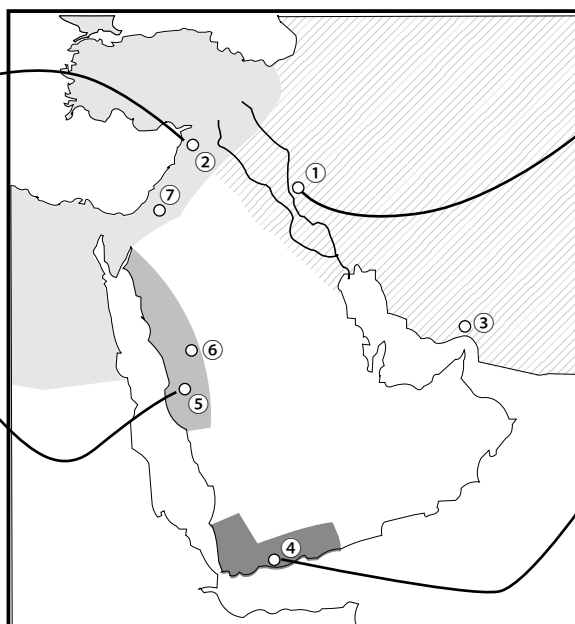
* セム系アラビア人のベドウィンが交易に活躍

* ビザンツ帝国とササン朝の抗争で従来の交易路途絶し繁栄

イエメン

* 紅海航路による季節風貿易の拠点としてアラビア半島で最も早く繁栄

* 旧約聖書の「シバの女王」のサバ王国の所在地



①**クテシフォン** ティグリス左岸のササン朝の首都

②**アンティオキア** シリア地方の重要都市でキリスト教五本山の一つ、パウロの布教の拠点

③**ホルムズ** ペルシア湾航路の要衝として発展

④**アデン** 紅海航路の要衝でイエメン地方の中心都市、12世紀以降カーリミー商人の拠点

⑤**メッカ** クライシュ族が支配、カーバ神殿はイスラーム以前から信仰の聖地

⑥**メディナ** ムハンマド以前はヤスリブ。622年ムハンマドのヒジュラでウマ成立

⑦**エルサレム** 死後ムハンマドの魂がこの地より昇天の伝説、イスラーム第三の聖地

アッバース朝初期の分離

* アッバース朝と対立したウマイヤ家とシーア派が、イベリア半島とモロッコでアッバース朝から政治的に分離

o **後ウマイヤ朝**～756年ウマイヤ家がイベリア半島のコルドバを都に自立

o **イドリース朝**～789年モロッコにアリーの子孫を擁し成立のシーア派王朝、ベルベル人を基盤

イスラームの分裂

3 カリフ国の鼎立

→ウマイヤ家、シーア派の反アッバース運動でイスラーム世界分裂

756-1031

…アブド・アッラフマーン 1 世建国。都₂_____イスラーム最初の政治分裂

1

…10 C のアブド・アッラフマーン 3 世がカリフ称し、宰相マンスール起用。全盛

909-1171

…過激₄_____派のイスマール派がチュニジアに建国。969 年エジプト征服

3

…新都₅_____造営（フスタートの近郊）。₆_____学院創設

750-1258

アッバース朝

…9 C 中頃黒人奴隷反乱のザンジュの乱で動揺。₇_____軍団の発言力増大

…エジプトのトゥールーン朝（868）中央アジアのサーマーン朝（875）など自立

イラン人軍事政権台頭

→中央アジアのサーマーン朝、イランのブワイフ朝など強勢

875-999

…中央アジア最初の₉_____系イスラーム王朝。900 年以降都ブハラ。スンニ派信仰

8

…アッバース朝から事実上独立。トルコ人を₇_____としてイスラーム世界に供給

932-1055

…イラン系で穏健₄_____派、イランより台頭→946 年バグダード入城

10

…アッバース朝の実権奪い大アミールの称号。₁₁_____制を開始

トルコ人諸王朝の建設

→9 C のウイグル滅亡後、トルコ人の東方移動加速。世界へ

10 C 中 -12 C 中頃

12

…最初の₁₃_____系イスラーム王朝。中央アジアのトルコ化とイスラーム化を促進

…都はベラサグン。サーマーン朝を滅ぼす。11 C に東西に分裂。東は西遼の支配下へ

1132-1211

14

…₁₅_____がカラハン朝を滅ぼし建国。西遼。支配層は仏教信仰。契丹族

…都はベラサグン。東西トルキスタン支配も、内紛が続き、ナイマンに滅ぼされる

977-1186

16

…アフガニスタンのガズナにサーマーン朝のトルコ人マムルーク、アルプテギン建国

…10 世紀末に即位しスルタンを称したマフムードがインド侵入開始、フィルドゥーシーを保護

1148-1215

17

…アフガニスタンのゴールに建国しガズナ朝を滅ぼす

…インドに侵入し、北インド支配。内紛で奴隷王朝自立。ホラズムに滅ぼされる

1206-1290

18

…ゴール朝のマムルーク、₁₉_____がインドに自立し建国。都₂₀_____

…以後ハルジー・トゥグルク・サイイド・ロディーと₂₁_____朝

1038-1157

22

…₂₃_____が中央アジアのメルブに建国。1055 年ブワイフ朝滅ぼす

…バグダード入城し、アッバース朝カリフより₂₄_____の位。大帝国建国

o マンジケルト（マラーズギルト）の戦い…1071…2 代アルプ・アルスラーンがビザンツに勝利

o 全盛 * 3 代マリク・シャーの宰相₂₅_____が現出

* ブワイフ朝に始まる₁₁_____制を整備

* ₂₆_____創設・ジャラーリ暦制定の文化事業

o 衰退…内紛で 4 小王朝に分裂。ホラズムにイランを奪われ消滅

1077-1231

27

…アム川流域のホラズム地域に成立のトルコ系国家

…セルジューク朝よりイラン、ゴール朝滅ぼしアフガニスタン併合もモンゴルに滅

イスラーム世界の危機

→西方からの十字軍と東方からのモンゴルの襲来でイスラーム世界の動揺

1071 年マンジケルトの戦い→小アジアにルーム＝セルジューク朝成立（都コンヤ）し、ビザンツ圧迫

11 C 末 -13 C

十字軍運動

…第一回十字軍にシリアを奪われる。エルサレム王国の建設

…チンギス・ハンの遠征でホラズム敗北。東方イスラーム世界の大部分が征服

13 C

モンゴルの襲来

…1258 年フラグの西征でアッバース朝が滅亡

…イラン・イラクにイル・ハン国成立→後にガザン・ハンがイスラームを国教

1. 後ウマイヤ朝 2. コルドバ 3. ファーティマ朝 4. シーア 5. カイロ 6. アズハル 7. マムルーク 8. サーマーン朝 9. イラン
10. ブワイフ朝 11. イクター 12. カラハン朝 13. トルコ 14. カラキタイ 15. 耶律大石 16. ガズナ朝 17. ゴール朝 18. 奴隷王朝
19. アイバク 20. デリー 21. デリー＝スルタン 22. セルジューク朝 23. トゥグルル＝バク 24. スルタン 25. ニザーム＝アルムルク
26. ニザーミーヤ学院 27. ホラズム

イスラームの社会と経済

都市中心

…官僚・商人・軍人が都市住人。初期にアラブ人の軍営都市**ミスル**建設

…1 (寺院) と 2 (市場・ペルシア語で**バザール**) が都市の中心

…モスクには学校の 3 が付属。都市の施設は、信託財産の 4 で運営

隊商貿易…隊商宿を 5, ラクダを用いた交易, ディナール金貨とディルハム銀貨

商船貿易…三角帆の 6 船を使用, 中国ではアラブ人を大食, 唐では広州の蕃坊に居住

→ 10 世紀に地中海とインド洋の中継はペルシア湾ルートから紅海ルートに中心が移動

→ アッバース朝の混乱とファーティマ朝の台頭でバグダードからカイロへ繁栄が移る

→ エジプトのアイユーブ朝とマムルーク朝は 7 商人の紅海貿易を保護し利益

8

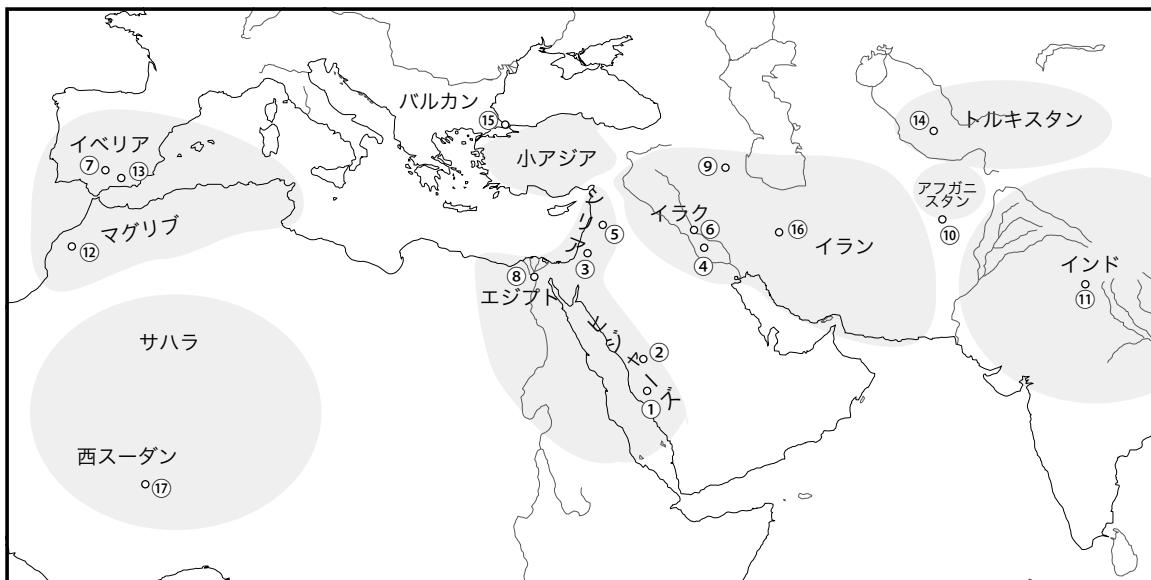
…農民から徴税し国庫におさめた租税と、鉱山からの収益で官僚や軍人に俸給の制度

…9 世紀半ば以降銀鉱山の収益不足で実施困難となり, 給与不足に不満の軍隊が地方で自立

9

…10 世紀中頃 10 朝のもとで採用され, 11 朝で整備

…兵力の提供の代わりに, 土地の徴税権 (イクター) を与え, 直接徴税させる



① **メッカ** クライシュ族支配の隊商貿易で繁栄, カーバ神殿のイスラーム第一の聖地

② **メディナ** 622 年ヒジュラ (聖遷) でウンマのイスラーム共同体成立, 第二の聖地

③ **エルサレム** ユダヤ教, キリスト教, イスラーム教の聖地, 岩のドームが所在

④ **クーファ** ミスル (軍営都市) として建設, シーア派の拠点でアッバース朝初期の都

⑤ **ダマスカス** 前 1200 年頃セム系アラム人が活動, ウマイヤ朝のムアーウィヤが都

⑥ **バグダード** アッバース朝 2 代カリフのマンスールが造営, マディーナ・アッサラーム (平安の都)

⑦ **コルドバ** 後ウマイヤ朝が都とし, 西方イスラーム文化の中心, イブン・ルシュドなど輩出

⑧ **カイロ** ファーティマ朝がフスタート近郊に造営, 以後の諸王朝の都, アズハル大学は最古の大学

⑨ **タブリーズ** フラグ建国のイル・ハン国の都, サファヴィー朝でも初期の都

⑩ **ガズナ** アフガニスタンに拠点の最初のイスラーム王朝であるガズナ朝の都

⑪ **デリー** 奴隷王朝以来のデリー・スルタン諸王朝と, ムガル帝国 (一時アグラに遷都) の都

⑫ **マラケシュ** ベルベル人のムラービト朝, ムワッヒド朝の都

⑬ **グラナダ** イベリア半島最後のイスラーム王朝ナスル朝の都, アルハンブラ宮殿が有名

⑭ **サマルカンド** ティムール帝国で都

⑮ **イスタンブル** 1453 年コンスタンティノープルをオスマン帝国が占領して都

⑯ **イスファハン** サファヴィー朝のアッバース 1 世が遷都し, 「イスファハンは世界の半分」の繁栄

⑰ **トンブクトゥ** ニジェール川流域, 金と塩のサハラ縦断貿易の拠点都市として繁栄, 大学も設置

1. モスク 2. スーク 3. マドラサ 4. ワクフ 5. キャラバンサライ 6. ダウ

7. カーリミー 8. アター制 9. イクター制 10. プワイフ 11. セルジューク

エジプト王朝の繁栄

十字軍とモンゴルの襲来をエジプトのイスラーム王朝が防ぐ。

1169-1250

…クルド人の部将₂が**ファーティマ朝**より自立し建国。₃派

1

…ファーティマ朝、₄**王国**滅ぼし、第3・5・6回十字軍と交戦

1250-1517

…マムルーク軍指令官のアイバク建設。第5代バイバルスが確立

5

…第6回十字軍に勝利。**イル・ハン国**侵入撃退。アッバース朝のカリフを擁立

イスラームの拡大と浸透

*インド・東南アジア・アフリカなどへの布教は**スーフィー**教団が大きな働き

*イベリア半島・西北アフリカ…**マグリブ**（西北アフリカ）の**ベルベル人**が11 Cイスラーム教改宗改宗

o₆朝（1056～1147）…ベルベル人建国。マラケシュ首都。**ガーナ王国**滅。イベリア進出

o₇朝（1130～1269）…ムラービト朝に代わったベルベル人王朝。レコンキスタに敗北

o₈朝（1230～1492）…都₉イベリア最後の王朝。**アルハンブラ宮殿**造営

*内陸アフリカ…イスラーム化以前から黒人王国が存在

o₁₀**王国**（前920頃～前656）…ナイル上流の黒人王国。前8 Cにはエジプト支配

o₁₁**王国**（前670頃～後350）…クシュ王国がアッシリアの侵入で遷都。アクスムに滅

o₁₂**王国**（前120頃～8 C頃）…セム系アクスム人建国のエチオピア最初の統一王朝

o₁₃**王国**（8 C以前～1076）…西スーダンの**黒人**王国。サハラ縦断し₁₄交易

o₁₅**王国**（1240～1473）…西スーダンの黒人**イスラーム**王国。**マンサ・ムーサ**のメッカ巡礼有名

o₁₆**王国**（1473～1591）…西スーダンの黒人イスラーム王国。₁₇に大学

o **カネム＝ボルヌー王国**…9 Cよりチャド湖東岸に存在。チャド湖南西岸のボルヌに遷都後はボルヌー王国

o₁₈…南ローデシアの石造都市遺跡

o₁₉王国…15 C頃ザンベジ川流域に栄え、イスラーム商人と交易

*アフリカ東海岸の港市…海港都市繁栄。アラビア語の影響を受けた₂₀（海岸の意）語普及

o₂₁…現ソマリアの首都で9世紀にアラブ人が建設しインド洋貿易の拠点

o₂₂…現ケニア、鄭和の分遣隊到達、ヴァスコ＝ダ＝ガマ寄港し水先案内人とカリカットへ

o₂₃…現ケニア最大の港市、イギリスが内陸のウガンダと鉄道で結び、経路にナイロビ建設

o₂₄…現タンザニア、19世紀後半アラビア半島のオマーンの下で発展→イギリスの支配下

o₂₅…現タンザニア、南方のソファラを支配下に繁栄もポルトガルの攻撃で衰退

o ソファラ…現モザンビーク、スワヒリ文化圏の南端、モノモタパ王国の金・象牙の出荷地

*インド…ベンガルではパーラ朝（8～12 C）がナーランダを復興し、最後の仏教の繁栄

北西インドでは₂₆がヒンドゥー教とヴァルナ秩序を保護し、分立抗争

o 13世紀初期から16世紀初期までのイスラーム5王朝の総称が**デリースルタン朝**（ロディー朝以外トルコ系）

o 首都は**デリー**。奴隷王朝のアイバクが**クトゥブ＝ミナレット**（モスクの塔）を建設

o 既存の権力機構を通じインド社会支配。北インドのヒンドゥー的社会秩序維持、スーフィーによる布教

デ
リ
ー
ス
ル
タ
ン
朝

o₂₇**王朝**（1206～1290）…ゴール朝の**マムルーク**出身の**アイバク**が自立し建国

o₂₈朝（1290～1320）…14世紀初め南インドに遠征し、その大部分を支配

o₂₉朝（1320～1414）…イブン＝バトゥータ滞在。王朝末にティムール侵入

o₃₀朝（1414～1451）…ティムールの部将が建国し、デリー周辺のみ支配

o₃₁朝（1451～1526）…唯一のアフガン系王朝でアグラに遷都

o₃₂**王国**…14世紀南インドに成立のヒンドゥー教の大国、

カリカット等西海岸諸港の貿易で中東より馬を輸入、16世紀前半全盛→ヴァスコ＝ダ＝ガマ到来

1. アイユーブ朝 2. サラディン 3. スンナ 4. イェルサレム 5. マムルーク 6. ムラービト朝 7. ムワッヒド朝 8. ナスル朝 9. グラナダ
10. クシュ 11. メロエ 12. アクスム 13. ガーナ 14. 塩と金 15. マリ 16. ソンガイ 17. トンブクトゥ 18. ジンバブエ
19. モノモタパ 20. スワヒリ 21. モガディシュ 22. マリンディ 23. モンバサ 24. ザンジバル 25. キルワ 26. ラージポート 27. 奴隷
28. ハルジー 29. トウグルク 30. サイイド 31. ロディー 32. ヴィジャヤナガル

ガーナ王国

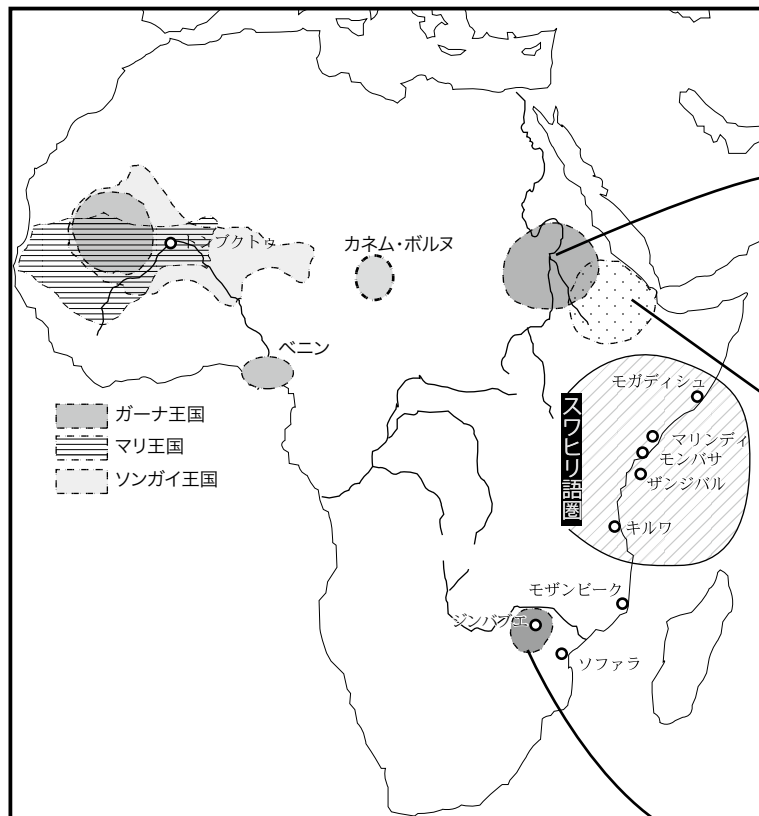
- * 8世紀以前～1076
- * ラクダを用いたサハラ縦断貿易
- * 岩塩と砂金の交易
- * ムラービト朝に滅亡

マリ王国

- * 1240～1473
- * 支配層はイスラーム教を受容
- * マンサ・ムーサ王のメッカ巡礼
- * イブン・バットウータの来訪

ソンガイ王国

- * 1473～1591
- * マリ王国を征服
- * アスキア王全盛
- * トンブクトゥにイスラーム大学
- * 火炮を装備したモロッコ軍に滅亡



クシュ→メロエ

- * 前920頃～後356
- * アフリカ最古の黒人王国
- * 前8Cエジプト征服し第25王朝
- * アッシリアに敗北後メロエ遷都
- * 遷都後は製鉄とメロエ文字が有名

アクスム王国

- * 前120頃～8C頃
- * アラビア半島からセム系民移住
- * 現地の黒人と融合し、建国
- * 4Cにメロエ王国を滅ぼす
- * 4Cに単性論派キリスト教を受容
- * 紅海航路に進出
- * イスラーム勢力に交易路を奪われ衰退

モノモタパ王国

- * 15世紀に全盛
- * ザンベジ川流域
- * イスラーム商人と交易

○ マラケシュ …モロッコの内陸都市，ベルベル人のムラービト朝，ムワッヒド朝の都

○ トンブクトゥ …ニジェール川流域，北方の岩塩と砂金のサハラ縦断貿易の拠点都市，黒人最初の大学も設置

○ ジンバブエ …ザンベジ川流域，石造建築の遺跡で有名，現在の国名ジンバブエの由来

* 黒人奴隷貿易の国家

○ アフリカ西岸…大西洋三角貿易で奴隷の輸出で発展

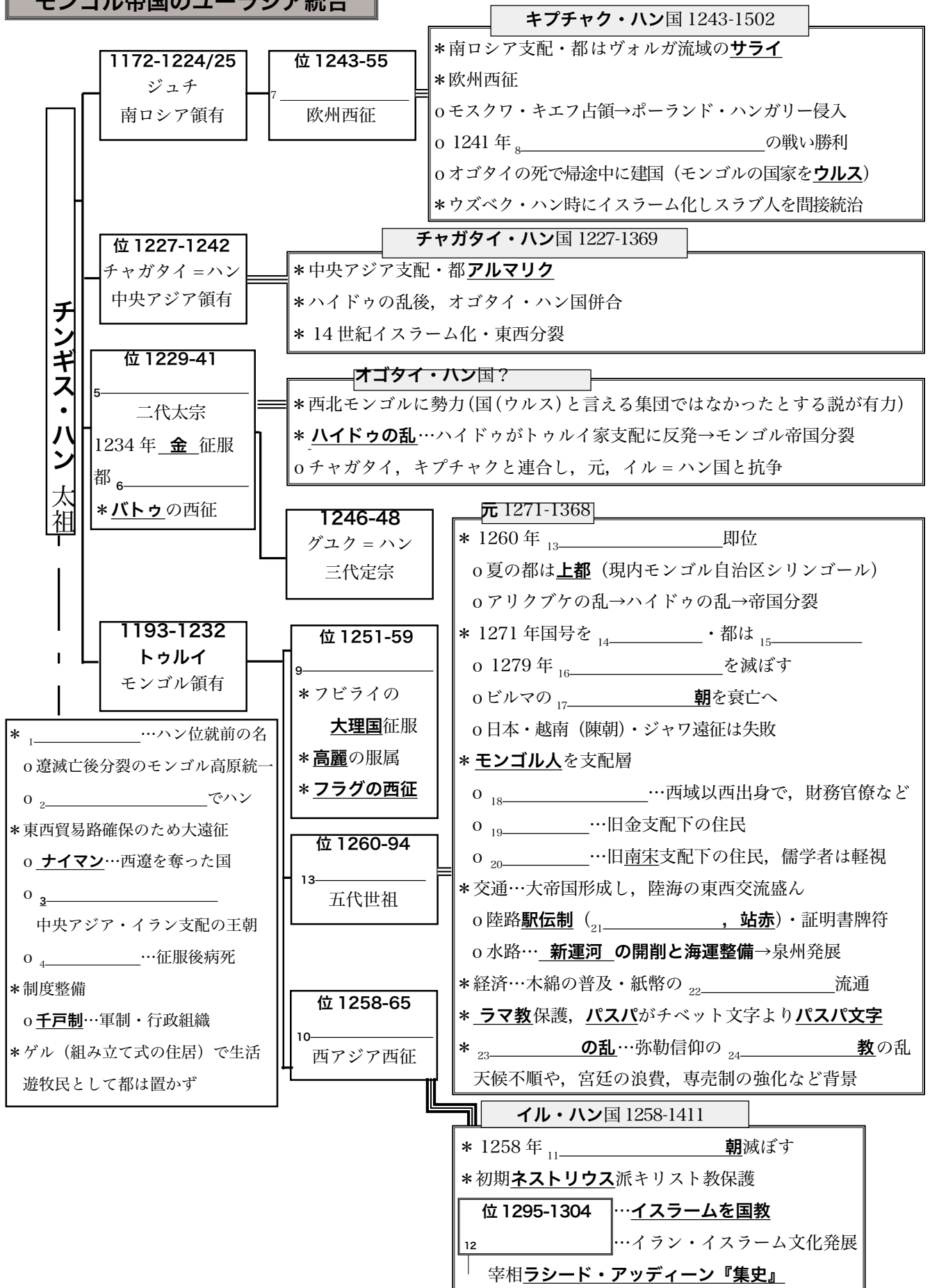
・ ダホメ王国 …現在のベナンに17世紀成立し，19世紀まで奴隷貿易で発展

・ ベニン王国 …現在のナイジェリア西南部，ギニア湾岸ニジェール川下流のデルタ地帯で13～18世紀繁栄

○ アフリカ内陸森林地帯…象牙・奴隷・金の輸出

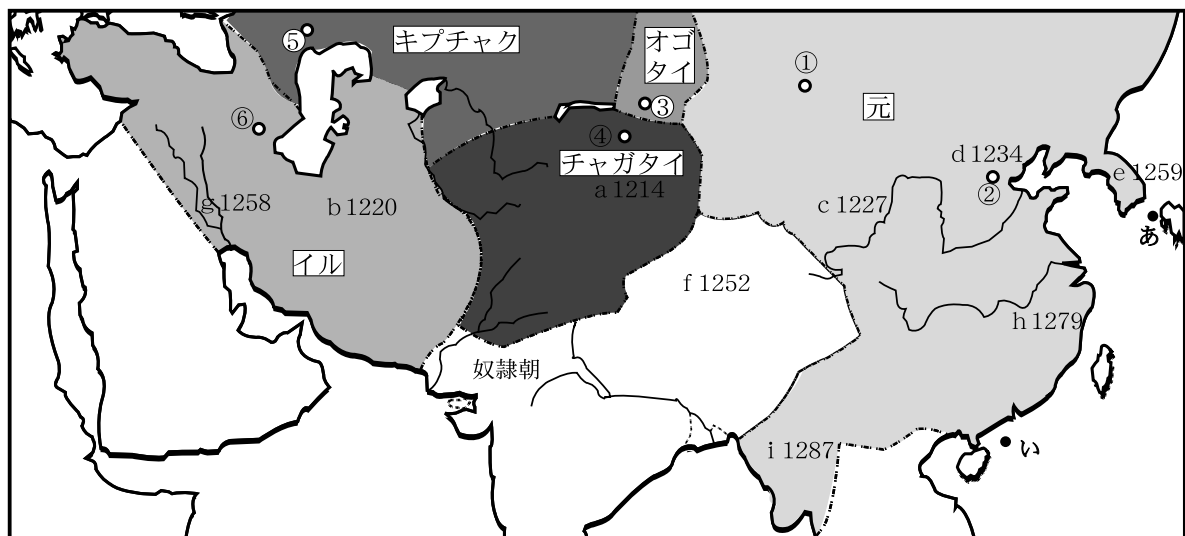
・ ブガンダ王国 …現在のウガンダ中南部で17～19世紀末まで繁栄，モンバサに象牙・黒人奴隷を出荷

モンゴル帝国のユーラシア統合



1. テムジン 2. クリルタイ 3. ホラズム 4. 西夏 5. オゴタイ 6. カラコルム 7. バトゥ 8. ワールシュタット 9. モンケ 10. フラグ
11. アッパース 12. ガザン＝ハン 13. フビライ 14. 元 15. 大都 16. 南宋 17. バガン 18. 色目人 19. 漢人 20. 南人
21. ジャムチ 22. 交鈔 23. 紅巾 24. 白蓮

【モンゴル帝国の発展】



【モンゴルの都】

- ①**カラコルム** …オゴタイが建設し都。カルピニとルブルックが訪問
- ②**大都** …フビライがカラコルムより遷都。現北京。マルコ＝ポーロはカンバリクと伝える
- ③**エミール** …オゴタイ・ハン国の都
- ④**アルマリク** …チャガタイ・ハン国の都
- ⑤**サライ** …キプチャク・ハン国の都
- ⑥**タブリーズ** …イル・ハン国の都。後にサファヴィー朝の建国初期の都となる

【モンゴル帝国のユーラシア大陸制覇】

- a **ナイマン** …西遼（カラ＝キタイ）をクチュルクが奪い建国。チンギス・ハンが滅ぼす
- b **ホラズム** …セルジューク朝よりイランを奪い、ゴール朝を滅ぼす。チンギス・ハンが滅ぼす
- c **西夏** …李元昊建国のチベット系タングート族の国。チンギス・ハンが滅ぼす
- d **金** …オゴタイ＝ハン時に滅ぼす。この国支配下の人民をモンゴルでは漢人と呼称
- e **高麗** …モンケ＝ハン時にモンゴルに降伏。以後王室は元の王室と婚姻関係を結ぶ
- f **チベット** …モンケ＝ハン時にフビライが支配。ラマ教のパスパは後に元の国師
- g **アッバース朝** …モンケ＝ハン時にフラグの遠征軍にバグダード占領され滅亡
- h **南宋** …元のフビライ＝ハンが滅ぼす
- i **パガン朝** …ビルマ最初の統一王朝。元のフビライ＝ハンが滅ぼす

【戦い】

- あ **元寇（文永・弘安の役）** …1274（文永）・1281（弘安）に元の来襲（高麗拠点）を鎌倉幕府が撃退
- い **厓山の戦い** …1279 年南宋滅亡
- * **ワールシュタットの戦い** …1241 年バトウの遠征軍がポーランドでドイツ・ポーランド連合軍に勝利
→リーグニッツ近郊のワールシュタットでの戦いで別称リーグニッツの戦い

【モンゴル帝国と貿易問題】

- * 草原の道とオアシスの道を一元的に支配し、交通路の安全を保障、駅伝制（ジャムチ）整備し貿易振興
→仏教系のウイグル商人とイラン系のムスリム商人が活動し、経済官僚としても登用
- * 帝国全体で銀が主要貨幣、元が発行の紙幣（交鈔）も流通→余った銅銭は日本などに輸出し、経済刺激
→日元貿易は民間貿易として盛ん、日本側の港市は博多が繁栄、日本からは火薬原料の硫黄を輸入
- * 大運河の改修や新運河の開削、海運の整備で中国南方の港市と都の大都を結び、海の道にも進出
- * マジャパヒト王国を朝貢させ、日本とは民間貿易（日元貿易）盛ん
- * 海の道は、東南アジアのマジャパヒト王国、インド南部のパーンディヤ朝を経てイランのイル・ハン国へ
→エジプトのマムルーク朝はカーリミー商人がインド洋と地中海を結合し交易に参入
- * 草原の道、オアシスの道、海の道が円環的に結合し、一大交流時代の出現

明清帝国

1368

明

位 1368- 1398

…²_____の乱（白蓮教の韓山童・韓林兒首領）の武將出身
…¹_____江南地方を根拠地に建国した唯一の統一王朝で明初の都は³_____（現在の南京）

中華政策 ○ 中華秩序の回復をめざす

君主独裁 ○ ⁴_____省（丞相）廃止…**六部**を皇帝に直属。五軍都督府（軍）・都察院（監察）も直属

○ ⁵_____官学…**大義名分論**で君臣の別強調 cf **華夷の別**強調は中華政策にも好都合

○ ⁶_____制…一皇帝期一元号の制で清末まで継承。元号名も皇帝名に

人民支配 ○ ⁷_____制…民戸を対象とした徴税と治安維持のための村落行政制度、110戸を1里

里長…富裕な者10戸を里長戸とし、毎年輪番で里長として徴税、治安維持担当

甲首…残りを10戸×10甲で甲首戸とし、毎年輪番で10人の甲首が里長を補佐

○ ⁸_____…宋以降作成の課税の基礎の土地台帳

○ ⁹_____…里長・甲首に作成させた、租税台帳を兼ねた戸籍簿

○ 明律・明令…唐制をもと

○ ¹⁰_____…人民教化目的の六カ条の教訓、里老人に里甲内で唱えさせる→教育勅語に影響

○ 職業別戸籍…**民戸**（州県）・**軍戸**（兵部）

○ ¹¹_____制…唐の府兵制を範。衛所に屯田を置き、軍戸に支給するかわりに兵役の義務

対外政策 ○ ¹²_____…前期倭寇対策として私貿易（民間貿易）を禁止

○ 元朝をモンゴル高原に追う（北元）→**北元**を滅ぼす（1388年フビライ家の直系が断絶）

1399-1402

…二代 ¹⁴_____帝（洪武帝の孫）の諸王抑圧政策に燕王朱棣（北平で辺境防衛）反乱

13

…宦官の手助けで首都金陵攻略し帝位奪う→東廠（諜報機関）を設置し反対派弾圧

位 1402- 1424

…北平を ¹⁶_____（順天府）とし遷都・金陵を**南京**（応天府）と称し副都

15

…**宦官**重用・¹⁷_____設置し、**内閣大学士**（翰林院出身者）に天子補佐

文化事業 ○ 永楽大典…類書（諸種の書籍から項目ごと記述を抜粋した一種の百科事典）

○ 四書大全・五経大全…それぞれ四書と五経の注釈書で、科挙の基準とされた

対外政策 ○ ¹⁸_____に五回親征・**東北地方**も攻略・**万里の長城**修築開始

○ **ベトナム（大越国）**征服…¹⁹_____朝滅亡の混乱を利用して一時支配

○ **南海大遠征**（1405-1433）…イスラーム教徒の宦官の²⁰_____の大遠征

→分遣隊は三回までインド西岸**カリカット**到着・四回以降にメッカ・**マリンディ**など到着

→マラッカ王国（艦隊の基地提供）など南海諸国の朝貢促進、足利義満も冊封

北虜南倭

…永楽帝の死後、対外消極策で朝貢貿易の縮小→モンゴル族が交易の拡大求め、侵攻

…16世紀には北方の**モンゴル人**、東南沿岸の後期²¹_____の侵入に苦しむ

○ ²²_____の変…²³_____の²⁴_____に**英宗正統帝**捕虜（1449）

○ ²⁵_____部復興→²⁶_____・**ハン**北京包囲（1550）→明と和睦

○ 16世紀半頃、王直など中国商人中心に**後期倭寇**→海禁の緩和→**日本銀・メキシコ銀**の流入

→都市と農村の経済格差拡大し、都市への人口流入など社会不安発生→民変の多発

位 1572- 1620

…初期²⁸_____の改革（1572-82：全国的検地と銀納の**一条鞭法**の普及）

27

…後期宦官重用・万暦の三大遠征（**豊臣秀吉の朝鮮侵入**など）・党争で衰退

* 党争…²⁹_____党（**顧憲成**再建の**東林書院**より政界浄化主張）v s **非東林党**（魏忠賢ら宦官と結ぶ）

1631-45

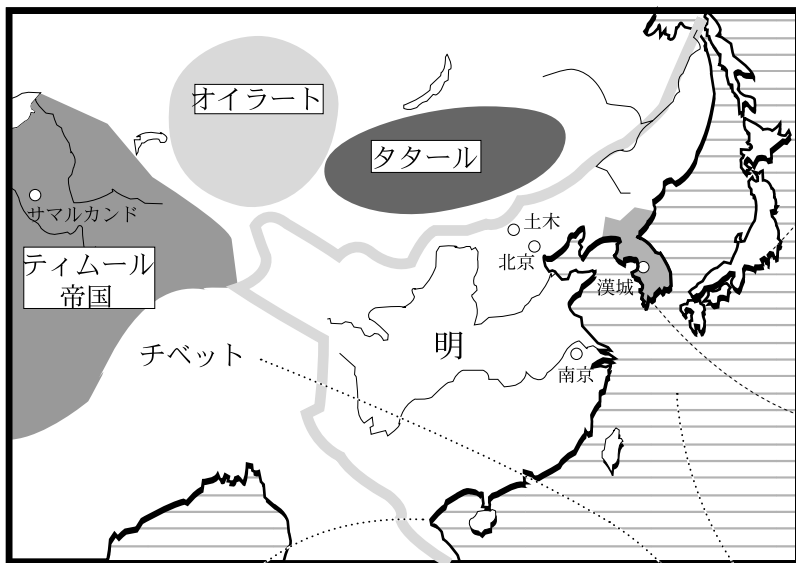
…**女真人**（後金→清）との戦いで軍事費増大→重税→各地で農民反乱

30

…陝西拠点に大順建国の**李自成**が1644年北京の**紫禁城**占領・毅宗崇禎帝自殺し、明滅亡

1. 太祖洪武帝朱元璋
2. 紅巾
3. 金陵
4. 中書
5. 朱子学
6. 一世一元
7. 里甲
8. 魚鱗図冊
9. 賦役黄冊
10. 六論
11. 衛所
12. 海禁
13. 靖難の役
14. 建文
15. 永楽帝
16. 北京
17. 内閣
18. モンゴル高原
19. 陳
20. 鄭和
21. 倭寇
22. 土木
23. オイラト
24. エセン
25. タタール
26. アルタン
27. 万暦帝
28. 張居正
29. 東林
30. 李自成本の乱

[15C初頭の中国周辺情勢]



日本

- * 1336-92 南北朝の動乱：倭寇活動
- * **室町幕府** (1338-1573)
- * **足利義満**の南北朝統一
→ **永楽帝**の冊封で**勘合貿易**
- * 1573 年織田信長が室町幕府を滅ぼす
- * 1590 年**豊臣秀吉**の統一→**朝鮮出兵**
- * 1603 年徳川家康の江戸幕府開始

李朝朝鮮

- * 1392 年親明派の**李成桂**建国
- * 都は**漢陽** (漢城)：**朱子学**官学
- * **両班**層確立し支配層→党争
- * 表音文字の**訓民正音**・銅活字・白磁
- * **豊臣秀吉**の朝鮮出兵 (15 C 末)
→明の支援と**李舜臣**の亀甲船活躍

琉球

- * 15 C 初めに**中山王**尚巴志が、統一
→明の**冊封**を受け朝貢
→東南アジア・中国・日本の中継貿易
- * 1609 年**薩摩藩**の侵攻
→日中両属状態
- * 1879 年明治政府の琉球処分
→琉球王国消滅し、沖縄県設置

チベット

- * 14 c **ツォンカパ**が**黄帽派** (黄教) 創始
飲酒・妻帯を厳禁
- * **ダライ・ラマ**が活仏として教主
初代はツォンカパの弟子→転生で継承
補佐役はパンチェン・ラマ

ベトナム

- * 1400 年**陳朝**は家臣に国を奪われる
- * 1407 年**永楽帝**は陳朝復興を口実に大越国占領
→1418 年より**黎利**の抵抗運動
- * 1428 年明より自立し、**黎朝**大越国成立
朱子学を官学とし、科挙を確立
チャンパーを征服し、ベトナム南部を支配 (南北統一)
16 C より家臣の鄭氏が実権→同じく家臣の阮氏が南方で対抗
→事実上南北に分裂 (南を広南王国)
- * 1778 年阮氏・鄭氏・黎朝を滅ぼし**西山朝**成立 (西山党の乱)
- * 1802 年**阮朝越南国**成立
阮氏の一族**阮福映**挙兵→フランス宣教師**ピニョー**の支援
→西山党阮氏を破り建国 (ベトナム最後の王朝)

【明の貿易問題】

- * 元末より**前期倭寇** (日本人中心) 活動→**洪武帝**は**海禁**で中国人の海外渡航と私貿易を禁止して対抗
- * **永楽帝**は**鄭和**の遠征など、儒教的な華夷秩序確立に努力→**冊封体制**に基づく**朝貢貿易**を振興
→₁_____を日本国王に冊封し**勘合貿易**→₂_____幕府の倭寇取締りで前期倭寇鎮静化
- * 永楽帝後、勘合貿易の縮小→16 世紀半ばに途絶
16 世紀中国内の銀需要の増大 (江南の経済発展, 長城地帯の軍備増強)
→海禁に不満な**中国商人を中心に**日本との密貿易増大 (中国の₃_____と日本の₄_____の交換)
→16 世紀大航海時代で**ポルトガル商人**を先駆にヨーロッパ商人も密貿易に参加
→明朝の取締りに貿易商人は武装して対抗し、**後期倭寇** (王直など有名)
- * 16 世紀後半に海禁緩和 (東南アジア方面の海禁解除, 日本方面の海禁は継続) →商業の時代本格化
→東シナ海・南シナ海貿易の活発化→**メキシコ銀・日本銀**の流入→銀納の₅_____成立の前提
- ・**ポルトガル商人**は₆_____を拠点に日本の銀と中国の生糸を交易する日中中継貿易→**日本銀**流入
- ・**スペイン商人**はメキシコのアカプルコからフィリピンの**マニラ**まで₇_____船で交易→**メキシコ銀**流入
- ・**オランダ商人**はポルトガル商人に対抗し、₈_____を拠点に日中中継貿易→日本の鎖国で貿易独占
- ・日本商人と中国商人は東南アジアで出会い貿易→東南アジアに中国人町 (華僑), 日本人町
→17 世紀初頭に江戸幕府は₉_____船貿易

後金 1636

位 1616-26 太祖₁ … 女真人建州部出身, ₂ _____ ・毛皮の交易で台頭→1616年**後金 (アイシン)** 建国

位 1626-43 太宗₄ … ₃ _____ (旗人に**旗地**を与える)・**満州文字** (モンゴル文字改良) 創設, 都は盛京

位 1643- 1661 ₉ … ₁₀ _____ の先導で**山海関**通過→北京を都, 漢人補助軍の ₁₁ _____ 創設

位 1661- 1722 ₁₃ … **鄭芝竜**・₁₂ _____ らの復明運動に遷界令→鄭氏は**オランダ**から**台湾**奪い拠点

位 1722- 1735 ₁₇ … ₁₀ _____ の ₁₄ _____ 鎮圧・1683年**台湾征服**し中国統一・**ジュンガル**に親征

位 1735- 1795 ₂₀ … ₁₅ _____ **条約**で ₁₆ _____ のロシアと東北地方の国境画定

…青海平定。ジュンガル討伐に際し ₁₈ _____ 設置→軍事行政の最高機関に

…1724年 ₁₉ _____ **教禁止**・27年**キャフタ条約**でモンゴル地方の国境画定

…₂₁ _____ **部**・回部平定し, その地を ₂₂ _____ →領土最大。ビルマに遠征

…藩部 (間接支配地) 管理のため ₂₃ _____ 整備, 監督官の派遣や事務処理を行う

直轄…中国内地・東北地方 (盛京は北京遷都後に奉天と改称, 現在の瀋陽)・台湾

藩部…モンゴル地方 (熱河の離宮で王侯を謁見)・青海・東トルキスタン (**新疆**)・チベット

清はチベット仏教 (ダライ = ラマ) やイスラーム (ベグ) の保護者, 現地の首長に統治をゆだねる間接統治

属国…朝鮮・ベトナム・タイ・ビルマ・琉球 (日中両属), 日本は冊封離脱, 近松門左衛門『国性爺合戦』

懐柔政策 ₂₄ _____ **制**…同一官職に漢人と満人併用・合議制をとり漢人懐柔

大編纂事業…伝統文化尊重し学芸奨励。学者動員し優遇・科挙も盛ん

『**康熙字典**』…漢字の字書・『**古今圖書集成**』…大百科事典・『**四庫全書**』…中国文化叢書

『**五体清文鑑**』…五民族語対照辞典

威圧政策 ₂₅ _____ ・**禁書**…排満・反清思想の弾圧や, 反政府出版物の弾圧

₂₆ _____ …自民族の風習を強制「留頭不留髪, 留髪不留頭」

明清の経済と社会

- 農業
 - 長江下流域 (江南) で農村家内工業発展し**綿織物**・**絹織物**盛ん→養蚕・桑・綿花の栽培
 - 穀倉地帯は中流域にうつり, 湖広熟すれば天下足る
 - 華北でトウモロコシ, 江南でサツマイモの栽培→18世紀の人口増加の一因→辺境・山間地の開発
- 商業
 - 華北山西省の ₂₇ _____ **商人**と江南安徽省出身の ₂₈ _____ **商人**活動・互助機関**会館**・**公所**建設
- 産業
 - 江西省**景德鎮**で**染付**・**赤絵**生産。南京木綿有名で, 海外にも輸出
- 社会
 - 銀流入背景に明の16世紀に税制を銀納の ₂₉ _____ に
 - 清康熙帝の18世紀初め, **丁銀** (人頭税) を**地銀** (地租) に組み込む ₃₀ _____ 制開始
 - 佃戸**の地位向上し, 地主に対して**抗租**運動 (ex 鄧茂七の乱)・家庭内奴隷の解放闘争は奴変
 - 中小地主や自営農による租税軽減運動は抗糧
 - 江南では, ₃₁ _____ (科挙合格者で地方に在住する名望家の地主) が社会の指導層に

清朝の貿易問題

- * 1661年清朝は**鄭氏**の経済封鎖のため, 沿岸住民を内地に強制移住させる ₃₂ _____ で海禁を強化
- 1684年に遷界令を解除→1685年海外貿易の役所として海関を設置 (広州など4カ所)
- * 1757年清の ₃₃ _____ **帝**の時対欧州貿易港を**広州**一港とし, **公行** (特許商人組合) を通じての貿易のみ許可
- * 18世紀の清朝の人口増加…南方でサツマイモ, 北方でトウモロコシの栽培が普及, 四川など新開地の開発
- 東南アジア方面からの穀物輸入と, 東南アジアへの**華僑** (南洋華僑) 増加

1. ヌルハチ 2. 葉用人参 3. 八旗 4. ホンタイジ 5. チャハル 6. 李朝 7. 清 8. 満洲 9. 順治帝 10. 呉三桂 11. 緑営
 12. 鄭成功 13. 康熙帝 14. 三藩の乱 15. ネルチンスク 16. ピョートル1世 17. 雍正帝 18. 軍機処 19. キリスト 20. 乾隆帝
 21. ジュンガル 22. 新疆 23. 理藩院 24. 満漢偶数 (併用) 25. 文字の獄 26. 辮髪 27. 山西 28. 新安 29. 一条鞭法 30. 地丁銀
 31. 郷紳 32. 遷界令 33. 乾隆

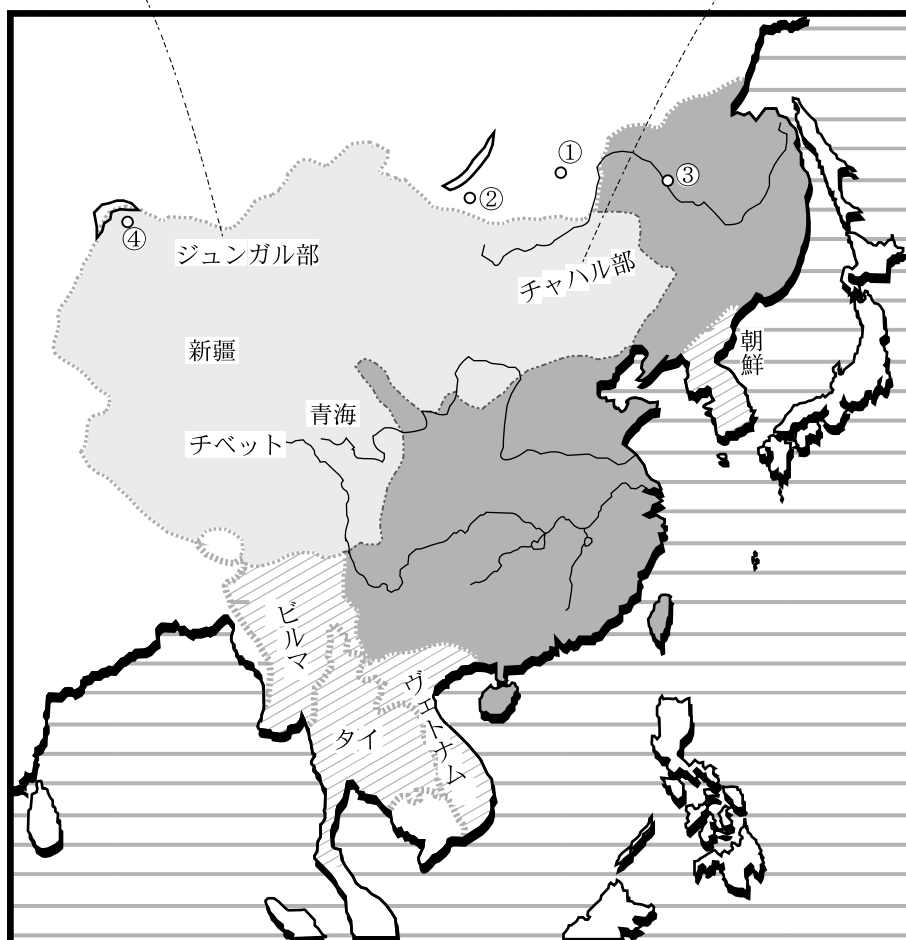
ジュンガル

オイラトの後裔部族

17世紀後半から強力・18世紀全盛
ガルダン・ハンが青海からチベットまで制圧
康熙帝親征，雍正帝，軍機処設置，
乾隆帝の時イリを攻略され滅亡

チャハル

明代に始まる**タタール**の後裔部族
チンギス・ハンの直系
1635年太宗**ホンタイジ**に服属



直轄領 藩部 属国

- ①**ネルチンスク** …ピョートル1世のロシアと康熙帝の清朝の条約締結地。清が外国と対等の立場で結んだ最初の条約でアルグン川と外興安嶺（スタノボイ）山脈を国境に定める
- ②**キャフタ** …雍正帝の清朝とロシアが，外モンゴルとシベリア間の国境を確定キャフタの対岸に互市場の買売城設置
- ③**アイグン** …1858年ロシアがアロー戦争利用し締結の条約地。黒竜江を国境として黒竜江左岸を取得ウスリー江以東の沿海州を露清共同管理地
- ④**イリ** …1881年イリ事件処理のイリ条約の締結地

【キリスト教の布教と典礼問題】

*₁ _____ **会**の布教₂ _____（利瑪竇）の開始，1601年万曆帝に布教許可：徐光啓の協力

*₃ _____ 孔子・祖先崇拝（典礼）への参加問題

イエズス会は信者の典礼を習俗として承認→フランシスコ派やドミニコ派批判→教皇典礼を否定

→₄ _____ はイエズス会以外布教禁止→₅ _____ のキリスト教布教禁止

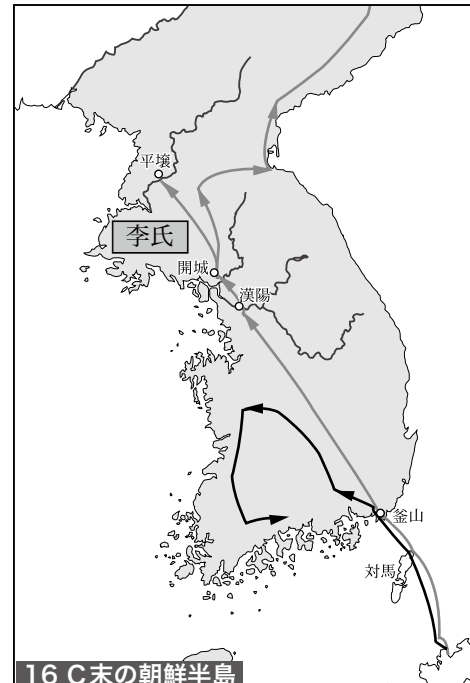
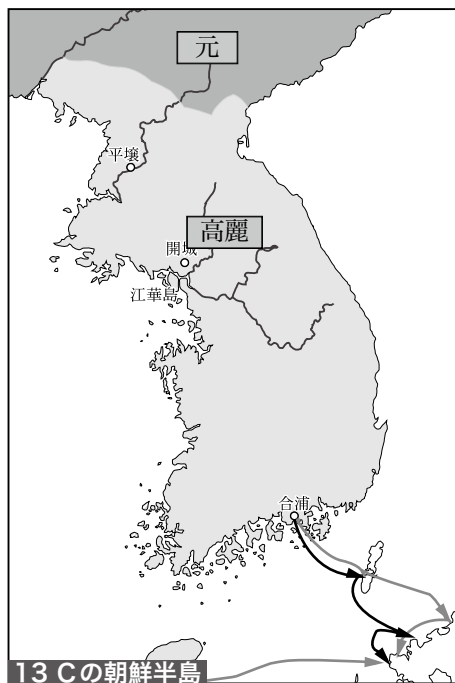
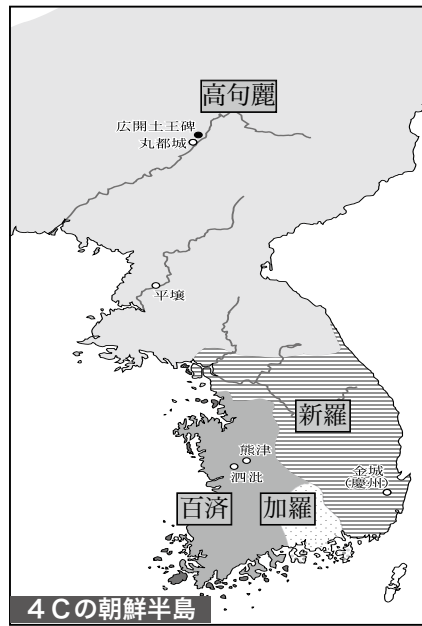
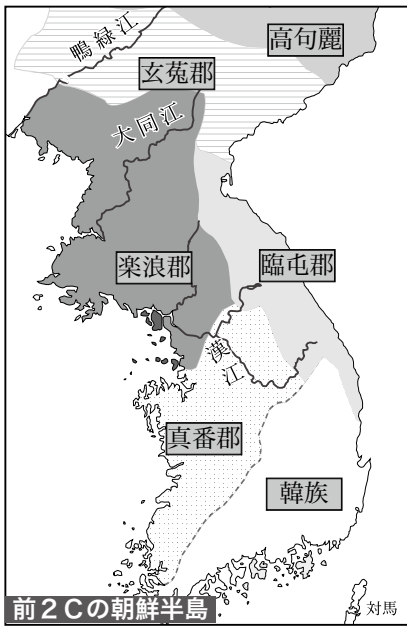
1. イエズス 2. マテオ・リッチ 3. 典礼問題 4. 康熙帝 5. 雍正帝

朝鮮半島史

漢	前202	箕子 朝鮮 前184	箕子 …殷の王族で周の武王より朝鮮王に封じられる →中国で作られた伝説。朝鮮神話では建国者は天孫檀君
		衛氏 朝鮮 前108	…漢の高祖の末年に燕の国より亡命して建国 …都は王陰城（現平壤付近）
	220	中国 支配	* 漢の2 _____ が前108年に衛氏朝鮮を滅ぼし3 _____（現平壤付近）以下四郡設置 * 他の三郡は真番・臨屯・玄菟 * 3C初（後漢末）に遼東の豪族公孫氏が楽浪南方に帯方郡設置→漢文化東方伝播の拠点
魏 晋 南 北 朝	313	北高句麗	* 紀元前後に4 _____ 系の貊族が東北地方に5 _____ 建国。313年楽浪郡を滅ぼす …別称好太王。倭の侵入撃退し、朝鮮半島の大半支配、都丸都城（国内城） …息子長寿王が碑文（広開土王碑文）建立し、平壤に遷都 * 7世紀初…隋の煬帝の3度の高句麗遠征撃退、唐の太宗の2度の遠征を撃退
	589	南百濟・新羅	* 3世紀-4世紀中頃7 _____ 民族の三韓成立。部族国家から統一国家へ 8 _____（西部）→9 _____ …6世紀聖明王期に日本に儒教・仏教を伝来 10 _____（南部）→11 _____（加耶・任那）…金官加耶中心。日本府の存在疑問。新羅に滅 12 _____（東部）→13 _____ …都14 _____ 唐と結び660年15 _____ を滅 →663年16 _____ で日本軍撃破 →668年17 _____ を滅す→半島より唐の勢力を撃退
	618	新羅	* 高句麗の遺民は18 _____ に率いられ靺鞨族と19 _____（698-926）建国 →唐の律令体制導入し、日本とも交流→926年契丹の耶律阿保機に滅亡
唐	907	新羅	* 仏教隆盛…首都金城（現慶州）に20 _____ 建立、石窟庵も有名 * 身分制度21 _____ …氏族的身分制度で五段階に位・官職・婚姻を規定
	960	高麗	935 936 22 _____ 位918-943 …新羅末期の後三国時代の混乱に頭角を現し、918年高麗建国。都23 _____ …935年新羅、936年後百濟を滅ぼし半島統一。中国文化・制度導入 * 身分制度24 _____ …科挙受験資格を有する特権身分官僚階級。文班武班の併称 * 土地制度 …田柴科制一耕地と燃料（柴）の採取地を地位に応じて供給 * 文化繁栄 25 _____ モンゴル侵入時に撃退を願って刊行。木版。仏教繁栄 26 _____ 13世紀初め、材質不明も世界最初 27 _____ 宋磁に学びながらも本場中国をしのぐ
	1127	高麗	* 12世紀末より武官の崔氏が権力掌握。宋・遼・金に服属。モンゴルには江華島に遷都し抵抗 →1259モンゴルに服属（江華島防衛軍の三別抄は抵抗）→親元派と親明派對立
金 元	1271	高麗	1392 28 _____ 位1392-1398 …倭寇を撃退し、名声を獲得した高麗王朝親明派の將軍 …高麗を滅ぼし、明の冊封を受けて国号を朝鮮とする。都29 _____（漢城） * 宗教政策…30 _____ を官学とし、仏教を弾圧。cf. 大儒学者李退溪（李滉）出現 * 身分制度31 _____ …太宗が科田法で官位に応じて田を受給。党争を激化し発展阻害 * 文化繁栄 銅活字…二代太宗の命で鑄字所。世界最初の銅活字 32 _____ …世宗公布の音標文字。ハングル 李朝白磁…高麗の青磁に対して李朝は白磁に優れる
	1368	李朝朝鮮	* 壬辰・丁酉の倭乱…豊臣秀吉の朝鮮侵入。明援軍、義兵活躍、33 _____ の亀甲船が日本水軍撃破 * 清に服属…1637年清のホンタイジに服属→清を夷とし、明の中華継承とする34 _____ 思想 * 江戸幕府とは対等な隣人関係→將軍の代替わりに35 _____ 派遣、磁器・朱子学など影響
	1644	明	
清			

1812：洪景来の乱…代表的農民反乱で大土地所有の進展と李朝の混乱背景

1. 衛満 2. 武帝 3. 楽浪 4. ツングース 5. 高句麗 6. 広開土王 7. 韓 8. 馬韓 9. 百濟 10. 弁韓 11. 加羅 12. 辰韓 13. 新羅
14. 慶州 15. 百濟 16. 白村江の戦い 17. 高句麗 18. 大祚榮 19. 渤海 20. 仏国寺 21. 骨品制 22. 王建 23. 開城 24. 両班
25. 高麗版大蔵經 26. 金属活字 27. 高麗青磁 28. 李成桂 29. 漢陽 30. 朱子学 31. 両班 32. 訓民正音 33. 李舜臣 34. 小中華
35. 朝鮮通信使



室町幕府と李朝の関係

- ・ 明の冊封を受けた対等な隣人として国交
- ・ 李朝が倭寇の拠点と見なした対馬を攻撃 (1419 年応永の外寇)
- ・ 三浦 (現在の釜山, 熊川, 蔚山) と漢城に倭館を設け, 貿易 (1426)

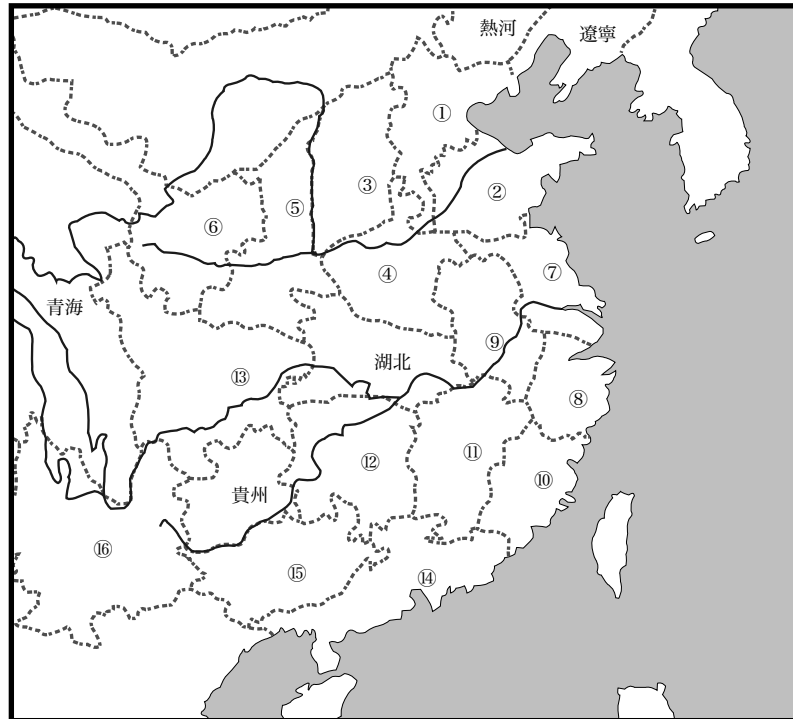
織豊政権・江戸幕府と李朝の関係

- ・ 壬辰・丁酉の倭乱 (豊臣秀吉の朝鮮侵略 = 文禄・慶長の役, 1592 ~ 93, 97 ~ 98)
→ 李舜臣の亀甲船, 民衆 (義兵) の抵抗, 明 (万暦帝) の援軍で撃退
- ・ 日本 (江戸幕府) と国交を回復 (1607)
→ 朝鮮通信使を派遣 (対等な外交関係), 将軍の代わりに慶賀のため訪問
- ・ 江戸幕府は対馬の宗氏に朝鮮外交の実務と貿易の独占を許可, 松前藩にアイヌとの交易を許可
江戸幕府は長崎で中国商人 (唐人屋敷) とオランダ (出島) に通商を認可, 「風説書」を提出させる
- ・ 朝鮮白磁→日本の製陶業に影響 ・ 朝鮮儒学→江戸儒学に影響

テーマ別中国王朝史

	政治体制	官吏任用制	土地・自治制	税制と貨幣	経済	反乱・内乱
殷	神権政治			貝貨		
周	封建制度	宗族（血縁集団）	井田制			
春秋	○封土→貢納・軍事	○宗法で強化	○孟子伝える			
戦国	○卿・大夫・士	下剋上 ○諸子百家活動	○公地公民	青銅貨幣 ○刀・布・環・蟻鼻	牛耕農法 鉄製農具普及	
秦	郡県制度 丞相・太尉・御史大夫			半両銭 ○銅銭・統一貨幣	度量衡統一 富豪首都強制移住	陳勝・呉広の乱
前漢	郡国制度 ○封建と郡県	郷挙里選 ○武帝制定 ○地方長官推薦	郷里の制 限田策 ○哀帝未実施	五銖銭 ○武帝・隋まで算賦 ○重費の人頭税	均輸・平準法 塩・鉄・酒専売 ○武帝の財政策	呉楚七国の乱 ○諸王の反乱 鎮王
新			周礼復活 ○王莽土地改革失敗			赤眉の乱
後漢						黄巾の乱
魏 晋 南 北 朝		九品中正 ○魏の文帝制定 ○中正官推薦 ○上品に寒門なく、 下品に勢族なし →門閥貴族形成へ	屯田制 ○魏の曹操 占田・課田法 ○晋の武帝 土断法（東晋・宋） 均田制・三長制 ○北魏孝文帝	租・調・役 ○北魏の税制	江南開発 ○呉以降進展	八王の乱 ○五胡侵入 永嘉の乱 ○西晋滅亡
隋		科挙 ○文帝・試験制	均田制	租・庸・調 ○文帝制定	大運河 ○煬帝	
唐	中書・門下・尚書 六部・御史台 州県制 武断政治 ○節度使→藩鎮		均田制 ○永業田＝世襲 ○口分田＝一代 莊園発達 ○唐末佃戸地位向上	雜徭 ○地方での労働 兩税法 ○資産に応じ徴収 飛銭（手形）	8世紀貨幣経済 市舶司設置 商業活動は市で ○場所・時間制限 草市発達	安史の乱 ○安祿山と史思明 黄巢の乱 ○王仙芝と黄巢
宋	文治主義 ○君主独裁へ 二重統治（遼・金） 猛安謀克（金）	科挙完成 ○殿試導入 ○形勢戸が官戸へ ○士大夫社会中心	佃戸制莊園 ○新興地主形勢戸 ○佃戸は小作人	交子・会子 ○世界最初の紙幣 交鈔 ○金・元の紙幣	江南で開田・占城米 ○江浙熟すれば天下足る 行・作の組合 商業自由化 草市より鎮・市発展	靖康の変 ○金に北宋滅
元	モンゴル人第一主義	科挙一時廃止		交鈔を唯一の貨幣	新運河・海港都市 木綿の一般普及	紅巾の乱 ○白蓮教の乱
明	中書省廃止 ○六部皇帝直轄 内閣大学士 軍機処		里甲制 ○賦役黄冊作成 ○里甲内で六諭	銀（秤量銀）流通 ○メキシコ・日本銀 一条鞭法 ○銀納・16世紀	新安・山西商人 会館・公所設置 朝貢貿易と海禁 長江中流穀倉地帯	靖難の変 土木の変 李自成の乱
清	理藩院	満漢偶数官制	保甲制 ○隣保制として実施	地丁銀 ○丁銀を地銀に繰入	○湖広熟すれば天下足る 広州のみ開港 ○公行が貿易独占	三藩の乱 白蓮教徒の乱 ○清安定期の終了

【中国重要省】



- ①河北省…清では直隸省。北京郊外到北京原人と上洞人出土の周口店所在。軍閥時代に安直戦争で勝利し、安徽派に代わった直隸派の由来
- ②山東省…黒陶文化の代表的遺跡竜山。唐末の黄巢の乱発生地の地。清末ドイツの勢力圏で、義和団事件発生。1915年の二十一ヶ条要求で日本が利権主張
- ③山西省…唐の建国者李淵は隋代にこの地を拠点。明では北方との貿易に活躍した山西商人の拠点
- ④河南省…彩陶文化の仰韶遺跡。洛陽が存在し、古代文明の一中心。後漢劉秀はこの地方の南陽出身
- ⑤陝西省…北は黄河高原、南は渭水盆地を中心とする地域。西周の都鎬京。秦都咸陽。前漢都長安。隋都大興城。唐都長安の所在。毛沢東が長征ののち延安に拠点。1936年西安事件勃発
- ⑥甘肅省…漢の武帝代に霍去病将軍が匈奴を討伐。敦煌など四郡設置。絹の道の中国側門戸。宋代はチベット系タングート族の西夏がこの地を支配
- ⑦江蘇省…省都は南京で商業都市として重要な揚州も所在。明清代に大都市発達
- ⑧浙江省…宋代に江蘇省と併せて「江浙熟すれば天下足る」と言われた米作地帯。明清では綿花や桑の栽培盛ん。中華民国で、江蘇省と浙江省の出身者が浙江財閥形成
- ⑨安徽省…明の新安商人（徽州商人）の出身地。太平天国の乱時に李鴻章の淮勇活躍。軍閥時代に日本支援の安徽派の名の由来
- ⑩福建省…明清代に多くの住民が華僑として流出。清末不割譲条約で日本の勢力圏
- ⑪江西省…窯業の中心都市景德鎮の所在
- ⑫湖南省…湖北と併せて湖広と称し、明代に米作の中心。「湖広熟すれば天下足る」。毛沢東出身地
- ⑬四川省…四川盆地を中心とする地方。成都（益州）は三国蜀の都。辛亥革命原因の四川暴動発生
- ⑭広東省…省都広州は一大貿易港。漢の武帝が南海郡設置。唐玄宗が初めて市舶司設置。清乾隆帝が唯一の貿易港として公行設置。孫文の出身地で、孫文の国民党の拠点となる
- ⑮広西省…清代の人口増加で先住民や客家、漢人の移民と競合激化→金田村で洪秀全が太平天国の乱挙兵
- ⑯雲南省…唐代にチベット系ロロ族が南詔建国。宋代にタイ系の大理建国。清初呉三桂が勢力

中国文化史

	儒教	道教	仏教	その他
春秋戦国	孔子 (前 551- 前 479) ○ 諸子百家のうち儒家の祖 ○ 孝悌の実践で<u>仁</u>を完成 ○ <u>周礼</u>を理想・周制復活目標 →修身・齐家・治国・平天下 ○ 『春秋』…魯の年代記 ○ 『論語』…死後弟子編纂 孟子 (前 372- 前 289) ○ <u>性善説</u>を唱え、王道政治 荀子 (前 298- 前 238 頃) ○ <u>性悪説</u>を唱え、礼治 →法家に影響 五經…漢代から儒学經典 ○ 『春秋』 ○ 『書經』…周王室の記録 ○ 『詩經』…華北最古の詩集 ○ 『易經』…占いの書 ○ 『礼記』…礼理論 四書…宋代に朱子重視 『論語』『孟子』『大学』『中庸』	老子 (前 5-4C) ○ 儒家の礼を排し<u>無為自然</u> 莊子 (前 4-3C) ○ 自由に遊ぶ真人理想	墨家 = 墨子 (前 5-4C) ○ <u>兼愛説</u>…仁を差別愛・無差別の愛説く ○ 非攻…侵略戦争否定・自衛は肯定 ○ 交利…相互扶助 ○ 尚賢…人材登用 法家 ○ 商鞅 (?- 前 338)…秦の孝公に登用・什伍制 ○ 韓非 (?- 前 233)…荀子の弟子・理論確立 ○ 李斯 (?- 前 210)…荀子の弟子・始皇帝に登用 縦横家…外交に活躍の弁舌家 ○ 蘇秦 (?- 前 317)…六国連合の合従策 ○ 張儀 (?- 前 310)…秦と連合の連衡策 名家…論理学派・名実の関係追求 ○ 公孫竜 (前 320 頃 - 前 250 頃)…白馬非馬論 兵家…用兵家 ○ 孫子・呉子 陰陽家…陰陽五行説 ○ 鄒衍 (前 305- 前 240) 農家…君主も人民も農耕 ○ 許行が主張	
漢	董仲舒…公羊学 ○ 武帝に献策し五經博士 訓詁学…經典の注釈を主 ○ 馬融・鄭玄	太平道…張角 五斗米道 (天師道)…張陵 ○ 民間信仰・神仙思想背景 ○ 祈祷・呪文・符水病氣治療	* 1世紀に西域より仏教伝来 →漢の思想統制と仏典翻訳困難で普及せず	* 陰陽五行説流行 →讖緯説に影響し王莽利用
魏晉南北朝	* 訓詁学中心も儒学不振 ○ 孔子を神として崇拜	寇謙之 (5C) ○ 新天師道の道教教団形成 ○ 不老長生の現世利益追求 ○ 寺院を道觀 ○ 北魏太武帝の保護 →仏教弾圧	仏図澄 (ブドチンガ) ○ クチャ・4世紀洛陽布教 鳩摩羅什 (クマラジーヴァ) ○ クチャ・仏典翻訳 達磨 (ダルマ)…禅 慧遠…白蓮社で浄土宗祖 法顯…東晋・『仏国記』 敦煌・雲崗・竜門 ○ 石窟寺院	清談…魏晉代の脱俗 ○ 戦乱と仏・道教の影響 ○ 竹林の七賢 (阮籍ら)
隋唐	* 訓詁学中心 孔穎達 『五經正義』 ○ 太宗命じ編纂の国定注釈書 ○ 科举に使用→儒学の固定化	* 皇室道教保護し盛ん ○ 老子の姓と唐室の姓同じ ○ 特に玄宗が保護	* 8世紀仏教隆盛 玄奘 『大唐西域記』 義浄 『南海寄帰内法伝』 * 845年会昌の廃仏で打撃 禅宗…唐末以降知識人に 浄土宗…唐末以降農民に	* 三夷教流入 ゾロアスター教 (祆教) マニ教 (摩尼教) ネストリウス派 (景教) ○ 大秦景教流行中国碑 * 会昌の廃仏で三教弾圧 * 他にイスラーム教も伝来 →モスクを清真寺

宋	宋学…哲学的性格・実践倫理 - o 仏教（特に禅）・道教の影響 周敦頤『太極図説』 - o 儒教の宇宙論をつくる 朱熹（朱子）…朱子学大成 - o 華夷の別…中華思想 - o 大義名分論…君臣の別強調 - o 理気二元論…宇宙論 - o 性即理・格物致知…主知的 - o 四書重視 陸九淵（陸象山） - o 唯心論主張し、心即理	全真教…金支配下の華北で o 王重陽が儒・仏・道を調和 →従来の道教は江南で正一教	禅宗…臨済宗・曹洞宗発達 - o 士大夫の支持受け流行 白蓮教…12世紀南宋で成立 - o 浄土宗の影響 - o 弥勒下生主張し貧農に大蔵経（一切経） - o 經典集で宋初に官製本	
元	* 儒教は冷遇	* 全真教隆盛	チベット仏教…宮廷で信仰 - o パスパが国師で仏教主宰 白蓮教…秘密結社化 - o 韓山童・韓林兒紅巾の乱	カトリック布教 - o モンテ＝コルヴィノ大都でマニ教（明教と呼称） - o 紅巾の乱に参加
明	* 朱子学が官学 王陽明が陽明学『伝習録』 - o 心即理→致良知→知行合一 - o 南宋陸九淵の影響で陸王学とも		イエズス会の布教 マテオリッチ（利瑪竇）・伊 - o 1601年万曆帝に布教許可 - o 『幾何原本』…エウクレイデス幾何学翻訳 - o 『坤輿万国全図』…世界地図・東洋人世界観一変 徐光啓…カトリックに改宗し利瑪竇に協力	
明末清初	陽明学左派…儒教の礼を偽善 - o 李贄（李卓吾）…男女平等・水滸伝評価 考証学～經世致用を唱え空論化した陽明学批判 - o 古典の実証研究にとりくむ 黄宗羲『明夷待訪録』 - o 専制政治批判し中国のルソー 顧炎武『日知録』 - o 実証と經世致用を重視		アダム・シャルル（湯若望）・独 - o 欽天監に従事し西洋曆法紹介 フェルビースト（南懷仁）・ベルギー - o 天文・砲術に優れる『坤輿全図』の世界地図 ブーヴェ（白進）・仏 - o 『皇輿全覽図』…実測による最初の中国地図 - o 康熙帝の命で作成・レジス協力 典礼問題…孔子・祖先崇拜問題 - o イエズス会信者の典礼承認 →フランシスコ派やドミニコ派批判 →教皇典礼を否定→イエズス会以外布教禁止	
雍正・乾隆期	* 清朝の学術奨励と大編纂事業で考証学隆盛 →思想弾圧で經世致用の学風は失う 錢大昕『二十二史考異』 - o 乾隆帝期の考証学者・歴史家 戴震 - o 気の哲学と言語学 段玉裁『説問解字注』 - o 戴震の弟子で音韻学		1724年雍正帝キリスト教布教禁止 カステリオーネ（郎世寧）・伊 - o 康熙・雍正・乾隆三代に仕えた美術家 - o 円明園（バロック建築）建設 * イエズス会宣教師の活動で西欧で中国への関心 →宋学紹介され、ヴォルテール賞賛 ・庭園技術や建築装飾はロ可可に影響	

文学・史学

書画

その他

漢以前	『詩経』…中国最古の詩集・華北中心 『楚辞』…漢代に劉向編集・江南最古の詩集 屈原…『楚辞』の代表的作家・楚の王族		殷 o 甲骨文字 周 o 金文…青銅器の文字 秦 o 篆書	～字体の変遷
	漢 『史記』…司馬遷作・紀伝体・武帝まで 『漢書』…班固作・紀伝体・前漢の時代 o 妹班昭が補修し完成		漢 o 隸書 漢末～東晋 o 楷書・行書・草書 説文解字…最古の漢字辞典・後漢の許慎 製紙法…106 年蔡倫が改良	
魏晉南北朝	* 六朝の貴族文化開花 陶淵明（陶潜）『帰去来辞』 o 東晋の田園詩人 謝靈運 o 自然詩人・大貴族 『文選』…周以来の文・詩を編集 o 昭明太子…『文選』編・梁武帝の子 四六駢儷体…対句形式の華麗な文	顧愷之『女史箴図』 o 東晋の画家・画聖 王羲之『蘭亭序』 o 東晋の書家・書聖 王献之 o 王羲之の子・父子で楷行草の書体	『水経注』…北魏・河川流域地理書 『齊民要術』…北魏・最古農業書 『傷寒論』…晋で完成の医学書	
	隋唐 * 国際色豊かな貴族文化 詩…玄宗期に盛唐・中唐で白楽天 王維…詩中に画あり・南画の祖 李白…詩仙 杜甫…『春望』・詩聖 白居易…『長恨歌』 文…古文復興運動→唐宋八大家 韓愈…古文復興中心・仏教排斥 柳宗元…古文復興・禪に親しむ	画 閻立本『歴代帝王図鑑』 o 太宗に仕える 吳道玄…玄宗側近で唐朝第一 李思訓…皇族の山水画家 書 欧陽詢…初唐の代表的書家 顔真卿…力強い書風 o 安史の乱で奮戦	唐三彩…唐代の代表的陶器 o ササン朝の影響	
宋	欧陽脩『新唐書』 蘇軾（蘇東坡）『赤壁の賦』 司馬光『資治通鑑』 o 編年体・大義名分論に立脚 詞…婦女子にも流行・楽曲の歌詞 雜劇…北宋で歌劇として成立 * 国風の文化・士大夫と庶民担い手	院体画…宮中の画院中心 徽宗…風流天子で画院を盛んに 夏珪・馬遠・梁楷 文人画…宋代に士大夫が描く 李公麟（北宋）牧谿（南宋・元初）	青磁・白磁…景德鎮で生産 印刷術…木版印刷普及 11 世紀畢昇の膠泥活字も 火薬…11 世紀・13 世紀金で武器 羅針盤…12 世紀	
	元 * 戯曲や小説の庶民文化中心 元曲…元代完成された戯曲 o 『西廂記』…王実甫・北曲・恋愛物 o 『琵琶記』…高則誠・南曲・夫婦愛 o 『漢宮秋』…馬致遠・北曲・王昭君物 『三国志演義』 『水滸伝』～施耐庵	* 中国絵画がイランに伝わる。 →細密画（ミニアチュール）に影響 文人画～元代の主流となる o 黄公望・呉鎮・王蒙	授時曆…イスラーム天文学の影響 o 郭守敬製作し日本の貞享曆に影響 モンゴル語…公用語として強制 モンゴル文字…ウイグル文字借用 パスパ文字…公文書に使用	

明	四大伝奇小説 ○『三国志演義』…羅貫中 ○『水滸伝』…羅貫中 ○『西遊記』…呉承恩 ○『金瓶梅』…豪商の裏面生活 『牡丹亭還魂記』…恋愛伝奇戯曲 『古今奇観』…教訓説話短編集	* 南宗画（南画）…元までの文人画 ○ 董其昌理論化，他に沈周・文徴明 * 北宗画…元までの院体画 ○ 仇英が美人画で有名	編纂事業…永楽帝実施 『永楽大典』…類書（百科事典） 『性理大全』…性理学の学説集 『四書大全』…四書の国定注釈書 『五經大全』…五經の国定注釈書 実学…社会に役立つ学問 『農政全書』…徐光啓・農学 『本草綱目』…李時珍・薬物 『天工開物』…宋応星・技術 景德鎮の陶磁器 染付…藍色の絵模様を焼き付け 赤絵…白磁や染付に赤緑黄黒青の釉
清	戯曲 『長生殿伝奇』洪昇 ○ 玄宗と楊貴妃 『桃花扇伝奇』…明末南京恋愛物 小説…口語小説流行 『紅樓夢』曹雪芹 ○ 満州貴族の斜陽 『儒林外史』…科挙の腐敗 『聊齋志異』蒲松齡 ○ 文語・怪談物	南宗画 石濤・八大山人 西洋画…イエズス会宣教師技法導入 郎世寧（カステリオーネ） ○ 油絵など	編纂事業…漢民族懐柔の一環 『康熙字典』…漢字字書 『古今圖書集成』…類書・百科事典 『四庫全書』…中国文化叢書 『五体清文鑑』…五民族対照辞典
中華民国	文学革命…1915 年頃開始・儒教思想にもとづく家族制度批判 ○『新青年』…陳独秀編集の中心 ○ 胡適…白話運動提唱・マルクス主義には反対 ○ 魯迅『狂人日記』…儒教的家族道徳批判・『阿Q正伝』…封建社会の遅れを貧農の主人公通じて描く		

天
地
天
地
天
地
天
地

先
書
十
七
日

大
唐
西
京
千

篆書

隸書

楷書

王羲之

顔真卿

近世のイスラーム帝国

ティムール帝国

ティムール帝国の解体からサファヴィー朝、ムガル帝国の出現

位 1370 - 1405

…西チャガタイ = ハン国の混乱より台頭。都₂_____

1

…四方に遠征し、大帝国。 ₃_____ (永楽期) への遠征途上病死

o 1393 : **イラン** 併合 o 1398 : デリー占領 o 1402 : ₄_____ **の戦い** …オスマン帝国に勝利

* 三代シャー = ルフ、四代**ウルグ = ベク** (天文台建設) 全盛 → サマルカンド政権と **ヘラート** 政権に分裂し衰退

* **トルコ・イスラーム文明** 発展 … サマルカンドにイスラーム建築, ₅_____ (細密画) の発展

* 16 世紀初に ₆_____ 人 (ジュチ家が率いるトルコ・モンゴル系遊牧集団) がティムール帝国征服

→ シャイバーン朝建設 → ブハラ = ハン国, ヒヴァ = ハン国, コーカンド = ハン国 (18 C ~) などに分裂

サファヴィー朝

建国

イラン人の帝号シャー、シーア派採用。スンニ派のオスマン帝国に対抗する大帝国

位 1501 - 1524

…トルコ系遊牧民の神秘主義教団を母体 → ₈_____ **派** (12 イマーム派) を国教

7

…都 **タブリーズ**, 帝号 ₉_____ でイラン系都市市民の支持

o オスマン帝国のセリム 1 世にチャルディランの戦いで騎馬軍団のキジルバシュが敗北

位 1588 - 1629

…オスマン帝国よりイラク奪回。イギリスと協力しポルトガルよりホルムズ島奪回

10

… ₁₁_____ に遷都, イマームのモスクを建設, 商港バンダレ = アッバース

o 火砲装備の歩兵軍団, 生糸や絹織物の国内産業を育成, アルメニア商人の国際商業の活性化

* 1722 : アフガン人がカンダハルで反乱 → 首都を占領される → 衰退し 18 世紀前半には滅亡

中興

滅亡

ムガル帝国

建国

位 1526 - 1530

… ₁_____ の子孫でアフガニスタンの ₁₃_____ 拠点

12

… 16 世紀前半パーニーパットの戦いで ₁₄_____ 朝に勝利し建国, 『バーブルの書』

融和

位 1556 - 1605

…州県制を施行し, 全国的な測量を実施 → 徴税制度を整え, **マンサブダール制** の官制

15

… **ラージプート** と融和。 ₁₆_____ 廃止。都 ₁₇_____。アフガンも支配

位 1628 - 1658

…四代ジャハングール後の五代皇帝。 ₁₉_____ 遷都

18

…ムガル文化の最盛期で ₂₀_____ **廟** (后ムムターズ = マハルの廟)

強硬

位 1658 - 1707

…デカン征服で領土最大 → 貴族の増大によるジャーギール地不足深刻化

21

… ₁₆_____ 復活。地方領主層のザミンダールが台頭し, 地方権力の自立傾向

衰退

* 継承争い、各地の太守の自立、**マラーター・ラージプート・シク教徒** との抗争で衰退

* ₂₂_____ …デカン地方の部族でシヴァージーが王国形成

イスラーム時代の宗教・文化

* イスラーム政権は、イスラーム教の強制を行わず

* イスラーム神秘主義 (₂₃_____) の行者 (スーフィー) の布教でイスラーム教が広がる

* ヒンドゥー教で類似の神秘主義である ₂₄_____ の信仰が盛んで、スーフィズムとの交流盛ん

* 宗教詩人カビール (ナーナクに影響) やアクバル帝の融合の試み

* ₂₅_____ **教** …16 世紀初頭 ₂₆_____ 創始、偶像・カースト否定。パンジャブに浸透。戦闘教団化

* **ヒンディー語** (現インド公用語) と ₂₇_____ **語** (現パキスタン公用語, アラビア文字使用) 成立

* **インド・イスラーム文化** …イラン・イスラーム文化とインド文化融合し成立, 公用語は **ペルシア語**

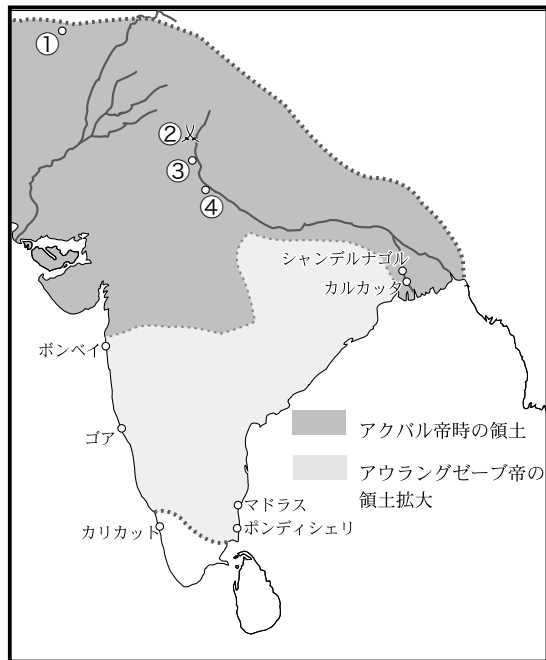
* ₂₀_____ **廟** …**シャー・ジャハン** が愛妃ムムターズ・マハルの廟として建設

* ₂₈_____ …ムガル宮廷中心に、イランの細密画 (₅_____) をヒンドゥー画家学び成立

* **ラージプート絵画** …ムガル絵画の影響を受けてラージプートの宮廷で成立

1. ティムール 2. サマルカンド 3. 明 4. アンカラ 5. ミニアチュール 6. ウズベク 7. イスマーイール 1 世 8. シーア 9. シャー
10. アッバース 1 世 11. イスファハン 12. バーブル 13. カーブル 14. ロディー 15. アクバル 16. ジズヤ 17. アグラ
18. シャー = ジャハーン 19. デリー 20. タージ = マハル 21. アウラングゼーブ 22. マラーター 23. スーフィズム 24. バクティ
25. シク 26. ナーナク 27. ウルドゥー 28. ムガル絵画

【ムガル帝国】



- ① カーブル …サマルカンドを追われたバーブルが拠点、現在アフガニスタンの首都
- ② パーニーパット …バーブルがロディー朝と戦い勝利
- ③ デリー …バーブルが首都、アグラ遷都後、シャージャハーンが都城を造営し、再び首都
- ④ アグラ …ロディー朝で都、アクバルが遷都し都、近郊にタージ・マハル廟

社会と制度

- マンサブダール制 …ムガル帝国では、文官と軍人を区別せず、全ての官吏にマンサブとよぶ数字で表される位階が与えられ、そのマンサブに応じた軍馬の保持が義務づけられた。マンサブ保持者には、徴税権付きの土地（ジャーギール地）が割り当てられた。
- ジャーギール制 …マンサブ保持者に徴税権付きの土地（ジャーギール地）を割り当てる制度で、イクター制と共通する制度である。ジャーギール保有者をジャーギールダールと呼ぶ。ジャーギール地は、数年で変更されるのが原則だった。
- ザミンダール …ムガル帝国に対して徴税請負を行った地方有力者層で、しだいに地方領主化して自立し、ムガル帝国の支配体制の弛緩をもたらした。

ヨーロッパとの交易の影響

- * 17 C よりヨーロッパ商人との綿布交易が活発化
- * 英仏両国が沿岸に拠点を設け、インドの綿織物を購入
- * 綿織物工業を中心にインドの商工業が発展、対価として銀も流入し経済を刺激
- * インドの経済的中心がデリーなどの内陸の政治都市から、沿岸の港市へと移動
- * ムガル帝国の基盤は土地と農産物への税にあり、商工業には消極的
- * ヨーロッパ勢力との交易で富を蓄積した地方有力者の自立傾向が強まる

オスマン帝国

台頭

位 1299 - 1326 …ルーム＝セルジューク朝より自立して建国

オスマン 1 世 …1 (東ローマ帝国) と戦い領土拡大

* 1361 2 奪取 ムラト 1 世時。エディルネと称し首都 (1361-1453)

位 1389 - 1402 …1389 年コソボの戦いでセルビア等に勝利の直後即位

3 …バルカン半島に領土拡大も、東方に出現のティムール帝国に敗北

○ 1396 : 4 の戦い ハンガリー王ジギスムント率いる「十字軍」に勝利

○ 1402 : 5 の戦い 現首都の近郊でティムールに敗北し捕虜→憤死し、帝国中断

中断

位 1432 - 1481 …1453 年 7 攻略し東ローマ帝国滅ぼす

6 …7 に遷都→8 と呼称

○ 1475 : 9 国保護国 キプチャク＝ハン国の継承国で黒海北岸の国

位 1512 - 1520 …1514 年サファヴィー朝のイスマーイール 1 世にチャルディランの戦いで勝利

10 …1517 年 11 朝滅ぼし、12 と 13 管理

復興

位 1520 - 1556 …内政整備し、「立法者」と賞賛。 15 建立 (設計ミマーリ＝シナン)

14 …フランスの 16 と結び、17 の特権 (公認はセリム 2 世)

○ 1526 : モハーチの戦い…18 撃破し国王ラヨシュ 2 世を敗死、領土 2/3 支配

○ 1529 : 第一次 19 包囲…ハンガリー王位を得たハプスブルク家と対抗→途中で撤退

○ 1538 : 20 海戦…スペイン・教皇・ヴェネツィア連合軍破り、地中海の覇権

* 1571 21 海戦…セリム 2 世時に、スペイン・教皇・ヴェネツィア連合軍に敗北も、覇権回復

* 1683 : 第二次 19 包囲失敗…ポーランドの援軍に壊滅的打撃。以後ヨーロッパに対し守勢に

* 1699 : 22 条約…オーストリアに 18 割譲

* チューリップ時代 …18 世紀前半のアフメト 3 世時代で、フランスを通じて西欧趣味が流行した文化の爛熟期

斜陽

社会と制度

23 シパーヒー (騎士) に小規模の土地の徴税権を与え治安を維持

24 イスラームの法学者で、オスマン帝国でもカーディー (裁判官) として行政担う

25 キリスト教子弟を徴用し、改宗するデウシルメ制に基づき編成の歩兵軍団

君主直属で火炮を使用、サファヴィー朝の騎馬軍団 (キジルバシュ) に勝利

26 宗教別の共同体で、信仰と自治を容認→後に欧州列強の進出に利用される

ユダヤ教徒・ギリシャ正教徒・アルメニア正教徒が独自の商業ネットワークで活動

ヨーロッパに与えた影響

* 15 世紀 1453 年東ローマ帝国 (ビザンツ帝国) を滅ぼす→“永遠のローマ”の滅亡で欧州に衝撃

○レコンキスタで宗教意識の高まったイベリア半島諸国のオスマン帝国への対抗心高揚

→ポルトガルはプレスター＝ジョンの国を求め、大航海時代の一因となる

○滅亡前後の学者の移住は、イタリアルネサンスを促進

○モスクワ大公国のイヴァン 3 世が、最後のビザンツ帝国皇帝の姪と結婚

→モスクワ＝第 3 のローマ論で、東ローマ皇帝権の継承の根拠に

* 16 世紀 ○ハプスブルク家に対抗→フランスのフランソワ 1 世やドイツのルター派諸侯支援

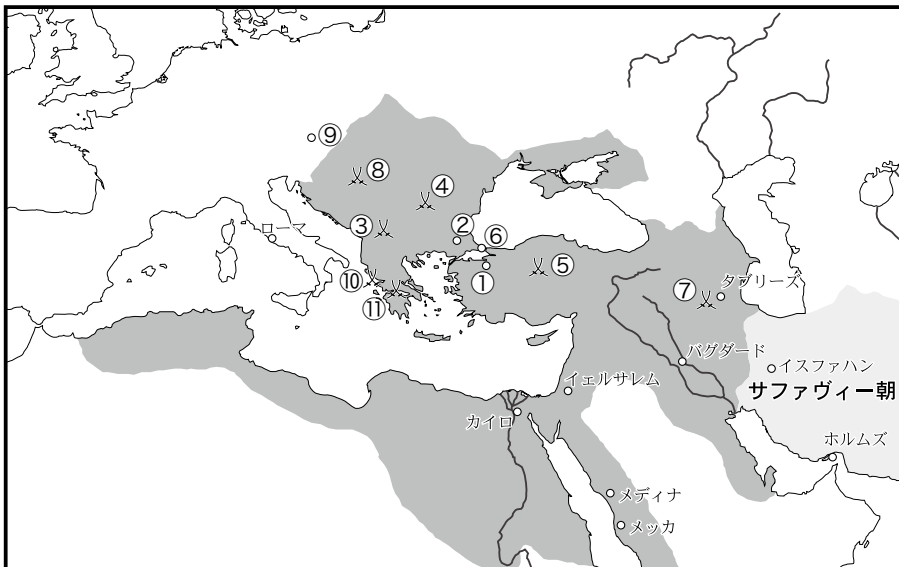
→16 世紀の西欧の国際情勢や宗教改革に影響

○プレヴェザ海戦勝利で地中海の覇権→レパントの海戦で敗北→やがて制海権を回復

→無敵オスマン軍への勝利で、スペインを中心とするキリスト教側に活気

1. ビザンツ帝国 2. アドリアノーブル 3. バヤジット 1 世 4. ニコポリス 5. アンカラ 6. メフメト 2 世 7. コンスタンティノーブル
8. イスタンブル 9. クリム＝ハン 10. セリム 1 世 11. マムルーク 12. メッカ 13. メディナ 14. スレイマン 1 世 15. スレイマン＝モスク
16. フランソワ 1 世 17. カピチュレーション 18. ハンガリー 19. ウィーン 20. プレヴェザ 21. レパント 22. カルロヴィッツ
23. ティマール制 24. ウラマー 25. イェニチェリ 26. ミット

【オスマン帝国とサファヴィー朝】



- ①ブルサ …1326 年オスマン帝国がビザンツ帝国より奪い、初期の首都
- ②アドリアノーブル …1361 年ムラト 1 世がビザンツ帝国より奪い首都。エディルネと称
- ③コソヴォの戦い …1389 年ムラト 1 世がセルビア・ボスニア・ワラキアなどのバルカン連合軍に勝利
- ④ニコポリスの戦い …1396 年バヤジット 1 世がハンガリー王ジギスメント提唱のニコポリス十字軍に勝利
- ⑤アンカラの戦い …1402 年バヤジット 1 世がティムールに敗北し捕虜、帝国中断
- ⑥イスタンブル …1453 年メフメト 2 世がコンスタンティノーブルを攻略しビザンツ帝国を滅ぼす
- ⑦チャルディラン …1514 年セリム 1 世がサファヴィー朝イスマーイール 1 世の騎馬軍を火炮で圧倒
- ⑧モハーチの戦い …1526 年スレイマン 1 世がハンガリーに勝利し、領土の 2/3 を奪う
- ⑨ウィーン包囲 …1529 年スレイマン 1 世がハンガリー王位継承を主張するハプスブルク家に断行
- ⑩プレヴェザ海戦 …1538 年オスマン海軍がハプスブルク・ヴェネツィア連合艦隊を破り東地中海の覇権
- ⑪レバントの海戦 …1571 年オスマン海軍がスペイン・教皇・ヴェネツィア連合艦隊に敗北

イスラーム文化

…**イスラーム教**と**アラビア語**で統一性→イラン人の活躍でペルシア語も重要

…**普遍的文化・都市文化・融合文化**

自国の学問

…コーランとムハンマドのスナ（言行）のハディース（伝承）研究から発展

…アラビア語に基づくアラブ人固有の学問で神学・法学・文法学・詩学・歴史学など

- **法学** ○ **コーラン**と₁ _____を法学者（**ウラマー**）が解釈し、イスラーム法（₂ _____）成立
- **神学** ○ ₃ _____が神学とイスラーム神秘主義（₄ _____）調和
- **歴史**
 - タバリ『預言者と諸王の歴史』…9-10世紀、年代記形式の世界史
 - ₅ _____『**集史**』…イル・ハン国宰相でモンゴル史と世界史を集成
 - ₆ _____『**実例の書**』…序説『**世界史序説**』で遊牧民と都市民交代の歴史哲学

外来の学問

…ギリシア・イラン・インドなど起源の学問

…哲学・論理学・医学・数学・天文学・錬金術・音楽・地理学など

- **哲学**
 - ₇ _____の研究盛んで西欧中世の**スコラ哲学**に影響大
 - ₈ _____（**アヴィケンナ**）…11世紀イラン系の哲学者・医学でも有名
 - ₉ _____（**アヴェロエス**）…12世紀コルドバ出身の哲学者、アリストテレス注釈
- **医学** ○ **イブン＝シーナ**『₁₀ _____』…著作は17世紀まで西欧の医学教科書
- **数学**
 - ギリシアやインドの数学を学び、₁₁ _____**数字**からアラビア数字作成
 - インドから十進法や₁₂ _____の**観念**を学び、代数、三角法発達
 - **フワーリズミー**…9世紀イラン系の代表的代数学者
 - **バッターニ**…10世紀アラブ系の代表的三角法学者
- **化学** ○ 錬金術が化学の基礎で西欧に伝わる。ex アルコール・アルカリ・フラスコはイスラーム起源
- **地理**
 - ₁₃ _____『**三大陸周遊記**』…モロッコ生まれの大旅行家
 - イドリーシ『**ルッジェーロの書**』…モロッコ出身で両シチリア王国に仕える・地球球体説

- * **文学** ○ 『₁₄ _____』…ペルシアやインドの民話もと。マムルーク朝期カイロで完成
- フィルドウシー『**シャ・ナーメ**』（王の書）…ガズナ朝期。イスラーム以前のイラン君主の物語
- ₁₅ _____『₁₆ _____』…セルジューク朝の四行叙情詩人
- サーディー『**薔薇園**』…道徳詩の詩人

* **美術** ○ 徹底的な偶像崇拝否定のため絵画発達せず

- 唯一の例外は**細密画**（₁₇ _____）でイル・ハン国イランで中国絵画の影響を受け成立
- ₁₈ _____…幾何学的な装飾図案で絵画のかわりに発達。建築にも使用

- * **建築** ○ ₁₉ _____（礼拝所）建築が中心・特徴は丸屋根（**ドーム**）と尖塔（₂₀ _____）
- **岩のドーム**…イエルサレムにあるイスラーム初期の代表建築
- ₂₁ _____…**グラナダ**に残るナスル朝の宮殿・アラベスク使用
- ₂₂ _____…スレイマン1世造営。ミマーリ・シナン設計、イスタンブールに存在
- ₂₃ _____…ムガル帝国のシャー・ジャハン帝造営。アグラに存在

* **イスラーム文化が欧州に伝えたもの**

- **製紙法**…751年₂₄ _____で中国からイスラーム世界へ
- **火薬・羅針盤**…中国からイスラームに伝わり、十字軍期にヨーロッパへ
- **砂糖**…インドから伝わり、十字軍以降ヨーロッパへ

* **イスラーム文化の欧州文化への影響**

- 11-13世紀にアラビア語の文献がラテン語に翻訳。神学・哲学・医学に大きな影響
- イベリア半島・シチリア島・キプロス島など経由。十字軍や以後の東方貿易で促進

1. ハディース 2. シャリーア 3. ガザリー 4. スーフィズム 5. ラシード＝ウ（ア）ッディーン 6. イブン＝ハルドゥーン 7. アリストテレス
 8. イブン＝シーナ 9. イブン＝ルシュド 10. 医学典範 11. インド 12. ゼロ 13. イブン＝バットゥータ 14. アラビアンナイト
 15. ウ（オ）マル＝ハイヤーム 16. ルバイヤート 17. ミニアチュール 18. アラベスク 19. モスク 20. ミナレット 21. アルハンブラ宮殿
 22. スレイマン・モスク 23. タージ・マハル廟 24. タラス河畔の戦い

【ウマル・ハイヤーム】

- *ウマル・ハイヤームは職業詩人ではなく、存命中は偉大な天文学者・数学者として知られていた。実際にセルジューク朝の大宰相ニザーム・アル・ムルクがジャラーリー暦（現在のグレゴリー暦以上に正確な暦として有名）の制定事業を行ったとき、僅か26歳で登用されてしかも指導的役割を果たしたという。その四行詩（ルバイヤート）は研究の合間に紙切れやノートの余白に書き付けたものであり、発表することを意図したものではなかった。しかし、それ故にこそ、その詩は大胆に酒や女性をうたったものとなり、後世に刊行された時、高い評価を得ることができたのである。

【岩のドーム】

- *イスラームの伝説では、ムハンマドがメディナで死んだのち、その魂はイェルサレムを訪れ、イェルサレムの巨岩の上に横たわった。すると天が開いてモーセとイエスが降臨し、二人に導かれてムハンマドは昇天したという。その伝説の巨岩の上に、ウマイヤ朝第五代カリフのアブド・アルマリク（位685～705 アラビア語の公用語化とアラブ通貨制定で有名）の命で建立されたのが岩のドームである。このムハンマドの昇天伝説から、イェルサレムはメッカ、メディナに次ぐ第三の聖地となった。

【アルハンブラ宮殿】

- *ナスル朝のグラナダ王国が建立した王城。アルハンブラの名は、その城塞を初めに赤塗りしたために「赤い城」＝「アル・カルア・アルハムラ」と呼ばれるようになったことからきている。その内部の中庭や回廊、天井の繊細な美しさは、イスラーム建築の傑作とされる。

【コンスタンティノープル攻略】



コンスタンティノープル攻略を望んだメフメト2世は、難攻不落の要塞都市コンスタンティノープル攻略のために奇策を用いた。軍船を山越えさせて、金角湾に投じ、金角湾側から、コンスタンティノープルを攻撃したのである。

- ミスル …イスラーム初期に征服地に建設された軍営都市。征服者であるアラブ人が、戦士として移り住み、アターと呼ばれる俸給を受けた。現在のイラクのバスラやクーファは、このようなミスルに起源を持つ。
- アター …イスラームの初期に、アラブ人を戦士として登録し、征服地からの収益を俸給として支払った制度。官僚や軍人に対する給与支払い制度に発展したが、ブワイフ朝からはイクター制（セルジューク朝で整備）にとって代わられた。
- シーア派 …4代正統カリフであり、ムハンマドの従弟にして、その娘ファーティマの夫でもあるアリーと、その後継者のみをイマーム（指導者）として認める宗派。多数派であるスンナ派に対する少数派を形成している。アリー以前の3人の正統カリフの権威も認めない。アリー暗殺後のウマイヤ朝の成立に反対し、アリーの子孫をイスラームの指導者に擁立しようとした人々によって始まった。ウマイヤ朝で弾圧され、アッバース朝の成立を支持したが、そのアッバース朝でも弾圧された。シーア派内でも分裂が進み、急進派のイスマーイール派（ファーティマ朝など）や、穏健派の12イマーム派（ブワイフ朝、サファヴィー朝など）などがある。
- シャリーア …コーランとムハンマドの言動（スンナ）に関する伝承（ハディース）を解釈して成立したイスラーム法で、人々の信仰のみならず、日常の社会生活をも規定。実際の運用には法学者のウラマーが当たる。ムハンマドの後継者であるカリフは、キリスト教カトリックの教皇と違って教義決定権は持たなかったが、特にアッバース朝でカリフ権神授の説が導入されるとシャリーアの施行者としての宗教的権威を保持した。その後カリフの世俗的権威が奪われてからは、カリフの権威はこの宗教的な権威が中心となった。
- ウラマー …イスラームの法学者。イスラームでは神の前に全ての人間が平等であることから建前上はキリスト教カトリック教会のような階級としての聖職者は存在しない。しかしシャリーア運用や金曜日にモスクで行われる集団礼拝を指導する専門家として、法学者であるウラマーが、事実上の聖職者の役割を担うようになった。人々の日常生活の指導者でもあるウラマーは、現在もイスラーム社会で大きな発言力を持つ。
- モスク …礼拝所であるが、偶像崇拝を否定するイスラームの考えから、礼拝室にはメッカの方角を示すくぼみがあるだけである。建築様式としては、ドームとミナレットと呼ばれる尖塔を持つことが一般的。金曜日には集団礼拝が行われ、礼拝後は人々の情報交換の場ともなる。イスラームの都市の中心的な建物である。
- マドラサ …多くの場合、モスクに付属する学院で、ウラマーの養成などを行う。
- スーク …市場。スークはアラビア語で、ペルシア語ではバザールと言う。モスクとともに、イスラーム教徒（ムスリム）の都市生活の中心で、現在では屋根付きの大商店街に発展している伝統あるスークも多い。
- キャラバンサライ …隊商宿。イスラーム世界では、ラクダを用いた隊商貿易が盛んに行われ、主要階道沿いに多くのキャラバンサライが建てられた。有力者の寄進によるキャラバンサライの中には無料で宿泊できるものもあり、一般の旅人も利用することができた。
- ワクフ …信託財産。イスラームでは、有力者や政府などがモスク・マドラサ・キャラバンサライ・病院などの施設に、その維持経営のために土地などをワクフとして寄進した。寄進されたワクフの運用からあがる収益で、公共の施設が運営された。

第六章 中世ヨーロッパ

この章で学ぶこと

*** 西ヨーロッパ世界の形成・封建社会の成立・西欧封建社会の拡大・封建制の危機**

*** 東ヨーロッパ世界の形成**

西ローマ帝国滅亡後、ゲルマン世界は東ローマ帝国の周辺地域として存在していたが、フランク王国によって統一と安定を得ると、800年にカール大帝が西ローマ皇帝として戴冠することで、東ローマ帝国からの宗教的・政治的自立を達成する。皇帝権と教皇権を二つの中心とする西欧世界の成立である。しかし、成立したばかりの西欧世界は、9世紀には継承争いから政治的分裂を招いた上に、周囲を西地中海を支配するアラブ人イスラーム教徒、北方のノルマン人、東方からアヴァール人・マジャール人と続いたアジア系遊牧民に包囲され、外敵の侵入にさらされた。こうした事態に対応する地域防衛システムとして形成が進んだのが封建制であり、封建制の下でドイツの部族諸侯の軍事力を束ねてマジャール人の侵入を撃退した東フランク王オットー1世が962年に皇帝に戴冠することで、分裂に向かっていた西欧世界は統合の核を得た。

11世紀から13世紀にかけての西欧は温暖な気候が続き、拡大の時代となった。三圃制農業と重量有輪犁の普及は、農業生産性を上昇させ、商業ルネサンスももたらし、12世紀に本格化する十字軍・レコンキスタ・東方植民などの拡大運動の背景となった。またイスラーム世界との東方貿易や、人とモノの大量移動による交易の活発化によって商業ルネサンスも加速し、先進イスラーム世界との接触によってイスラーム世界で継承・発展されていた古典古代文化が流入し、スコラ哲学の発展などの12世紀ルネサンスをもたらした。11世紀には巡礼の流行や地区教会の成立によってキリスト教信仰も高揚し、教会粛正運動によって地域教会への支配力を増したローマ教皇権は、先行した皇帝権とキリスト教共同体の普遍的権威の座を争い、叙任権闘争を展開した。十字軍運動を提唱することで叙任権闘争に勝利した教皇権は、13世紀初頭のインノケンティウス3世の時代に絶頂期を迎える。しかし、十字軍運動の相次ぐ失敗は、かえって教皇の権威の低下をもたらすようになった。

そして14世紀は中世西欧世界の危機の時代となった。気候は一転して寒冷化に向かい、農業生産の低下をもたらした。そこに東方からペスト（黒死病）が襲来し、イギリスやフランスでは人口の3分の1が死滅する事態となった。14世紀初頭のアナーニ事件を機に教皇権は急速に没落し、騎士階級も、火砲の使用など戦術の変化によってその存在意義を失っていった。こうした時代状況を背景に伸長してきた英仏の王権は、百年戦争の過程で集権化を進め、近世の主権国家の時代を準備することになる。

中世ヨーロッパ世界の成立

移動前のゲルマン人

居住地は**バルト海**沿岸、先住₁_____人を圧迫・同化し**ライン川**右岸・**黒海**沿岸・**ドナウ**左岸などに進出
紀元前後からコロヌス・傭兵・下級官僚としてローマ帝国に平和的・個別的に移住
前1世紀**カエサル**『₂_____』・後1世紀₃_____『**ゲルマニア**』が史料
王が首長が指導する小部族に分かれ、貴族や平民・奴隷などの身分が存在
自由民の成年男子で構成される民会で重要事項を決定
狩猟・牧畜・農耕に従事も農業人口増大で耕地が不足し移動の要因

フン人の進出

₄_____人はアジア系遊牧騎馬民族で北匈奴と同族説が有力。**東ゴート**を服属→₅_____移動へ
パンノニア（現ハンガリー）拠点に、5世紀に₆_____のもとで大帝国
451年₇_____の戦いで、西ローマとゲルマン連合軍がガリア侵入阻止→撤退後、崩壊

移動の開始

西ゴート族の移動開始（375）→₈_____渡河（376）→アドリアノーブルの戦いで皇帝**ヴァレンス**戦死
→**テオドシウス**帝と和平→テオドシウス帝の死後、西ゴート族の西ローマ侵入→諸部族移動

建国

国名	定住地	存続期間	内容
₉	イタリア半島	493～555	テオドリック 大王が オドアケル 倒し建国→ 東ローマ に滅
₁₀	北アフリカ	429～534	最長距離移動、カルタゴの故地に建国→ 東ローマ に滅
₅	イベリア半島	415～711	410年アラリックのローマ占領→ ウマイヤ朝 に滅
フランク	ガリア北部	481～843	西欧の原型
₁₁	ガリア東南部	443～534	フランク王国 に滅亡
₁₂	北イタリア	568～774	東ローマ後退後のイタリアに建国→ フランク王国 に滅
₁₃	イングランド	449～829	アングロ・サクソン ・ジュートの七王国建設

フランク王国

メロヴィング朝
751
カロリング朝

位 481-511 …₁₅_____家出身でフランク部族を統一し建国
₁₄_____…都パリ・₁₆_____派に改宗→ローマ教会の支持と協力が可能に
* ガリア西南部を西ゴートより奪う→534年東南部の₁₁_____王国を滅ぼし、全ガリア統一
* 8世紀初メロヴィング家の王権衰退→₁₇_____の₁₈_____家有力に

689-741 …イベリア半島の西ゴート王国を滅ぼして侵入のイスラーム勢力に対抗
₁₉_____…**732年**₂₀_____間の戦いに勝利→キリスト教世界を防衛

位 751-768 …教皇の支持で**メロヴィング朝**を廃し王位→₁₈_____朝の開始
₂₁_____…₁₂_____を討ち、₂₂_____地方を教皇に寄進→**教皇領**

位 768-814 …₁₂_____滅、後**ウマイヤ朝**と戦い、ドイツの**ザクセン人**を討伐
₂₃_____…アジア系₂₄_____人の侵入を撃退し、大帝国形成
内政 o 全国を州、₂₅_____（グラーフ）統治。₂₆_____派遣し監督、移動宮廷で巡回
文化 o イングランドより学僧₂₇_____を招き、₂₈_____
戴冠 o 東ローマ帝国から自立をはかる教皇₂₉_____により、₃₀_____年に戴冠
o 西欧世界の成立＝古典古代・キリスト教・ゲルマン的要素の融合
* カール大帝の孫の代で帝国三分→ゲルマン民族の諸子均分相続制が背景
₃₁_____条約（843）…**ロタール**領（中部フランク・北イタリア）、東西フランク
₃₂_____条約（870）…中部フランクを東西フランクで分裂→仏・独・伊の原型

1. ケルト 2. ガリア戦記 3. タキトゥス 4. フン 5. 西ゴート 6. アッティラ 7. カタラウヌム 8. ドナウ 9. 東ゴート 10. ヴァンダル
11. ブルグンド 12. ランゴバルド 13. ヘプターキー 14. クローヴィス 15. メロヴィング 16. アタナシウス 17. 宮宰 18. カロリング
19. カール＝マルテル 20. トゥール・ボワティエ 21. ビピン 22. ラヴェンナ 23. カール大帝 24. アヴァール 25. 伯 26. 巡察使
27. アルクイン 28. カロリング＝ルネサンス 29. レオ3世 30. 800 31. ヴェルダン 32. メルセン

ローマ教会の台頭

ローマ地域の指導者

*西ローマ帝国末期、首都と皇帝はラヴェンナなどに移転→教皇が政治的にもローマ市と周辺地域を指導

1 _____ は、フンのアッティラを説得し、ローマ侵入阻止、ヴァンダル、ゲート、ガイスリックとも交渉

修道院の建設

2 _____ の 3 _____ 修道院 (529 設立、中部イタリア) →修道院運動導入

修道士に“服従・清貧・貞潔”の会則，“祈りかつ働け”をモットーにキリスト教普及の拠点

東西教会の対立

ローマ教会は ペテロ の後継者、コンスタンティノープル教会は首都と皇帝の教会として首位権を主張し対立

ローマ＝カトリック教会は ラテン語 聖書・典礼 ⇔ ギリシア正教会は ギリシア語 聖書・現地語典礼を容認

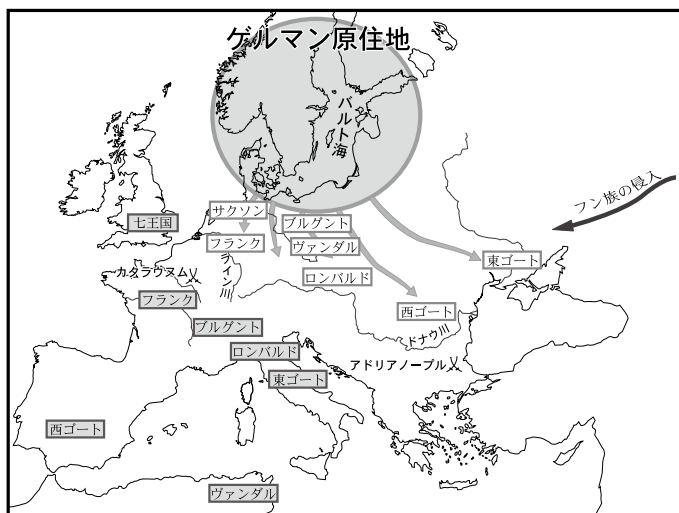
ゲルマン布教とフランクへの接近

4 _____ (位 590 - 604) がゲルマン布教本格化、グレゴリウス聖歌でも有名

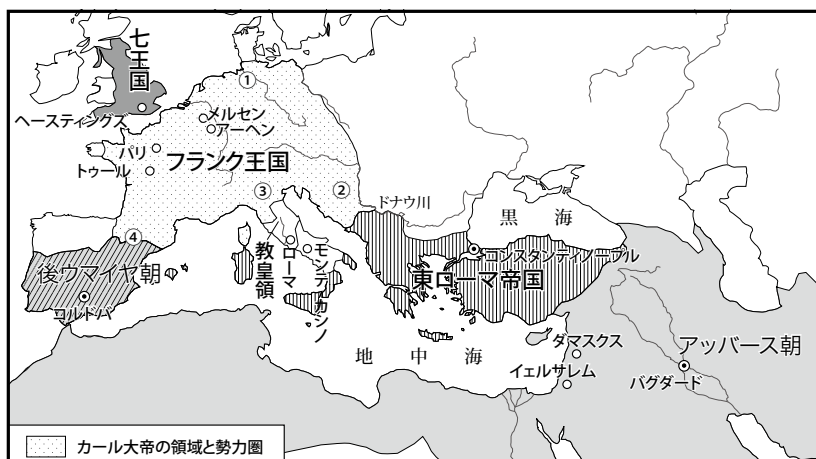
5 _____ (726) …東ローマ皇帝 6 _____ が発布しローマ教会反発

ランゴバルドの圧力→フランク王国に接近…ピピンの即位援助 (751), レオ3世によるカールの戴冠 (800)

【ゲルマン民族の移動】



【800 年前後の西欧】



- ① ザクセン人 …北ドイツのエルベ流域に居住。8世紀にカール大帝に臣従しカトリック受容
- ② アヴァール人 …モンゴル系遊牧民でカール大帝に敗北
周辺のスロヴェニア・クロアチアがカトリック受容
- ③ ランゴバルド王国 …教皇を圧迫も、774年にフランク王国に滅亡
- ④ イベリア遠征 …後ウマイヤ朝と抗争→撤退時のエピソードから中世武勲詩の『ローランの歌』成立
→カタルーニャ地方にスペイン辺境伯領を設置→バルセロナを中心に発展

封建社会の成立

ノルマン人の活動

北方ゲルマン人で別称¹_____，原住地はスカンディナヴィア半島・ユトランド半島
商業活動と海賊活動

スウェーデン系…バルト海からドニエプル川を経て東ローマ帝国と交易→²_____の活動

ノルウェー系…9 C アイスランド 10 C グリーンランド，1000 年頃北米に到達（レイフ・エリクソン）

デンマーク系…³_____人としてイングランド・フランス北岸・ライン流域などを襲撃

イングランド侵攻…8 世紀末よりイングランド侵攻→9 世紀末，⁴_____ **大王**に撃退

10 世紀末より侵攻再開→1016 年⁵_____が征服し，**デーン朝**の成立

↓ ノルウェー・デンマーク・スウェーデンの 3 国建国，1397 年デンマーク中心に⁶_____同盟（連合）

ノルマン人の国家

⁷_____ **国**（862）…ルーシの⁸_____が建国し，ロシアの起源

⁹_____ **公国**（882）…リューリックの一族が南下し，ドニエプル中流域に建国，ロシア諸侯の中心

ノルマンディー公国（911）…デーン人の¹⁰_____が，911 年西フランク王シャルル 3 世に封じられ成立

1066 年¹¹_____がイングランド征服（¹¹ノルマン＝コンクエスト）

¹²_____ **王国**（1130）…ノルマンディー公国出身の勢力，ビザンツ帝国・イスラーム勢力と抗争

→ルッジェーロ 2 世が父からシチリア，叔父ロベール＝ギスカルからナポリを継いで建国

→ビザンツ・イスラーム文化と西欧文化が共存し，12 世紀ルネサンスの一中心

封建社会

定義 ○ 9-10 世紀に成立した政治制度を**封建制**，経済的基盤を**荘園制**に立脚する**身分制社会**

要因 ○ **アラブ人**の地中海覇権で地中海沿岸の商業都市衰退し，内陸の荘園が経済活動の基盤

○ **ノルマン人**・¹³_____人の侵入に地方有力者（諸侯）が対抗し，武装して自立
→小領主（封建契約）地域住民（農奴制）を保護し，支配下に置いて各地に割拠

○ 混乱期の 9～10 世紀に地域防衛機構として成立し，10 世紀後半の秩序回復へ

→部族諸侯の軍事力を束ね，オットー 1 世がマジャール人を撃退→神聖ローマ帝国成立

→西欧に統合の核が復活し，西欧世界の安定の回復へ

¹⁴_____…一定の奉仕の代償として土地を貸与するローマ末期の制度

+

¹⁵_____…自由人の子弟が有力者に忠誠を誓い，従者として仕える古ゲルマンの制度

↓

封建制

…主君が臣下に**封土**を与え，保護し，臣下は忠誠と**軍役**（重装騎兵の騎士）義務を果たす

○ 双務的契約関係で，どちらが契約違反しても主従関係を解消できる

○ 臣下は契約に違反しない限り，複数の主君を持つことが可能

○ ¹⁶_____ **権（インムニタス）** 封土への主君の課税や，役人の立入拒否の特権

* ¹⁷_____ **道**…十字軍期にキリスト教思想の影響で形成。騎士は，武勇と忠誠・貴婦人へのいたわりを徳目

古典荘園の仕組み

領主**直営地**…ここでの週 3 回ほどの耕作 = ¹⁸_____（**労働地代**）

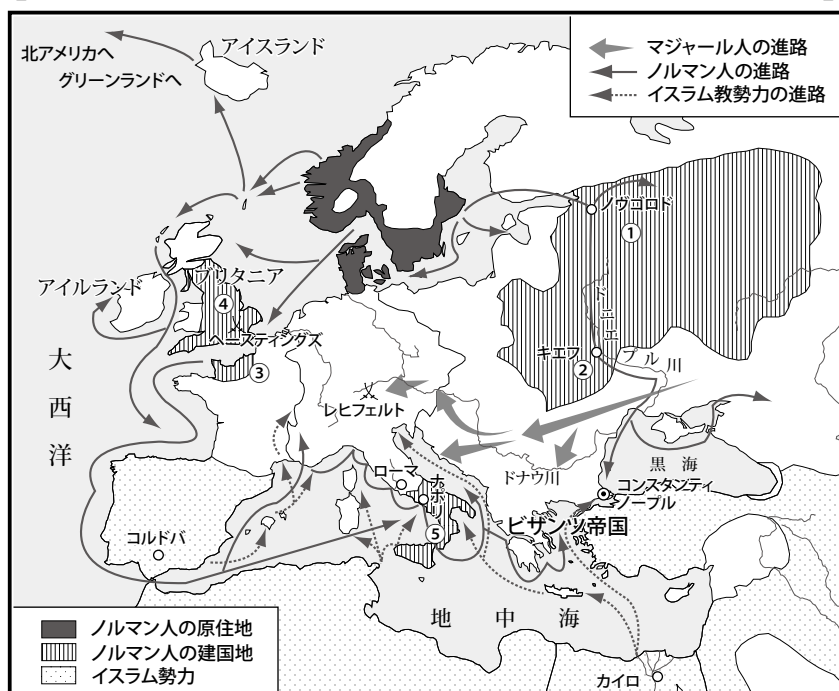
農民**保有地**…生産物の一部を領主に治める = ¹⁹_____（**生産物地代**）

共同地 …入会地ともいい，山林や原野など荘園領民が共同利用

* 農奴は移動の自由なく ²⁰_____に服し，**結婚税・死亡税**・²¹_____ **税**（教会に）負担

1. ヴァイキング 2. ルーシ 3. デーン 4. アルフレッド 5. クヌート 6. カルマル 7. ノブゴロド 8. リューリック 9. キエフ
10. ロロ 11. ノルマンディー公ウィリアム 12. 両シチリア 13. アラブ 14. 恩貸地制 15. 従士制 16. 不輸不入 17. 騎士 18. 賦役
19. 貢納 20. 領主裁判権 21. 十分の一

【ノルマン人・マジャール人・イスラーム勢力の西欧侵入】



- ① **ノヴゴロド国** …862 年ルーシの長リューリクが建国しロシアの起源となった商業都市国家
- ② **キエフ公国** …882 年頃リューリクの子を伴い、ドニエプル川を南下して建国
ウラディミール1世がビザンツ皇帝の妹と結婚し、**ギリシャ正教**を受容
支配下の東スラヴ族に同化
- ③ **ノルマンディー公国** …911 年デーン人の首長ロロがフランス王によって封じられ建国
1066 年**ノルマンディー公ウィリアム**のノルマンコンケスト
- ④ **イングランド王国** …1016 年デーン人の**クヌート**に征服、クヌートはデンマーク・ノルウェー王も兼任
クヌートのデーン朝は、クヌート死後崩壊しアングロサクソンの王家が復活
1066 年ヘースティンクスの戦いで、**ウィリアム1世**の**ノルマン朝**成立
- ⑤ **両シチリア王国** …ノルマンディー公国出身の貴族が、11 世紀より、ビザンツ・イスラームと抗争
1130 年ルッジェーロ2世が父からシチリア、叔父からナポリを継承し成立
ビザンツ文化・イスラーム文化と西欧文化が接触し、**12 世紀ルネサンス**の一中心

分裂後のフランクの概況

- * イタリア…875 年に**カロリング**朝滅亡し、諸勢力の分立・南部には**ノルマン**人の**両シチリア王国**成立
- * ドイツ…911 年カロリング朝断絶→部族を支配する大公（部族諸侯）が割拠→選挙王政
- ・ 部族諸侯の一人ハインリヒ1世による**ザクセン朝**（919～1024）成立
- ・ 962 年**オットー1世**（**マジャール**人撃退）がローマ皇帝に戴冠
→ドイツ王が皇帝の慣例＝神聖ローマ帝国の成立、マクデブルクに大司教座、スラヴ人への伝道拠点
- ・ オットー2世…オットー1世の息子でビザンツ帝国から后を迎え、異教徒への伝道を使命
- ・ オットー3世…「ローマ帝国の復興」を統治理念にイタリア支配を重視し、東方への伝道にも尽力
- * フランス…カロリング朝断絶後、987 年にパリ伯**ユーグ・カペー**により、**カペー朝**成立

西欧封建社会の拡大

拡大運動

* 10 世紀後半から封建制の下で秩序を回復した西欧カトリック世界が、11 世紀より拡大運動に転換

イベリア半島への₁_____，エルベ川以東への₂_____，シリア地方への**十字軍運動**

* 背景

- ・気候の温暖化…11 世紀に気温が上昇し、13 世紀まで全体的に温暖な気候が続く
 - ・中世農業革命…₃_____制や₄_____犁の使用が普及し、生産性が向上、人口も増加
 - ・大開墾運動…₅_____修道会の森林開墾，オランダの干拓，アルプス高地の開墾
 - ・商業の復活…農業生産の上昇による余剰生産物の交換から、都市と貨幣経済が再生
 - ・巡礼の流行…教区教会の設置や、教会改革運動で信仰心が高揚、教会は私闘を禁じる神の平和を推進
- 紀元 1000 年頃から終末論流行し、聖人や聖遺物への崇敬から巡礼の熱狂

ローマ、イエルサレム、サンティアゴ・デ・コンポステーラ（イベリア半島）が三大聖地

- ・時禱書…修道院の礼拝儀礼を一般向けに編纂「ベリー公の豪華時禱書」が有名

荘園制の変化

11 世紀

農業革命

- 11 世紀より気温上昇し、₃_____制農業普及 耕地三分して春耕地・秋耕地・休耕地。家畜飼育
- 4-8 頭の牛で引く重量₄_____犁や水車普及→生産性向上し封建社会の充実、西欧の拡大運動へ
- 有輪犁による共同農業→**開放耕地**と集村化→教区教会の設置→村落共同体の強化から自治へ
- 余剰の発生→商業ルネサンス

教皇権の台頭

皇帝権との抗争

₆_____修道院（910 設立，フランス）の肅正運動→聖職売買（シモニア）や聖職者の妻帯を批判
教皇レオ 9 世…11 世紀なかば教皇庁主導の改革を開始，相互破門による東西教会の正式分裂（1054）

叙任権闘争 神聖ローマ皇帝は、帝国教会政策を取り，叙任権を帝国統治や大諸侯抑制に活用

教皇₇_____は皇帝の叙任権使用を聖職売買と批判

皇帝₈_____を破門→₉_____の屈辱（1077）で謝罪

₁₀_____協約（1122）世俗の権利の授封を皇帝に，叙任権を教皇に承認し聖俗の分離が確定

教皇権の絶頂

1096-1291 …₁₁_____宗教会議で ₁₂_____提唱し開始

十字軍運動 …アイユーブ朝 ₁₃_____にイエルサレム奪われ第三回十字軍も失敗

位 1198-1216 …仏王フィリップ 2 世を屈服，英王 ₁₅_____を破門し “教皇は太陽皇帝は月”

₁₄_____…**第四回十字軍**を提唱→ ₁₆_____商人主導で ₁₇_____帝国建設

○ 南仏の異端 ₁₈_____派（カタリ派）にアルビジョワ十字軍→後にドミニコ派が異端審問

○ 托鉢修道会のフランチェスコ派を事実上公認，都市民衆のカトリック教会への取り込みを図る

○ **ラテラノ公会議**開催…キリスト教会全体の首位権主張，**ユダヤ人**への迫害を定める→のち，**ゲットー**に隔離

* **教会法**（カノン法）整備…グラティアヌス教令集を編纂，各地の教会裁判所で裁判権を行使し影響力を拡大

中世後期の修道院運動

₅_____修道会…11 世紀より，大開墾事業の中心として活躍 “祈り働き” の戒律重視

₁₉_____修道会…清貧の共同体を主張し，荘園財産などを否定した都市型修道会

◎ ₂₀_____派…13 世紀，イタリアのアッシジの聖者フランチェスコが托鉢修道会運動開始

◎ ₂₁_____派…13 世紀，スペイン人ドミニコが南フランスに拠点，異端審問と教学研究に活躍

1. レコンキスタ 2. 東方植民 3. 三圃 4. 有輪 5. シトー 6. クリュニー 7. グレゴリウス 7 世 8. ハインリヒ 4 世 9. カノッサ
10. ヴォルムス 11. クレルモン 12. 十字軍運動 13. サラディン 14. インノケンティウス 3 世 15. ジョン 16. ヴェネツィア
17. ラテン 18. アルビジョワ 19. 托鉢 20. フランチェスコ 21. ドミニコ

テーマ整理：キリスト教の諸宗派

2世紀-3世紀 グノーシス派	…ギリシア哲学の影響を受け、理論的にキリスト教を解明しようとした一派 …主知的態度を異端とされ衰退→マニ教成立に影響
325 アリウス派	…イエスの人性を強調する一派 … <u>ニケーア公会議</u> で異端→ローマ領域外で <u>ゲルマン人</u> に布教
431 ネストリウス派	…イエスの人性と神性を完全に分離し聖母マリアを『神の母』とすることに反対 … <u>エフェソス公会議</u> で異端→ <u>ササン朝</u> に伝わり公認→中国で <u>景教</u>
451 単性論	…イエスの人性と神性の完全な融合を唱える一派 … <u>カルケドン公会議</u> で異端→エジプトのコプト派教会に継承、アクスム王国に普及
1054 ギリシア正教	…726年の <u>聖像禁止令</u> より対立激化し、ローマ＝カトリック（ラテン語聖書・典礼）と分離 … <u>皇帝教皇主義</u> と <u>イコン</u> （聖像画）、ギリシア語聖書、スラヴ人布教でスラヴ語の典礼を容認
11世紀-1229 アルビジョワ派	… <u>マニ教</u> の影響を受け、現世を苦とする <u>カタリ派</u> の一派で南仏に拠点 …インノケンティウス3世提唱の <u>アルビジョワ十字軍</u> やドミニコ派異端審問の弾圧
1184 ワルド派	…リヨンの商人ワルド創始の清貧を重視する一派で、『リヨンの貧者』とも呼称 …1184年異端宣告。一方でカトリック教会は托鉢修道会で対抗
14世紀後半 ウィクリフ派	…オックスフォード大学教授の <u>ウィクリフ</u> が英教会の独立主張 …聖書の英訳は英語成立に影響。支持者はロラード派を形成（cf. ジョン＝ボール）
15世紀初 フス派	…プラハ大学総長で宗教改革と <u>チェック人</u> の民族運動指導 … <u>コンスタンツ公会議</u> で処刑・支持者は皇帝 <u>ジギスメント</u> に対し <u>フス戦争</u> を戦う
15世紀末 サヴォナローラ	…ドミニコ派の修道院長でロレンツォ＝メディチの死後フィレンツェ市政掌握 …ボルジア家の教皇アレクサンデル6世と対立し、神政政治を行うも処刑
1519 ルター派	…1517年の <u>ヴィッテンベルク大学</u> 教授ルターによる <u>95箇条の意見書</u> きっかけ …『 <u>キリスト者の自由</u> 』 <u>信仰義認説</u> ・福音主義・万人司祭主義・聖書の <u>ドイツ語訳</u>
1523 ツウィングリ派	…スイスの <u>チューリヒ</u> で改革開始・ルターとは教義問題で決裂 …後に信者はカルヴァン派に合流→一部は幼児洗礼を否定する再洗礼派を形成
1520頃 ミュンツァー	…ルター主義から出発も先鋭化し、農奴制廃止などの社会改革を要求 …農民・下層市民を組織して <u>ドイツ農民戦争</u> に参加し、「貧しき者の王国」追求も敗死
1534 イギリス国教会	… <u>ヘンリ8世</u> が離婚問題きっかけに、 <u>首長法</u> を發布し成立。国王首長で儀礼は旧教的 … <u>エドワード6世</u> 一般祈祷書でカルヴァン派の教義導入・ <u>エリザベス1世統一法</u> で確立
1541 カルヴァン派	…スイスの <u>ジュネーブ</u> でカルヴァンが神政政治・『 <u>キリスト教綱要</u> 』 <u>予定説</u> …結果としての蓄財を肯定し、各国の新興商工業者にひろがり、資本主義精神のもと
1650頃 クウェーカー	…英で発生。絶対平和主義・ウィアム＝ペンに率いられ、ペンシルヴァニア建設 …第一次大戦にさいしても平和運動展開

中世から近世のユダヤ人

◎十字軍運動を期に中世キリスト教信仰の高揚→ユダヤ人への迫害

- ・ラテラノ公会議でユダヤ人差別決定、キリスト教徒の金融業も禁止
→ユダヤ人の一部が金融業に進出→高利貸のイメージ cf. シェイクスピア『ヴェニスの商人』
- ・ゲットー…ユダヤ人を隔離したユダヤ人居住区、シナゴグ（礼拝所）でラビ（教師）のもと信仰を維持
- ・セファルディム…イベリア半島に居住のユダヤ人→1492年にスペインにより追放
→一部はオスマン帝国へ、一部はオランダへと移住
- ・アシュケナジム…迫害を受けた神聖ローマ帝国のユダヤ人が、東欧へ移住し形成

十字軍

時期…1096-1270 年で7回（8回説もあり）

原因…₁ _____ 朝の圧迫に ₂ _____ 皇帝が救援要請

背景…封建社会の安定と農業生産力の発展を背景とする西欧の拡大運動

→ドイツ騎士団（第三回十字軍期結成）の東方植民やレコンキスタ運動も進展

前期 * 陸路東ローマ帝国を通過し、コンスタンティノープルを経て聖地へ

* 宗教的動機が強く提唱者の教皇の権威は運動の高揚で13世紀初頭に頂点に達する

1096-99 …1095年 ₃ _____ 宗教会議で教皇 ₄ _____ が提唱

第1回十字軍 …聖地 ₅ _____ を奪回し、イエルサレム王国を建国

1147-49 …ザンギー朝（サラディンの出身王朝）の反撃を契機、シトー会のベルナルドゥスの勸説

第2回十字軍 …神聖ローマ皇帝コンラート3世とフランス王フィリップ2世の不和で、アッコンの帰国

* 1187年 ₆ _____ 朝のサラディンがイエルサレム奪回・キリスト教徒の拠点は ₇ _____

1189-92 …独帝フリードリヒ1世・仏王フィリップ2世・英王リチャード1世の最強十字軍

第3回十字軍 …独帝事故死、仏王帰還で、英王が ₈ _____ と和し、聖地奪回果たせず

後期 * 十字軍の失敗により教皇権が動揺し、中世末の教会批判につながる

* 失敗原因は遠距離・無計画・イスラーム世界の優越

1202-04 …教皇 ₉ _____ 提唱

第4回十字軍 …₁₀ _____ 商人の先導でコンスタンティノープル攻略→ ₁₁ _____ 帝国成立

* 1212年少年十字軍〜独・仏の少年少女が参加し、多くは病死・エジプトに到着したものは奴隷に

1228-29 …神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世（両シチリア王を兼ねる）が遂行

第5回十字軍 …イスラーム側と交渉し、戦わずして聖地回復

* 1244 アイユブ朝マムルーク軍団イエルサレム奪回

1248-54 …仏の ₁₂ _____ （アルビジョワ十字軍でアルビジョワ派根絶）が海路エジプト攻撃

第6回十字軍 …イスラームの英雄バイバルスに敗北し王は捕虜に

1270 …聖王ルイ9世が海路チュニス攻撃

第7回十字軍 …伝染病が流行し、王も病没して十字軍運動は終焉

* 1291年マムルーク朝が十字軍最後の拠点アッコンを奪う

* 十字軍の影響…ヨーロッパ中世社会の根本的变化促進

o 政治的影響…諸侯・騎士が没落し、王権が伸張して英・仏は集権化。ドイツは逆に皇帝権衰退

o 経済的影響…東方貿易が進展し貨幣経済が普及した結果、商業ルネサンスが加速し遠隔地商業圏成立

o 社会的影響…都市が発達し、市民階級成長。農民の地位も向上して身分制動揺

o 文化的影響…ビザンツやイスラームの文化流入し、12世紀ルネサンスの一因

* 宗教騎士団…聖地と巡礼者の守護を目的として結成

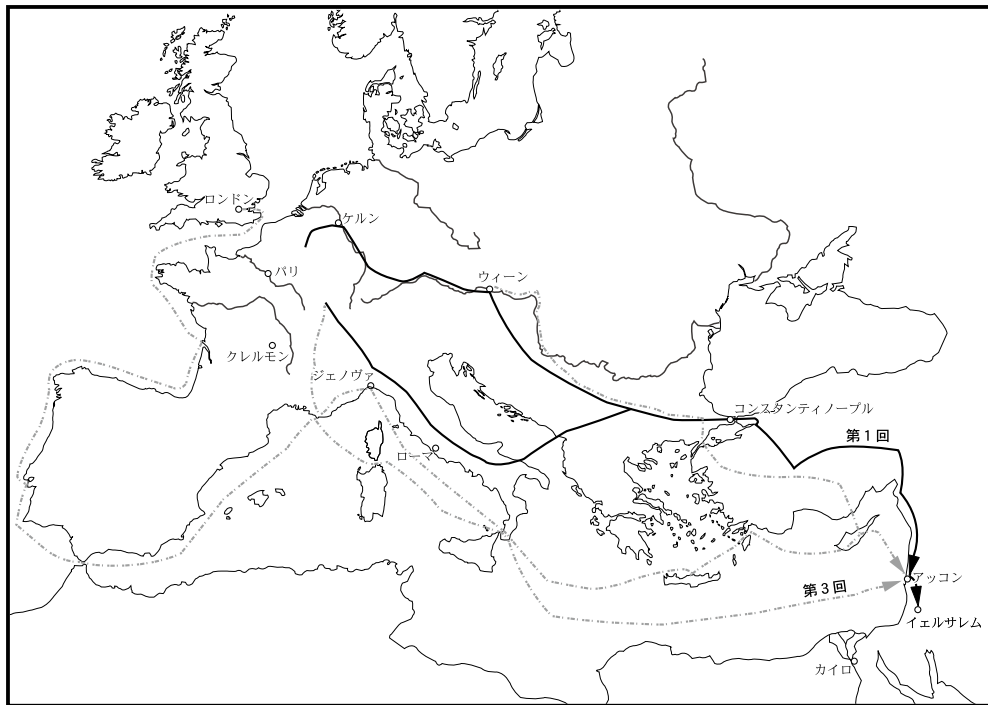
o ヨハネ騎士団…ロードス島やマルタ島を根拠地とし、レパントの戦いの勝利に貢献

o テンプル騎士団…銀行業務を行い富裕化→フランス王フィリップ4世に弾圧され解散

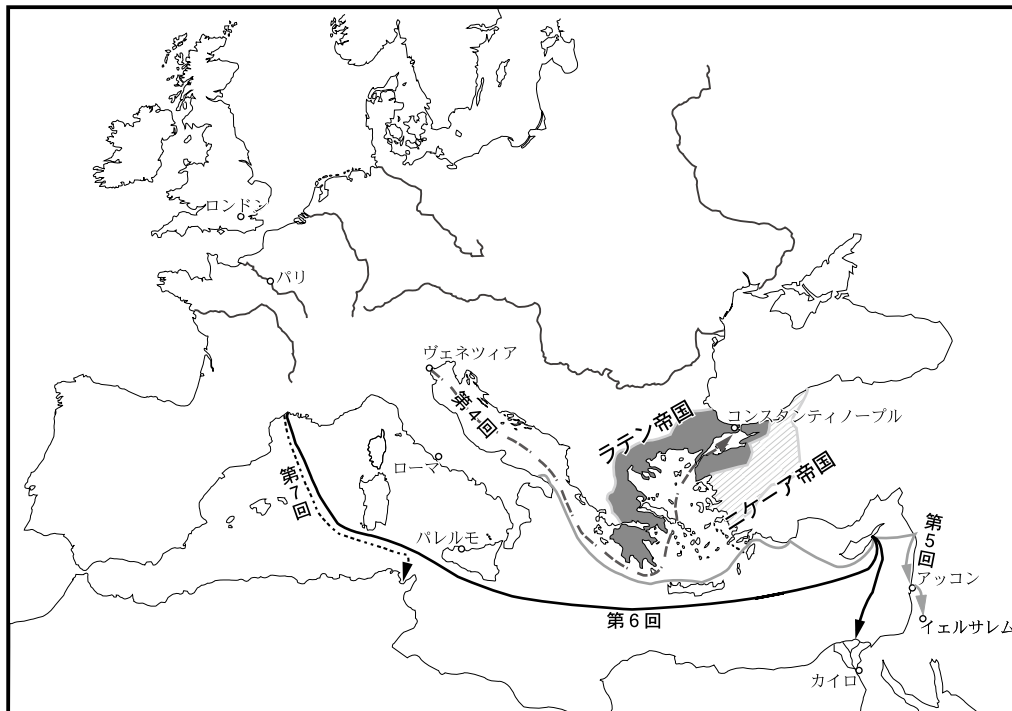
o ₁₃ _____ …第三回十字軍期に結成され、東方植民に活躍。プロイセンの基礎を築く

1. セルジューク 2. ビザンツ（東ローマ） 3. クレルモン 4. ウルバヌス2世 5. イエルサレム 6. アイユブ 7. アッコン 8. サラディン
9. インノケンティウス3世 10. ヴェネツィア 11. ラテン 12. ルイ9世 13. ドイツ騎士団

【第1回～第3回十字軍】

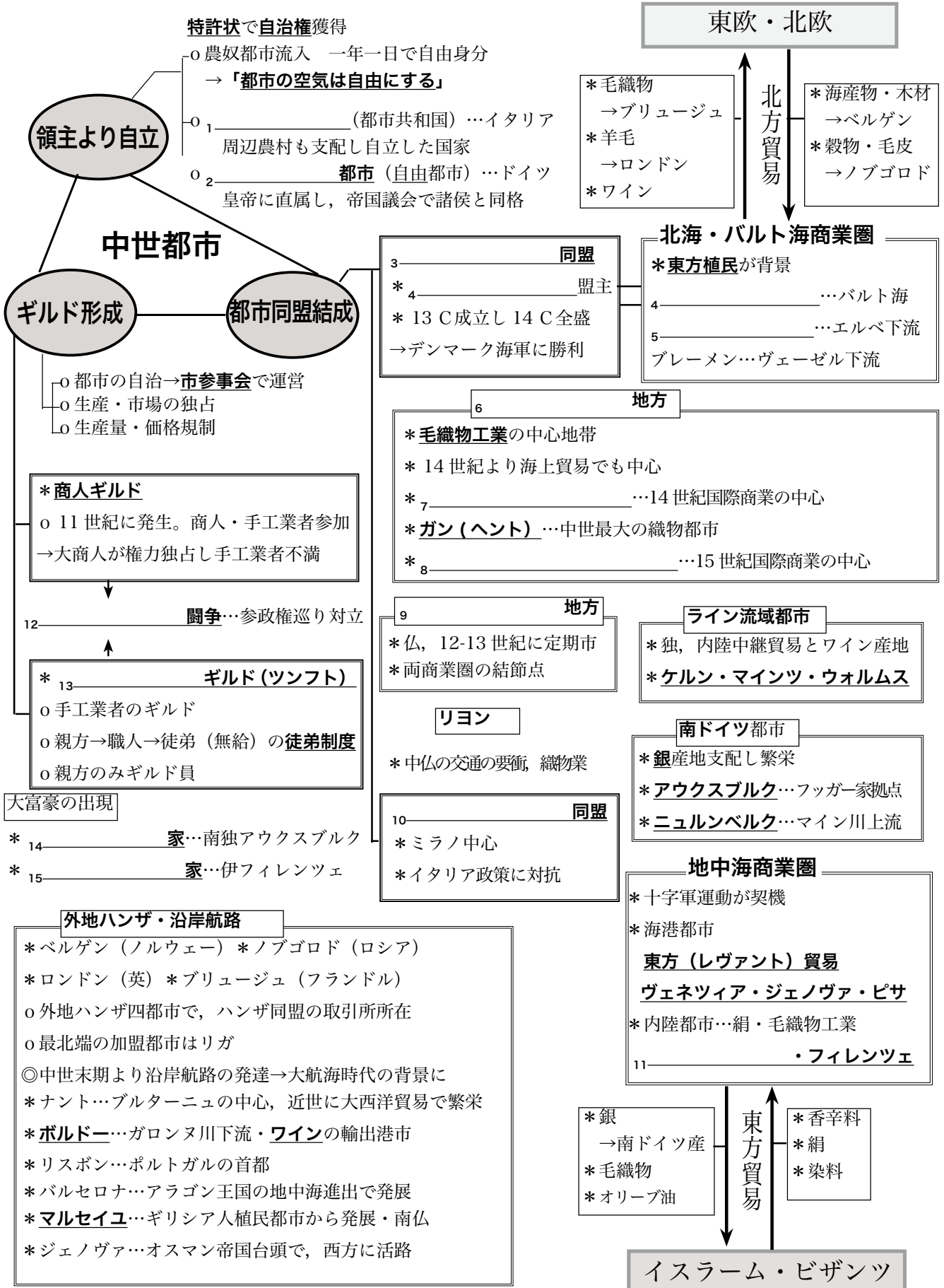


【第4回～第7回十字軍】

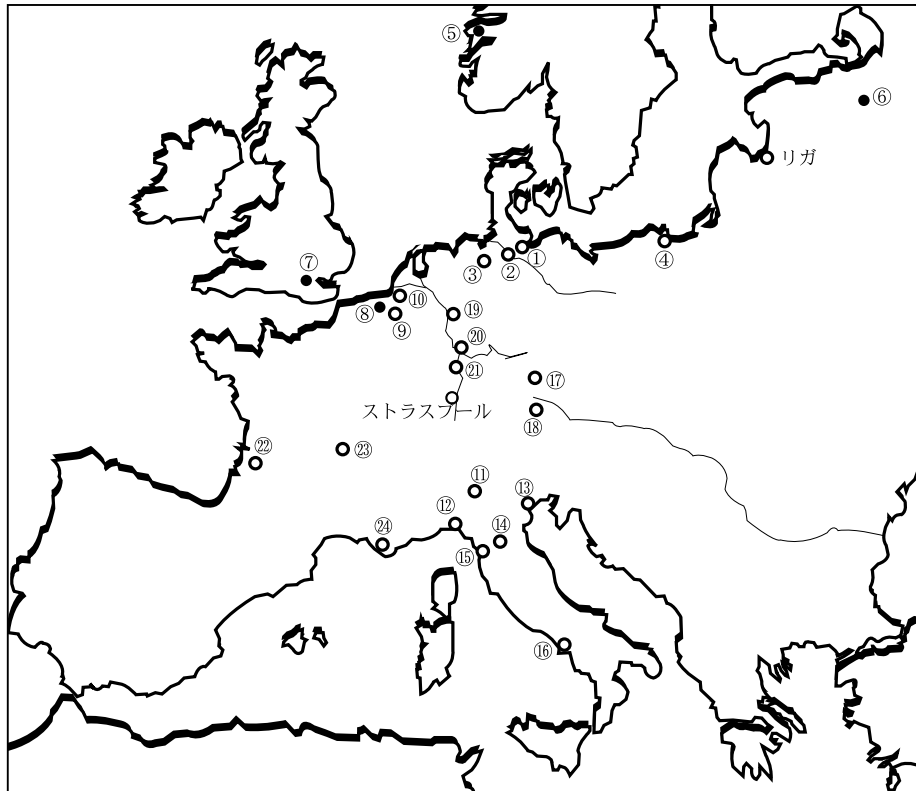


ヨーロッパ中世の都市

定期市→常設の市→都市復活（商業ルネサンス）→十字軍運動→遠隔地交易と貨幣経済の普及



1. コムーネ 2. 帝国 3. ハンザ 4. リューベック 5. ハンブルク 6. フランドル 7. ブリュージュ 8. アントウェルペン 9. シャンパーニュ
10. ロンバルディア 11. ミラノ 12. ツunft 13. 同盟 14. フッガー 15. メディチ



- ① リューベック …バルト海岸のハンザ同盟盟主都市。12 C にザクセン公が東方植民の拠点として建設
- ② ハンブルク …エルベ川下流域の河港都市。ハンザ同盟の中核都市として繁栄
- ③ ブレーメン …ウェーゼル川下流の商業都市。ハンザ同盟の中核都市
- ④ ダンチヒ …現ポーランドのグダニスク。14 C にドイツ騎士団領となり、ハンザ同盟加盟
- ⑤ ベルゲン …ノルウェーの海港都市で水産物（特にタラ）取引で繁栄。外地四ハンザの一つ
- ⑥ ノヴゴロド …バルト海と黒海を結ぶドニエプル水路の要衝の商業都市。外地四ハンザの一つ
- ⑦ ロンドン …北海貿易の要衝。羊毛輸出の拠点で、後には毛織物も輸出。外地四ハンザの一つ
- ⑧ ブリュージュ …毛織物工業と中世国際商業の中心地。外地四ハンザの一つ。15 C に衰退
- ⑨ ガン（ヘント） …フランドル地方の中世最大の毛織物都市
- ⑩ アントワープ …イギリスの毛織物を受け入れ、15 C 以降ブリュージュに代わって国際商業の中心
- ⑪ ミラノ …ロンバルディア同盟の中心で、織物業盛ん。14-15 C ヴィスコンティ家の公国
- ⑫ ジェノヴァ …東方貿易でヴェネツィアと競争→敗北後はスペインに接近、コロンブスの出身地
- ⑬ ヴェネツィア …「アドリア海の女王」とうたわれた東方貿易の拠点都市、第四回十字軍を先導
- ⑭ フィレンツェ …トスカナ地方の中心都市でメディチ家が出現。初期ルネサンスの中心地
- ⑮ ピサ …ロマネスク様式のピサ大聖堂で有名な海港都市→フィレンツェに支配され外港化
- ⑯ ナポリ …イタリア南部の中心都市
- ⑰ ニュルンベルク …南ドイツの内陸中継貿易都市
- ⑱ アウクスブルク …南ドイツ都市で、内陸中継貿易と銀山支配で繁栄→フッガー家が出現
- ⑲ ケルン …ライン流域の交易都市でローマ植民市に由来。ワインとゴシックの大聖堂有名
- ⑳ マインツ …ライン川とマイン川の合流地点にある交易都市でワインで有名
- ㉑ ヴォルムス …ライン中流域のワインの生産地。1122 年のヴォルムス協約の締結地
- ㉒ ボルドー …ガロンヌ川下流ギューエンヌ地方で、ワインの輸出都市（特に英向け）として繁栄
- ㉓ リヨン …フランス第二の都市で織物業中心→絹織物業も発展。内陸交易の拠点都市
- ㉔ マルセイユ …南仏の海港都市で、ギリシア植民市マッサリアがもと

封建制の危機の時代

危機の 14 世紀

* 封建諸侯と教皇権の没落で、王権が伸長

西欧は封建勢力が分立しつつ皇帝と教皇が指導するキリスト教共同体から、国家を中心とする体制へ移行

* 背景

- ・ 気候の寒冷化 …およそ 300 年続いた温暖な時代が終了し、気候が寒冷化して農業生産も低下
- ・ 1 _____ (_____) の流行…イギリスやフランスでは人口の三分の一が死滅、社会の変動を促す
- ・ 農奴解放 …労働力不足から、農民の地位は向上、人口減による地代減少で領主は打撃
- ・ 封建諸侯の没落 …地代の減少、**火炮**の出現など戦術の変化による地位の低下、長期の戦争で没落
- ・ 教皇権の衰退 …十字軍運動の相次ぐ失敗、教皇庁の統制強化への反発などで教皇の権威が低下

荘園の変化と農民の地位向上

12 世紀 * 貨幣経済の普及→領主**直営地**は低生産性から廃止され、農民保有地に一本化

純
粋
荘
園

○ 農民**保有地**… 2 _____ **地代**が地代の中心→貨幣経済の普及とともに 3 _____ **地代**へ
→ 純粹（地代）荘園になり農奴の地位向上・貨幣地代の転換進むと自由を買い取る農民出現
ex 14 世紀のイギリスで**独立自営農民（英 4 _____）**出現

* 14 世紀 1 _____ (_____) 流行 農民数減少し、領主が農民保護→中世**農奴解放**の原因の一つ

封建反動

…中世末の貨幣経済の普及や火炮の出現で没落した領主が封建的束縛強化
…西欧では農民反乱誘発し、東欧では農奴制が強化される

農民一揆

* 1358 年 5 _____ **の乱**…百年戦争期フランスの農民反乱

○ ギョーム・カイエ指導。乱敗北も仏農民地位向上

* 1381 年 6 _____ **の乱**…百年戦争期イギリスの農民反乱

○ 6 _____ 指導し一時ロンドン占領。乱敗北も英農民地位向上

○ 精神的指導者はウィクリフ説を奉じた 7 _____

○ 『**アダムが耕し、イヴが紡いだ時、誰が領主（貴族）だったか**』

教皇権の没落

フランス王権に屈服

1303 …聖職者課税問題に教皇が介入→フランス王は**三部会**を開催（1302）

8 _____ … 9 _____ の部下に教皇 10 _____ が捕虜→憤死

1309-1377 …**フィリップ 4 世**が、仏人教皇クレメンス 5 世と教皇庁を南仏 12 _____ へ移転

11 _____ …アヴィニョン教皇庁の行政整備と中央集権化で地方教会への統制と増税→各地の反発

教会の分裂と地方教会の独立（改革）運動

1378-1417 …教皇のバビロン捕囚終了後、アヴィニョンに対抗教皇

13 _____ …各地方教会も、ローマ派とアヴィニョン派に分裂し、混乱

14 C …イギリスのオックスフォード大学教授

14 _____ …イギリス教会のローマ教皇からの自立を主張し聖書の英訳の試み、支持者をローラズ

14 C 末 - 15 C 初 …ボヘミア（ペーメン）のプラハ大学の総長

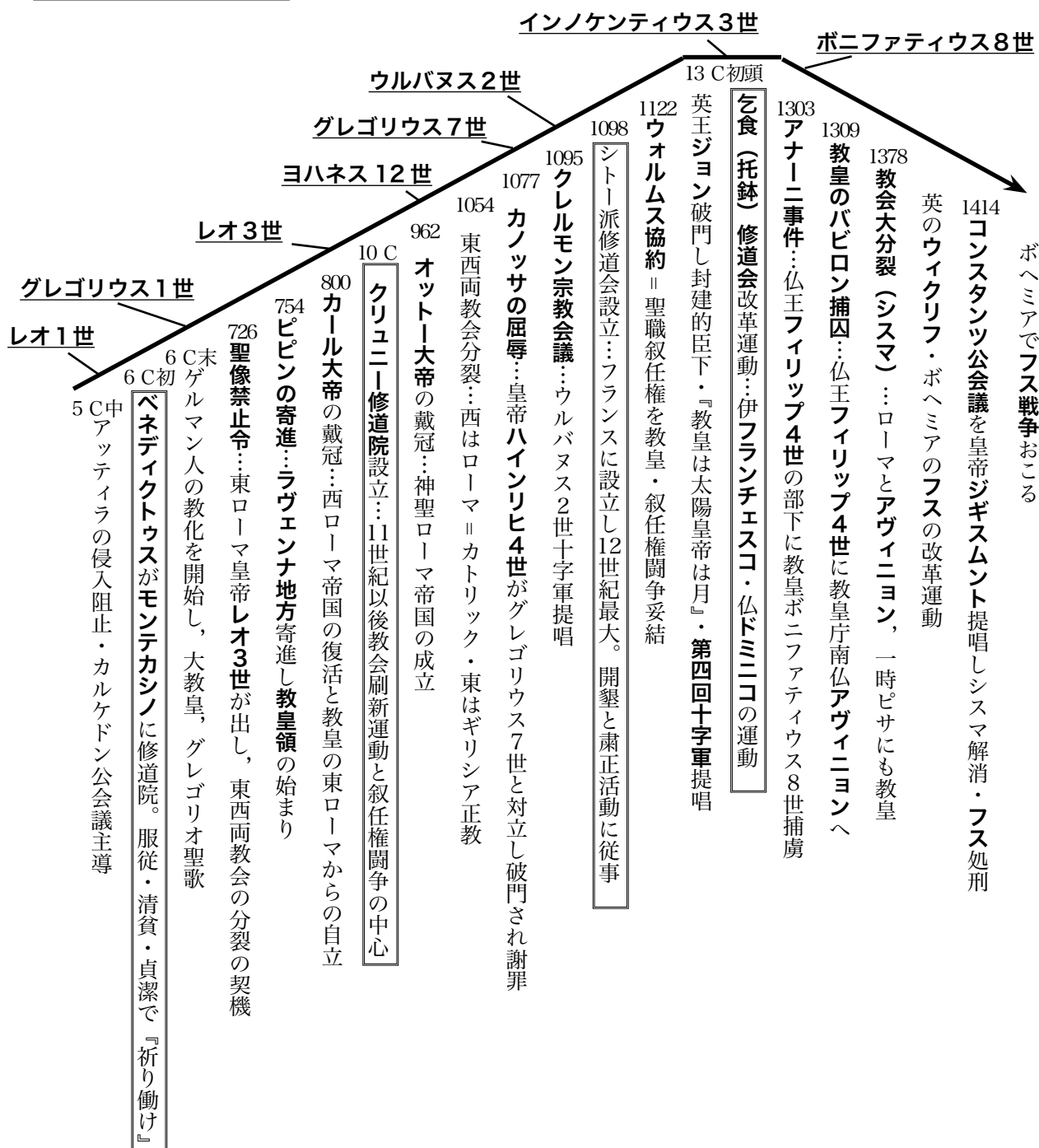
15 _____ …ウィクリフ説を支持し、チェコ人の民族運動も指導、聖書のチェコ語訳の試み

1414-1418 …皇帝**ジギスムント**が提唱し、シスマを解消←公会議を教皇権の上位に置く公会議主義

16 _____ …**ウィクリフとフス**を異端としフスを火刑→**フス**支持のチェコ人が 17 _____

1. ペスト（黒死病） 2. 生産物 3. 貨幣 4. ヨーマン 5. ジャックリー 6. ワットタイラー 7. ジョン＝ボール 8. アナーニ事件
9. フィリップ 4 世 10. ボニファティウス 8 世 11. 教皇のバビロン捕囚 12. アヴィニョン 13. シスマ 14. ウィクリフ 15. フス
16. コンスタンツ公会議 17. フス戦争

教皇権の盛衰図



イギリス

*ローマ撤退後、ゲルマン民族大移動で、1 _____ ・ジュート到来
→イングランドに七王国 (2 _____) 成立。ケルト系はウェールズへ

七王国

位 829 - 839 ... アングロ・サクソン の七王国のうちウェセックスの王でカール大帝とも連帯
...829 年七王国を統一して イングランド王国 建国

位 871 - 899 ... ノルマン人の一派 5 _____ 人の侵入を撃退し、反撃開始
...兵制・裁判制など改革。『アングロサクソン年代記』の文化事業

1016 - 1035 ... デンマークの王子 6 _____ がイングランドを征服し王 (デーン朝)
デーン朝 ... デンマーク・ノルウェー王兼ね、スウェーデンの一部も支配し北海帝国

*クヌート死後、後継争いから北海帝国崩壊し、イングランドにはアングロ = サクソンの王家復活

1066 ... 1066 年ヘースティンズズの戦いでハロルドに 7 _____ 公勝利
ノルマンコンクエスト ... 8 _____ 即位し 9 _____ 朝 (現王朝の祖) 首都 ロンドン

プランタジネット朝

位 1154 - 1189 ... 父系がフランスの 11 _____ 伯, 12 _____ 朝創始
...フランス 西半分 (ノルマンディー・アンジュー・ギューイエンヌ) も支配

位 1189 - 1199 ... ヘンリ 2 世の三男 仏王フィリップ 2 世と対立抗争 獅子心王
... 第 14 _____ 回十字軍 に参加し, 15 _____ 朝 の 16 _____ と戦う

位 1199 - 1216 ... ヘンリ 2 世の末子 (欠地王)。仏王 フィリップ 2 世 と抗争し、ブヴィーヌの戦いで敗北
...カンタベリ大司教叙任問題で 18 _____ に破門→封建的臣下に
... 19 _____ (大憲章, 1215 年) 封建的特権を確認。“王といえども法に従う” 原則

位 1216 - 1272 ... 大憲章無視し, 1258 年 21 _____ の乱発生
→ 65 年王の諮問会議に州・騎士の代表を加え、イギリス議会の起源に

位 1272 - 1307 ... ウェールズ征服し、以後皇太子をプリンス = オブ = ウェールズ
...スコットランド遠征費もとめ, 1295 年 23 _____ 議会 (州騎士 2 名。都市市民 2 名)

位 1327 - 1377 ... フィリップ 4 世の孫で、フランス王位継承権を主張し、1339 年 百年戦争 開始
...上下両院成立 = 1341 年に上院 (貴族院) と下院 (庶民院) に分離

1455 - 1485 ... 26 _____ (赤バラ) と 27 _____ (白バラ) の王位争いに貴族の内紛
...有力貴族が疲弊し、自滅→ 28 _____ 朝 成立し 29 _____ の王権強化

フランス

カペー朝

* 911 年ノルマン人の侵入に対し, 30 _____ を北フランスに封じて 7 _____ 公国 成立

位 987 - 996 ... 32 _____ 伯 でパリとオルレアン周辺支配し、ノルマン人撃退で名声
... カロリング朝 断絶で 33 _____ 朝 開始。初期は 典型的封建王朝 で王権弱体

1066 ... 34 _____ がイングランド王兼任
ノルマンの征服 → 英王と仏王の関係複雑化し、英仏対立の原因に

位 1180 - 1223 ... 第三回十字軍参加→ プランタジネット朝 と抗争→ ジョン王 から仏内英領の大半を奪う
...都市に大幅な自治特権を認めて連携し、地方への王権浸透の拠点、諸侯勢力を抑圧

位 1226 - 1270 ... 37 _____ 十字軍 で南仏の 37 _____ 派 根絶。南仏諸侯勢力を支配下
... 第 6 ・ 7 回十字軍 指揮。 ルブルック をモンゴルに派遣。高等法院創設

位 1285 - 1314 ... 聖職者への 課税権 で教皇 39 _____ と抗争。カペー朝全盛期
... 40 _____ (1302 年) 召集。聖職者・貴族・平民の身分会議

o 1303 年 アナーニ事件 ... 39 _____ を監禁

o 1309 年 教皇のバビロン捕囚 ... 教皇庁を南仏 アヴィニョン へ

1. アングロ・サクソン
2. ヘプターキー
3. エグベルト
4. アルフレッド
5. デーン
6. クヌート (カヌート)
7. ノルマンディー
8. ウィリアム 1 世
9. ノルマン
10. ヘンリ 2 世
11. アンジュー
12. プランタジネット
13. リチャード 1 世
14. 3
15. アイユープ
16. サラディン
17. ジョン
18. インノケンティウス 3 世
19. マグナカルタ
20. ヘンリ 3 世
21. シモン = ド = モンフォール
22. エドワード 1 世
23. 模範
24. エドワード 3 世
25. バラ戦争
26. ランカスター
27. ヨーク
28. テューダー
29. ヘンリ 7 世
30. ロロ
31. ユーグ = カペー
32. パリ
33. カペー
34. ノルマンディー公ウィリアム
35. フィリップ 2 世
36. ルイ 9 世
37. アルビジョワ
38. フィリップ 4 世
39. ボニファティウス 8 世
40. 三部会

ヴァロワ朝

位 1328 - 1350 …フィリップ4世の弟、ヴァロワ伯の息子

フィリップ6世 …₁ _____ 朝創始も、イギリス王エドワード3世が継承権主張

1339 - 1453

百年戦争

…毛織物地域₂ _____ とワイン産地₃ _____ の争奪

…初期₄ _____ 活躍も、後期ジャンヌ＝ダルク出現で形成逆転

位 1422 - 1461

…₆ _____ の支援でランスで戴冠、₇ _____ を除きイギリス軍を駆逐

₅ _____ …大商人ジャック＝クールを登用し、財政改革。常備軍を整備

位 1483 - 1498

シャルル8世

…国内統一完了。ナポリ王国継承主張し、イタリア南下

→ハプスブルク家との₈ _____ 戦争開始。ルネサンスがフランスへ伝来

ワット・タイラーの乱

- * 1381 年ワット・タイラー指導
- * 一時はロンドン占領し、農奴制廃止・商品取引自由・地代軽減等要求。
- * 思想的指導者ジョン・ボール

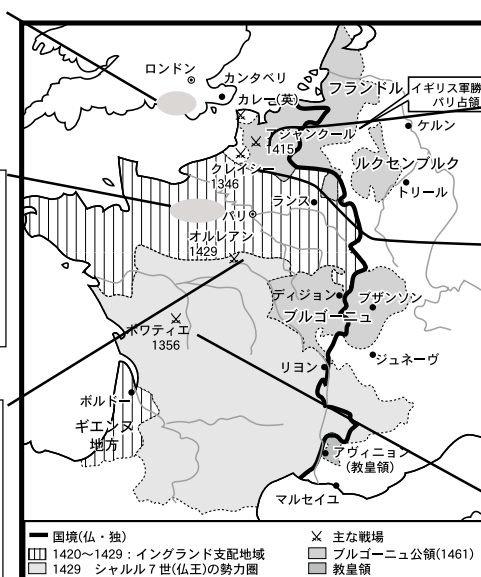
ジャックリーの乱

- * 1358 年ギヨーム・カイエ指導
- * ポワティエの戦い後の領主の重税や傭兵の村荒らしに反対

オルレアン

- * 百年戦争末期のフランス拠点
- * 1429 年ジャンヌ＝ダルクが英の包囲を突破
- シャルル7世の戴冠へ

【百年戦争中の英仏】



カレー

- * 百年戦争後のイギリスの拠点

アザンクールの戦い

- * 1415 年百年戦争最大の決戦
- * ランカスター朝ヘンリ5世勝利
- シェークスピア劇で有名

クレシーの戦い

- * 1346 年エドワード黒太子勝利
- * ヨーマンの長弓隊活躍

ポワティエの戦い

- * 1356 年エドワード黒太子勝利
- * フランス王を捕虜
- * ワイン産地ギューエヌ争奪戦

ヘプターキー成立以前のイギリス

- o 先史時代の遺跡にストーン＝サークルの代表であるストーン・ヘンジ
- o ケルト系ブリトン人居住。後 43 年頃ローマの属州ブリタニア。ロンディニウム建設
→アングロ・サクソンの侵入でウェールズへ、『アーサー王物語』の形成
- o スコットランドにはアイルランドからケルト系スコット人が入植し広がる
- o アイルランドには5世紀に聖パトリックがカトリックを布教、独自の修道院文化が発展

フランク王国以前のフランス

- o 旧石器時代にクロマニヨン人居住。先史時代の遺跡に洞窟絵画で有名なラスコー
- o ケルト系民族居住。カエサルのガリア遠征でローマの属州。ルティティア（現パリ）建設

ドイツ

*マジヤール人・スラヴ人の侵入に部族を支配する諸侯が武装して対抗し、強勢となって各地に割拠

ザクセン朝

位 919 - 936 ...911 年カロリング朝の断絶後、部族諸侯による**選挙王政**に移行、初代はコンラート
ハインリヒ 1 世 ...部族諸侯の軍事力を束ね、マジヤール人に対抗、1 **朝**を創始

位 936(962) - 973 ...レヒフェルトの戦いで 3 **人**撃破。オストマルク辺境伯設置
2 ...962 年ヨハネス 12 世より西ローマ皇帝の戴冠 = 4 **成立**

o 帝国教会政策 司教や修道院長を叙任。忠実な諸侯とし大諸侯抑制→叙任権闘争の原因に

ザリエル朝

位 1056 - 1106 ...ザクセン朝に代わったザリエル朝（フランケン朝・領域最大）の皇帝
5 ...教皇**グレゴリウス 7 世**と 6 **で破門→カノッサの屈辱**で許される

位 1106 - 1125 ...1122 年 8 **締結し、叙任権闘争終了**
7 →俗権の授与を皇帝、聖職者としての叙任を教皇として妥協

シュタウフェン朝

位 1152 - 1190 ...ザリエル朝と代わった 10 **朝**の皇帝。**第三回十字軍**で事故死
9 ...イタリア統一と支配目的に 11 **を推進**。ロンバルディア同盟と対立

位 1194 - 1250 ...**第 13 回十字軍**でイスラーム側との話し合いで**エルサレム**回復
12 ...両シチリア王兼ねイタリア政策→ドイツの分権化の進行と教皇権との激突

*イタリアでは統一願う**皇帝派** (14 **)**と分裂維持の**教皇派** (15 **)**の対立

1256 - 1273 ...教皇と対立し敗北した**シュタウフェン朝**が、断絶
16 ...英仏など外国勢力の傀儡皇帝が続ぎ、事実上の無皇帝時代で皇帝権失墜

12 ~ 15 世紀 ...18 **川**以東の**スラヴ人**地区への軍事的植民
17 ...12 世紀 19 **辺境伯領**・13 世紀 20 **領成立**

ルクセンブルク朝

位 1347 - 1378 ...ルクセンブルク朝の皇帝でベーメン国王（カレル 1 世）。プラハ大学創立
21 ...1356 年 22 **発布**。1377 年バビロン捕囚の終結に努力

1356 ...皇帝選出権を 7 選帝侯に限定、マインツ・トリール・ケルンの大司教
ベーメン王・ブランデンブルク伯・ザクセン公・ファルツ伯の四大諸侯
22 ...皇帝選出手続きを明確化、教皇の干渉排除、選帝侯に大権承認→帝国は領邦の連邦へ

位 1411 - 1437 ...ハンガリー王として 1396 年オスマン帝国にニコポリスの戦いで敗北
ジギスムント ...1414 年**コンスタンツ公会議**提唱→1419 年ベーメン王兼ね、23 **戦争**惹起

1438 ~ 1806 ...1273 年ルドルフ 1 世が皇帝となり、大空位時代終結、1308 年まで帝位
24 ...1438 年より帝位に復帰、1493 年即位のマクシミリアン 1 世が発展の基礎を築く

イタリア

870 : イタリア成立...**メルセン条約**で原型成立。but 875 年カロリング朝断絶し、分権化進行

962 : 神聖ローマ帝国成立...ドイツ皇帝はイタリア支配の強化を目的に 11 **を推進**
→ 12 世紀以降、25 **派<ゲルフ>**と 26 **派<ギベリン>**の争い激化

1130 : **両シチリア王国**成立...**ノルマン**人がシチリアとイタリア南半支配→12 世紀末シュタウフェン朝成立

1282 : シチリアの晩鐘...フランスアンジュー家の支配にシチリア島反乱→ナポリと分離しアラゴン領に

*中部はローマ中心に教皇領...教皇は**ペテロ**の後継者を称し、イタリア政策の皇帝に対抗

*北部は都市国家が分立

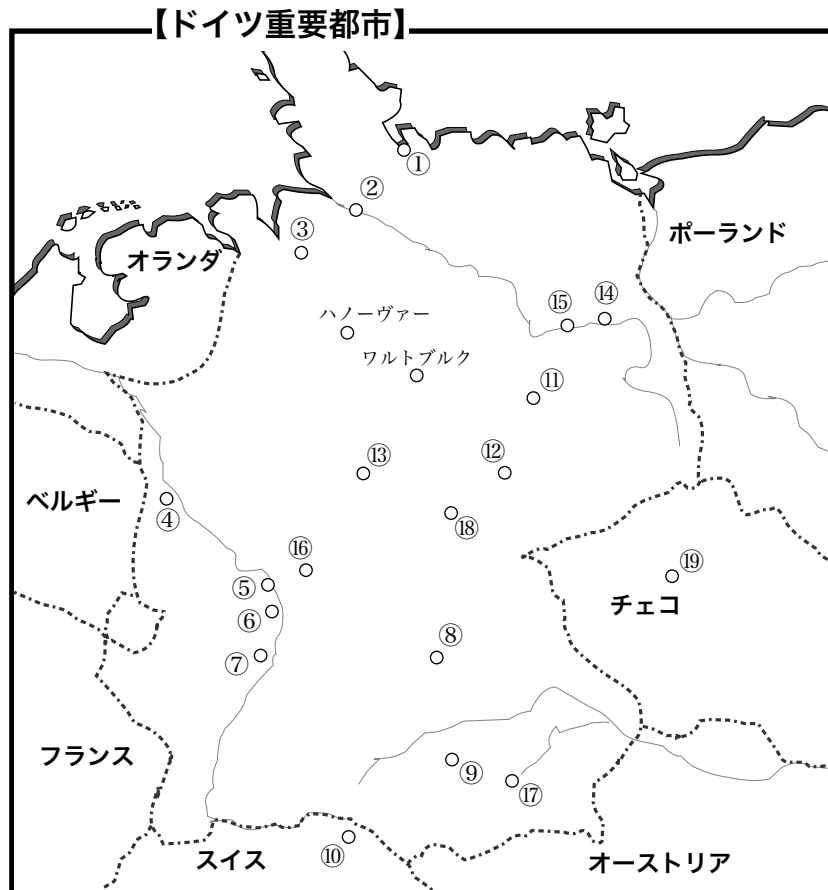
o 27 **...**地中海交易に覇権、**第 4 回十字軍**の**コンスタンティノープル**占領を先導

o 28 **...**黒海沿岸に進出、ヴェネツィアと覇権を争う、14 世紀以降、大西洋沿岸航路に進出

o 29 **...**内陸都市でロンバルディア同盟の中心、ヴィスコンティ家の公国

o 30 **...**内陸都市、毛織物職人のチョンピの乱、31 **家の支配**

1. ザクセン 2. オットー 1 世 3. マジヤール 4. 神聖ローマ帝国 5. ハインリヒ 4 世 6. 叙任権闘争 7. ハインリヒ 5 世 8. ヴォルムス協約
9. フリードリヒ 1 世 10. シュタウフェン 11. イタリア政策 12. フリードリヒ 2 世 13. 5 14. ギベリン 15. ゲルフ
16. 大空位時代 17. 東方植民 18. エルベ 19. ブランデンブルク 20. ドイツ騎士団 21. カール 4 世 22. 金印勅書 23. フス
24. ハプスブルク 25. 教皇 26. 皇帝 27. ヴェネツィア 28. ジェノヴァ 29. ミラノ 30. フィレンツェ 31. メディチ



- | | |
|-------------------|--|
| ① リューベック | …東方植民の一環として 12 世紀にザクセン公によって建設。ハンザ同盟の盟主 |
| ② ハンブルク | …エルベ河港のハンザ同盟の中心都市 |
| ③ ブレーメン | …ウェーゼル川流域のハンザ同盟の有力都市 |
| ④ ケルン | …ローマ時代に起源のライン流域の古都。大聖堂はゴシック建築の代表として有名 |
| ⑤ マインツ | …ライン川とマイン川の合流地点として繁栄 |
| ⑥ ウォルムス | …ローマ時代に起源。1122 年ウォルムス協約。1521 年ウォルムス帝国議会 |
| ⑦ シュパイエル | …1526 年の帝国議会でカール 5 世がルター派に譲歩。1529 年の議会で譲歩取消 |
| ⑧ ニュルンベルク | …15 世紀に特に繁栄。1945 年国際軍事裁判でナチスの戦争犯罪を裁く |
| ⑨ アウクスブルク | …ローマ時代に起源。中世フッガー家の拠点。1555 年アウクスブルクの宗教和議 |
| ⑩ コンスタンツ | …1414 年皇帝ジギスメント提唱の公会議。シスマ解決しフス処刑 |
| ⑪ ヴィッテンベルク | …1502 年ザクセン選帝侯フリードリヒが大学建設。神学教授ルターが改革開始 |
| ⑫ ライプチヒ | …1519 年ルターのライプチヒ討論。1813 年諸国民戦争（ライプチヒの戦い） |
| ⑬ シュマルカルデン | …ルター派諸侯が 1529 年のシュパイエル帝国議会对に反対して同盟 |
| ⑭ ベルリン | …ブランデンブルクの首都。プロイセンの首都。ドイツ帝国、共和国の首都 |
| ⑮ ポツダム | …フリードリヒ 2 世のロココ式サン＝スーシ宮殿造営。1945 年ポツダム会議 |
| ⑯ フランクフルト | …マイン河畔の都市。皇帝選挙地。ドイツ連邦の議会開催。1848 年国民議会 |
| ⑰ ミュンヘン | …南ドイツのバイエルンの中心都市。1923 年ヒトラーのミュンヘン一揆
1938 年ズデーテン問題討議のミュンヘン会議 |
| ⑱ ヴァイマル | …1919 年国民議会が開催され、ヴァイマル憲法制定 |
| ⑲ プラハ | …ボヘミア（バーメン）の中心都市。ドイツ語圏最初のプラハ大学。フスの改革 |

東ヨーロッパ世界

ビザンツ帝国の盛衰

395

東西分裂→476年オドアケルに西ローマ帝国滅亡

初期

唯一のローマ皇帝として地中海帝国の回復を目標とし、挫折した時期

位 527-565

王国・

王国征服。地中海世界回復

朝のホスロー1世と対抗、皇后テオドラの補佐

・ビザンツ式の 聖堂再建、皇帝が教会を支配する 主義を強調

・ を振興→絹織物産業も発達

・トリボニアヌスらに『 』編纂させ、ローマ法を集大成

・プラトンが開設したアカデメイアの学院を異教的と閉鎖→学者はササン朝に亡命

ササン朝・イスラーム教徒アラブ人侵入 エジプトとシリアを失う

位 610-641

…ササン朝・アラブ人イスラーム教徒の侵入に対抗もエジプト・シリア喪失

ヘラクレイオス1世 …公用語がラテン語 から 語にかわり、ギリシア帝国化

制度

制…全土を軍管区（属州行政単位）に分け、文武両権を持つ長官の統治

制…軍管区制の下で兵士に土地を与え、自由農民創出とされた制度

8世紀

ビザンツ社会が形を整え、スラブ人を教化してビザンツ＝スラブ文化圏を形成

中期

位 717-741

…ウマイヤ朝のコンスタンティノーブル包囲をギリシア火で撃退

12

…726年 令 イスラーム教徒の偶像崇拜批判に対抗→東西教会対立へ

位 867-886

…帝国第二の最盛期マケドニア朝の開祖

バシレイオス1世

…スラブ人を撃退し、ギリシア正教化、北境を防衛させる

位 976-1025

…キエフ公国のウラディミル1世と妹の婚姻→ルーシのギリシア正教改宗

バシレイオス2世

…ブルガリア人と戦ってブルガール王国を征服し、ブルガール殺しの異名

14

朝侵入…マンジケルトの戦いに敗北（1071）

11世紀

大土地所有の発展・官僚組織の後退など封建化が進行し、帝国衰退

後期

位 1081-1118

… 制（封建的土地制も身分階級成立せず）実施

アレクシオス1世

…セルジューク朝圧迫にローマ教皇に救援要請→十字軍

1204-61

…第 回十字軍がヴェネツィア商人の先導でコンスタンティノーブル占領し建国

16

…帝国の一族はニケーア帝国建国し対抗→奪回

オスマン帝国侵入…コンスタンティノーブル中心の小都市国家化

* 1453年 帝国のメフメト2世にコンスタンティノーブル陥落し、滅亡

* ビザンツ建築の代表は、 聖堂と 聖堂（ラヴェンナ）

壁画と （聖母マリアなどの聖像画）が特徴

【ビザンツの特徴】

◎ドミナートゥス制の延長で、皇帝による中央集権体制、皇帝教皇主義で、帝国が教会を支配

→異端とされた単性論がシリアやエジプトで勢力を保つ（アルメニア正教会、コプト正教会など）

◎コンスタンティノーブルは、東西と南北（地中海と黒海）交易の拠点、正教の中心として「第2のローマ」主張

ノミスマ金貨が国際通貨として流通

◎滅亡前後の学者のイタリアへの移住は、イタリアルネサンスに影響

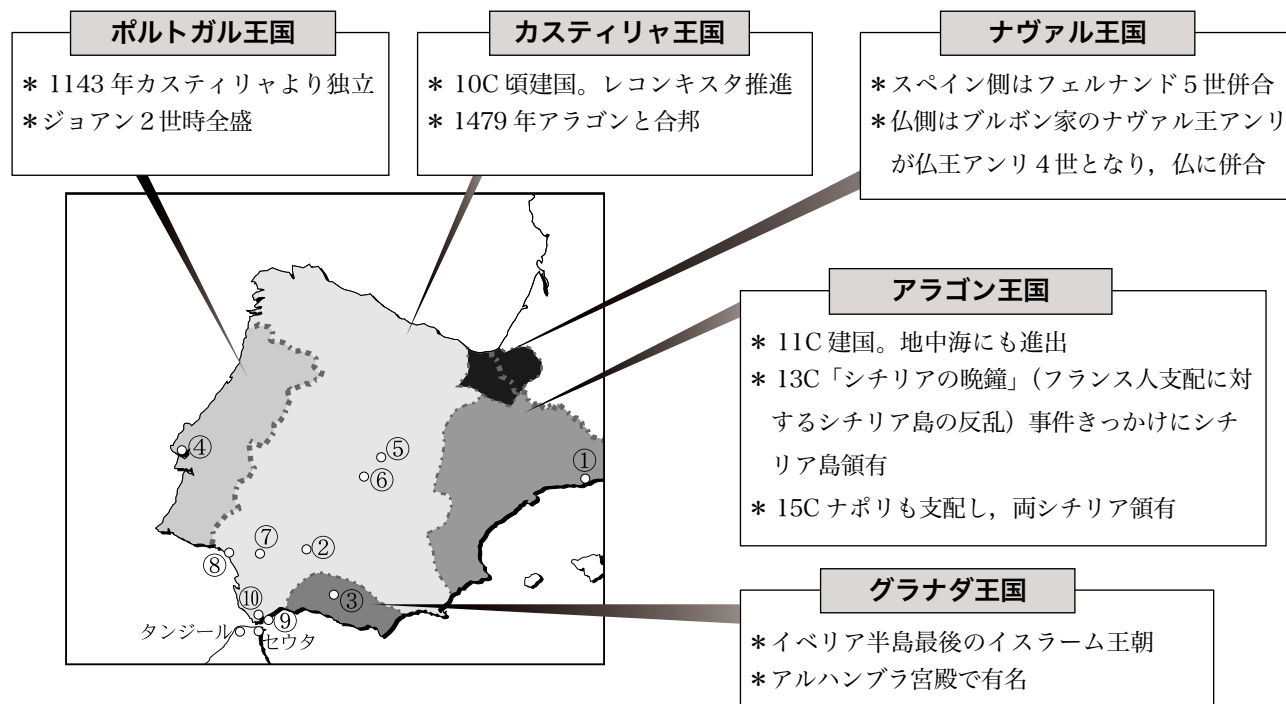
1. ユスティニアヌス 2. ヴァンダル 3. 東ゴート 4. ササン 5. 聖ソフィア 6. 皇帝教皇 7. 養蚕 8. ローマ法大全 9. ギリシア
10. 軍管区（テマ） 11. 屯田兵 12. レオン3世 13. 聖像禁止 14. セルジューク 15. プロノイア 16. ラテン帝国 17. 4 18. オスマン
19. 聖ヴィターレ 20. モザイク 21. イコン

【6世紀の東ローマ帝国】



- ①**東ゴート王国** …493年東ゴート王テオドリックが、オドアケルを倒して建国。都はラヴェンナ
555年、東ローマ帝国のユスティニアヌス帝に滅亡
- ②**ヴァンダル王国** …429年ヴァンダル族がアフリカ北岸に建国し、一時シチリア島にも進出
534年、東ローマ帝国のユスティニアヌス帝に滅亡

【イベリアのレコンキスタ】



- ①**バルセロナ** …中世に交易中心地として発展。スペイン内乱題材にオーウェル『カタロニア讃歌』
- ②**コルドバ** …後ウマイヤ朝の都。西方イスラーム世界の中心。イブン＝ルシュド等の学者を輩出
- ③**グラナダ** …イスラーム最後の拠点。アルハンブラ宮殿で有名
- ④**リスボン** …ポルトガルの首都。16世紀商業革命で、世界貿易の中心として繁栄
- ⑤**マドリード** …スペインの首都
- ⑥**トレド** …8～11世紀イスラーム文化繁栄。カスティリャの都となり翻訳事業で12世紀ルネサンス
- ⑦**セビリヤ** …大航海時代の貿易の拠点。ベラスケスやムリリョなどゴシック絵画の画家が活躍
- ⑧**パロス** …セビリヤの外港。1492年コロンブスの出港の地
- ⑨**ジブラルタル** …1713年スペイン継承戦争のユトレヒト条約でイギリス領
- ⑩**アルヘシラス** …1905年第一次モロッコ事件解決のための国際会議開催
- ⑪**ミノルカ島** …1713年ユトレヒト条約でイギリス領。1783年米独立戦争を支援したスペインが奪回

【ポーランド】

西スラヴ族が10世紀建国→1 受容し、11世紀にローマ教皇権に直属（神聖ローマ帝国に対抗）
13世紀ドイツ騎士団がプロイセンに入植・バトゥ遠征軍も襲来（1241年2 の戦い）
14世紀カジミェシュ3世（大王）が統一回復し、クラクフ大学も成立（後にコペルニクス活躍）
1386年ドイツ騎士団と対抗し、3 と連合→4 朝成立
1410年タンネンベルク（グレンヴァルト）の戦いでドイツ騎士団撃破→15～16世紀はポーランドの黄金時代

【ベーメン】

西スラヴ族が9世紀初モラヴィア国建国→5 受容もマジャール人の侵入で滅亡（906）
→6 人は9世紀末モラヴィア国の支配を離れ、900年頃に7 王国建国
*スロヴァキア地方のスロヴァク人は以後第一次大戦後までハンガリーのマジャール人の支配下
o 11世紀初：8 に併合され、帝国内の王国となる。
o 1356：9 で選帝侯（勅書の発布者 10 はボヘミア王カレルでもあった）

11 1370頃-1415

…プラハ大学総長。宗教改革と民族運動指導。聖書のチェック語訳

11

…1414年開始の 12 公会議で処刑→支持者は 13 戦争
o 1526：14 家領 ハンガリー王兼ベーメン王家がトルコに敗北し、断絶。婚姻関係で継承

【ハンガリー】

ウラル系（アジア系）の 15 人がパンノニア平原に進出し、先行するフン・アヴァールを吸収
モラヴィア王国を滅ぼし、西ヨーロッパ侵入を繰り返す
955年レヒフェルトの戦いでオットー1世に敗北→10世紀末 16 受容し、ハンガリー王国建国

【南スラヴ諸族】

スロヴェニア人・クロアチア人は、フランク王国に服属し 17 受容
18 人はブルガリア・東ローマ帝国の影響で 19 受容
→14世紀ステファン・ドゥシャンの下でツァーリを称し全盛
→14世紀末コソヴォの戦いに敗北し、オスマン帝国の支配下

【ルーマニア】

20 帝のダキア征服に由来の 21 系住民がワラキア・モルダヴィア両公国形成
22 受容→14世紀オスマンの支配→19世紀に独立し、23 建国

【ブルガリア】

トルコ系の 24 人が7世紀初に建国→先住の南スラヴ族に同化
9世紀ボリス1世が 25 受容→9世紀末シメオン1世がツァーリを称し全盛
11世紀ビザンツ帝国に服属
12世紀にビザンツ帝国より独立→14世紀にオスマン帝国に服属

【ロシア】

* 26 国…862年 27 族の長 28 が建国し、ロシアの起源
* 29 公国…ノブゴロド公が 30 川を南下して建国、ロシア諸侯の中心
10世紀末 31 が 32 に改宗し全盛
13世紀 33 の遠征で征服→ 34 国の成立（タタールの軛^{くびき}）
* 35 大公国… 36 がキプチャク・ハン国より自立（1480）
最後のビザンツ皇帝の姪ソフィアと結婚しツァーリ（皇帝）と自称→モスクワは「第3のローマ」
37 はツァーリを正式称号、東方進出開始（イエールマークのシビル・ハン国占領）

1. カトリック 2. ワールシュタット 3. リトアニア 4. ヤゲウォ 5. カトリック 6. チェック 7. ベーメン（ボヘミア） 8. 神聖ローマ帝国
9. 金印勅書 10. カール4世 11. フス 12. コンスタンツ 13. フス 14. ハプスブルク 15. マジャール 16. カトリック
17. カトリック 18. セルビア 19. ギリシア正教 20. トラヤヌス 21. ラテン 22. ギリシア正教 23. ルーマニア 24. ブルガール
25. ギリシア正教 26. ノブゴロド 27. ルス（ルーシ） 28. リューリク 29. キエフ 30. ドニエプル 31. ウラディミール1世
32. ギリシア正教 33. バトゥ 34. キプチャク＝ハン 35. モスクワ 36. イヴァン3世 37. イヴァン4世



- ①スロヴェニア
- ②クロアチア
- ③ボスニア＝ヘルツェゴビナ
- ④モンテネグロ
- ⑤セルビア
- ⑥マケドニア

スラヴ人

◎スラヴ人…インド＝ヨーロッパ系で先住地は**カルパティア山脈**付近

・南スラヴ、東スラヴ、西スラヴに分かれ、各地に移動

東欧の民族

※東スラヴ人

- *ロシア人
- *ベラ＝ルーシ（白ロシア）人
- *ウクライナ人

※西スラヴ人

- *チェック人（チェコ）
- *スロヴァーク人（スロヴァキア）
- *ポーランド人

※バルト系

- *ラトヴィア人，リトアニア人

※ウラル系

- *マジャール人（ハンガリー）

※ラテン系

- *ルーマニア人

※南スラヴ人

- *スロヴェニア人
- *クロアチア人
- *セルビア人
- *ブルガリア人

→ブルガリア建国の基はアジア系のブルガール人であるが、南スラヴ族に同化した。

東欧の宗教

※カトリック優勢な国

- *チェコ
- *スロヴァキア
- *ポーランド
- *ハンガリー
- *スロヴェニア
- *クロアチア

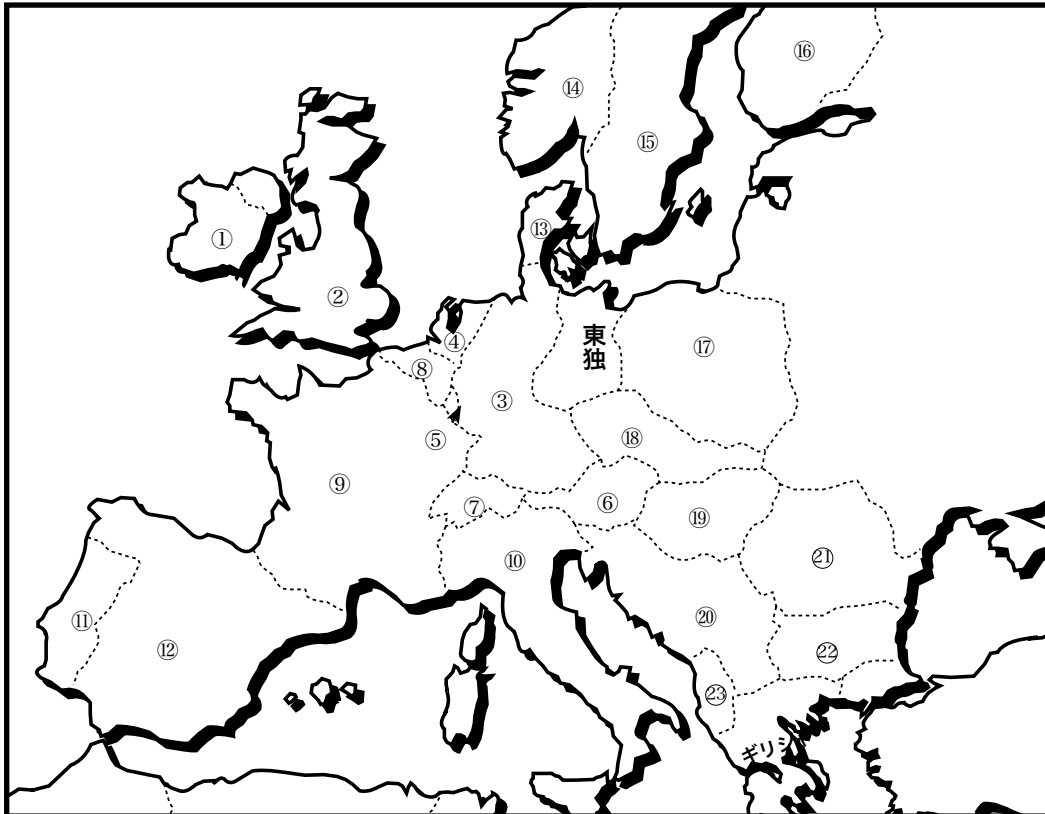
※ギリシア正教優勢な国

- *ルーマニア
- *モンテネグロ
- *セルビア
- *ブルガリア

※カトリック・ギリシア正教・イスラーム教混住の国

- *ボスニア・ヘルツェゴビナ

【欧州国境（二次大戦後）と民族及び宗教】



西 欧	1. <u>アイルランド</u>	…ケルト系。カトリック中心
	2. <u>イギリス</u>	…アングロ・サクソン系。イギリス国教会中心
	3. <u>ドイツ</u>	…ゲルマン系。プロテスタント中心。南部はカトリック
	4. <u>オランダ</u>	…ゲルマン系。プロテスタント（カルヴァン派）中心
	5. <u>ルクセンブルク</u>	…ゲルマン系。住民はドイツ系中心
	6. <u>オーストリア</u>	…ゲルマン系。住民はドイツ系中心。カトリック
	7. <u>スイス</u>	…ドイツ系・フランス系・イタリア系の混住地域
	8. <u>ベルギー</u>	…ラテン系カトリックの住民中心。北部はゲルマン系
	9. <u>フランス</u>	…ラテン系カトリック
南 欧	10. <u>イタリア</u>	…ラテン系カトリック
	11. <u>ポルトガル</u>	…ラテン系カトリック
	12. <u>スペイン</u>	…ラテン系カトリック
北 欧	13. <u>デンマーク</u>	…ノルマン系プロテスタント（ルター派）中心
	14. <u>ノルウェー</u>	…ノルマン系プロテスタント（ルター派）中心
	15. <u>スウェーデン</u>	…ノルマン系プロテスタント（ルター派）中心
	16. <u>フィンランド</u>	…ウラル系フィン人
東 欧	17. <u>ポーランド</u>	…西スラヴ系カトリック中心
	18. <u>チェコスロヴァキア</u>	…西スラヴ系カトリック中心。現在チェコとスロヴァキアに分離
	19. <u>ハンガリー</u>	…ウラル系マジャール人中心。カトリック中心
	20. <u>ユーゴスラヴィア</u>	…南スラヴ系。スロヴェニア・クロアチアはカトリック。セルビア・モンテネグロ・マケドニアはギリシア正教。ボスニアはイスラム系住民多数
	21. <u>ルーマニア</u>	…東欧唯一のラテン系。（ローマ帝国トラヤヌス帝時に由来）ギリシア正教
	22. <u>ブルガリア</u>	…南スラヴ系。アジア系ブルガール族がスラヴ人に同化。ギリシア正教
	23. <u>アルバニア</u>	…バルカン最古の民族。イスラム教中心

第七章 近世ヨーロッパ

この章で学ぶこと

* 世界の一体化の開始・近世社会の成立・宗教改革・各地域の歴史

大航海時代の到来は、ヨーロッパを中心とする世界の一体化の開始を意味した。ユーラシア大陸と孤絶した独自の文明圏を形成していた古代アメリカ文明は破壊され、新大陸は西欧への鉱物資源や商品作物の生産地及び、西欧産業の市場に再編された。西欧地域は、新大陸から流入する銀によって価格革命が起こり、商工業の発展が刺激された。特にそれは新大陸やアジアとの交易に適したネーデルラントを中心とする大西洋岸で顕著であり、西欧経済の中心が地中海から北西ヨーロッパへ移動する商業革命も起こる。東欧地域はグーツヘルシャフト（農場領主制）が普及して西欧への穀物供給地域となり、環大西洋地域の経済的一体化が進んだ。それは西欧を中心とし、他の地域を西欧に従属させる不平等な国際分業体制の始まりでもあった。現在の南北問題の淵源がここにある。

一方、15世紀半ばに皇帝位を世襲するようになり、結婚政策で領土を拡大したハプスブルク家は、16世紀前半にはカール5世（スペイン国王カルロス1世）のもと、皇帝権と教皇権を復興し、ヨーロッパを統合してオスマン帝国に対抗しようと試みた。しかし、これには王権を伸長しつつあったフランス王家（フランソワ1世）が反発してイタリア戦争が激化し、イギリス王家や教皇もこれに荷担するにおよんでカール5世のヨーロッパ統合の夢は潰えた。結局イタリア戦争は痛み分けに終わり、両ハプスブルク家とフランス王家は1559年にカトー・カンブレジ条約を結んだ。このことは、オスマン帝国・ムガル帝国・明清帝国・ロシア帝国など、同時代に他の地域で強大な帝国を中心とする国際秩序が形成されたのとは対照的に、西欧では、強大な帝国を中心とする国際秩序の形成が不可能になったことを意味した。

ハプスブルク家とフランス王家の対抗関係に加えて同時期に並行して起こった宗教改革によって、西欧は戦争と妥協をくりかえす緊張状態が恒常化した。大砲と小銃の使用による軍事革命は、戦争自体を大規模化・長期化した。成長しつつあった各地の王権は、大量の兵員と莫大な軍事費を調達するため、国内の一元的な支配の強化をめざし、徴税機構を中心に行政制度を整備し、自己の支配領域を明確な国境で囲い込むようになった。このようにして、成立した国家を、主権国家と呼ぶ。

イタリア戦争中、各国は勢力均衡原則のもと複雑な同盟外交を展開したが、この間に外交官の常駐制度など、主権国家体の併存を前提とする国際政治の仕組みが整えられた。

宗教改革は、皇帝や教皇の権威を動揺させ、両者の権威から自立して領域内の教会を支配しようとする君主の動向と結びついて、主権国家群の形成を促した。

そして西欧世界において主権国家体制を確立させたのが、三十年戦争のウェストファリア条約であった。神聖ローマ帝国内の領邦国家にも主権が認められ、皇帝権は失墜した。アウクスブルクの和議が確認されてカルヴァン派が公認されたことで、キリスト教世界の分裂も決定的となった。国家主権の不可侵性（内政不干渉の原則）もまた、ウェストファリア条約によって確認された。主権国家は主権国家平等の原則の下、条約を結んで相互の関係を規定し、グロティウスが提唱した国際法によって秩序の維持を図るようになったのである。このようにして西欧で成長しはじめた主権国家体制には18世紀初頭の北方戦争でロシア帝国が加わり、19世紀にはヨーロッパ勢力の拡大とともに、主権国家体制がアジアの旧帝国にも強制されて全世界を覆っていく。

世界の一体化の開始

古代アメリカ文明

前一千年初期 - 16 C 前半

古代アメリカ文明

…ベーリング海峡越えた**モンゴル**人種（今日のインディアン＜インディオ＞）形成の文明

…前 1000 年期初期から 16 世紀前半のスペイン人征服まで繁栄

- 特徴 6 **リャマ・アルパカ**を家畜とし、穀物は 1 _____ を主農作物、トマト、ジャガイモ、カボチャ
- 都市文明・神権政治・階級社会などは他の古代文明と共通
 - 金・銀・青銅器使用も、**鉄器**は未使用。犁・車・ろくろも未使用、**馬**も存在せず

メソアメリカ文明

…今日のメキシコとグアテマラの乾燥した平原と湿潤な平地を中心

2 **文明** …メキシコ湾岸で最初の都市文明、ジャガー崇拝、巨石人頭像（前 10 C - 後 9 C 頃）

4 - 10 世紀繁栄 4 _____ **半島・グアテマラ**中心。スペイン侵入当時は衰退期

3 **文明** …**象形（マヤ）文字・太陽暦・二十進法・ゼロの観念・階段ピラミッド**

1 - 6 C 5 _____ **文明** …メキシコ中央高原中心→7 C 頃南下のトルテカ人が継承しトルテカ文明

5 **文明** …**太陽のピラミッド・月のピラミッド**建設、黒曜石製品の交易

12 C 頃 - 1521 6 _____ 族形成。都 7 _____（現メキシコ市）

6 **王国** …トルテカ・チチメカ文明継承し、神聖文字使用 8 _____ に征服

9 **文明** …ペルー・ボリビアの海岸低地やアンデス高原中心

10 **文明** …中央アンデス初期の文明（前 10 C - 前 5 C 頃）

13 世紀 - 1533 12 _____ 族建国し都 13 _____ 14 _____ に征服

11 **帝国** …文字はなく 15 _____ <結縄>使用し駅伝制を整備、**マチュピチュ**遺跡

○太陽崇拝で**皇帝（インカ）は太陽の化身（息子）**として崇拝、最後の皇帝はアタワルパ

1. とうもろこし 2. オルメカ 3. マヤ 4. ユカタン 5. テオティワカン 6. アステカ 7. テノチティトラン 8. コルテス
9. アンデス 10. チャビン 11. インカ 12. ケチュア 13. クスコ 14. ビサロ 15. キープ

大航海時代の背景

- * **意図** ○経済…アジアの 1 _____ やジパングの黄金の獲得、短期的にはアフリカの黄金や黒人奴隷獲得
○宗教…キリスト教国プレスター＝ジョンの国を発見し**オスマン帝国**に対抗、キリスト教を布教
- * **背景** ○ 2 _____ 完了の**ポルトガル・スペイン**でイスラームへの聖戦意識とキリスト教布教熱
○オスマン帝国の台頭で、イタリア商人（特にジェノヴァ）が、西方の新航路に活路
○15 世紀末に**羅針盤**の改良や造船技術の発達。3 _____ の大地球体説はコロンブスに影響
○ 4 _____ の『 5 _____』（東方見聞録）で東方への関心

ポルトガルの探検

- セウタ** …アフリカの西北端。ポルトガルの 6 _____ **航海王子**が征服し、探検事業開始
7 _____ …1488 年ポルトガル 8 _____ 発見。ジョアン 2 世命名の最南の岬
9 _____ …1498 年ポルトガルの 10 _____ が到着し、インド航路を実現
11 _____ …インドに向かったポルトガルの 12 _____ 艦隊が漂着し、ポルトガル領と宣言

スペインの探検

- 西インド諸島** …1492 年イサベル女王の支援で 13 _____ がパロス出港→**サンサルバドル**島到達
中米海岸一帯 … 14 _____ が探検して新大陸であると宣言→アメリカの名の由来
パナマ …スペイン人 15 _____ が横断し、太平洋（南の海）を「発見」
マゼラン海峡 …ポルトガル人 16 _____ がカルロス 1 世の命で西廻り航路探査
フィリピン … 16 _____ が到達も、現地人の争いに関与して戦死→部下が世界周航

勢力の調停

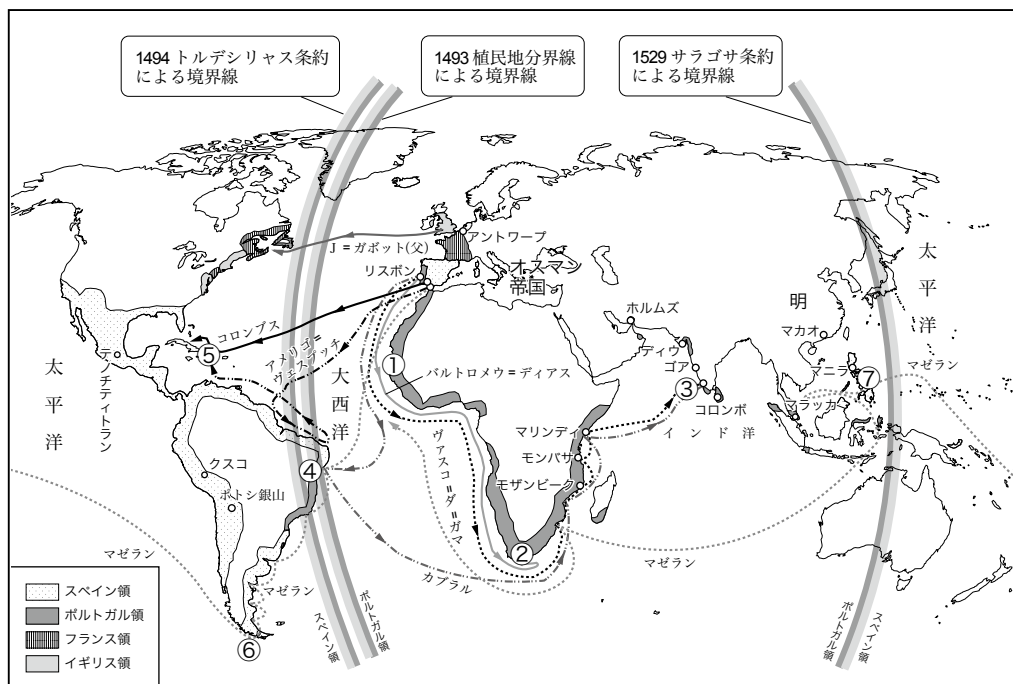
- 教皇子午線**…1493 年教皇アレクサンデル 6 世がポルトガルとスペインを調停（植民地分界線）
→翌 1494 年に 17 _____ 条約で境界線を移動

古代アメリカ文明



- ① **テノチティラン**…アステカの首都、湖上の島にあった
コルテスに破壊、現メキシコ市の一部
- ② **パナマ**…スペイン人バルボアが地峡を横断
太平洋を発見
- ③ **チャビン**…チャビン文明（前10～前2世紀）頃
アンデス文明の源とされる神殿文化
- ④ **クスコ**…インカ帝国の中心都市
ピサロに破壊され、現在は観光都市
- ◎ **マチュピチュ**…急峻な山上に建設された都市遺跡

ヨーロッパの“発見”



- ① **ヴェルデ岬**…アフリカ西端の岬。ポルトガルの**エンリケ航海王子**の探検事業で発見
- ② **バルトロメウ・ディアス**…1488年ポルトガルの**バルトロメウ・ディアス**発見。ジョアン2世命の最南の岬
- ③ **ヴァスコ・ダ・ガマ**…1498年ポルトガルの**ヴァスコ・ダ・ガマ**が到着し、インド航路を実現
- ④ **カブラル**…インドに向かったポルトガルの**カブラル**艦隊が漂着し、ポルトガル領と宣言
- ⑤ **諸島**…1492年イサベル女王の支援で**コロンブス**が**サンサルバドル島**到達
- ⑥ **マゼラン海峡**…ポルトガル人**マガリャンイス（マゼラン）**がスペイン王の命で西廻り航路探査
- ⑦ **フィリピン**…**マガリャンイス**が到達も、現地人の争いに関与して戦死

1. 香辛料 2. レコンキスタ 3. トスカネリ 4. マルコポーロ 5. 世界の記述 6. エンリケ 7. 喜望峰 8. バルトロメウ＝ディアス
9. カリカット 10. ヴァスコ＝ダ＝ガマ 11. ブラジル 12. カブラル 13. コロンブス 14. アメリゴ＝ヴェスプッチ
15. バルボア 16. マゼラン 17. トルデシリャス 18. 西インド 19. フィリピン

環大西洋革命

大航海時代の到来で大西洋を挟んだ、欧州・アメリカ大陸・アフリカが
西欧中心に一体化（近代世界システム）、相互に影響して社会が変化

1

商業の中心が地中海から**大西洋岸**に移動し、大西洋岸都市繁栄
初期の中心は**リスボン**と2（北海・バルト海貿易と大西洋貿易結合）
アントウェルペンには香辛料（葡）、銀（南独）、毛織物（英）、穀物（東欧）等集散
イタリア都市が相対的に没落

2

新大陸からの4の流入で欧州の物価上昇、経済活動は活発化
→固定地代に依拠する5の**没落**と商工業に従事する**市民台頭**
→エルベ川以東では土地貴族が農場経営の6
→農民が自由を失い、賦役労働を強制された側面を再版農奴制
→都市が発展した西欧に対して穀物供給を目的、オランダ商人が活躍
→東西ヨーロッパの分業体制が成立し、東欧は商工業地域の西欧に従属

生活革命

新奇物資流入： 新大陸-**ジャガイモ・トウモロコシ・トマト・タバコ**
アジア-イランより絹織物、インドより**綿布**、中国の**茶**
生活の変化： 衣服=綿製品の大流行（キャラコ熱）
食事=寒冷地でジャガイモ、飲料で茶・コーヒーに砂糖
影響： 新大陸で単作大農場の7経営
英仏はインド産綿布の安定供給を求めインド進出し抗争
→西欧中心の国際分業体制の進展

産業革命

大西洋三角貿易の奴隷貿易での利益が原資、アフリカ輸出用綿布の市場
原料の綿花は初期は西インド諸島、19世紀前半は合衆国南部より供給

市民革命

封建領主の没落と市民層の台頭など背景
アメリカ独立革命→フランス革命→ラテン=アメリカ革命と相互に影響

ヨーロッパ

=西欧は工業地域；18Cより**生活革命**も本格化
東欧は農場領主制で穀物供給地

砂糖など

銃・雑貨・綿布（初期はインド産）

18C大西洋三角貿易

アメリカ

黒人奴隷

アフリカ

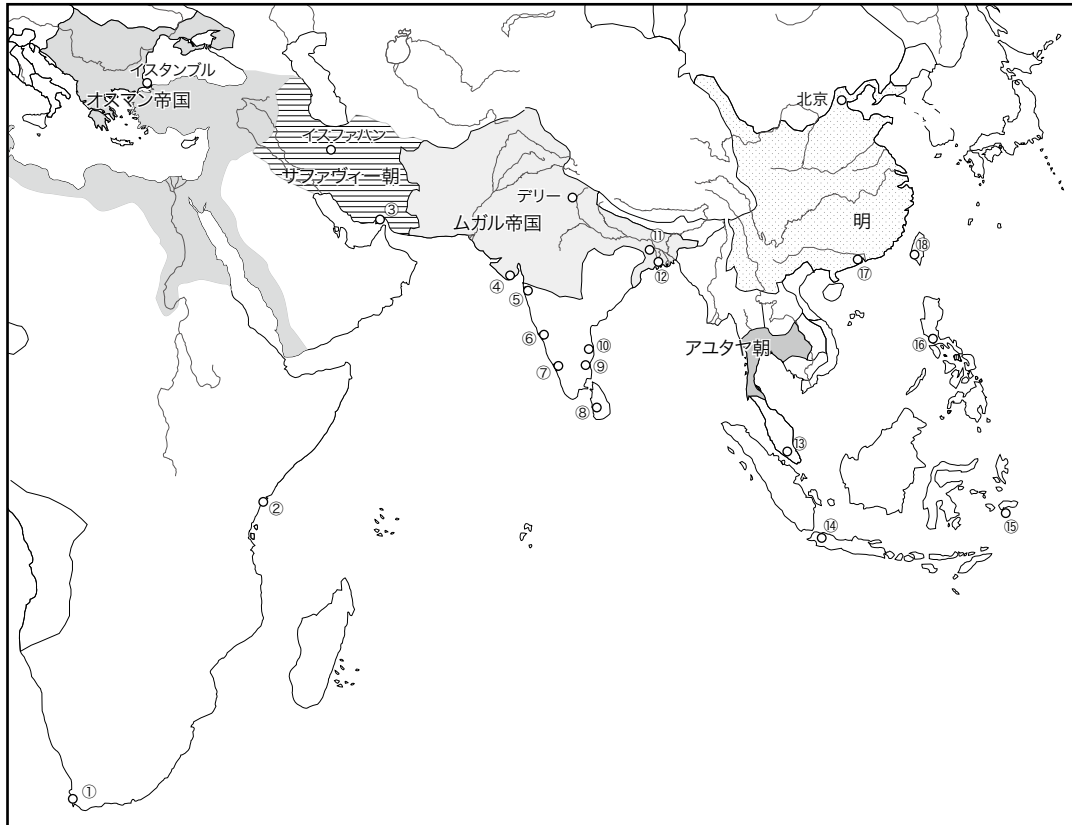
砂糖・コーヒー・タバコ・綿花など
プランテーション経営
→モノカルチャー構造
→地主支配と西欧工業への依存
黒人奴隷導入で社会変化
→人種別社会層形成
16C ポルトガルがブラジル開発
17C イギリスがジャマイカ獲得
17C フランスがハイチ獲得

奴隷狩り流行→部族抗争激化
→人口は停滞し、伝統的社会破壊

1713年、**ユトレヒト条約**（スペイン継承戦争）
→イギリスは**アシエント**（スペイン植民地への黒人奴隷独占供給権）獲得。
→**リヴァプール**や**ブリストル**が奴隷貿易で繁栄
→リヴァプール近郊の**マンチェスター**の綿工業への投資
→奴隷貿易の利益が産業革命の原資となる

1. 商業革命 2. アントウェルペン（アントワープ） 3. 価格革命 4. 銀 5. 封建領主 6. ゲーツヘルシャフト（農場領主制）
7. プランテーション

ヨーロッパの“進出”



- ① **ケープタウン** …ポルトガル放棄の後、1652 年よりオランダ東インド会社が植民開始
- ② **マリンディ** …アフリカの港市で、鄭和の遠征隊の分遣隊も到来、ヴァスコ・ダ・ガマも寄航
- ③ **ホルムズ島** …ポルトガルがサファヴィー朝から奪う→**アッバース1世**に奪還
- ④ **ディウ** …1509 年ディウ沖海戦でポルトガルがマムルーク朝艦隊に勝利
- ⑤ **ボンベイ** …1661 年イギリスがポルトガルから譲り受ける。イギリスのインド三大拠点の一つ
- ⑥ **ゴア** …1510 年ポルトガルが占領し、ポルトガルのインド拠点、ザビエルはゴアの大司教
- ⑦ **カリカット** …1498 年ポルトガルの**ヴァスコ・ダ・ガマ**が到着し、インド航路を実現
- ⑧ **コロンボ** …1505 年ポルトガルが占領し、ポルトガルのセイロン支配→17 世紀にオランダが奪う
- ⑨ **ボンディシェリ** …1672-74 年にフランスが獲得、フランスのインド進出拠点
- ⑩ **マドラス** …1639-40 年にイギリスが支配、イギリスのインド三大拠点の一つ
- ⑪ **シャンドルナゴル** …1674 年にフランスが支配、フランスのインド進出拠点
- ⑫ **カルカッタ** …1690 年にイギリス東インド会社が商館設置、イギリスのインド三大拠点の一つ
- ⑬ **マラッカ** …1511 年ポルトガルのアルブケルケが**マラッカ王国**を滅ぼしポルトガルの拠点
- ⑭ **バタヴィア** …1619 年オランダ東インド会社が商館設置、オランダの東南アジア進出の拠点
- ⑮ **アンボイナ** …1623 年オランダが雇用日本人を含むイギリス商館員全員を虐殺した**アンボイナ事件**発生
- ⑯ **マニラ** …1571 年**フェリペ2世**時、総督レガスピが建設し、スペインの**フィリピン**支配の拠点
- ⑰ **マカオ** …1557 年ポルトガルが居住権を獲得、中国の生糸と日本銀の中継貿易の拠点
- ⑱ **ゼーランディア** …1624 年**台湾**を占領したオランダの拠点、1661 年反清復明運動推進の**鄭成功**が占領

世界システム論

- ◎**従属理論**…南北問題に注目し、先進国と新興独立国間における不平等な分業体制の構造を論じた理論
 - ・北側と南側との間に従属関係がつくられ、北側に経済発展が、南側に「低開発」が蓄積される構造を指摘
- ◎**世界システム論**…従属理論をウォーラーステインが発展させ、16 世紀以降の歴史形成理論とした
 - ・中心／半周辺／周辺という構造を伴う国際分業体制が 16 世紀ヨーロッパで形成→世界に拡大→南北問題
 - ・16 世紀ヨーロッパで成立し、世界に拡大した不平等な国際分業体制を「近代世界システム」と命名

近世社会の成立

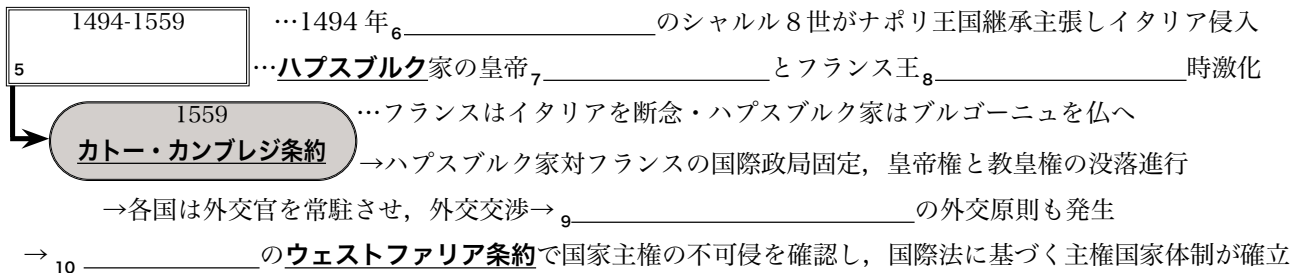
国際分業体制の成立

- 1 _____ を中心とするネーデルラントが、国際貿易・金融の中心地
イギリスは、毛織物提供地域としてネーデルラントを中心とする国際分業体制に参加
- 2 _____ 川以東の中欧・東欧は穀物供給地域として国際分業体制に組み込まれ、西欧経済に従属
→領主が農民を再農奴化、賦役労働で農場を経営する農場領主制（3 _____）普及
→市民層の発達は抑制され、プロイセンでは4 _____（地主貴族）が支配層となる

主権国家体制の成立

- * 皇帝と教皇中心の中世封建制秩序から、領域を持つ独立の国家（主権国家）が併存する主権国家体制へ
- * 軍事革命で戦争の長期化・大規模化→軍事費と兵員調達が必要
→各国は徴税機構を整備し、国内の諸団体に対する一元的支配を強化→主権国家の形成へ

- * 国際体制としての主権国家体制…ハプスブルク家の皇帝権復興の意図→フランスが反発しイタリア戦争激化



絶対王政

- * 絶対王政…16-18世紀の国王による集権的専制体制（フランスが典型）

- * 11 _____ 説によって理論化・外交原則は9 _____

封建勢力…封建的土地所有と特権的身分制度は維持。国王の廷臣化

市民階級（ブルジョワジー）…資本主義生産の担い手（資本家）としても台頭

- 12 _____ 制…資本家が生産者に原料と道具を貸与し、製品を買い上げて販売
- 工場制手工業（13 _____）…資本家が手工業者を大量に雇用し工場での分業で生産

軍事機構 14 _____ 制度…騎士の軍役から傭兵の活用を経て移行。将校は貴族が独占

行政機構 15 _____ 制度…封建時代の諸侯分権にかわり、集権統治体制を支える

→ 維持のため多額の貨幣必要 →全国的徴税機構を整備

- * 16 _____ 政策…国内での貨幣蓄積を目的

初期 17 _____ 主義…金銀や換金商品（香辛料・綿布・毛皮など）の獲得を目的

後期 18 _____ 主義…輸入を制限し、輸出のための国内産業を保護、植民地との交易を独占

→オランダの中継貿易と金融支配に対抗し、イギリスとフランスが推進

→フランス…19 _____ が王立マニュファクチュア創設や東インド会社再建

→イギリス…20 _____ の共和政時に中継貿易排除の21 _____ 法制定

→商品の産出地・国内製品市場としての植民地争奪戦（英仏植民地戦争）の展開

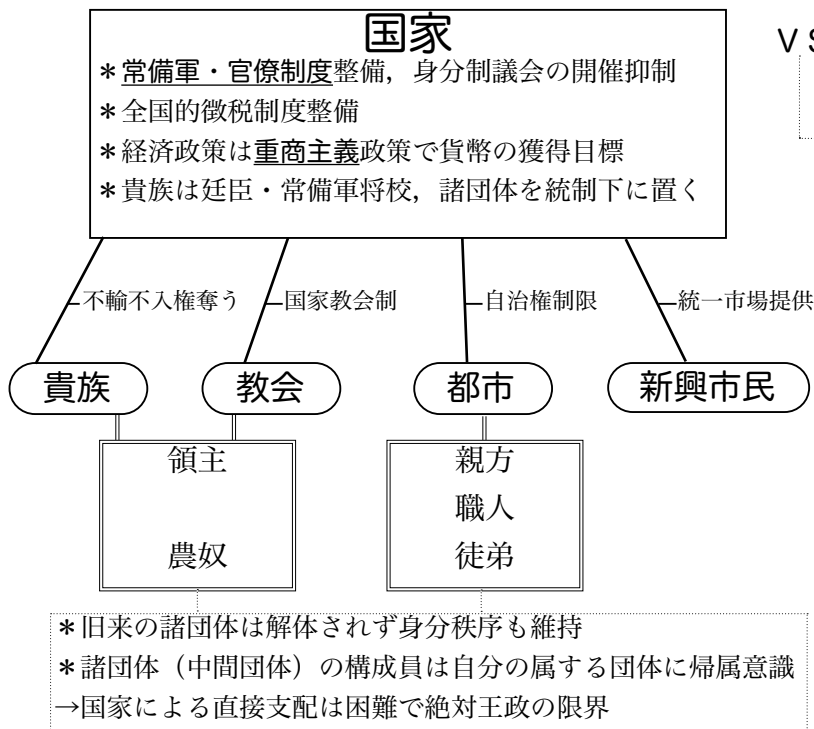
- * 限界…中世以来の社会集団（社団）が解体されず、個人個人を国民として直接掌握に至らず（社団国家）

- * イギリス…地方地主である22 _____（郷紳）が、無給の治安判事として地方行政を担当

→官僚制と常備軍が未発達

1. アントウェルペン 2. エルベ 3. ゲーツヘルシャフト 4. ユンカー 5. イタリア戦争 6. フランス 7. カール5世 8. フランソワ1世
9. 勢力均衡 10. 三十年戦争 11. 王権神授 12. 問屋 13. マニュファクチュア 14. 常備軍 15. 官僚 16. 重商主義 17. 重金
18. 貿易差額 19. コルベール 20. クロムウェル 21. 航海 22. ジェントリ

近世の社团国家と主権国家体制



V S

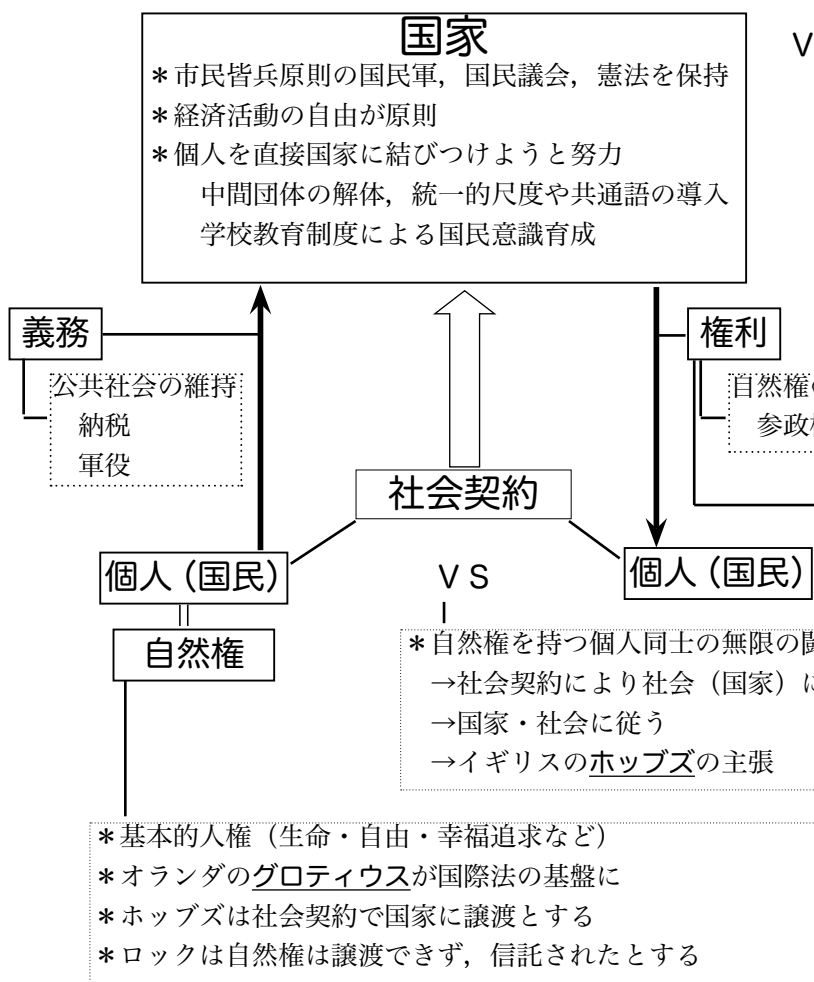
国家

V S

国家

- * 中世ヨーロッパはキリスト教共同体
皇帝権と教皇権が普遍的権威
- * 皇帝権教皇権の没落と国家の台頭
国家が皇帝権と教皇権の統制離脱
王権神授説で正当化
国家が主権を主張（主権国家）
領域内の諸団体（社团）を支配
→ 社团国家の段階
- * 主権国家体制
領域を持った主権国家が併存
主権国家は大国も小国も平等
条約と国際法で関係規定
外交官を常駐
イタリア戦争で開始
→ 三十年戦争で確定

近代国民国家と主権国家体制



V S

国家

V S

国家

- * 主権国家体制の下での国民国家間の戦争
→ 国力を全て動員可（総力戦）
→ 第一次・第二次世界大戦の損害
- * 西欧では主権国家体制と国民国家から共通市民権のEUへ移行
- * 国家が個人の権利を抑圧する場合
→ これを取り替える権利（抵抗権）
→ 英ロックの主張 → 米独立革命に影響

宗教改革

ドイツ宗教改革

- * ドイツは政治的に分裂。教皇権の介入が容易→1の販売集中し『ローマの牝牛』
- * メディチ家出身の教皇2，3大聖堂の資金調達のため贖宥状乱売
- * 4の『愚神礼讃』など，人文主義者による教会の腐敗批判

1517

…1517年6大学の7がラテン語で発表

5

…1と魂の救いは無関係とする，教義上の公開討論書

1519

ライプチヒ討論

…ルターと教皇派の学者エックとの討論

…教皇と公会議の権威を否定し，ルター破門

1520

…ルターの主著。聖書中心の9主義と，万人司祭主義

8

…人は信仰によってのみ義とされるとする10説を説く

1521

…皇帝12が所説取消を要求→ルター拒否し法の保護外（帝国追放処分）

11

→ザクセン選帝侯13がワルトブルク城に保護し，新約聖書の独訳事業

1524-25

…対領主12ヵ条要求を掲げ中部・西南部ドイツで。15指導し先鋭化

14

…ルター初期は同情的も，社会変革の主張を現世の利益追求とみなし，領主の鎮圧に協力

1526

シュパイエル帝国議会

…オスマン帝国の16に対抗するため，カール5世がルター派黙認

cf 同年のモハーチの戦いで，トルコはハンガリーを撃破し，直接オーストリアと対峙

1529

シュパイエル帝国議会

…17とのイタリア戦争が有利に展開→カール5世がルター派を再禁止

→新教諸侯抗議（18の呼称）19同盟結成

1555

…1555年21派公認も宗派選択権は領主と帝国都市（22確立）

20

…個人の信仰の自由はなく，23派は承認されず

スイスの宗教改革

1484-1531

…25で宗教改革もルターと教義問題で決裂

24

→後にその支持者はカルヴァン派に合流

1509-64

…フランス人で1536年『キリスト教綱要』発表・26説（救いは予め神に決定）

23

…27で神政（神権）政治を行い，牧師を信徒の長老が補佐する長老制度

意義

- o 職業を神が定めたものとして勤労を奨励し，結果としての蓄財を肯定して資本主義精神の源流
- 各国の新興商工業者に普及

c.f.28『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』で説明

29

…イングランドのカルヴァン派でピューリタン革命の中心

30

…スコットランドのカルヴァン派，ノックスがスコットランド国教会を発足

31

…フランスのカルヴァン派，ユグノー戦争

32

…オランダのカルヴァン派，乞食党に由来，オランダ独立戦争

対抗宗教改革

1534

…スペイン人34中心に結成。シャヴィエルも結成に参加

33

…教皇に忠誠。各地に学校建設。南欧への新教普及阻止。西南ドイツを旧教に奪回

1545-63

…教皇パウルス3世主催。教皇の至上権とカトリック教義の確認。教会の刷新

35

→禁書目録作成し36所（宗教裁判所）設立して魔女狩り

- 贖宥状
- レオ10世
- サン＝ピエトロ
- エラスムス
- 九十五ヶ条の論題
- ヴィッテンベルク
- ルター
- 『キリスト者の自由』
- 福音
- 信仰義認
- ヴォルムス帝国議会
- カール5世
- フリードリヒ
- ドイツ農民戦争
- ミュンツァー
- スレイマン1世
- フランソワ1世
- プロテスタント
- シュマルカルデン
- アウクスブルク和議
- ルター
- 領邦教会制
- カルヴァン
- ツヴィングリ
- チューリヒ
- 予定
- ジュネーヴ
- マックス＝ヴェーバー
- ピューリタン
- プレスビテリアン
- ユグノー
- ゴイセン
- イエズス会
- イグナティウス＝ロヨラ
- トリエント公会議
- 異端審問

ステュアート朝と国教会の成立

位 1485 - 1509

ヘンリ7世

…ランカスター家の血統で、ヨーク家より妃を迎え、バラ戦争を終結
…特別裁判所**星室庁**を強化し、政敵の大貴族を弾圧。**カボット父子**に北米探検

位 1509-47

ヘンリ8世

…初期『信仰擁護者』で教皇に協力も、王妃キャサリンとの離婚問題で教皇より独立
…修道院を解散し、**土地財産没収**、**郷紳（ジェントリ）**などに安く分与して動揺鎮める

首長法

…1534年発布。別名国王至上法で、国王を教会の唯一の首長

○**第一次囲い込み（エンクロージャー）**進展 牧羊地目的、トマス・モア『ユートピア』で批判

○**星室庁裁判所** 貴族の反抗を抑制するための国王直属の裁判所を整備

位 1547-53

エドワード6世

…ヘンリ8世の唯一の男子。国教会の教義にカルヴァン主義導入
*教義新教的、儀礼は旧教的な国教会の特色成立

一般祈祷書

…1549年発布。信仰義認説・予定説・聖書主義を採用

位 1553-58

メアリ1世

…カール5世と従姉妹。スペイン王子フェリペ（後フェリペ2世）と結婚
…**カトリック**を復活して新教弾圧。対仏戦で**カレー**を失い国民に不人気

位 1558-1603

エリザベス1世

…国教会を確立→**オランダ**の独立戦争支援・私拿捕船のスペイン船攻撃（**ドレーク**ら）
…議会を軽視し枢密院強化。毛織物輸出と商業資本家保護（1600年**東インド会社**設立）

統一法

…1559年発布し、国教会への復帰。国教会の儀式・儀礼を定める。

信仰簡条

…1563年の聖職者会議でエドワード6世の祈祷書を改訂。カルヴァン色は薄まる

○**アルマダ戦争**（1588）…王位簒奪の陰謀事件でスコットランド前女王メアリ・ステュアートを処刑
ドレーク（2番目の世界周航）やホーキンスの私拿捕船を私掠特許状で公認、スペイン船襲撃も背景
スペインの**フェリペ2世**が**無敵艦隊（アルマダ）**派遣 vs ドレークらに撃破

○**救貧法**（1601）…貧民の救済と浮浪者の取締を規定←囲い込みの進展が背景

*ステュアート朝期イギリスでは**ジェントリ（郷紳）**が**マニファクチュア**の毛織物工業に進出し台頭
議会に進出し、治安判事として地方行政も担当→常備軍や官僚制が発達せず

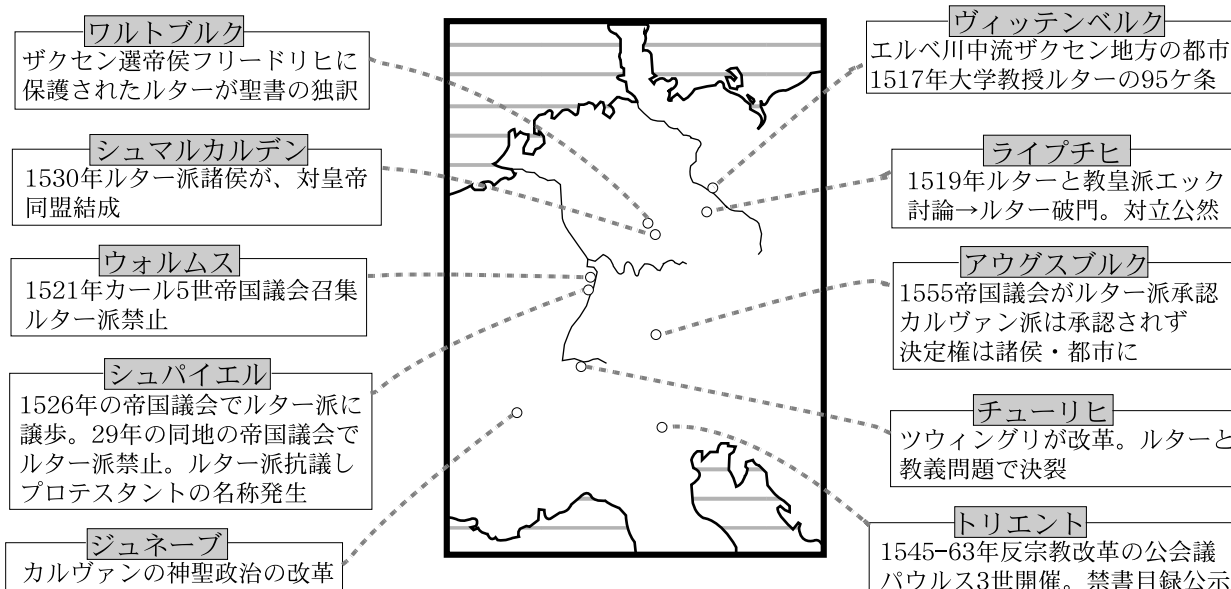
宗教改革と主権国家

◇宗教改革で教皇を頂点とした統一的キリスト教世界が分裂→国家が教会を支配する国家教会→主権国家を可能

○領邦教会制度…ドイツの領邦で君主がその宗派を決定し、教会と聖職者を管理→アウクスブルク和議で確立

○イギリス国教会…ヘンリ8世の首長法で国王が教会の長

○ガリカニスム…フランスでカトリックにとどまりつつ教皇権より独立→ルイ14世時ボシュエが強調



各地域の歴史

スペイン（イスパニア）の繁栄

- * 1479 年アラゴンの 1 5世 とカスティリヤの 2 1世 共同統治
o 身分制議会（コルテス）無力化・異端審問導入・ユダヤ人追放（1492）→改宗ユダヤ人をマラーノ
- * 1492 年 3 攻略しナスル朝滅ぼす（レコンキスタ完成）・4 の新世界『発見』
5 位 1516-1556 … 6 朝の開始，神聖ローマ皇帝としてカール5世
… 7 の**アステカ・ピサロ**の 8 征服，**マゼラン**の周航
- 9 位 1556-1598 … スペイン・両シチリア・ネーデルラント継承
… 10 1565 領有。80 11 併合“太陽の沈まぬ国”
- o 1571 年 12 海戦勝利…オスマン帝国に勝利，同年にマニラ建設
o 旧教政策…ユグノー戦争 介入・ 13 戦争 勃発
o 1588 年 14 （**無敵艦隊**）の敗北…イギリス海軍にアルマダが敗北し，大西洋の覇権失う
o 富が貴族・聖職者に集中する不均衡も衰退の原因

オランダの経済覇権

前史

- * 12 世紀より自治都市発展。フランドル地方は中世 15 工業 の中心
o 16 …14 世紀国際商業の中心。ハンザ同盟の取引所。港湾機能停止して以後衰退
o ガン（ヘント） …中世最大の毛織物工業都市。河港都市
o 17 （**アントウェルペン**）…毛織物生産で繁栄の海港都市。15 世紀末に国際商業の中心
- * 百年戦争…フランドルはイギリス産羊毛の輸出地で，英仏のフランドル争奪が戦争要因
- * フランス王家の分家ブルゴーニュ公家が，ネーデルラントも併合し，フランスに対抗
→遺産相続のブルゴーニュ公女とオーストリア公マクシミリアン（後に皇帝マクシミリアン 1 世）結婚
- * 1477 年婚姻により 6 家領→**カール5世**の領土分割でスペイン領に

独立戦争

- 1568 - 1609 …商工業者に 18 派（後に 19 と呼称）浸透
オランダ独立戦争 … 20 のカトリックの専制政治に反対し，独立反乱
o 1568：総督アルバ公の新教徒弾圧・重税・自治剥奪に対して独立反乱開始
o 1579：21 同盟…総督パルマ公の懐柔政策で南部 10 州脱離し，北部 22 州で結束
o 1581：独立宣言… 23 公 24 中心にネーデルラント連邦共和国を宣言
o 1585：イギリス派兵… 25 がオランダの独立支援
o 1588：スペインの**無敵艦隊**（26 ）がイギリスに敗北し，独立の形勢決定
o 1602：オランダ 27 設立…ポルトガル・スペインのアジア貿易圧倒
o 1609：休戦条約…オランダが事実上の独立を達成し，オランダ独立戦争終了
o 1648：28 条約…三十年戦争の条約で，国際的に独立承認

繁栄

- * o バルト海貿易・大西洋貿易（1602 年**東インド会社**設立）を結合，国内の毛織物加工産業も繁栄
o 首都 29 ，独立戦争で破壊されたアントウェルペンに代わり，世界商業・金融の中心
o オランダ領東インド・ケープ植民地・ニューネザールランド植民地（西インド会社）形成し覇権国家

衰退

- * o 総督オレンジ家と 30 州（最有力州でオランダの名のもと）中心の大商人が対立
o 英仏の重商主義政策で，中継貿易が打撃（ex イギリスの**航海法**）
o 毛織物加工業が，原料産地のイギリスでも発達し，衰退
o イギリスの圧迫…三回（1652：65：72）の 31 戦争（**クロムウェル**の**航海法**きっかけ）
o フランスの圧迫…ルイ 14 世のオランダ侵略戦争（1672～78）

1. フェルナンド 2. イサベル 3. グラナダ 4. コロンブス 5. カルロス 1 世 6. ハブスブルク 7. コルテス 8. インカ
9. フェリペ 2 世 10. フィリピン 11. ポルトガル 12. レバント 13. オランダ独立 14. アルマダ 15. 毛織物 16. ブリュージュ
17. アントワープ 18. カルヴァン 19. ゴイセン 20. フェリペ 2 世 21. ユトレヒト 22. 7 23. オラニエ 24. ウィレム
25. エリザベス 1 世 26. アルマダ 27. 東インド会社 28. ウェストファリア 29. アムステルダム 30. ホラント 31. 英蘭

ポルトガル — **東南アジアの香辛料貿易。マカオ拠点に中国（生糸）と日本（銀）の中継貿易**

* 海外進出の開始 …… 大航海事業に先行

ヴァスコ＝ダ＝ガマがインドのカリカット到着（1498）、カブラルがブラジルに漂着（1500）

* 香辛料貿易の支配 …… 貿易路の海上覇権を目指す（ex. デュウ沖海戦でマムルーク朝撃破）

インドのゴア（1510）、東南アジアのマラッカ（1511）、スリランカ（1518）占領しモルッカ諸島へ

* シナ海貿易への参入 …… 当初は中国商人と密貿易→中国人中心の後倭寇の出現

ポルトガル人の種子島漂着で鉄砲伝来（1543）、マカオの居住権獲得（1557）し、日中中継貿易

→イエズス会宣教師の中国布教…マテオ＝リッチが開始、中国人の孔子・先祖崇拝を承認（典礼）

→フランチェスコ派やドミニコ派が告発典礼問題→教皇が典礼禁止

→康熙帝がイエズス会以外のキリスト教布教を禁止→雍正帝がキリスト教布教を禁止

スペイン — **新大陸で銀鉱山開発。マニラ拠点にメキシコとフィリピン結ぶガレオン貿易**

* 新大陸の支配 …… 入植者に土地と先住民の支配権を与えるエンコミエンダ制でインディオを酷使

→聖職者のラス・カサスが批判し、黒人奴隷制の導入を提唱

カルロス1世時 コルテスがメキシコのアステカ征服（1521）

ピサロがペルーのインカ征服（1533）

フェリペ2世時 ポトシ銀山（現ボリビアに所在）の銀が大量に流入→価格革命

* アジア貿易 …… ガレオン船で太平洋を結ぶ

フィリピン獲得（1522年マガリャンイスが到着、1571年に総督レガスピがマニラ建設）

→メキシコのアカプルコとマニラを結ぶガレオン貿易（アカプルコ貿易）→メキシコ銀の中国流入

オランダ — **独立後、中継貿易に進出し繁栄→航海法・英蘭戦争でイギリスに圧迫され後退**

* アジア貿易 …… 1. _____ 設立（1602）し、ポルトガルの利益を奪う

ジャワ島の 2. _____ に拠点（1619）、ポルトガルより 3. _____ ・スリランカを奪取

4. _____ 事件（1623）で、 5. _____ 諸島よりイギリスを排除→イギリスはインド進出へ

6. _____ 占領 →日中中継貿易に参入（江戸幕府の鎖国政策で対日貿易独占、 7. _____ の出島に拠点）

→台湾は 1661 年 8. _____ にゼーランディア城奪われる→1683年清朝支配

* 新大陸貿易 …… 西インド会社設立。新大陸への黒人奴隷輸出もおこなう

9. _____ 植民地…中心都市はニューアムステルダム→後にイギリスに奪われ、ニューヨーク

フランス — **コルベールの重商主義政策→17世紀末よりイギリスと海外植民地戦争**

* 大陸覇権 …… 三十年戦争で 10. _____ 左岸など獲得→ 11. _____ 全盛

* 海外進出 …… 12. _____ が東インド会社再建や王立マニファクチュア設立など重商主義

インド… 13. _____ （マドラス近郊）と 14. _____ （カルカッタ近郊）拠点

カーナティック戦争でデュプレクス活躍

西インド…スペインよりイスパニョーラ島西部（現 15. _____ ）獲得

→サンドマングと命名し、奴隷制プランテーション経営（コーヒーとサトウキビの栽培）

新大陸…ミシシッピ流域の 16. _____ と 17. _____ 中心のカナダを経営

18. _____ 戦争（19. _____ 条約）→ハドソン湾岸・アカディア・ニューファンドランドを英

20. _____ 戦争（21. _____ 条約）→カナダ・ミシシッピ以東ルイジアナを英

1. (統合) 東インド会社 2. バタヴィア 3. マラッカ 4. アンボイナ 5. モルッカ 6. 台湾 7. 長崎 8. 鄭成功 9. ニューネゼーランド
10. ライン 11. ルイ14世 12. コルベール 13. ポンディシェリ 14. シャンデルナゴル 15. ハイチ 16. ルイジアナ 17. ケベック
18. アン女王 19. ユトレヒト 20. フレンチ＝インディアン 21. パリ

フランスの大陸覇権

ヴァロワ朝

位 1515 - 1547 …皇帝**カール5世**と抗争₂_____と同盟し、**カピトレーション**の特権

₁_____…フランス＝ルネサンス最盛期の王で、レオナルド＝ダ＝ヴィンチを宮廷画家

位 1560 - 1574 …メディチ家出身の母カトリヌが実権。新旧両派の間で動揺

₃_____…ギーズ公など旧教派大貴族抑制のため、新教寛容政策→₄_____ **戦争**勃発

1562 - 1598

戦争

…1572 年₅_____の**虐殺**で、新教派の大虐殺
…1598 年アンリ 4 世の₆_____発布で終結→個人の信仰の自由を承認

位 1589 - 1610

…新教側の指導者で即位後旧教に改宗→1598 年**ナント王令**で**ユグノー戦争** 終結

…ブルボン朝を創始し、財政再建、産業振興、東インド会社設立、カナダ植民地建設

位 1610 - 1643

…**三部会**召集停止 (1615 年解散)・宰相₉_____学士院 (アカデミー) 創設

₈_____…大貴族・ユグノー抑圧。**反ハプスブルク政策**で₁₀_____介入

1618 - 1648

₁₀

…フェルディナント 2 世の旧教政策に₁₁_____の新教徒反乱し開始

→皇帝軍司令官₁₂_____が鎮圧し、₁₃_____王の侵入も撃退

→**スウェーデン**王₁₄_____と**フランス**新教支援。スペインは旧教支援

条約 …**三十年戦争**の講和条約で、その会議は欧州史上最初の国際会議

₁₅

₁₆_____の**和議**確認し、₁₇_____派も公認

₁₈_____ライン左岸の₁₈_____の大部分とロレーヌの一部はフランス領

₁₉_____ (クリスティーナ女王) は西ポンメルン獲得し、₂₀_____ **海**の覇権を握る

₂₁_____ <スイス連邦共和国>と₂₂_____ <ネーデルラント連邦共和国>の正式独立承認

₂₃_____ドイツの₂₃_____ (諸侯・自由都市) の主権がほぼ認められ、ドイツの分裂が確定

→傭兵の略奪や村荒らしでドイツの都市・農村は大きな打撃を受け、人口激減し、近代化遅れる

* 皇帝と教皇の権威低下、内政不干渉の原則で主権国家体制が確立、現在の国際体制の原形成立

位 1643 - 1715

…宰相₂₅_____ 高等法院や貴族の₂₆_____の**乱鎮圧**

₂₄

三十年戦争の**ウェストファリア条約**でライン左岸一部獲得

○親政 …**王権神授説**信奉しボシュエ重用。**ヴェルサイユ宮殿**造営→**“太陽王”**と賞賛「朕は国家なり」

○財務長官₂₇_____ **重商主義政策**で新大陸開発や₂₈_____再建

王立₂₉_____創設し、手工業ギルドを統制・保護

○衰退 …戦争の財政負担、宮廷の奢侈、₆_____ **廃止**→ユグノーの国外流出で産業衰退

○戦争 …ライン流域への領土拡大をめざし侵略戦争→イギリスとの海外植民地戦争を誘発

南ネーデルラント継承戦争…スペイン領ネーデルラントの総督位継承主張。英・蘭に阻止

オランダ戦争…オランダ総督にオレンジ公ウィリアム就任し抗戦

ファルツ戦争…ラインラント進出を狙う (アウクスブルク同盟戦争) 海外でウィリアム王戦争

1701-1713

…カルロス 2 世の死でハプスブルク朝断絶。ルイ 14 世の孫**フェリペ 5 世**即位

₃₀

…英は傭公カールの継承支持し、傭・蘭・普と連合。海外は**アン女王戦争**

1713

…スペインとフランスの不合同条件にフェリペ 5 世の即位承認

₃₁

→オーストリアには南ネーデルラント割譲 (**ラシュタット条約**)

仏→英: **ハドソン湾・ニューファンドランド・アカディア**などの北米植民地割譲

西→英: **ジブラルタル・ミノルカ**割譲

位 1715 - 1774

…**オーストリア継承戦争・七年戦争**に参加し、国家財政悪化

₃₂

…インドで**ブラッシーの戦い**、北米で**フレンチインディアン戦争**に敗北

- 1 フランソワ 1 世 2. オスマン帝国 3. シャルル 9 世 4. ユグノー 5. サン＝パルテルミ 6. ナントの王令 7. アンリ 4 世 8. ルイ 13 世
9. リシュリユー 10. 三十年戦争 11. ベーメン 12. ヴァレンシュタイン 13. デンマーク 14. グスタフ＝アドルフ 15. ウェストファリア
16. アウクスブルク 17. カルヴァン 18. アルザス 19. スウェーデン 20. バルト 21. スイス 22. オランダ 23. 領邦 24. ルイ 14 世
25. マザラン 26. フロンド 27. コルベール 28. 東インド会社 29. マニファクチュア 30. スペイン継承戦争 31. ユトレヒト条約
32. ルイ 15 世

イギリス

インド進出と北米植民地経営→17世紀末よりフランスと海外植民地戦争

- * オランダと抗争 …… 1 _____ 時に 2 _____ 法定し他国の中継貿易排除→ 3 _____ 戦争
- * フランスと抗争 …… 17C 末より第二次百年戦争で北米・インドで植民地戦争
- * インド進出 …… 4 _____ 時に 5 _____ 設立 (1600)
6 _____ (西岸)・7 _____ (東岸)・8 _____ (ベンガル地方) を三大拠点
オーストリア継承戦争にカーナティック戦争, 七年戦争時 9 _____ の戦い (1757) でクライブ勝利
- * 西インド進出 …… 17 世紀ジャマイカを獲得し, 砂糖の奴隷制プランテーションを経営
→ 砂糖プランターは本国に帰国し, ジェントリとなって議会の進出→白人による独立運動発生せず
- * 新大陸進出 …… 13 植民地形成, ユトレヒト条約で 18 世紀の大西洋三角貿易の 奴隷貿易 を主導

英仏植民地戦争 (第二次百年戦争)

- * 17 世紀末より北米とインドでイギリスとフランスの重商主義政策が衝突
- ウィリアム王戦争 (1689 ~ 97) …新大陸でファルツ継承戦争に呼応して開始, 引き分けにおわる
- 10 _____ 戦争 (1702 ~ 13) …新大陸でスペイン継承戦争に呼応して開始
→ 11 _____ 条約…ハドソン湾岸・アカディア・ニューファンドランドをイギリス領
- ジョージ王戦争 (1744 ~ 48) …新大陸でオーストリア継承戦争時に行われ, 決着つかず
- 12 _____ 戦争 (1744 ~ 48, 50 ~ 54, 58 ~ 61) …インドで行われ, 初期はフランスが優勢
- 13 _____ 戦争 (1754 ~ 63) …七年戦争に先行して新大陸で開始し, イギリスが勝利
- 14 _____ の戦い (1757) …東インド会社書記 15 _____ が, フランスとベンガル太守軍に勝利
→ パリ条約…イギリスは 16 _____ と ミシシッピ以東 17 _____ をフランス
18 _____ をスペインより獲得
フランスはスペインに ミシシッピ以西ルイジアナ を割譲し新大陸の植民地消滅
インドではフランスはボンディシェリとシャンデルナゴル以外の植民地を放棄
アフリカではフランスはセネガルをイギリスに割譲

1. クロムウェル 2. 航海 3. 英蘭 4. エリザベス 1 世 5. 東インド会社 6. ボンベイ 7. マドラス 8. カルカッタ 9. ブラッシー
10. アン女王 11. ユトレヒト 12. カーナティック 13. フレンチ=インディアン 14. ブラッシー 15. クライブ
16. ケベック (カナダ) 17. ルイジアナ 18. フロリダ

フランス文化

- ◎ アカデミー=フランセーズ…リシュリユー 創立し, フランス語の統一と洗練→ヨーロッパ上流階級に普及
- ◎ 宮廷文化…17 世紀豪壮華麗な バロック (ヴェルサイユ宮殿代表) から 18 世紀繊細優美な ロココ へ
- ◎ 古典文化…ルイ 14 世時代に演劇で悲劇作家の コルネイユ・ラシーヌ, 喜劇作家の モリエール ら活躍
- ◎ シノワズリ…中国趣味, 中国の陶磁器輸入盛ん, 17 世紀後半より中国風デザインの流行
- ◎ サロン…17 ~ 18 世紀, 貴族や上流階級の女性により開催, 文人や芸術家が文化や思想について議論
- ◎ カフェ…サン=ドマング原産のコーヒーを提供, 市民の社交場となり, フランス革命の言論の場となる

イギリス文化

- ◎ イギリス王立協会…チャールズ 2 世 の認可を受け, 科学技術の振興と普及を目的に創設
- ◎ ピューリタン文学…17 世紀ピューリタン革命失敗背景に, ミルトン の『失楽園』とバンヤンの『天路歷程』
- ◎ 市民文学…18 世紀 デフォー 『ロビンソン・クルーソー』, スウィフト 『ガリヴァー旅行記』
- ◎ コーヒーハウス…新聞雑誌が置かれ, 言論と文化の中心となって文芸やジャーナリズム発展, 世論の形成
- ◎ クラブ…共通の趣味・志向を持つ仲間が集まる会員制の親睦団体。またはその会員限定の喫茶・社交場

イギリス立憲王政の成立

ステュアート朝

- 1 位 1603-25 …スコットランド王ジェームズ6世 母はメアリ・ステュアート
… **王権神授説**信奉。国教を強制。特権商人保護→議会に進出したジェントリと対立
- 2 位 1625-49 …王権神授説の理論家フィルマーが仕える。絶対王政を強行
…議会の課税協賛権を無視して増税策→議会との対立激化。清教徒革命を招く

ピューリタン（清教徒）革命の経過

- 3 1628 …チャールズ1世に対して議会の同意のない課税と不法逮捕に反対
…チャールズ1世はいったん承認後、議회를解散して11年間の独裁政治
- 短期議会 1640 …チャールズ1世の国教強制にスコットランドでプレスビテリアンの反乱
…反乱鎮圧費用を捻出のため召集。議会は王の独裁を批判し、3週間で解散
- 長期議会 1640-53 …王に対し課税の議決を交渉材料。側近を断罪し絶対王政の基盤弱体化をはかる
…王の反省と政策の変換を求める大諫奏をきっかけに議会派と王党派の対立激化
- 4 1642-49 …**王党派**の挙兵。初期王党派優勢→議会派独立派₅ _____ の鉄騎隊活躍
→議会派は新型軍→₆ _____ の戦いに勝利→₂ _____ 処刑
*議会派分裂…王権に妥協的な長老派、議会主権と教会の独立運営主張の独立派、身分平等要求の水平派
- 共和政 1649-60 …₇ _____ 派を追放し、₈ _____ 派を弾圧し ₉ _____ 派独裁(53年 ₁₀ _____ 就任)
…51年 ₁₁ _____ →**英蘭戦争**。スコットランド・₁₂ _____ 征服

- 13 位 1660-85 …リチャード・クロムウェル失脚後長老派に招かれ王政復古
…ブレダ宣言で議会尊重→清教弾圧→ルイ14世とドーヴァー密約で旧教復活意図
- 14 1673 …国王の旧教復活の意図に対抗し、議会在国教会の枠組維持で対抗
…官吏や議員を国教徒に限定
- 15 1679 …王の専制に対抗し、法によらぬ逮捕・裁判を禁じる
…同時期に旧教徒の王弟ジェームズを王位継承者から排除しようという運動発生
- 16 位 1685-88 …継承に反対の ₁₇ _____ **党**と容認の ₁₈ _____ **党**発生
…カトリック容認政策推進のため、専制的政策

名誉革命の経過

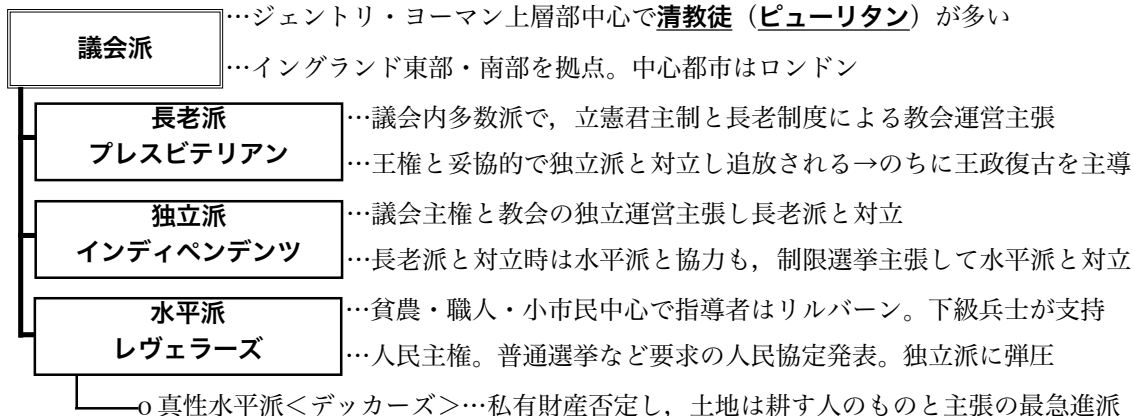
- 1688-1689 …**ジェームズ2世**に男子誕生し旧教の洗礼
名誉革命 …議会在オラニエ公₁₉ _____ とメアリ招く →ジェームズ2世フランスに亡命
- 1689 …王は立法・行政・司法・課税・軍事で議会对反した行動をとりえないと主張
権利の宣言 …王権に対する議会優位宣言。ウィリアム3世と₂₀ _____ は宣言承認し即位
- 1689 …権利の宣言を法文化。イギリス立憲政治の原点となり、立憲王政へ道を開く
₂₁ _____ cf. ₂₂ _____ が「統治（**市民政府**）二論」で抵抗権で革命を正当化

- 23 位 1689-1702 …妻メアリ2世と共同王位。**政党内閣**制度開始。寛容法でプロテスタント全般の信教の自由
…ルイ14世に対抗。ファルツ継承戦争で海外植民地戦争のウィリアム王戦争
- 24 位 1702-14 …ポルトガルと通商条約のメシュエン条約、海外植民地戦争のアン女王戦争
…1707年スコットランドと合同し、**グレート・ブリテン王国**：ステュアート朝断絶
- 25 位 1714-27 …₂₆ _____ **選帝侯**。議会对政治をまかせ“国王は君臨すれども統治せず”
…**ウィッグ党**の ₂₇ _____ が最初の首相→議会对責任の**責任内閣制**開始
- 位 1760-1820 …七年戦争（フレンチ・インディアン戦争）の勝利
ジョージ3世 …トーリー党と協力して王権の強化を試み、アメリカ独立革命を引き起こし挫折

ハノーヴァー朝

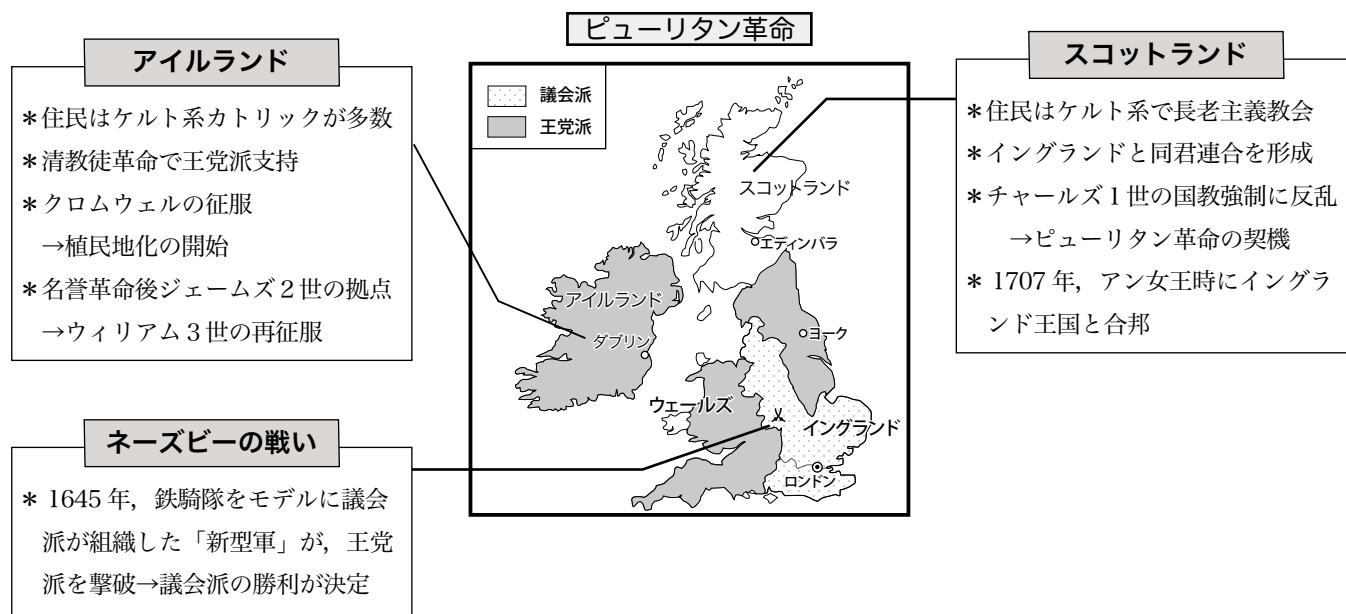
1. ジェームズ1世 2. チャールズ1世 3. 権利の請願 4. 清教徒革命 5. クロムウェル 6. ネーズビー 7. 長老 8. 水平 9. 独立
10. 護国卿 11. 航海法 12. アイルランド 13. チャールズ2世 14. 審査法 15. 人身保護法 16. ジェームズ2世 17. ウィッグ
18. トーリー 19. ウィレム 20. メアリ2世 21. 権利の章典 22. ジョン＝ロック 23. ウィリアム3世 24. アン女王
25. ジョージ1世 26. ハノーヴァー 27. ウォルポール

議会派の分裂



二大政党の成立

- トーリー党**…貴族・国教会聖職者・大地主中心で国王の大権を尊重。保守党のもと
- ウィッグ党**…進歩的貴族や商工業者中心。自由党のもと



イギリス商業革命と財政革命

- ◎イギリスの商業革命…17世紀後半からアジア・アメリカ大陸との貿易が激増
- ・**重商主義（貿易差額主義）**…国家が経済を管理、輸出の助成、産業の育成によって貿易収支の黒字をはかる
- ・**航海法**（1651）…共和政（コモンウェルス）期、イギリスの植民地貿易から外国船を排除
- ・植民地確保…雑工業製品の輸出と植民地物産の輸入
 - ・アイルランド…イギリスと競合する商品の対英輸出を禁止
 - ・ジャマイカ…**砂糖**プランテーション開発
 - ・インド（**ボンベイ・マドラス・カルカッタ**）…インド産**綿布**の輸入
 - ・北アメリカ南部…**タバコ**のプランテーション
- ◎財政革命…名誉革命後、**イングランド銀行**の創設、国債市場成立で資金力を強化
- ・**イングランド銀行**…17世紀末**ウィリアム3世**時に創立、紙幣発行と**国債**引き受けで財政確立
- ・オランダの金融業者もウィリアム3世とともにロンドンに進出し、金融街**シティ**を形成
- オランダ資金の流入、アムステルダムからロンドンに国際金融の中心が移動する端緒
- ・議会の徴税権確立…国債の元利を議会が保証したため、イギリス国債の信用強化→国債市場成立
- ・南海泡沫事件…1720年、アシエントを得たことで発足した南海会社が、株操作でバブル崩壊事件

中欧ヨーロッパ

ハプスブルク朝オーストリア

位 1493-1519 マクシミリアン 1 世	…ブルゴーニュ公女との結婚でネーデルラントを支配 …フランスとイタリア戦争開始, 子や孫の婚姻でハプスブルク家発展の基礎を築く
位 1519-1556 1	…スペイン王カルロス 1 世でネーデルラント, 両シチリアも領有 …フランス王フランソワ 1 世とイタリア戦争, ルターの新教改革に直面
位 1556-1564 フェルディナント 1 世	…カール 5 世の弟で, ハンガリー王女との婚姻より, ハンガリー・ベーメン王 …オーストリア・ハプスブルク家の開始
位 1619-1637 フェルディナント 2 世	…イエズス会の教育を受け, ベーメン王としてカトリック政策 →ベーメン反乱による三十年戦争の開始
* 1699 年 ₂ _____でトルコよりハンガリー領を全て奪回	
位 1711-1740 カール 6 世	…スペイン継承戦争で活躍し, スペインより南ネーデルラント獲得 …欽定典範 (家憲) で長子による全領土継承を定める
位 1740-1780 3	… オーストリア継承戦争・七年戦争 を戦い, フランスと 外交革命 …帝位は夫のフランツ 1 世。後息子のヨーゼフ 2 世。オーストリアの近代化に努力
位 1765-1790 4	…母の マリア・テレジア とともに 第一回ポーランド分割 に参加 … 啓蒙専制君主 で 1781 年農奴解放令 (挫折) 宗教寛容令。イエズス会の財産没収

1740-48 _____
5 _____
6 _____のみオーストリア支援。海外で **ジョージ王戦争**

1748
アーヘン条約
…占領地を相互返還。プロイセンの₇_____領有は承認
…マリア・テレジアの夫フランツの神聖ローマ皇帝位承認

1756-1763 _____
8 _____
9 _____で同盟
…₆_____のみプロイセン支援。新大陸で₁₀_____戦争

1763
フベルトウスブルク条約
…プロイセンのシュレジエン領有確認
…₁₁_____条約でフランスはミシシッピ以東の**ルイジアナ**と**カナダ**を英に

ホーエンツォレルン朝プロイセン

ブランデンブルク

12 C 成立。金印勅書で選帝侯となる。都**ベルリン**
15 C より₁₂_____家支配

プロイセン

13 世紀第三回十字軍時結成の**ドイツ騎士団**領に由来
1410 年タンネンベルクの戦いに敗北
→ヤゲウォ朝ポーランドに臣従
16 世紀ホーエンツォレルン家騎士団長が新教に改宗
→プロイセン公国の開始

プロイセン王国

1618 年連合してブランデンブルク・プロイセン。1657 年ポーランドより自立
フリードリヒ・ヴィルヘルム大選帝侯…最初に常備軍を組織, 三十年戦争で領土拡大, ユグノーの亡命者受け入れ
スペイン継承戦争で皇帝支援し, ₁₃_____が王号を得てプロイセン王国
₁₄_____ (土地貴族) が農民を再農奴化, 賦役労働を強制して資本主義的大農経営 (グーツヘルシャフト)

位 1713-1740
15 _____
…官僚制度を整備, ユンカーを将校団に常備軍を整備
…軍人王 (兵隊王) と称され, ユンカーを基盤とした**軍国的絶対主義**の基礎を確立

位 1740-86
16 _____
…**オーストリア継承戦争・七年戦争**を戦い, **ポーランド第一回分割**を提唱
…**啓蒙専制君主**で「君主は国家第一の下僕」・₁₇_____と交遊

○信仰の自由承認, 行政・司法制度の改革, 重商主義政策による産業の振興, 王領での農民保護
○**ロココ式**の₁₈_____宮殿をベルリン (北方のアテネと称賛) 郊外のポツダムに造営

1. カルロス 1 世 2. カロヴィッツ条約 3. マリア＝テレジア 4. ヨーゼフ 2 世 5. オーストリア継承戦争 6. イギリス 7. シュレジエン
8. 七年戦争 9. 外交革命 10. フレンチ＝インディアン 11. パリ 12. ホーエンツォレルン 13. フリードリヒ 1 世 14. ユンカー
15. フリードリヒ＝ヴィルヘルム 1 世 16. フリードリヒ 2 世 17. ヴォルテール 18. サン＝スーシ

啓蒙専制君主

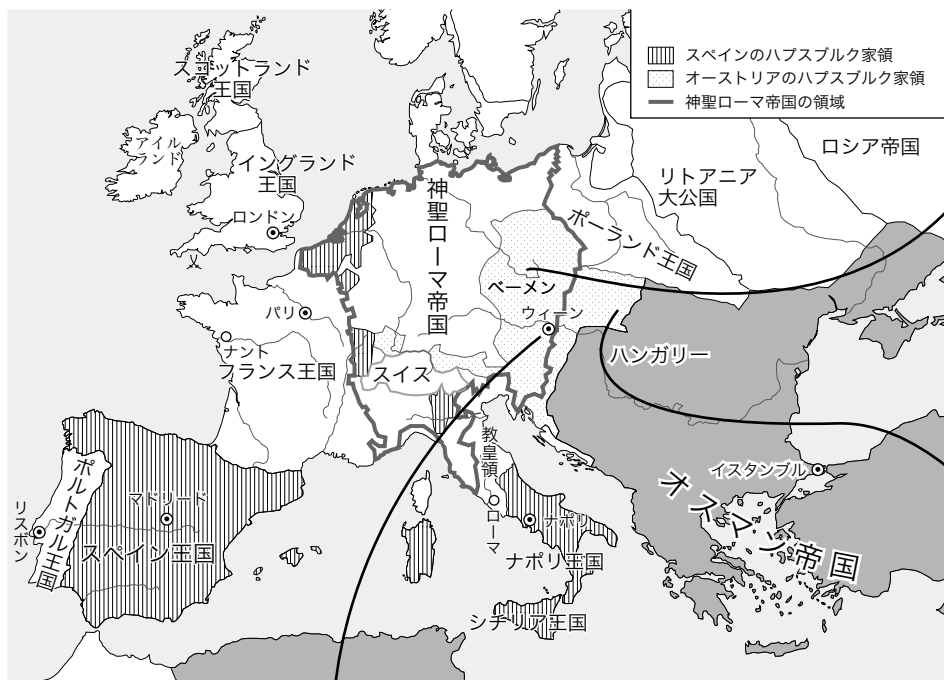
◇中欧・東欧は西欧経済に従属し、商工業の発展が遅れ、市民層の成長が不十分

君主による上からの近代化で、重商主義政策による産業の保護と育成をはかる

富国強兵策を実現するための中央政府の権力強化と改革の必要から啓蒙思想を利用

実態は、貴族を中軸とした軍事官僚国家の育成であり、民衆の政治参加を実現するものではなかった

両ハプスブルク家の領域



ボヘミア

10 C 成立のチェック人の国
11 C 神聖ローマ帝国編入
1356 年金印勅書で選帝侯

オーストリア

10 C オストマルク辺境伯領として成立
13 C ハプスブルク家支配。都ウィーン
15 C 神聖ローマ帝国の帝位

ハンガリー

10 C 末成立のマジャール人国家
1526 年 モハーチの戦いでトルコに敗
→領土 2/3 トルコ。
王位はハプスブルク

[ハプスブルク家]

ルドルフ 1 世
(1273 ~ 91)

...

フリードリヒ 3 世
(1449 ~ 93)

↓

ブルゴーニュ公女 マリア = マクシミリアン 1 世
(1493 ~ 1519)

[カスティリヤ]

[アラゴン]

イサベラ 1 世 (1474 ~ 1504) = フェルナンド 5 世 (1479 ~ 1516)

[イングランド]

ヘンリ 8 世 (1509 ~ 1547) = キャサリン

フアナ = フィリップ

メアリ 1 世 (1553 ~ 1558)

ポルトガル王女 イサベラ = フェリペ 2 世 (1556 ~ 1598)

カルロス 1 世 (1516 ~ 1556) (カール 5 世) (1519 ~ 1556)

フェルディナント 1 世 (1556 ~ 1564)

ハンガリー王女

エリザベス 1 世 (1558 ~ 1603)

アン=ブーリン

ロシア

◎スウェーデン系ノルマン人のルーシがドニエプル水系のスラヴ人地域に進出し、スラヴ人に同化

862-1479

国

…862 年頃リュリク建国、バルト海と黒海を結ぶ交易路にルーシが進出

…12 世紀にキエフ・ルーシの解体で都市共和国、ハンザ同盟の在外商館所在

882-1236

公国

…リュリクの一族がドニエプル川を南下し建国、キエフ大公がロシア諸公を支配

…10 世紀末にウラディミール 1 世がギリシア正教受容し、東方正教文明圏に帰属

◎12 世紀には貴族による大土地所有と農民の農奴化が進み、キエフ公国は衰退して諸公の分立が進む

1243-1502

国

…1240 年 4 _____ の遠征軍がキエフ公国を占領し支配 = 『タタールのくびき』

…ロシア諸侯を通じた間接統治、草原の道の交通路にロシア諸侯接統

1547-1917

帝国

…モスクワ大公がツァーリ（皇帝）を称し、東ローマ帝国の継承を主張「第 3 のローマ」

…ピョートル 1 世は 1721 年西欧諸国に対しても皇帝を称す

リュリク朝

位 1462-1505

6

…1480 年 7 _____ **大公国**, 3 _____ **国**より自立

…ノヴゴロド共和国を滅ぼす。最後のビザンツ皇帝の姪を妻→8 _____ 自称

位 1533-1584

9

…8 _____ の称号を正式採用。初代ロシア皇帝を自称。10 _____ 制を強化

…11 _____ の長を兼ね、教会・貴族を圧迫して支配 = **雷帝**と呼称

…12 _____ の首長 13 _____ がシビル・ハン国の首都攻略→**毛皮**求める

位 1613-1645

14

…リュリク朝滅亡の混乱後 15 _____ **朝**創始。農奴制をさらに強化

…ポーランド軍の侵入からモスクワ解放後の議会で選出

* 16 _____ の乱…1670 ～ 71 年、コサックの長指導の大農民反乱

位 1672 - 1725

17

…1689 年 18 _____ **帝**時代の**清**と 19 _____ **条約**締結

…西欧化推進。使節団派遣と模範工場。農奴の工場使用許可。髭税

…20 _____ をアラスカ探検に派遣。日本語学校創設

…**アゾフ海**占領

…**北方戦争** 21 _____ に対し、デンマーク・ポーランドと同盟（1700）

ポルタヴァの戦いでロシア優勢→ニスタット条約で勝利（1721）

戦争中 22 _____ 建設し首都

位 1762 - 1796

23

…七年戦争でフリードリヒ 2 世に協力した夫ピョートル 3 世廃し即位

…啓蒙専制君主で米独立革命に**武装中立同盟**→ 24 _____ の**乱**で反動化

…**漂流民**（大黒屋光太夫）返還を口実に 25 _____ の根室派遣

…**半島**のクリム = ハン国を併合、黒海の商船航行権獲得

…1772 年, 1793 年, 1795 年の 27 _____ **分割**の中心

ポーランド分割

* 16 世紀後半, 28 _____ **朝**の断絶→ 29 _____ の下, 王権が弱体化→国力の低下→分割で消滅

第一次（1772）ロシアの 23 _____ の進出を警戒したプロイセンの**フリードリヒ 2 世**呼びかけ

オーストリアのマリア・テレジアと 30 _____ も参加し、三国で分割

第二次（1793）フランス革命に共鳴し、ポーランドで憲法制定→ロシア・プロイセン介入し分割

31 _____ （アメリカ独立革命参加）の抵抗運動も敗北

第三次（1795）プロイセン・オーストリア・ロシア三国で分割し、ポーランドが消滅

1. ノヴゴロド 2. キエフ 3. キプチャク = ハン 4. バトゥ 5. ロシア 6. イヴァン 3 世 7. モスクワ 8. ツァーリ 9. イヴァン 4 世

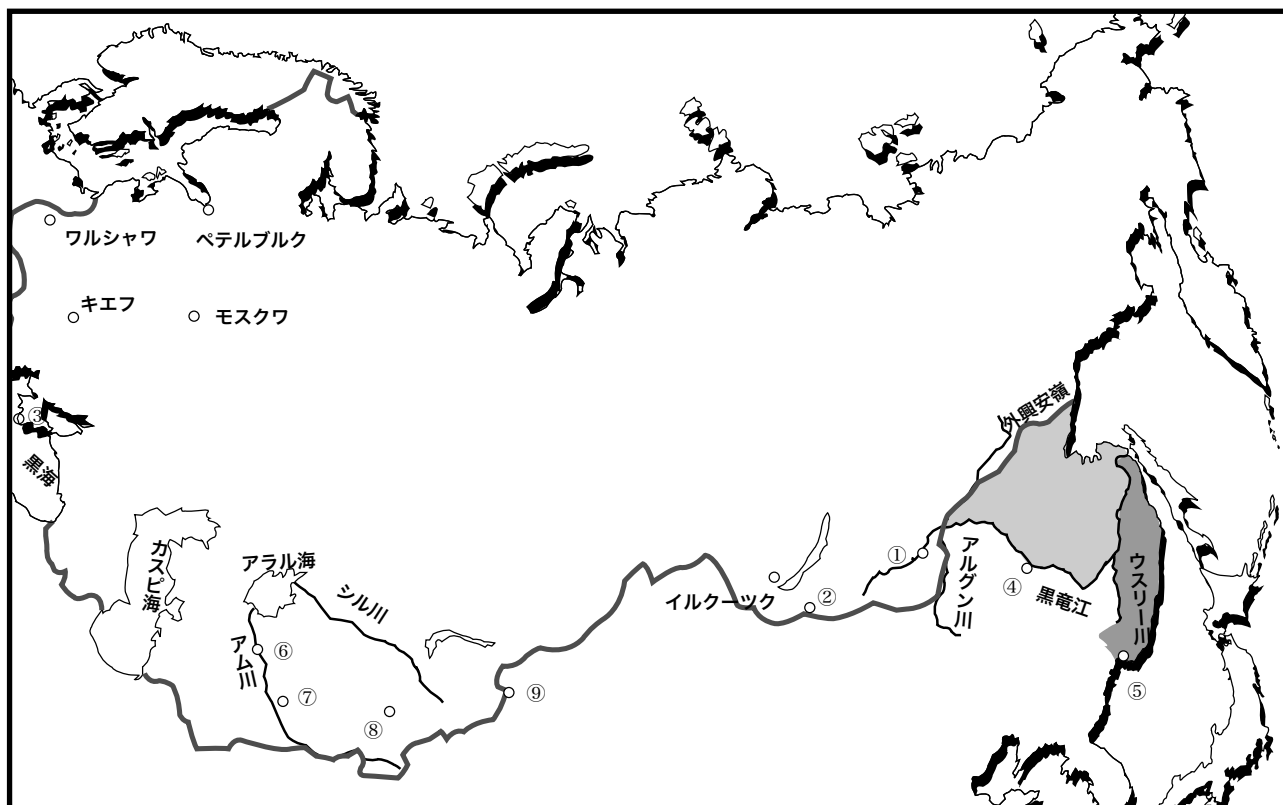
10. 農奴 11. ロシア正教会 12. コサック 13. イェルマーク 14. ミハイル = ロマノフ 15. ロマノフ 16. ステンカ = ラージン

17. ピョートル 1 世（大帝） 18. 康熙 19. ネルチンスク 20. ベーリング 21. カール 12 世 22. サンクト = ペテルブルク

23. エカチェリーナ 2 世 24. プガチョフ 25. ラクスマン 26. クリミア 27. ポーランド 28. ヤゲウォ 29. 選挙王政 30. ヨーゼフ 2 世

31. コシュエシコ

【ロシア帝国の発展と重要地名】



- | | |
|--------------------|--|
| ① <u>ネルチンスク</u> | …1689 年ピョートル 1 世のロシアと康熙帝の清が <u>東北地方</u> の国境を <u>外興安嶺</u> (<u>スタノボイ山脈</u>)とアルグン川と確定 |
| ② <u>キャフタ</u> | …1727 年清雍正帝の時に <u>モンゴル高原</u> の国境や通商を規定 |
| ③ <u>セヴァストポリ</u> | … <u>エカチェリーナ 2 世</u> がクリム＝ハン国を併合し、命名。偉大な都市の意。要塞が建設され、後に <u>クリミア戦争</u> の激戦地となる。 |
| ④ <u>アイグン</u> | …1858 年ロシアが <u>アロー戦争</u> の混乱に乗じて <u>アムール川左岸</u> 獲得の条約を結ぶ |
| ⑤ <u>ウラジヴォストーク</u> | …1860 年の <u>北京条約</u> でロシアが <u>ウスリー江</u> 以東の <u>沿海州</u> を獲得。東方経営の拠点として建設される。 |
| ⑥ <u>ヒヴァ</u> | …16 世紀成立の <u>ウズベク族</u> の小王国の拠点。1873 年ロシアの保護国 |
| ⑦ <u>ボハラ</u> | …16 世紀成立の <u>ウズベク族</u> の小王国の拠点。1868 年ロシアの保護国 |
| ⑧ <u>コーカンド</u> | …18 世紀成立の <u>ウズベク族</u> の小王国の拠点。清に朝貢。1876 年ロシアに併合 |
| ⑨ <u>イリ</u> | …イスラーム教徒反乱に乗じてロシアが出兵し占領。1881 年 <u>イリ条約</u> で返還 |

コサック

- * 自由な人の意。飢饉や農奴制の強化から黒海やカスピ海方面に逃亡した農民中心に形成
- * 農奴制の負担を逃れ、自由身分の軍事的共同体形成。狩猟・漁業・牧畜・略奪などに従事
- * 中央政府の支配強化に、ステンカ・ラージンの乱 (1670 ～ 71)、プガチョフの乱 (1773 ～ 75)
- * プガチョフの乱後、中央政府の管理下に置かれ、辺境防衛の軍団化 (土地付与の代償に軍役)
- * 19 ～ 20 世紀初期には帝政の支柱として革命運動や労働運動弾圧にも用いられる
- * 一方で毛皮を求めて東方進出の原動力。イェルマークがシビル・ハン国の首都征服

工房李香図解世界史ノート前期

著作者 山内秀朗

発行者 工房李香

<http://koubourico.natsu.gs>

2021 年 4 月 5 日発行

表紙・装画 Rico